# 沖縄県立博物館·美術館年報

(平成29年度実績報告)

No.11

# 沖縄県立博物館·美術館年報

(平成29年度実績報告)

No.11

## 目 次

似女					
	I	沿革・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		• • • • • • 2	
	$\Pi$	日誌抄・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		8	
	Ш	施設・設備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			
	IV	組織・・・・・・・・・・・			
	V	沖縄県立博物館・美術館協議会・・・			
		予算・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			
		収蔵資料現在高・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			
利用統計	٠٠٠		• •	• • • • • • • • • • • •	• • • • • • • • • • 21
	I	入館者統計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		• • • • • • 22	
	1	1. 総入館者集計			3 展際会別入館老佳計
		4. 2017 (平成29) 年度月間別入館者数			
		7. 団体入館内訳	υ.	十月7年日数07千万日的	0. 换56中间来时
	п	施設利用者統計・・・・・・・・			
	Ш				
		1. 月別施設利用集計			
博物館・	• •	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	• •	• • • • • • • • • • • •	• • • • • • • • • • 49
	I	調査研究等の活動・・・・・・・・		• • • • • • 50	
		1. 調査研究の概要	2.	博物館総合調査-伊是名・伊平屋	総合調査-
		3. 「一括交付金」活用事業	4.	調査・研究・講演・著作論文等	5. 職員研修
	$\Pi$	展示活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			
		1. 展示活動概要			3. 常設展 部門展示替え
		4. 沖縄県立博物館・美術館10周年記念特別	別展「	海の沖縄 一開かれた海への挑戦	<u>:</u> —J
		5. 企画展 「新収蔵品展-平成28年度収減			
		6. 企画展 「未来へ沖縄を伝え遺す 博物	物館70	)年のあゆみ	
		7. 企画展 「ウィルソンが見た沖縄 一野			
		8. 企画展 「大嶺薫コレクション ーかる			
		9. 平成29年度大阪府立弥生文化博物館 』			(K)
	Ш	教育普及活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			
		1. 博物館教育普及活動の概要			3. 博物館体験学習教室
				学芸員講座	
		7. バックヤードツアー			
				常設展に関する取り組み	or id issue to the industry
		12. 沖縄県立博物館・美術館のフリーパス			14. 普及資料の貸出
				ボランティアによる展示ガイド	15. 日及東州少東山
	IV	資料収集・保存管理・・・・・・・			
	1 V			2017 (平成29) 年度新収蔵資料高	-
		<ol> <li>1. 权敵員科先任司</li> <li>2017(平成29)年度新収蔵資料目録</li> </ol>			
		<ul><li>3. 2017 (千)以29) 千段初収蔵員科目録</li><li>6. 資料保存管理事業 レプリカ・剥製製作</li></ul>			
			TF (±	(初頁科) 7. 頁科以朱尹未	0. 貝付貝山
		9. 写真貸出			
美術館·					103
	I	調査研究等の活動・・・・・・・		104	
	1	1. 調査研究の概要			
	п	展示活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			
	Ш	1. 展示活動概要			
					I.
		3.特別企画展 開館10周年展「彷徨の海-		○四豕・用烛収択射兀と百符、쒸縄	Ŋ
	177	4. 企画展 「邂逅の海 交差するリアリン		445	
	Ш	2.114 11/2 4111124			
		1. 美術館教育普及活動の概要			
		4. コレクション・企画展関連催事			招待事業(美術館へ行こう)
		7. アートコンクール			
		9. ハンズオンキット「子供を対象とした/			
		11. ボランティア活動	12.	鑑賞ツアー・博美連携事業	13. 学芸員講座

		14. 職場体験 15. 出前授業	
		16. 名画を贈ろう!「私たちの学校へ沖縄の名画を贈ろう!キャンペーン」への協力	
		17. 学生提案型企画 協力 アートでひろがる子どものせかい	
	IV	211000 11111 11-11	
		1. 収蔵作品現在高 2. 2017(平成29)年度新収蔵作品高	
		3. 2017(平成29)年度新収蔵作品目録 4. 作品収集事業 5. 保存管理事業	
		6. 作品貸出	
一般財団	法人	人 沖縄美ら島財団(指定管理者)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• • 141
/2014			
		沖縄美ら島財団概要・・・・・・・・・ 142	
		21,771	
	III		
	13.7	1. 管理組織図 展示活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 146	
	IV		
	<b>T</b> 7	1. 展示活動概要	
	V	教育・イベント活動・・・・・・・・・・ 155	
	<b>3</b> 7 <b>T</b>	1. ワークショップ等 2. その他	
		広報事業に関する業務・・・・・・・・・・・・ 159 調査・研究・講演・著作論文等の活動・・・・・・・ 163	
	VII		
	17III	1. 調査・研究等 [ その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 164	
	VIII	1. 職員研修	
		1. 机联员切形	
全館共同	事業	業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	· · 165
	Ι	学芸員実習及び職場体験学習・・・・・・・・・ 166	
	1	1. 博物館実習 2. 美術館実習 3. 職場体験受け入れ	
	П	- Tribat-Dal I Ada	
		4.4	
		A SOLD ALL AND A CHARLE AND A COMPANY OF A C	
	11	1. 全体催事	<b></b>
	V	The state of the s	4.
7 - 41 -			
その他の	古	動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• • 181
	Ι	沖縄県博物館協会・・・・・・・・・・・・・・ 182	
	$\Pi$	全国組織との関わり・・・・・・・・・・・・ 182	
		1. 日本博物館協会 2. 国立科学博物館主催 S-Net 関連研修	
		3. 全国科学博物館協議会 4. 九州博物館協議会	
		5. 全国歷史民俗系博物館協議会	
	$\mathbf{III}$	沖縄博物館友の会・・・・・・・・・・・・・ 184	
	IV	特定非営利活動法人沖縄県立美術館支援会 happ・・・・ 185	
即区辻相	山魚	録・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	· · 187
IXI VINI AME			101
		専物館法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 188 専物館法施行令・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 190	
		専物館法施行規則・・・・・・・・・・・・・・・・・ 190	
	○博	専物館の登録に関する規則・・・・・・・・・・・・・・・ 193	
		中縄県教育委員会の権限事務の一部を知事の補助機関である職員及び その管理に属する行政機関の長に承任する規則。	
		その管理に属する行政機関の長に委任する規則・・・・・・・・・ 197 中縄県立博物館・美術館の管理に関する事務を執行するための	
	組	組織に関する規則・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 197	
		中縄県立博物館・美術館の設置及び管理に関する条例・・・・・・ 199	
		中縄県立博物館・美術館管理規則・・・・・・・・・・・・・・・・ 202 中縄県立博物館・美術館館長執務規程・・・・・・・・・・・・ 210	
		中縄県立博物館・美術館保管資料の利用に関する取扱要領・・・・・ 210	
		中縄県立博物館・美術館共催及び後援等に関する取扱要領・・・・・ 218	

- I 沿革
- Ⅱ 日誌抄
- Ⅲ 施設・設備
- IV 組織
- V 沖縄県立博物館・美術館協議会
- VI 予算
- VII 収蔵資料現在高

#### I 沿革

#### 【前史】

1936年(昭和11)、旧首里城北殿に沖縄県教育会附設郷土博物館が創設されたが、沖縄戦により全焼した。 終戦後、米国海軍軍政府ウィラード・A・ハンナ少佐とJ・T・ワトキンス少佐が、アメリカに沖縄の歴史文化を 紹介するために焼土の中から仏像や陶器などの文化財を収集し、1945年(昭和20)8月石川市(現うるま市)東 恩納に沖縄陳列館を創設した。

一方、首里城周辺では、廃墟の中から残欠文化財の収集が行われ、1946年(昭和21)3月頃、首里市汀良に首里市立郷土博物館が設立された。

#### 【創設】

1946年(昭和21) 4月24日、沖縄陳列館は沖縄民政府に移管され、東恩納博物館と改称した。また、1947年(昭和22) 12月には、首里市立郷土博物館も沖縄民政府に移管され、首里博物館と改称した。

#### 【発展】

1953年(昭和28)、東恩納博物館が移転して、首里博物館と合併した。5月には、龍潭池畔に赤瓦屋根の本館とペルリ記念館が建設され、落成式の当日、戦後アメリカに持ち去られていた「おもろさうし」等の文化財が返還された。

1955年(昭和30) 9月、沖縄民政府立首里博物館から琉球政府立博物館に改称した。さらに、1966年(昭和41)には首里大中町の旧中城御殿跡に新館を建設して移転した。

1972年(昭和47)の日本復帰に伴い、名称を沖縄県立博物館と改め、1973年(昭和48)に2階部を増築し、展示スペースを拡充した。

1980年代末(昭和60年代)頃から建物の老朽化が顕著になり、新館建設・移転が具体的に計画される。 2004年(平成16)、那覇新都心(おもろまち)に新館の建設を着工した。首里在の博物館(旧博物館)は新館 への移転準備のため、2006年(平成18)3月に閉館した。

2007年(平成19)11月1日、美術館を併設した沖縄県立博物館・美術館として開館した。

#### 【あゆみ】

- 1946 (昭和21) 4月 沖縄陳列館を「東恩納博物館」と改称し、沖縄民政府の所管となる。(24日)
- 1947 (昭和22) 12月 前年3月に首里汀良町に設立された「首里市立郷土博物館」が民政府に移管され、「沖縄民政府立首里博物館」に改称する。
- 1953 (昭和28) 3月 「東恩納博物館」を「首里博物館」に移転合併する。
  - 5月 「首里博物館」は汀良町から当蔵町に移り、龍潭池畔に瓦葺の本館が完成した。 米国民政府によりペルリ来琉百周年記念事業の一環として、「ペルリ記念館」を附設 して落成、贈呈される。

落成当日、米国大統領から戦後にアメリカに渡っていた「おもろさうし」等文化財が 返還された。(26日)

- 1954 (昭和29) 8月 ハワイから三線「江戸与那」が返還される。
- 1955 (昭和30) 9月 「首里博物館」の名称を「琉球政府立博物館」に改称する。
- 1963 (昭和38) 4月 米国民政府から河島コレクションが贈呈される。
- 1965 (昭和40) 9月 大中町の旧尚家屋敷跡(中城御殿)を購入する。
- 1966 (昭和41) 10月 米国による援助で鉄筋コンクリート建の新館を新敷地に建設し移転する。
  - 11月 新館開館記念「現代美術展」が開催され、同時に尚家所蔵文化財も特別陳列された。 (3日)
- 1968 (昭和43) 9月 太宰府天満宮から鄭元偉書「徳高」扁額が寄贈される。(30日)
- 1970 (昭和45) 10月 沖縄タイムス社及びG.H.カー博士より前庭に花園を贈呈される。
- 1971 (昭和46) 2月 八重山出土の陶器類約500点、検察庁より譲渡される。
- 1972 (昭和47) 2月 サントリー美術館との共催で、『50年前の沖縄』写真展が開催される。 サントリー美術館寄贈の植樹造園譲与式が行われた。 (27日)
  - 5月 琉球切手原画及び切手類、郵政庁より譲渡される。(13日) 日本への復帰に伴い「沖縄県立博物館」と改称する。
- 1973 (昭和48) 2月 国庫補助により2階部を増築し、展示室を3室増設する。
  - 5月 「田名家文書」の寄託をうける。(9日)
  - 7月 琉球切手原画が沖縄郵政管理事務所より譲渡される。 (16日)
  - 12月 琉球新報社から映画フィルム「沖縄」「海の民・沖縄島物語」「南の島・琉球」の3巻を寄贈される。(17日)

1973 (昭和48) 12月 多和田真淳氏考古資料の寄託をうける。 (19日) 1974 (昭和49) 11月 大阪天満宮から浦添王子朝熹書「徳馨」の寄託をうける。(27日) 糸満市摩文仁の平昌博物館から全資料譲与される。 1976 (昭和51) 4月 創立30周年記念式典を行う。(24日) 7月 大英博物館から皇太子殿下に贈られた始祖鳥のレプリカ標本が寄贈される。 12月 『博物館30年の歩み展』開催。 1977 (昭和52) 9月 玉陵石獅子を玉陵へ移管。 11月 円覚寺の鐘、前庭に展示。 1978 (昭和53) 3月 G.H.カー博士より資料寄贈。 7月 円覚寺の鐘楼が前庭に完成。 1979 (昭和54) 2月 尚裕氏より玉陵石獅子レプリカ2体が寄贈される。 6月 特別展『沖縄の洞穴と洞穴生物』開催。 1980 (昭和55) 1月 特別展『日本の美-救世熱海美術館名品展-』及び『沖縄県立博物館名品展』開催 2月 「移動博物館」を久米島の具志川・仲里両村で開催する。以後、離島市町村で毎年実 施する。(2008年度からは「移動展」に改称) 8月 特別展『琉球のシダ植物』開催。 11月 特別展『失われた生物たち-大恐竜展』開催 1981 (昭和56) 3月 博物館法に基づき「登録博物館」として登録される。(3月30日付け) 5月 仲嶺俊子氏より貝類標本約2,000点が寄贈される。 8月 G.H.カー博士より図書、写真等が寄贈される。 10月 特別展『沖縄の美-日本民芸館蔵-』及び『戦前の沖縄写真展』開催。 1982 (昭和57) 5月 新たに常設展として自然部門を設置。 7月 企画展『沖縄の昆虫』開催。 10月 特別展『熊本県・沖縄県交流展-熊本の歴史と文化』開催。 1983 (昭和58) 5月 企画展『琉球の漆工芸』開催。 11月 特別展『沖縄県・熊本県交流展-沖縄の美 風土と美術工芸』を熊本県立美術館にて 開催。 6月 企画展『玉城朝薫生誕三百年記念展-琉球芸能の世紀』開催。 1984 (昭和59) 7月 企画展『沖縄のシダ・貝・昆虫標本展』開催。 10月 企画展『今帰仁グスク展』開催。 1985 (昭和60) 2月 企画展『紅型衣装と型紙展』開催。 3月 大嶺薫コレクションが贈呈される。 11月 特別展『グスクーグスクが語る古代琉球の歴史とロマン』開催。 2月 特別展『大嶺薫コレクション-美術工芸の美を求めて』開催。 1986(昭和61) 12月 天野鉄夫コレクション1,588点の寄贈をうける。 1987 (昭和62) 7月 「旧大安禅寺の鐘」が米国より返納寄贈され、泊高校で贈呈式が行われる。 天野ハル氏より亡夫鉄夫氏収集コケ類1,562点が寄贈される。 10月 スポーツ芸術・特別展『沖縄の自然・歴史・文化』『沖縄近代の絵画-物故作家』開催。 企画展『田名家収蔵品展-ある首里士族の400年』開催。 12月 企画展『現代沖縄の陶芸-天野鉄夫コレクション』開催。 1988 (昭和63) 8月 特別展『ヤンバルの自然』開催。 11月 特別展『三線名器100挺展』開催。 1989(平成元) 11月 特別展『岡田コレクション・インドネシア更紗展』開催。 12月 企画展『真境名由康生誕100年記念「芸能資料展」』開催。 1990 (平成2) 1月 特別展『大アンデス文明展』開催。 6月 湧田窯搬入。 8月 企画展『沖縄の野鳥』開催。 11月 企画展『沖縄の祭り』開催。 1991 (平成3) 2月 企画展『技と美一大城志津子の世界ー』開催。 8月 企画展『沖縄のチョウ展』開催。 9月 企画展『壺屋陶工遺作展』開催。 10月 特別展『アジアの祭りと芸能』開催。 1992 (平成4) 2月 企画展『琉球の香り・あわもりの歴史と文化』開催。 3月 仲嶺俊子氏より貝類コレクションを寄贈される。 4月 旧中城御殿の石牆整備工事に伴う第1次埋蔵文化財発掘調査開始。(~7月3日)

6月 特別展『古代メキシコ至宝展』開催。

1992	(平成4)	8月	特別展『沖縄の貝類一海からの贈りもの』開催。
		10月	復帰20周年記念特別展『琉球王国-大交易時代とグスク』開催。
1993	(平成5)	1月	特別展『尚家継承琉球王朝文化遺産展』開催。
		2月	企画展『謝花雲石展』開催。
		3月	ハワイ在住の伊福盛寿氏から50点余のコレクションが寄贈される。
		7月	旧中城御殿石垣工事にかかる第2次発掘調査開始。(~9月2日)
			企画展『芭蕉布と平良敏子』開催。
		8月	特別展『沖縄の川と生きもの』開催。
		10月	企画展『刻まれた歴史-沖縄の石碑と拓本』開催。
			企画展『琉球王朝時代の楽器-三線と御座楽』開催。
1994	(平成6)	7月	特別展『子どもの世界』開催。
			旧中城御殿石垣工事にかかる第3次発掘調査開始。(~8月20日)
1995	(平成7)	3月	横浜国立大学教授長谷川善和氏より鹿類の化石約25,000点が寄贈された。
		6月	戦後50周年記念特別展『甦る沖縄・戦災文化財と戦後生活資料展』開催。
1996	(平成8)	3月	栗田文子氏よりワラザン資料を寄贈される。
		7月	特別展『大久米島展-しぜん・ひと・もの』開催。
		10月	『新収蔵品展・ワラザン展』開催。
			福田経子氏より「フクダコレクション」贈呈
		12月	企画展『沖縄県立博物館50年の歩み』開催、創立50周年式典を行う。
	(平成9)	4月	特別展『アルゼンチンの大恐竜展』開催。
1998	(平成10)	7月	企画展『琉球王国時代の植物標本-ペリーが持ち帰った植物たち』開催。
		11月	特別展『包むこころ ふろしき』開催。
1999	(平成11)	8月	特別展『三線のひろがりと可能性』開催。
		10月	企画展『日本の技ー伝統のかたち』開催。
			(第7回全国重要無形文化財保持団体秀作展『日本の伝統美と技の世界』巡回展)
		11月	ホノルル美術館からG.H.カー博士コレクション(考古資料6,000点余)寄贈。
2000	(平成12)	2月	企画展『工芸王国ーきらめく手わざの世界を沖縄から』開催。
		7月	サミット開催記念特別展『大琉球展』開催。
	<i>(</i> -	11月	ハワイ移民100周年記念特別展『日系移民1世紀展-From Bento to Mixed Plate』開催。
2001	(平成13)	2月	企画展『沖縄の繊維・染料植物展』開催。
		3月	企画展『工芸王国一人・技・心』開催。
	( <del></del>	11月	特別展『かざりとかたち』開催。
2002	(平成14)	8月	特別展『港川人展』開催。
	(=; [\si_=\)	10月	企画展『沖縄の文化財展』開催。
2003	(平成15)	2月	企画展『おきなわナースものがたり』開催。
		7月	企画展『旅する種子一運ばれるための巧妙なしかけ』開催。
		10月	企画展『あじまぁ 沖縄の伝統とくらしー沖縄県立博物館収蔵資料展』を国立民族学
			博物館で開催。
0004	(\pi \chan \	0 🗆	特別企画展『沖縄織物へのメッセージー田中俊雄の研究』開催。
2004	(平成16)	2月	企画展『戦前・戦後の文化財保護 - 仲座久雄の活動をとおして』開催。
		3月	企画展『工芸王国-てわざの今、そして未来へ』開催。 企画展『沖縄歴史を綴る秘宝展』(沖縄コレクター友の会主催)開催。
		8月	企画展『自然界のエイリアンー海をこえて持ちこまれた動物たち』開催。
2005	(元出7)	11月 2月	
2005	(平成17)	乙月	特別展『いま・むかし、おもちゃ大博覧会-入江正彦 児童文化史コレクション』開催。
2006	(平成18)	2月	1性。 閉館記念特別展『柳宗悦の心と眼-柳宗悦の民藝と巨匠たち展』開催。
2000	(千成10)	3月	『ありがとう・さよなら』キャンペーン。 (22日~31日 無料入館)
		ΟД	企画展『わたしの宝もの展』(博物館友の会主催)開催。
			年 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日
		7月	博物館新館展示工事安全祈願祭。(於:波之上)
		8月	宮城宏友氏より鳥籠7点寄贈。(11日)
		O月 10月	当城公久八より局龍(八司知。(11日) 尚順男爵関係資料寄贈。(19日)
		10/7	副根の 謝花雲石書「萬國陽和」屏風の寄贈。(26日)
		12月	稲嶺一郎関係資料寄贈。(26日)
2007	(平成19)		坂口總之輔氏カメラ寄贈。(16日)
2001	( 1 14/410)	2/1	WITHDOW THE VIA / MINDO (TO DI)

- 2007 (平成19) 3月 新館へ事務所移転(29日)。首里在の沖縄県立博物館閉館式(30日)を行い、全ての組織・機能等は教育庁文化施設建設室に、また首里の博物館敷地及び建物の管理は教育庁文化課にそれぞれ引き継ぐ(31日)。
  - 4月 新館での事務を開始する。(1日)
  - 7月 沖縄県立博物館・美術館の指定管理者として文化の杜共同企業体が指定を受ける。
  - 8月 指定管理者・文化の杜共同企業体が開館事前準備のため事務をはじめる。
  - 11月 那覇市おもろまちに沖縄県立博物館・美術館が開館する。(1日) 同時に、博物館新館開館記念展『人類の旅ー港川人の来た道ー』と美術館開館記念展 『沖縄文化の軌跡 1872-2007』を開催する。
- 2008 (平成20) 2月 博物館企画展『新収蔵品展-平成17·18年度収蔵資料』開催。
  - 3月 指定管理者企画展『世界の現代アーティスト50人展』開催。 美術館常設展開会式(25日)
  - 5月 博物館企画展『新収蔵品展―平成19年度収蔵資料』開催。 指定管理者企画展『情熱と戦争の狭間でー無言館・沖縄・画家たちの表現』開催。 美術館企画展『新収蔵品展 ポリエドールー沖縄・アジアの多様性』開催。
  - 7月 指定管理者特別展『恐竜ミュージアム2008』開催。 指定管理者企画展『しまくとうば』開催。
  - 9月 博物館企画展『ずしがめの世界』開催。 開館一周年記念博物館特別展『甦る琉球王国の輝き』開催。
  - 11月 美術館企画展『美術家たちの「南洋群島」』開催。
- 2009 (平成21) 1月 博物館企画展『発掘された日本列島2008』開催。 博物館企画展『沖縄考古学ニュース』開催。 美術館企画展『移動と表現-変容する身体・言語・文化』開催。
  - 4月 指定管理者企画展『アトミックサンシャインの中へ in 沖縄』開催。
  - 5月 博物館企画展『新収蔵品展-平成20年度資料』開催。 指定管理者自主事業『王昭展』開催。
  - 7月 指定管理者企画展『豊潤の美を求めて一金城安太郎と高畠華宵』開催。 指定管理者企画展『琉球絵画展』開催。
  - 9月 指定管理者企画展『オキナワデザインの現在』開催。
  - 10月 博物館特別展『琉球使節、江戸へ行く!』開催。 美術館企画展『名渡山愛順展-名渡山愛順が愛した沖縄』開催。
  - 12月 博物館企画展『大嶺薫コレクション展』開催。
- 2010 (平成22) 1月 美術館企画展『タカエズトシコ展』開催。
  - 2月 博物館企画展『造礁サンゴ展ー楽園をつくった偉大な建築家』開催。 博物館企画展『ものづくり今昔』開催。
  - 4月 総務班が設置され、3班体制となる 指定管理者企画展『いわさきちひろ』展開催。 指定管理者自主事業『石川直樹写真展』開催。
  - 5月 博物館企画展『新収蔵品展-平成21年度収蔵資料』開催。 指定管理者企画展『遠き道-はて無き精進の道程』開催。
  - 7月 指定管理者企画展『沖縄マンガ』展開催。
  - 9月 指定管理者企画展『風土と建築』開催。 博物館特別展『海のクロスロード 八重山展』開催。
  - 11月 美術館企画展『母たちの神-比嘉康雄』展開催。
  - 12月 博物館・指定管理者企画展『アイヌー美を求める心』開催。
- 2011 (平成23) 1月 美術館企画展『安谷屋正義』展開催。 博物館企画展『琉球陶器の来た道』開催。
  - 2月 博物館企画展『骨の科学』開催。
  - 3月 博物館企画展平成22年度『大嶺薫コレクション展』開催。
  - 4月 博物館企画展平成23年度『大嶺薫コレクション展』開催。 指定管理者企画展『國吉清尚』開催。
  - 5月 博物館企画展『新収蔵品展 平成22年度収蔵資料』開催。 指定管理者企画展『生誕100年記念展 岡本太郎と沖縄 - ここが世界の中心だ』開催。
  - 7月 指定管理者企画展『ロボット展』開催。 指定管理者企画展『印象派の誕生展』開催。
  - 9月 美術館企画展『東松照明展<太陽へのラブレター>』開催。

5

2011 (平成23) 10月 博物館企画展『第19回全国重要無形文化財保持団体秀作展「日本の伝統美と技の世界」』開催。

博物館企画展『沖縄県無形文化財工芸技術保持団体協議会設立10周年記念「工芸王国 一受けつがれる琉球のわざと美」』開催。

- 11月 博物館特別展『宇宙-遙かなるロマンを求めて』開催。
- 2012 (平成24) 1月 博物館企画展『檀王法林寺開創400年記念「琉球と袋中上人-エイサーの起源をさぐる」』開催。

美術館企画展『沖縄の美術シリーズ3 玉那覇正吉』開催。

- 3月 指定管理者企画展『本土復帰40周年記念「田中一村展 琉球弧で開花した美の世界」』 開催。
- 5月 指定管理者企画展『土門拳の昭和と沖縄』開催。
- 6月 博物館企画展『新収蔵品展-平成23年度収蔵資料』開催。 博物館企画展『大嶺薫コレクション展』開催。
- 7月 指定管理者企画展『旅する仮面』開催。 指定管理者自主事業『お化け屋敷で科学する』展開催。(沖縄テレビ共催)
- 9月 美術館企画展『山田實展-人と時の往来』開催。 博物館特別展『本土復帰40年記念「OKINAWAから沖縄へ」』開催。
- 11月 美術館企画展『復帰40周年記念「アジアをつなぐ-境界を生きる女たち1984-2012」』 開催。
- 12月 博物館企画展『大山盛保生誕100年記念 発見への情熱』開催。
- 2013 (平成25) 2月 指定管理者自主事業『マリー・アントワネット物語』展開催。 (沖縄タイムス共催) 指定管理者企画展『スタジオジブリ・レイアウト展』開催。
  - 5月 博物館企画展『大嶺薫コレクションー探求する心とその世界ー』展開催。 博物館企画展『新収蔵品展―平成24年度収蔵資料』開催。 指定管理者企画展『佐川美術館蔵 平山郁夫―大唐西域画への道―』開催。
  - 7月 博物館特別展『海山川のおくりもの 目からウロコの大生き物展-生物多様性ホットスポットJAPAN』開催。 指定管理者自主事業『ジミー大西作品展-挑戦と革新-』開催。
  - 9月 美術館企画展『沖縄の美術シリーズ4 安次嶺金正展-緑の抒情-』開催。
  - 11月 指定管理者企画展『京都 清水寺展』開催。
- 2014 (平成26) 1月 美術館企画展『森山大道 終わらない旅 北/南』開催。
  - 2月 博物館企画展『サキタリ洞遺跡発掘調査速報展』開催。 博物館企画展『三線のチカラー形の美と音の妙ー』開催。
  - 4月 指定管理者企画展『木下晋展 生命の旅路』開催。
  - 5月 指定管理者企画展『麗しき琉球の記憶-鎌倉芳太郎が発見した "美"』開催。 博物館企画展『新収蔵品展-平成25年度収蔵資料』開催。
  - 7月 指定管理者企画展『20世紀フランス絵画展-山形美術館 服部コレクション-』開催。
  - 9月 博物館企画展 久米崇聖会創立100周年記念『久米村(クニンダ) 琉球と中国の架け橋-』 開催。

美術館企画展『色彩と風のシンフォニー 内間安瑆の世界』開催。

- 11月 博物館企画展『大嶺薫コレクションーアジアへの眼差しー』開催。 博物館特別展『水中文化遺産〜海に沈んだ歴史のカケラ〜』開催。
- 2015 (平成27) 1月 美術館企画展『ゴー・ビトゥイーンズ展 こどもを通して見る世界』開催。
  - 2月 博物館企画展『イノシシとブタと私たち』開催。
  - 3月 指定管理者企画展『報道カメラマン大城弘明×山城博明写真展-二人が撮らえた沖縄・終わらない戦後』開催。
  - 4月 博物館企画展『うちくいー沖縄のふろしきー』開催。 指定管理者企画展『ディズニー 夢と魔法の90年展ーミッキーマウスからピクサーまで』開催。
  - 6月 美術館特別企画展『戦後70年 特別企画展 ニシムイ 太陽のキャンバス』開催。
  - 7月 指定管理者企画展『深海探検 海底二万里の世界』開催。 指定管理者自主事業『大哺乳類展 ぼくらのなかまたち』開催。
  - 9月 美術館企画展『石田尚志 渦まく光』開催。 博物館特別展『琉球弧の葬墓制-風とサンゴの弔い-』開催。

- 2015 (平成27) 11月 美術館企画展『沖縄の美術シリーズ5 大嶺政寛展-情熱の赤瓦 沖縄の原風景を求めて-』開催。
  - 12月 博物館企画展『新収蔵品展-平成26年度収蔵資料-』開催。 博物館企画展『大嶺薫コレクション-探求する心とその世界-』開催。
- 2016 (平成28) 1月 博物館企画展『大気と気象~見えない空気の"力と技"~』開催。 九州歴史資料館×沖縄県立博物館・美術館 企画展『沖縄の旧石器人と人類の起源』 を九州歴史資料館にて開催。
  - 2月 美術館企画展『木梨憲武展×20years』開催。 沖縄県立芸術大学×沖縄県立博物館・美術館 コラボ企画展『芸大の御宝展~ものと ひとを つくる~』開催。
  - 3月 美術館企画展『パブロ・ピカソ ゲルニカ (タピスリ) 沖縄特別展ー戦後70年、今ゲルニカで考えるー』 開催。
  - 4月 美術館企画展 文化勲章受章記念『志村ふくみー母衣への回帰ー』開催。
  - 5月 博物館企画展『大嶺コレクション展ー美をもとめてー』開催。 博物館企画展『新収蔵品展―平成27年度収蔵資料ー』開催。
  - 7月 博物館企画展『目からウロコの生物実験展~今年の夏は、ジッケン、タイケン、大ハッケン!』開催。
  - 9月 博物館企画展 日本民藝館80周年『沖縄の工芸展-柳宗悦と昭和10年代の沖縄』開催。
  - 11月 博物館特別展『港川人の時代とその後-琉球弧をめぐる人類の起源と展開-』開催。
  - 12月 美術館企画展『夢の美術館-めぐりあう名画たち- 福岡市美術館・北九州市立美術館名品コレクション』開催。
- 2017 (平成29) 1月 博物館企画展『琉球・沖縄の地図展~時空を超えて沖縄がみえる~』開催。
  - 2月 博物館常設展示の充実強化を図るため、県指定文化財の梵鐘7口を加えて展示をリニューアル。屋外に大聖禅寺鐘(実物)を設置。
  - 3月 美術館企画展 沖縄の美術シリーズVI『山元恵一展-まなざしのシュルレアリスム -』開催。
  - 4月 美術館特別展『写真家が見つめた沖縄1972~2017』開催。 美術館特別企画展『開館十周年企画 安次富長昭展』開催。
  - 5月 指定管理者企画展『やんばるの森の美』開催。 博物館企画展『新収蔵品展―平成28年度収蔵資料―』開催。 博物館企画展『博物館70年のあゆみ』開催。 美術館『《今帰仁城盛衰記》―知られざる金城安太郎の仕事』開催。 指定管理者企画展『やんばるの森の美―写真展―』開催。
  - 7月 美術館『ベトナム絵画展』開催。 指定管理者企画展『水族館でも出会えない、海のビックリ生物展』開催。 大阪府立弥生博物館共催『沖縄の旧石器人と南島文化』(場所:弥生博物館)開催。
  - 9月 博物館企画展『ウィルソンが見た沖縄』開催。
  - 11月 博物館特別展『開館10周年特別展 海の沖縄』開催。 美術館企画展『開館10周年特別企画展 彷徨の海-旅する画家・南風原朝光と台湾、 沖縄』開催。
  - 12月 美術館企画展『開館10周年特別企画展 邂逅の海-交差するリアリズム』開催。
- 2018 (平成30) 1月 人間国宝島袋正雄氏より県指定有形文化財「三線 与那城型 名玉城與那」の寄贈を受ける。
  - 2月 博物館企画展『大嶺コレクション展ーかざるー』開催。 美術館『大和コレクション™』開催。

#### 【歴代館長】

#### 東恩納博物館

#### 首里博物館

大嶺 薫 (1946年4月~1953年3月)

豊平 良顕 (1947年12月~1948年3月) 原田 貞吉 (1948年8月~1953年3月)

#### 沖縄民政府立首里博物館

原田 貞吉(1953年3月~1955年5月)

#### 琉球政府立博物館

#### 沖縄県立博物館

11/10/11					
外間	正幸	(1972年5月~1981年3月)	大城德	胶郎	(1981年4月~1983年3月)
大城	立裕	(1983年4月~1986年3月)	大城	宗清	(1986年4月~1992年3月)
宜保勞	<b></b>	(1992年4月~1994年3月)	糸数	兼治	(1994年4月~1996年3月)
當間	一郎	(1996年4月~1999年3月)	大城	将保	(1999年4月~2000年3月)
平田	與進	(2000年4月~2002年3月)	當眞	嗣一	(2002年4月~2005年3月)
名嘉	政修	(2005年4月~2006年3月)	宮城	清志	(2006年4月~2007年3月)
新垣	隆雄	(2007年4月~2007年10月)			
沖縄県ゴ	立博物館	官・美術館			
牧野	浩隆	(2007年11月~2011年3月)	白保	台一	(2011年4月~2013年2月)
安里	進	(2013年5月~2016年3月)	田名	真之	(2016年4月~)

#### Ⅱ 日誌抄 (2017年4月1日~2018年3月31日)

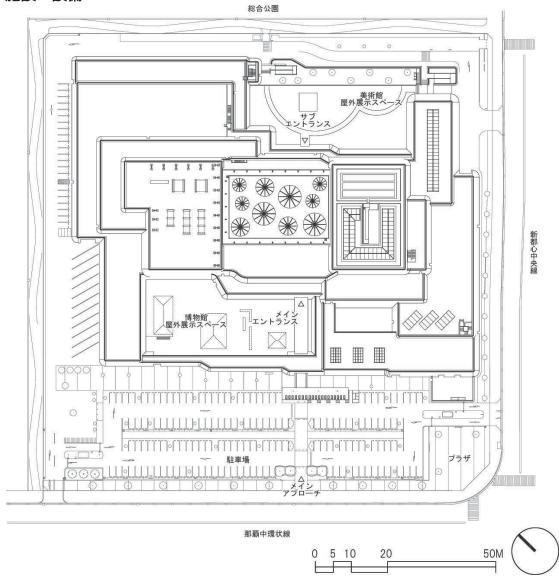
#### 2017年 (平成29)

- 4月 3日 平成29年度辞令交付式
  - 11日 委員監査
  - 21日 博物館ボランティア登録証交付式(館長)
  - 18日 博物館常設展展示替え (美術工芸部門/王国のきらめき)
  - 23日 「山元恵一展」ギャラリートーク
  - 25日 「安次富長昭展」「写真家が見つめた沖縄1972-2017」開会式
  - 25日 新任職員歓迎会
  - 30日 平成28年度琉球王国文化遺産集積・再興事業報告会
- 5月 10日 九州博物館協議会総会出席(熊本県/館長)(~12日)
  - 18日 沖縄県博物館協会研修・総会(~19日)
  - 18日 国立科学博物館館長来館
  - 6日 指定管理者自主企画「やんばるの森の美写真展」開会式
  - 23日 「博物館70年のあゆみ/平成29年度新収蔵品展」開会式 美術館コレクション展「知られざる金城安太郎の仕事展」開会
- 6月 18日 沖縄美術の流れ関連催事「上原美智子ギャラリートーク」
  - 26日 全館燻蒸・消毒(~7月5日)
- 7月 1日 大阪府立弥生博物館共催「沖縄の旧石器人と南島文化」開会式
  - 7日 首里城公園開園25周年記念、沖縄県立博物館・美術館開館10周年記念特別展「首里城の25年」 開会式
  - 13日 学芸員実習(6月13日~6月27日)
  - 15日 指定管理者自主企画「チームラボアイランド 学ぶ!未来の遊園地」開会式
  - 18日 指定管理者自主企画「海のビックリ生物展」開会式
  - 21日 茨城県議会文教警察委員会調査来館
  - 31日 教職10年経験者研修受入(7月31日~8月2日)
- 8月 15日 美術館学芸員実習(8月15日~8月28日)
  - 22日 国際海洋環境情報センター長館長表敬
- 9月 1日 WUBネットワーク会議シンポジウム出席(ハワイ/館長)
  - 8日 「ウィルソンが見た沖縄展」開会式(~10月15日)
  - 20日 博物館常設展展示替え (美術工芸部門/美のかたち~海と風と~)
- 10月 13日 開館10周年記念展保存修復シンポジウム「まもる」アートをアーカイヴせよ!
  - 19日 九州博物館協議会研修会出席(大分県/館長)
  - 21日 沖縄県博物館協会研修会(東村/~22日)
- 11月 1日 開館10周年記念特別展「海の沖縄」/開館10周年記念展「彷徨の海」開会式
  - 7日 神奈川県議会議員調査来館
  - 17日 中国第一歴史档案館副館長来館
  - 18日 沖縄県芸術文化祭開会式(館長)
  - 22日 五芸大学長懇話会視察来館
  - 25日 「うまんちゅひろば」 (10周年記念特別展) 放送 (25・26日)
  - 30日 指定管理者制度運用委員会

12月 19日 開館10周年特別企画「邂逅の海-交差するリアリズム」(~2月4日) 28日 仕事納め 2018年 (平成30) 1月 4日 仕事始め 21日 人間国宝島袋正雄氏より県指定文化財三線寄贈(館長) 29日 第1回美術品等収集委員会 1日 大嶺薫コレクション展(~3月11日) 2月 3日 美術館開館10周年記念シンポジウム 7日 琉球王国文化遺産修正・再興事業報告会(琉球絵画) 7日 台湾博物館調査(館長) 13日 沖縄県立博物館·美術館協議会 美術品購入基金検討委員会 18日 護得久栄昇氏一日館長 23日 第10回移動展(北大東村)開会式(~25日) 美術館「大和コレクションⅦ」開会(~6月24日) 独立行政法人国立文化財機構調査来館 19日 全館燻蒸・消毒 (~22日) 3月 1日 委員監査 27日 東京都荒川区議員団視察 広島県議員団視察

28日 平成29年度職員送別会

#### Ⅲ 施設・設備

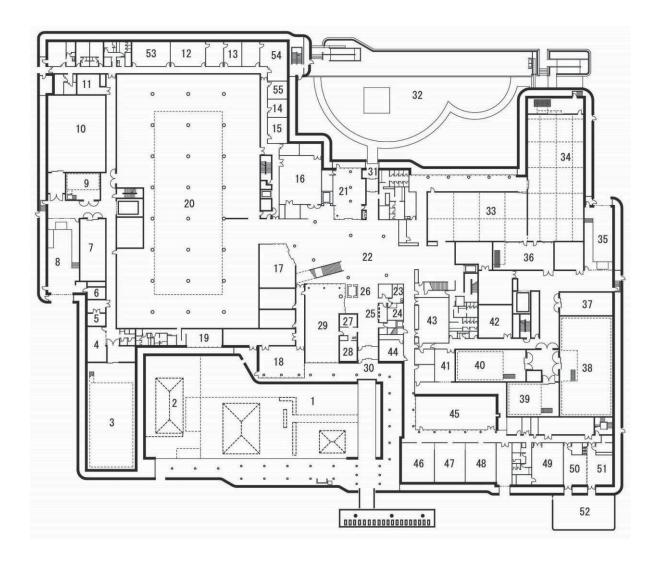


#### 建築概要

#### 博物館の主たる施設

#### 美術館の主たる施設

●敷地面積・・・・・・・・	$31,287\mathrm{m}^2$	●展示施設		●収蔵施設(ダブルデッキ含	te)	●展示施設	
●建築面積・・・・・・・	13, 452 m²	総合展示室・・・・	1, 252 m²	自然史収蔵庫・・・・・・・・	$417\mathrm{m}^2$	企画ギャラリー1・・・・・・・	$394\mathrm{m}^2$
●延床面積・・・・・・・・	23, 721 m²	部門展示室・・・・	1, 344 m²	化石収蔵庫・・・・・・・・・・	$245\mathrm{m}^2$	企画ギャラリー2・・・・・・・	$490\mathrm{m}^2$
博物館専有面積···	10, 478 m²	自然史部門・・	$360\mathrm{m}^2$	考古・陶磁器収蔵庫・・・・・	$613\mathrm{m}^2$	コレクションギャラリー1	$164\mathrm{m}^2$
美術館専有面積・・・	7, 537 m²	考古部門・・・・	$262\mathrm{m}^2$	特別収蔵庫・・・・・・・・・・・	$439\mathrm{m}^2$	コレクションギャラリー2	$284\mathrm{m}^2$
共有面積 · · · · · · ·	5, 708 m²	美術工芸部門	$180\mathrm{m}^2$	民俗収蔵庫・・・・・・・・・・・	$668\mathrm{m}^2$	コレクションギャラリー3	$370\mathrm{m}^2$
●高さ…最高高さ…	$\mathrm{GL}\!+\!21.8\mathrm{m}$	歷史部門・・・・	$120\mathrm{m}^2$	大型収蔵庫・・・・・・・・・・	$358\mathrm{m}^2$	県民ギャラリー $(1 \sim 3)$ ・・	$277\mathrm{m}^2$
●駐車場		民俗部門・・・・	$421\mathrm{m}^2$	液浸標本室・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	$97\mathrm{m}^2$	県民ギャラリー(スタジオ)	$111\mathrm{m}^2$
一般駐車場・・・・・・	158台	屋外展示場・・・・	1, 425 m²	一時保管庫・・・・・・・・・・	$119\mathrm{m}^2$	県民アトリエ・・・・・・・・・・・・	$65\mathrm{m}^2$
(うち身障者用4台)		企画展示室••••	$351\mathrm{m}^2$	●調査研究施設		こどもアトリエ・・・・・・・	$70\mathrm{m}^2$
大型バス駐車場・・・	10台	特別展示室・・・・	$459\mathrm{m}^2$	研究室・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	$176\mathrm{m}^2$	屋外展示場	1, 368 m²
駐輪場・・・・・・・・・	25台	●教育普及施設		研究資料室・・・・・・・・・・	$111\mathrm{m}^2$	●教育普及施設	
関係者駐車場・・・・・	22台	ふれあい体験室	$110\mathrm{m}^2$	会議室・・・・・・・	$72\mathrm{m}^2$	美術館講座室	$109\mathrm{m}^2$
		博物館講座室・・	$191\mathrm{m}^2$			●収蔵施設 (ダブルデッキ含む)	
供用施設		実習室・・・・・・・	108 m²			収蔵庫A・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	$683\mathrm{m}^2$
●エントランスホール	$724\mathrm{m}^2$					収蔵庫B	$248\mathrm{m}^2$
●情報センター・・・・・	$217\mathrm{m}^2$					収蔵庫C・・・・・・	$204\mathrm{m}^2$
●講堂(212席)・・・・	$349\mathrm{m}^2$					●調査研究施設	
						研究室・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	98 m²
						研究資料室	98 m²
						会議室・・・・・・	$58\mathrm{m}^2$



### 1階

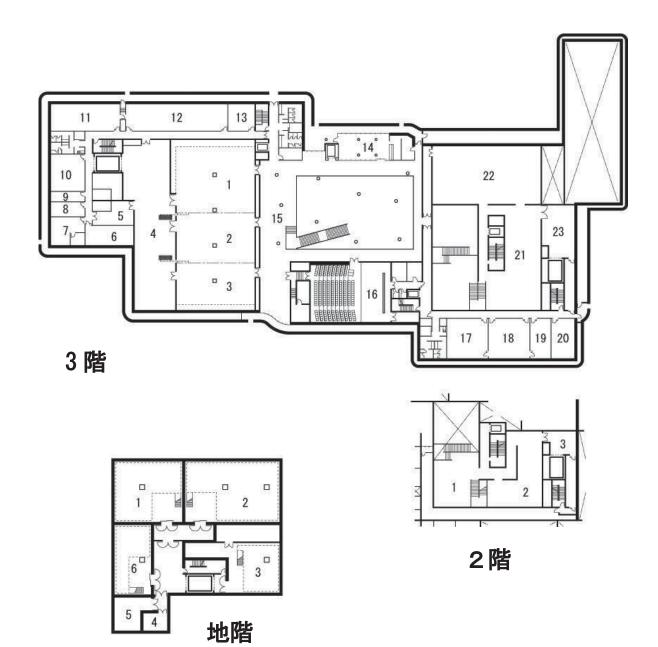
#### 1階

	ra				
(	博物館)	(共	有)	(美	<b>術館</b> )
1	博物館野外展示	21	ミュージアムショップ	32	美術館野外展示
2	湧田古窯	22	エントランスホール	33	美術館企画ギャラリー1
3	民俗収蔵庫	23	授乳室	34	美術館企画ギャラリー2
4	写真撮影室	24	託児室	35	トラックヤード
5	冷凍庫	25	券売	36	展示準備室
6	石工室	26	総合案内	37	一時保管庫
7	一時保管庫	27	救護室	38	収蔵庫A
8	トラックヤード	28	コインロッカー	39	収蔵庫B
9	液浸標本室	29	情報センター	40	収蔵庫C
10	大型収蔵庫	30	メインエントランス	41	保存修復室
11	修理修復室	31	サブエントランス	42	工作室
12	博物館・美術館庶務室			43	美術館講座室
13	館長室			44	美術館ボランティア室
14	支援会室			45	中庭
15	博物館ボランティア室			46	県民ギャラリー1
16	博物館講座室			47	県民ギャラリー2
17	博物館ふれあい体験室			48	県民ギャラリー3
18	博物館実習室			49	県民ギャラリー(スタジ
19	博物館常設展示休憩室			50	県民アトリエ
20	博物館常設展示室			51	こどもアトリエ

#### (指定管理者)

53 会議室 54 事務室 55 展示交流員控室

- ジオ)
- 51 こどもアトリエ 52 屋外活動スペース



#### 3階

#### (博物館)

- 1 企画展示室
- 2 特別展示室1
- 3 特別展示室 2
- 4 展示準備室
- 5 工作室
- 6 自然史実験室
- 7 保存科学室
- 8 フィルム保管庫
- 9 映像編集室
- 10 学芸員会議室
- 11 研究資料室 12 学芸員研究室
- 13 研修室

#### (共有)

- 14 喫茶室
- 15 ホワイエ
- 16 講堂

#### (美術館)

- 17 研究資料室
- 18 学芸員研究室
- 19 情報処理室
- 20 学芸員会議室
- 21 コレクションギャラリー2
- 22 コレクションギャラリー3
- 23 展示準備室

#### 地階

#### (博物館)

- 1 特別収蔵庫
- 2 考古陶磁器収蔵庫
- 3 自然史収蔵庫
- 4 劣化フィルム収蔵庫
- 5 写真パネル収蔵庫
- 6 化石収蔵庫

#### 2階

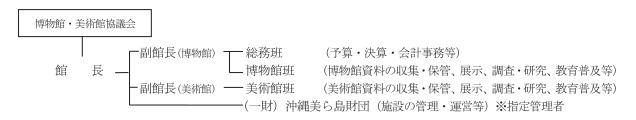
#### (美術館)

- 1 ホワイエ
- 2 コレクションギャラリー1
- 3 展示準備室

#### IV 組 織

#### 【組織】

沖縄県立博物館・美術館の組織は、「総務班」「博物館班」「美術館班」の県組織と、指定管理者である(一財)沖縄美ら島財団の4つにより構成されている。なお、(一財)沖縄美ら島財団に関しては別項にて記述しているので参照頂きたい。



#### 【職員構成】

2017年4月1日 現在

職	名	氏	名	担 当 業 務
館	長	田名	真之	◎博物館・美術館の総括に関すること
	事 兼 馆 長	村山	岡川	<ul><li>◎博物館業務の統括に関すること</li><li>◎総務班・博物館班の指揮監督に関すること</li></ul>
	馆 長 館班長	池原	盛浩	<ul><li>◎美術館業務の統括に関すること</li><li>◎美術館班の総括に関すること</li></ul>

#### (総務班)

職名	氏 名	担 当 業 務
総務班長	大城美千代	<ul> <li>◎総務班の総括に関すること</li> <li>◎出納員に関すること</li> <li>◎指定管理者との調整に関すること</li> <li>◎指定管理者制度に関すること</li> <li>◎視察対応の総括に関すること</li> <li>◎博物館・美術館協議会に関すること</li> <li>◎博物館・美術館の広報宣伝に関すること</li> <li>◎防災・危機管理に関すること</li> <li>○その他特に上司が命ずる事項に関すること</li> </ul>
主查	稲嶺 桂子	<ul> <li>○予算及び決算に関すること</li> <li>○出納業務に関すること</li> <li>○備品の登録業務に関すること</li> <li>○歳入に関すること</li> <li>○施設・財産関連業務に関すること</li> <li>○博物館・美術館保全・修繕事業に関すること</li> <li>○10周年記念関連催事に関すること</li> <li>○その他特に上司が命ずる事項に関すること</li> </ul>
主任	野原 寿浩	<ul> <li>○会計業務に関すること</li> <li>○職員の給与、福利、服務及び研修業務に関すること</li> <li>○信報管理に関すること</li> <li>○定期監査に関すること</li> <li>○公用車の管理業務(支出含む)に関すること</li> <li>○文書の管理業務に関すること</li> <li>○労働安全衛生業務に関すること</li> <li>○その他特に上司が命ずる事項に関すること</li> </ul>
事務補助員	古堅 幸絵	<ul><li>○文書受付に関すること</li><li>○業務補助に関すること</li></ul>
事務補助員	比嘉 昌哲	<ul><li>○文書受付に関すること</li><li>○業務補助に関すること</li></ul>

#### (博物館班)

職名	氏 名	担 当 業 務
副参事兼班長	園原 謙	<ul> <li>◎博物館班の総括に関すること</li> <li>◎沖縄県博物館協会、九州博物館協会、日本博物館協会に関すること</li> <li>◎県議会対応に関すること</li> <li>◎視察対応に関すること</li> <li>◎学芸員実習・県職員研修等の受け入れに関すること</li> <li>◎博物館特別展示室・企画展示室の管理・運営に関すること</li> <li>◎指定管理者との調整に関すること</li> <li>◎毒物劇物管理責任者(博物館班)に関すること</li> <li>◎開館10周年記念に関すること</li> <li>○その他、上司が特に命ずる事項に関すること</li> </ul>
主 幹 (美術工芸)	與那嶺一子	<ul> <li>○人文系(歴史・美工)グループの統括に関すること</li> <li>○美術工芸資料(染織・書跡・彫刻)の収集・保管・整理・調査研究・公開等に関すること</li> <li>○博物館総合・部門展示(美術工芸等)に関すること</li> <li>○写真資料等の整理に関すること</li> <li>○大嶺薫コレクション展に関すること</li> <li>○博物館資料修理事業に関すること</li> <li>○博物館資料収集事業(博物館美術品購入基金)に関すること</li> <li>○琉球王国文化遺産集積・再興事業に関すること</li> <li>○その他特に上司が命じる事項に関すること</li> </ul>
主任学芸員 (民 俗)	大湾ゆかり	<ul> <li>◎民俗資料の収集・保管・整理・調査研究・公開等に関すること</li> <li>◎デジタルミュージアム推進事業に関すること</li> <li>◎博物館総合・部門展示(民俗)・屋外展示(民家・高倉)に関すること</li> <li>⑥IPM及び博物館資料の保存環境、燻蒸・消毒に関すること</li> <li>◎文化財公開承認施設及び登録博物館に関すること</li> <li>◎新収蔵品展・博物館70年のあゆみ展に関すること</li> <li>○その他特に上司が命じる事項に関すること</li> </ul>
主任学芸員 (歴 史)	外間 一先	<ul> <li>◎歴史資料(近・現代)の収集・保管・整理・調査研究・公開等に関すること</li> <li>◎博物館総合・部門展示(歴史分野)に関すること</li> <li>◎「国際博物館の日」関連事業に関すること</li> <li>◎収蔵品台帳に関すること</li> <li>◎写真資料の貸出、博物館資料の撮影等に関すること</li> <li>◎博物館『年報』の編集・発行に関すること</li> <li>◎琉球王国文化遺産集積・再興事業(陶芸・漆芸)に関すること</li> <li>○その他特に上司が命じる事項に関すること</li> </ul>
主任学芸員(歴史)	久部良和子	<ul> <li>◎歴史資料(古琉球・近世)の収集・保管・整理・調査研究・公開等に関すること</li> <li>◎博物館総合・部門展示(歴史「古琉球・近世」)に関すること</li> <li>◎資料収集事業に関すること</li> <li>◎海外流出文化財の返還に関すること</li> <li>◎70年のあゆみ展・特別展に関すること</li> <li>◎琉球王国文化遺産集積・再興事業(絵画・木彫)に関すること</li> <li>○その他特に上司が命じる事項に関すること</li> </ul>
主任学芸員 (考 古)	山本 正昭	<ul> <li>◎考古資料の収集・保管・整理・調査研究・公開等に関すること</li> <li>◎博物館総合・部門展示(考古分野)・屋外展示(湧田窯)に関すること</li> <li>◎開館10周年記念展に関すること</li> <li>⑥移動博物館に関すること(正)</li> <li>◎琉球王国文化遺産集積・再興事業(金工・石彫)に関すること</li> <li>◎科学研究費補助金の代表申請資格取得に関すること</li> <li>○その他特に上司が命じる事項に関すること</li> </ul>
主任学芸員 (自然史・生物)	山﨑 仁也	<ul><li>◎自然史資料(動物・植物)の収集・保管・整理・調査研究・公開等に関すること</li><li>◎自然史部門の総括に関すること</li></ul>

職名	氏 名	担当業務
主任学芸員 (自然史・生物)	山﨑 仁也	<ul><li>◎総合調査に関すること</li><li>◎平成29年度企画展「ウィルソン展」に関すること</li><li>◎博物館総合・部門展示(自然史「動物・植物」)・屋外展示(植生)に関すること</li><li>◎「仲嶺貝類の整理」に関すること</li><li>◎毒物劇物管理担当に関すること</li><li>○その他特に上司が命じる事項に関すること</li></ul>
主任学芸員 (自然史・地学)	宇佐美	<ul> <li>◎自然史資料(地質・化石)の収集・保管・整理・調査研究・公開等に関すること</li> <li>◎博物館総合・部門展示(自然史「地質・化石」)に関すること</li> <li>◎博物館班広報連絡調整に関すること</li> <li>◎情報化推進リーダーに関すること</li> <li>◎博物館ホームページに関すること</li> <li>○その他特に上司が命じる事項に関すること</li> </ul>
主 任 (人 類)	山崎 真治	<ul> <li>◎自然史資料(先史人類学)の収集・保管(港川人骨)・整理・調査研究・公開等に関すること</li> <li>◎沖縄遺産のブランド開発・発信事業に関すること</li> <li>◎図書資料に関すること</li> <li>◎博物館総合・部門展示(自然史「先史人類学」)に関すること</li> <li>◎共同研究事業に関すること</li> <li>◎博物館班情報の発信の取りまとめに関すること</li> <li>○その他特に上司が命じる事項に関すること</li> </ul>
主任学芸員 (教育普及)	大川 剛	<ul> <li>◎教育普及資料の収集・保管・整理・調査研究・公開等に関すること</li> <li>◎ふれあい体験室の運営に関すること</li> <li>◎学校連携及び博物館教育普及モデル事業に関すること</li> <li>◎文化講座・学芸員講座の企画調整に関すること</li> <li>◎ボランティア活動事業に関すること</li> <li>◎体験学習教室の企画及び野外展示の活用に関すること</li> <li>◎博物館友の会に関すること</li> <li>○その他特に上司が命じる事項に関すること</li> </ul>
学 芸 員 (美術工芸)	篠原あかね	<ul> <li>◎美術工芸(絵画・陶器・漆器)の収集・保管・整理・調査研究・公開等に関すること</li> <li>◎博物館総合・部門展示(美術工芸)に関すること</li> <li>○博物館資料収集事業(美術品購入基金)に関すること(副)</li> <li>◎博物館資料修復事業に関すること</li> <li>◎琉球王国文化遺産・集積再興事業に関すること</li> <li>○大嶺薫コレクション展に関すること</li> <li>○その他特に上司が命じる事項に関すること</li> </ul>
学 芸 員 (臨 任)	澤岻 大祐	<ul><li>◎自然史資料(形質人類学)の収集・保管(港川人骨を含む)・整理・調査研究・公開等に関すること</li><li>○沖縄遺産のブランド開発・発信事業に関すること(副)</li><li>◎博物館紀要の編集・発行に関すること</li><li>◎収蔵品データ・収蔵品台帳、情報リーダーに関すること</li><li>○その他特に上司が命ずる事項に関すること</li></ul>
学芸業務 補 助 員	勝連 涼子	<ul><li>◎『博物館・美術館年報』の編集・発行に関すること</li><li>◎写真資料の貸出、博物館資料の撮影等の受付に関すること</li><li>○写真資料等の整理に関すること</li><li>◎展示公開事業の補佐に関すること</li><li>○学芸研究資料室の図書に関すること</li><li>◎学芸員の補佐に関すること</li><li>◎常期図書類の回覧に関すること</li></ul>
教育普及業務 補 助 員	玉城ちひろ	<ul><li>○ふれあい体験室、実習室、講座等に関すること</li><li>○教育資料の収集・購入・受入・保管・整理等に関すること</li><li>○博物館学習等の調査研究、照会事項対応の補助に関すること</li></ul>

職名	氏 名	担 当 業 務
教育普及業務 補 助 員	玉城ちひろ	<ul><li>◎ボランティア活動の連絡調整に関すること</li><li>○総合・部門展示の学習プログラムの策定・指導に関すること</li><li>◎教育普及担当学芸員の補佐に関すること</li></ul>
事務補助員	細谷 幸代	○「仲嶺貝類の整理」の補助に関すること ○業務補助に関すること

#### (美術館班)

職 名	氏 名	担当業務
副 館 長 兼美術館班長	池原 盛浩	<ul><li>◎美術館業務の総括に関すること</li><li>◎館長の補佐に関すること</li><li>◎外郭団体等への対応に関すること</li><li>◎指定管理者との連絡調整に関すること</li><li>◎近現代美術の研究に関すること</li><li>○その他特に上司が命じる事項に関すること</li></ul>
主任学芸員	富原 圭子	<ul><li>◎教育普及活動に関すること</li><li>◎教育普及活動の調査・研究に関すること</li><li>◎移動展に関すること</li><li>◎教育普及事業・団体見学受入・出前授業等(幼小・一般)に関すること</li><li>◎「安次富長昭」展に関すること</li><li>○その他特に上司が命じる事項に関すること</li></ul>
主任学芸員	豊見山 愛	<ul><li>◎展示公開活動に関すること</li><li>◎近現代美術の研究に関すること (1879~1949年)</li><li>◎平成28年度企画展「山元恵一」展に関すること</li><li>◎10周年記念展に関すること</li><li>○その他特に上司が命じる事項に関すること</li></ul>
主任学芸員	島筒 格	<ul><li>◎資料収集活動に関すること</li><li>◎近代美術の研究に関すること</li><li>◎「写真家が見つめた沖縄」展に関すること</li><li>◎「大和コレクション」展に関すること</li><li>◎美術品等取得基金に関すること (美術館分)</li><li>○その他特に上司が命じる事項に関すること</li></ul>
主 任	玉那覇英人	<ul><li>◎調査研究活動に関すること</li><li>◎近現代美術の研究に関すること (1990~2010年)</li><li>◎研究紀要に関すること</li><li>◎10周年記念展に関すること</li><li>◎コレクション1「金城安太郎」展に関すること</li><li>○その他特に上司が命じる事項に関すること</li></ul>
学 芸 員	梶原 正史	<ul><li>◎資料保存管理活動に関すること</li><li>◎保存修復の研究に関すること</li><li>◎「沖縄美術の流れ」展に関すること</li><li>◎「ベトナム絵画」展に関すること</li><li>◎収蔵作品データベース管理に関すること</li><li>○その他特に上司が命じる事項に関すること</li></ul>
美術品調査員	大城さゆり	<ul><li>◎作品の調査に関すること</li><li>◎収蔵品のデータベース及び画像管理・貸出に関すること</li><li>○収集委員会資料作成に関すること</li><li>○展示会の補助に関すること</li></ul>
学芸業務 補 助 員	謝花 聡恵	○美術館資料調査、収集及び整理に関すること ○展示公開事業の補佐に関すること
事務補助員	大西 弘美	<ul><li>◎文書の収受、発送に関すること</li><li>◎図書の受付、整理に関すること</li><li>○文書等の整理、保管に関すること</li><li>○業務補助に関すること</li></ul>

※◎は主担当業務、○は副担当業務。

【人事異動】 2017年4月1日 現在※

	班 名	職名	氏 名	摘要
転 出	総 務 班	主 査	宮野 陽子	浦添職業能力開発校
	博物館班	主任学芸員	石垣 忍	浦添高校
		主任学芸員	片桐 千亜紀	埋蔵文化財センター
		主任学芸員	崎原 恭子	空手振興課
	美術館班	副館長	前田 比呂也	上山中学校
		主任学芸員	仲里 安広	那覇高校
		主任学芸員	仲村 保	座安小学校
転 入	総 務 班	主 任	野原 寿浩	建築指導課
	博物館班	主任学芸員	久部良 和子	空手振興課
		主任学芸員	山本 正昭	埋蔵文化財センター
		学 芸 員	篠原 あかね	新採用
	美術館班	副館長	池原 盛浩	伊平屋中学校
		主任学芸員	富原 圭子	上山中学校
		学 芸 員	梶原 正史	新採用

#### V 沖縄県立博物館·美術館協議会

日 時:2018年2月13日 (火) 10:00~12:00 場 所:沖縄県立博物館・美術館 博物館実習室

会 議

あいさつ (田名真之沖縄県立博物館・美術館館長) 委員の交代について

議題

· 平成29年度事業実績報告

・平成30年度事業計画

沖縄県立博物館·美術館協議会委員名簿

(任期:2017年5月25日~2018年7月9日)

分	野	氏 名	所 属	職名
	自然史	○新城 和治	元琉球大学教育学部	元 教 授
	歴 史	里井 洋一	琉球大学教育学部	教 授
	考古	池田 榮史	琉球大学法文学部	教 授
/────────────────────────────────────	民 俗	稲福みき子	元沖縄国際大学	名誉教授
学識経験者	人類	土肥 直美	元琉球大学医学部	元准教授
	美術 (画)	◎宮城 篤正	元沖縄県立芸術大学	元 学 長
	美術 (立体)	西村 貞雄	元琉球大学教育学部	名誉教授
	観光行政学	下地 芳郎	琉球大学観光産業科学部	学部長
	小学校教育	安里 恒男	沖縄県小学校長会	副会長
学校教育関係者	中学校教育	神本 勉	沖縄県中学校長会	副会長
	高校教育	小禄 健夫	沖縄県高等学校長会	副会長
社会教育·	社会教育	津留 健二	沖縄県社会教育委員連絡協議会	会 長
家庭教育関係者	家庭教育	仲西 春雅	沖縄県高等学校PTA連合会	会 長

(◎会長、○副会長 2018年3月31日現在)

#### Ⅵ予算

2017歳出状況(決算) 単位:千円

	博物館·美 術館指定 管理費	博物館・ 美術館費	博物館・ 美術館管 理運営費	沖縄遺産の ブランド開 発・発信事業	博物館·美 術館保全 修繕事業	琉球王国文 化遺産集積・ 再興事業	デジタルミ ュージアム 推進事業	開館10周 年記念刊 行事業	映像フィルム 作品の修復・デ ジタル化事業	合 計
報酬		12, 556	6, 000	1, 604		1, 455	1, 604			23, 219
報償費		496				269				765
旅費		8, 328	43	2, 280		1, 721	35			12, 407
需用費		17, 619		4, 607	7, 051	68	38			29, 383
役務費		3, 135		255		8				3, 398
委託料	302, 470	59, 659		5, 304	5, 784	178, 567	4, 778	13, 571	4, 442	574, 575
使用料及 び賃借料		2, 853		19			6			2, 878
備 品 購入費		13, 518								13, 518
負担金、補助 及び交付金		85								85
公課費		62								62
繰出金		28								28
合 計	302, 470	118, 339	6, 043	14, 069	12, 835	182, 088	6, 461	13, 571	4, 442	660, 318

※本庁執行分を含む

2017歳入状況 (決算) 単位:千円

	収入金額	説明
土地使用料	24	自動販売機土地使用料等
建物使用料	3, 131	喫茶室、ミュージアムショップの建物使用料
国庫補助金	184, 340	沖縄振興特別推進交付金
不要品売払代	5	備品(さとうきび搾り機)の売却
雑 入	1, 912	カフェ・ショップ・自動販売機の電気料金等、 非常勤職員の雇用保険料自己負担分
展示会等助成金	16, 000	「海の企画展サポート」支援((公財)日本海事科学振興財団)
合 計	205, 412	※本庁収納分を除く

#### Ⅷ 収蔵資料現在高

当館が所蔵する資料の件数は以下の通りである。詳しい内訳は博物館、美術館それぞれの章において詳しく記述しているのでその頁をご参照頂きたい。

2018年3月31日現在

	分 類	件 数	小 計
	自 然 史	57, 056	
	人類	123	
₩m &⇒	美術工芸	10, 904	00.000
博物館	歴史	14, 119	99, 836
	考古		
	民俗	8, 787	
	平面	1, 914	
* 作 \$P\$	立体	268	Г 101
美術館	映像	2, 849	5, 101
	その他	70	
	総計	-	104, 937

## 利用統計

- I 入館者統計
- Ⅱ 施設利用者統計

# 1 入館者統計

# 1 総入館者集計

(単位:人)

2,315 1,172 2,274 開館日数 40,728 61,411 展示以外 (共有) 9,931 43,973 16,494 12,661 3,806 4,410 7,681 13,521 4,142 本事 255,831 10,336 105,360 93,451 36,292 33,496 12,084 8,519 有特 28,705 6,282 3,868 3,911 9,679 29,852 4,910 2,910 4,243 4,624 4,999 1,371 24,462 1,658 137,199 2,579 7,107 4,464 61,643 913 3,539 1,533 1,925 16,638 856 1,692 635 2,399 2,165 280 無料 14,473 653 1,412 74,985 5,200 84,836 6,282 3,012 3,218 12,067 2,910 4,624 2,078 3,846 2,349 1,091 746 は半 1,658 686'6 4,926 2,217 1,925 27,500 存料 15,268 17,575 3,438 8,654 7,438 8,897 2,461 3,039 4,601 3,157 **東** 6,594 72,660 8,383 11,830 8,545 6,135 8,643 3,568 2,528 2,615 8,711 293 355 1,223 世報 2,975 2,260 7,488 7,400 2,253 女女 884 5,981 9,179 1,147 5,662 875 4,834 6,560 4,043 有称 9,287 14,007 8,316 8,969 8,834 8,867 6,206 6,902 1,424 8,304 2,186 2,684 2,282 2,291 4,236 無料 58,700 6,996 5,703 6,585 4,950 5,126 6,285 有科 4,782 4,259 6,064 6,097 些皿 達成率 (%) 20-1- (年成二十八) #

2 団体別入館者集計

-	<del> -</del>	人数	378	202	1, 464	812	4, 462	1, 455	2, 491	3, 337	2,895	1,849	2, 143	1,125	
<	ta fo	団体数	9	13	21	23	133	41	43	40	34	28	28	18	
		人数	34	40	0	0	236	0	99	22	35	40	105	0	
	十十	団体数	1	1	0	0	1	0	2	1	2	2	1	0	
	441	人数	34	0	0	0	0	0	0	0	21	40	105	0	
田外	高大生	団体数	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	0	
		人数	0	40	0	0	236	0	65	55	14	0	0	0	-
	小中生	団体数	0	1	0	0	1	0	2	1	1	0	0	0	-
		人数	11	15	250	102	0	171	459	260	1, 379	316	253	576	
	十十	団体数	1	1	4	1	0	1	9	5	8	3	2	3	
	-1	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	その他	団体数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	敬	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	18	0	0	0	
県外	特別支援	団体数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	
	.111	人数	11	0	234	0	0	171	311	263	1, 308	316	159	576	
	高大生	団体数	1	0	3	0	0	1	3	4	9	3	1	3	
		人数	0	15	16	102	0	0	148	297	53	0	94	0	
	小中生	団体数	0	1	1	1	0	0	3	1	1	0	1	0	-
		人数	333	450	1, 214	710	4, 226	1, 284	1,967	2, 722	1, 481	1, 493	1,785	549	
	小計	団体数	4	11	17	22	132	40	35	34	24	23	25	15	-
	#1	人数	0	77	06	459	4, 202	527	175	26	0	19	0	164	-
	その他	団体数	0	1	2	12	131	21	5	1	0	1	0	9	
	接	人数	0	94	212	43	24	179	87	12	16	12	22	18	
県内	特別支援	団体数	0	3	2	3	1	9	3	1	1	1	1	1	
	ŧ	人数	30	13	651	86	0	127	116	409	263	150	412	46	
	高大生	団体数	1	1	9	4	0	2	4	5	4	4	6	2	-
		人数	303	266	261	110	0	451	1, 589	2, 275	1, 202	1, 312	1,351	321	
	小中生	団体数	3	9	7	3	0	11	23	27	19	17	15	9	
	項目	_	4.H	5 A	6.Я	7 A	8月	9 H	10 月	11.月	12月	1.月	2月	3 A	

※「その他」の団体に含まれるのは、保育園、幼稚園、学童クラブなどの教育施設団体

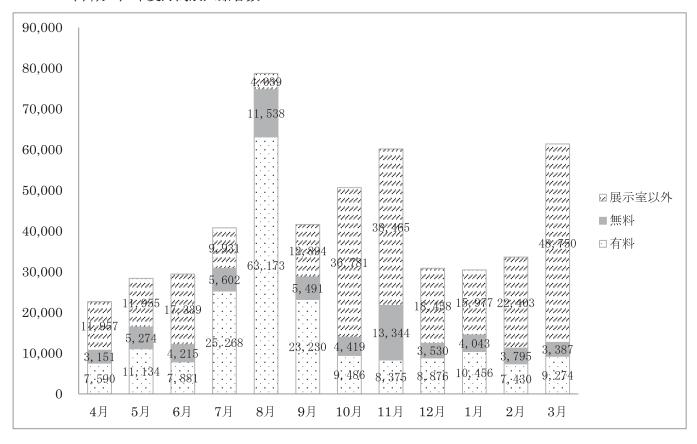
# 3 展覧会別入館者集計

単位:人)

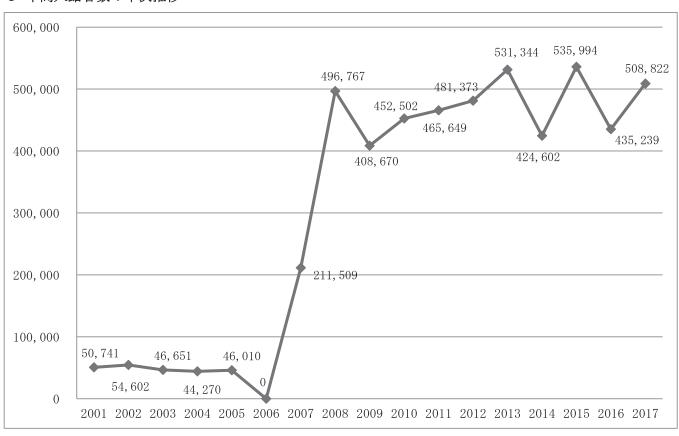
2,432 13, 728 8,058 7,226 1,010 8, 354 33,892 4,893 37, 168 2,750 7,5873,057 4,259 54, 296 14, 132 84,897 総合計 2,385 数 5, 179 1,5668,354 6,885 14,003 15,869無料者 (障がい) Ξ Π 阌 8,549 4,893 68, 167 7,066 13,746 6,946 3,953 32, 326 2, 147 40,282 2,081 6,391 30, 283 有料者 ⟨□ (応がい) 1,276 待 廛 1,432ಣ 4,905 3,627  $\infty$ 2,948 2,4026,386 1, 161 8,802 その他 F 副 С 年間パス C passport 1Day 1,744  $^{\circ}$  $^{\circ}$  $\infty$ 1,713 2,842 3,446 2,611 3,377 前売券 団体券 7,329 3,666 6,636 5,980 24,907 1,818 21, 135 1,390 52,093 3,399 25, 769 1,941 3,461 日券 川 観覧者区分 高・大学生 榖 高・大学生 榖 高・大学生 小・中学生 榖 高・大学生 小・中学生 榖 高・大学生 小・中学生 高・大学生 小・中学生 榖 高・大学生 小・中学生 榖 高・大学生 小・中学生 榖 高・大学生 小・中学生 高・大学生 小・中学生 小・中学生 高・大学生 小・中学生 一十十年 「新収蔵品展一平成28年度収蔵資 「ウィルソンが見た沖縄ー琉球の植 凲 展 びっくり生物展」 /博物館70年のあゆみ」 平成の復元一 账 開かれた海への挑戦 まなざしのシュルレアリスム 写真展 「水族館でも出会えない海の teamLab Future Park 邂逅の海 -かざる-物研究史100年とともに一 開館10周年記念特別展 「やんばるの森の美一 企画展 「大嶺薫コレクション 開館10周年特別企画 展覧会名 指定管理者企画展 指定管理者企画展 指定管理者企画 指定管理者企画 「首里城の25年 |Learn&Play! 「山本恵一展  $\triangleleft \square$ 海の沖縄 企画展 企画展 企画展 美術館 博物館

※博物館企画展に関しては、優待(障害者)は無料者数へ含む。
※博物館企画展「大嶺薫コレクション展」は、常設券で観覧できるため無料者へ含む。

#### 4 2017 (平成29) 年度月間別入館者数



#### 5 年間入館者数の年次推移



#### 6 減免申請集計

(単位:人)

項	目	学校  (下	関係 「見)	旅行社 (視察・		マスコミ目 (視象		福祉队 (引率		博物館・ 関係者(	美術館 視察)	その	他	合言	+
		団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数
	4月	2	6	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3	8
	5月	6	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	19
	6月	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4
	7月	8	31	0	0	0	0	7	17	0	0	1	8	16	56
2017	8月	30	89	1	2	0	0	2	2	0	0	1	1	34	94
	9月	3	10	1	3	0	0	1	1	0	0	0	0	5	14
	10 月	8	23	2	3	0	0	2	3	0	0	0	0	12	29
	11月	11	65	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	12	66
	12月	9	29	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	10	30
	1月	13	62	4	7	0	0	0	0	0	0	1	2	18	71
2018	2月	11	51	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	12	52
	3月	7	34	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	11	38
合	計	110	423	15	23	0	0	12	23	0	0	4	12	141	481

#### 7 団体入館内訳

県内 小学校 のべ132校 9,103名

県円	小气	产校											のべ132校	9, 103名
No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数
1	4	20	真嘉比小学校	72	45	10	27	古見小学校	7	89	12	8	美里小学校	60
2		28	松川小学校	70	46			中城小学校	66	90			平小学校	17
3	5	12	城辺小学校	13	47			山田小学校	30	91			城東小学校	108
4		15	銘苅小学校	137	48			羽地小学校	67	92		10	新川小学校	67
5		16	西城小学校	22	49			中城南小学校	115	93		14	小禄南小学校	118
6		19	下地小学校	42	50			潮平小学校	123	94		19	与那原東小学校	101
7		26	鏡原小学校	31	51	11	2	天底小学校	33	95	1	10	垣花小学校	41
8	6	6	平良第一小学校	87	52			浜川小学校(4年)	96	96		12	座安小学校	86
9		9	カトリック学園海星小学校	10	53			浜川小学校(5年)	109	97		16	宇栄原小学校	119
10			砂川小学校	18	54			喜屋武小学校	11	98			安謝小学校	118
11		13	久松小学校	50	55		8	光洋小学校	106	99		17	石嶺小学校	135
12		16	上野小学校	34	56		10	泊小学校	147	100	1		松島小学校	62
13		22	北小学校	57	57		14	兼城小学校	124	101	1	18	松島小学校	57
14			比川小学校	5	58		15	具志頭小学校	64	102	1		小禄小学校	71
15	7	21	ニューライフアカテ゛ミー	33	59			伊良波小学校	113	103			大原小学校	13
16		26	タヒ゛ンチインターナショナルスクール	47	60		16	長嶺小学校	94	104	1	19	若狭小学校	56
17		28	Ai International Preschool	30	61			天久小学校	133	105	1		今帰仁小学校	53
18	9	8	浦添小学校 4年生	108	62		17	とよみ小学校(5年生)	113	106	1	24	さつき小学校	100
19			浦添小学校 3年生	108	63			本部小学校	75	107	1	25	仲西小学校	115
20		20	安田小学校	19	64			とよみ小学校(3年生)	123	108	1	26	曙小学校	47
21		21	西原南小学校	57	65			西小学校	46	109	1	30	中城南小学校	80
22			平久保小学校	6	66		21	翔南小学校(5年生)	86	110	1		北谷小学校	79
23		22	奥間小学校	37	67			翔南小学校(3年生)	78	111		31	開南小学校	80
24			渡嘉敷小学校	14	68		22	本部小学校	31	112	2	1	港川小学校	173
25		26	座安小学校	61	69			大宜味小学校	24	113	1		前田小学校	79
26		29	伊是名小学校	18	70			城岳小学校	99	114		2	西表小学校	9
27			狩俣小学校	11	71			伊波小学校	121	115	1		自浜小学校	6
28		30	与那国小学校	12	72		24	ゆたか小学校	90	116	1		上間小学校	98
29	10	3	東江小学校	110	73			室川小学校	47	117		7	銘苅小学校	146
30		4	読谷小学校	103	74		29	北玉小学校	81	118	1	8	壺屋小学校	41
31		5	大里北小学校	46	75			城南小学校	62	119	1		天妃小学校	93
32			久辺小学校	52	76		30	識名小学校	119	120			城岳小学校	75
33			沖縄カトリック小学校	102	77	12	1	松田小学校	18	121		9	糸満小学校	75
34		6	東小学校	15	78			辺土名小学校	33	122		14	沢岻小学校	115
35			伊江小学校	28	79		2	石垣小学校	52	123		15	馬天小学校	60
36		12	屋我地小学校	19	80		5	真嘉比小学校	104	124	1	16	浦城小学校	204
37			普天間小学校	105	81			与儀小学校	54	125	1	23	城北小学校	113
38		13	津覇小学校	53	82		6	普天間第二小学校	121	126			座安小学校	64
39		L	米須小学校	57	83			金城小学校	136	127	3	1	大道小学校	42
40		20	北美小学校	102	84	]		中の町小学校	65	128		2	漢那小学校	17
41			大北小学校	107	85	1		竹富小学校	9	129		7	豊見城小学校	111
42			美原小学校	163	86		7	真壁小学校	25	130		8	城西小学校	69
43		26	渡慶次小学校	92	87	1	8	波照間小学校	9	131	1	9	城西小学校	39
44			中川小学校	9	88	1		伊豆味小学校	17	132	1	14	大名小学校	43

県内 中学校 のべ5校 338名

No.	月	月	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数
1	4	28	大里中学校	161	3	10	7	与那原中学校	18	5	12	5	宜野座中学校	88
2	5	2	久 高中学校	21	4	11	2	高嶺中学校	50					

県内 高校 のべ29校 1,875名

No.	月	日	学校名	人数	No.	月	H	学校名	人数	No.	月	H	学校名	人数
1	5	19	浦添工業高校	13	11	10	26	つくば開成国際高校	5	20	1	18	興南高校	34
2	6	8	美里高校	204	12	11	1	コザ高校	25	21		26	具志川高校	50
3		9	美里工業高校	41	13		14	前原高校	329	22			糸満高校	24
4			石川高校	162	14		17	つくば開成国際高校	10	23	2	1	浦添工業高校	83
5		14	コザ高校	136	15		22	小禄高校	36	24		9	泊高校 午前部	6
6	7	19	沖縄尚学高校	28	16	12	2	開邦高校	39	25		15	浦添工業高校	77
7	9	1	泊高校	5	17		15	星槎国際高校沖縄学	92	26		23	泊高校 午前部	4
8		12	球陽高校	122				習センター	92	27		27	糸満高校	89
9	10	19	那覇工業高校	64	18		22	浦添工業高校	79	28	3	16	浦添工業高校	38
10		20	那覇工業高校	30	19	1	12	北部農林高校	42	29		20	開邦高校	8

県内 専門学校・大学

のべ13校 440名

No.	月	日	学校名	人数	No.	月	月	学校名	人数	No.	月	H	学校名	人数
1	4	13	沖縄国際大学	30	6	7	28	沖縄国際大学	22	10	2	1	尚学院国際t゙ジネス専門学校	25
2	6	3	琉球大学	20	7	10	20	尚学院国際ビジネスアカデミー	17	1.1			尚学院国際ビジネスアカ	10
3		16	沖縄看護専門学校	88	8	11	4	琉球大学教育学部美術教育講座	9	11			デミー 国際英米コース	10
4	7	8	琉球大学農学部	33	0	10	0	専修学校インターナショナルデ	53	12		14	沖縄県立芸術大学	27
5		14	琉球大学 Okinawa History Class	15	9	12	3	サ゛インアカテ゛ミー	53	13		28	専門学校ライフジュニアカレッジ	83

県内 特別支援学校

のべ23校 719名

No.	月	H	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数
1	5	9	鏡が丘特別支援学校	36	8	7	19	鏡が丘特別支援学校	8	16	10	18	大平特別支援学校	40
2		17	鏡が丘特別支援学校	29	9	8	31	嘉手納小中学校特別支援学校	24	17		24	鏡が丘特別支援学校	12
3		31	鏡が丘特別支援学校	29	10	9	0	那覇特別支援学校小	15	18		27	中部農林高等支援学校	35
4	6	14	大平特別支援学校	26	10		0	学部 ABCD グループ	19	19	11	8	名護特別支援学校	12
-		22	那覇市中学校特別支	186	11		12	鏡が丘特別支援学校小学部1年	27	20	12	12	西崎特別支援学校	16
5		22	援学級学習会	100	12			大平特別支援学校	18	21	1	30	泡瀬特別支援学校	12
6	7	12	西崎特別支援学校	15	13		14	鏡が丘特別支援学校浦添分校	18	22	2	6	美咲特別支援学校	22
7		10	名護市立教育研究所	0.0	14		15	宜野湾中学校・特別支援教育	80	23	3	7	西崎特別支援学校	18
1		18	あけみお学級	20	15		27	大平特別支援学校	21					

県内 幼稚園・保育園・その他

のべ180校 5,739名

No.	月	日	学校名	人数	No.	月	月	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数
1	5	17	小禄南幼稚園	77	28	8	2	風のうた児童クラブ	23	56	8	8	児童デイサービスでぃんくる	10
2	6	10	キッズサポートクラブあしたば	20	29		3	汀良児童クラブ	24	57			てだこ保育園	16
3		15	中城みなみ保育園・幼稚園	70	30			太陽の子保育園	18	58			ぎのわん青空学童クラブ	36
4	7	25	沖縄カトリック小学校 YY 学童	54	31		4	Dukids なないろ	10	59			浦城あおぞら学童クラブ	39
5			天妃のびのび児童クラブ	60	32			沖縄カトリック小学校学童クラブ	34	60			めかる、めかる第三、め	79
6			学童クラブつばさ	51	33			こがねの森保育園	21	60			かるっ子児童クラブ	19
7		27	デューキッズなないろ	9	34			童の城保育園	37	61		10	第二青空学童クラブ	44
8			学童クラブあかんちゃ学校	41	35			なは小児童クラブ	41	62			ふてんま青空学童クラブ	44
9			学童塾 琉童	32	36			グロウアップサポートひと葉	11	63			いこい学童クラブ	26
10		28	学童クラブぬくぬくの木	30	37			若夏保育園	33	64			島袋・仲順児童館	40
11			はなかご児童クラブ	27	38			障がい児サポートハウス Ohana	24	65			平良川学童クラブ	75
12			宮里キッズ学童クラブ	37	39			はぐくみ学童	30	66			CDC てだこ学童	29
13			なは小児童クラブ	40	40		5	第三風の子学童	35	67			児童デイサービスきらめき読谷	6
14			さくらんぼ学童園	48	41		6	識名子供会	30	68			こざくら児童クラブ	44
15		29	希望の星保育園	30	42		8	宜野座区学習振興会	22	69			浦城たいよう学童クラブ	42
16	8	1	いじゅの木みはら	10	43			浦城学童クラブ	47	70			サウンド学童	27
17			ひまわり学童クラブ	28	44			浦城キラキラ学童クラブ	45	71			群星学童クラブ	35
18			学童ちびっ子ハウス	39	45			ゆたか学童クラブ	42	72		11	越地子供会	20
19		2	めぐみ学童クラブ	35	46			コロニー児童デイサービスうるま	24	73		12	子供の世界学童クラブ	34
20			みらい学童クラブ	34	47			みどり町児童センター	27	74		15	西江前区生徒会	17
21			那覇市立泊幼稚園	46	48			大育学童クラブ	47	75			児童デイサービスリトルスター	19
22			てだこ保育園	18	49			知念あさひ保育園	10	76			いこい学童クラブ	30
23			あめくポップ児童クラブ	21	50			浦城にじいろ学童クラブ	38	77			第一風の子学童クラブ	46
24			あめくステップ児童クラブ	30	51			第二汀良児童クラブ	55	78			第二風の子学童クラブ	35
25			あめく第5児童クラブ	39	52			学童館	73	79			第三風の子学童クラブ	33
26			コロニー児童デイサ	17	53			青空学童クラブ	45	80			児童デイサービスまはろ那覇国場	24
20			ービスやまうち	17	54			ゆたか保育園	41	81			仲井真児童クラブ	21
27			花園児童クラブ	67	55			曙児童クラブ	49	82			みやび学童クラブ	24

No.	月	日	学校名	人数	No.	月	Ħ	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数
83	8	15	津嘉山学童クラブ	35	116	8	22	沖縄カトリック小学校学童クラブ	47	149	9	6	てだこ保育園	12
84			津嘉山うむさ学童クラブ	33	117			しまのこスクールエイジケア	77	150			Busy Bee school	9
85			沖縄キッズクラブ学童	55	118			第二たくし元気学童クラブ	39	151		7	わかめこども園	36
86			シマナーズ子供デイサービス	15	119		23	放課後等デイサービスいじゅの木	10	152			よいサマリア人保育園	27
87		16	児童デイサービス空	5	120			なはっ子児童クラブ	24	153		8	Busy Bee school	33
88			あめく児童クラブ	45	121			北谷町社会福祉協議会	27	154		9	児童デイサービスにこにこ	23
89			ジャンプ児童クラブ	29	122			しまのこスクールエイジケア	66	155			児童サポートハウスくれよん!	12
90			絆学童	30	123			こどもプラス豊見城教室	19	156		10	くじら寺子屋	22
91			コロニー児童デイサービスまつもと	28	124			べいふれんど学童クラブ	26	157		12	浜田保育園	38
92			北谷宮城児童館	51	125			絆保育園	32	158			たいよう保育園	20
93			あすなろ児童クラブ	51	126			桃原子供会	25	159		13	てだこ保育園	14
94			ゆたか第2学童クラブ	42	127			あいキッズルーム	22	160			海星学園	55
95			沢崎学児クラブ	55	128			マイマイクラブ	31	161		14	ミナミ保育園	36
96		17	放課後等デイサービスちゅらら	21	129		24	よなは学童クラブ	35	162			しののめこども園	23
97			児童デイサービス空	10	130			清ら風保育園	13	163		15	かぐらこども園	32
98			そよ風おもろ保育園	27	131			辺野古区9班	28	164			Busy Bee school	17
99			ドリーム児童クラブ	19	132			さつき学童	59	165		16	あおば保育園	19
100			わかば児童クラブ	45	133			ステップ	11	166			テクノ保育園	30
101			城北児童クラブ	36	134		25	児童デイサービスきらめき読谷	6	167		18	桜山荘「共に生きる町た	12
102			垣花児童クラブ	76	135			上田学童クラブ	32	107			いら」さくらキッズ4号館	12
103			児童デイサービスま	21	136			むーs こどもクラブ	49	168	10	3	よいサマリア人保育園	16
100			はろ豊見城平良	21	137			わかなつ学童クラブ	32	169		11	さくらんぼ学童園	41
104			仲井真児童クラブ	24	138			コロニー児童デイサービスくわえ	25	170			なはっ子児童クラブ	42
105			児童デイサービスゆうわ	36	139			よなは学童クラブ	33	171		18	ゆたか保育園	42
106		18	絆学童	33	140		26	障害児通所支援事業 和順	17	172			赤道あおぞら保育園	34
107			チェリーブロッサムプリスクール	23	141		30	向陽保育園	25	173	11	7	あじゃ保育園	26
108			コロニー児童デイサービスあはちゃ	19	142			cocofoua (ここふあ)	9	174	1	8	コロニー児童デイサービスくわえ	19
109			あゆみ学院	19	143			サンズ・コミュニティ	24	175	3	8	ござくら保育園	17
110			大山幼稚園	23	144			大地の子児童クラブ	38	176		17	さざなみ学童クラブ	28
111			なかきす児童センター	39	145			児童デイサービスち	13	177		21	児童デイサービスてぃんとうてん	10
112		20	北谷町社会福祉協議会	27	140			ばな発達支援	10	178		23	ひまわりっ童保育園	70
113		22	開南児童クラブ	59	146		31	子どもの森保育園	25	179		27	琴の音保育園	17
114			児童デイサービスきらめき読谷	13	147	9	1	ほるとのき保育園	40	180		29	学童クラブつばさ	22
115			絆学童	24	148		2	放課後等デイサービスちゃんぷるハウス	17					-

県外 小学校 のべ3校 **20**1名

No.	月	日	学校名	人数	No.	月	H	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数
1	10	21	常葉大学教育学部附 属橘小学校(静岡県)	50	2	10	27	和光小学校(東京都)	57	3	2	6	横浜雙葉小学校(神奈 川県)	94

県外 中学校 のべ7校 **683**名

No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数
1	5	9	大和中学校 (鹿児島県)	15	4	1.0	9.6	富山大学人間発達科学	4.1	6	12	8	ルーテル学院中学校(熊本県)	53
2	6	22	岡山大学附属中学校(岡山県)	16	4	10	26	部附属中学校	41	7	2	6	近江兄弟社中学校(滋賀県)	159
3	7	11	順天中学校(東京都)	102	5	11	4	愛知淑徳中学校(愛知県)	297					

県外 高校学校 のべ23校 3,179名

No.	月	日	学校名	人数	No.	月	H	学校名	人数	No.	月	H	学校名	人数
1	6	20	明豊高校 (東京都)	124	10	11	15	甲府昭和高校(山梨県)	83	17	12	14	富士北稜高校(山梨県)	38
2		21	倉敷中央高校(岡山県)	57	11		30	専修大学松戸高校 A 団 (千葉県)	10	18	1	10	武蔵野北高等学校(東京都)	248
3			穴吹高校 (石川県)	53	1.0	12	2	宇都宮短期大学附属高	311	19		17	加藤学園暁秀高校(静岡県)	28
4	9	22	浜松大平台高校(静岡県)	171	12			校(栃木県)	511	20		18	上対馬高校 (長崎県)	40
5	10	6	石川工業高等学校(石川県)	43	1.9		3	宇都宮短期大学附属高	506	21	3	2	東山高校 (京都府)	170
6		11	武生東高等学校(福井県)	137	13			校(栃木県)	500	22		8	駿台学園高校(東京都)	130
7		19	掛川東高等学校(静岡県)	131	14		6	甲府南高校(山梨県)	126	23		14	同志社女子高校(京都府)	276
8	11	7	知徳高校 (静岡県)	39	15		7	保善高校1班(東京都)	157					
9	1	15	前橋高校(群馬県)	131	16		8	保善高校2班(東京都)	170	1				

県外 専門学校・大学 のべ1校 11名

No.	月	H	学校名	人数
1	4	18	東洋きもの専門学校	11

県外 特別支援学校 のべ1校 18名

2 1 12 1	1 4 / 4	47 440	- 101	
No.	月	日	学校名	人数
1	12	13	阪神特別支援学校	18

#### 国外 その他(基地内含む)

のべ11校 610名

													<i>p</i> -	
No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数	No.	月	H	学校名	人数
1	4	19	OKA05-0417(高校生)(香港)	34	5	10	31	カデナミドルスクール	46	0	1	10	PunahouG-Term	10
2	5	11	アメリカンスクール キリン小学校	40	6	11	1	カデナミドルスクール	55	Э		10	Taiwan&Okinawa (ハワイ)	10
9	0	1.7	第 21 回日韓青少年夏	236	7	12	3	Depaul University (アメリカ)	21	10		25	カルンウォンジュ大学校(韓国)	22
٥	0	17	季スポーツ交流事業	230	8		19	Kadena Youth Center	14	11	2	3	カデナハイスクール	105
4	10	26	カデナミドルスクール	19										
			ı.		ı,									

#### Ⅱ 施設利用者統計

#### 1 月別施設利用集計

(単位:日数)

		博	物 1	館						美	術	館					共	有		その他		
項目	特別展示室	企画展示室	博物館講座室	博物館実習室	博物館屋外展示場	企画ギャラリー1	企画ギャラリー2	美術館講座室	県民アトリエ	こどもアトリエ	スタジオ	県民ギャラリー1	県民ギャラリー2	県民ギャラリー3	美術館屋外展示場	中庭	講 塡	エントランス	3階回廊	講堂前ホワイエ	正面玄関雨端	::::::::::::::::::::::::::::::::::::::
4月	26	26	12	5	0	26	26	17	2	0	5	12	12	12	0	0	12	0	0	0	0	193
5月	27	27	16	7	0	27	27	16	6	3	8	27	27	25	0	0	10	0	0	0	0	253
6月	22	22	18	13	0	22	22	19	7	5	6	22	22	19	1	0	14	18	10	0	1	263
7月	23	23	14	14	0	23	23	17	4	4	0	20	5	7	0	0	12	0	0	0	0	189
8月	27	27	19	18	1	27	27	22	13	11	12	27	24	18	0	1	15	11	0	0	0	300
9月	26	26	16	7	0	24	24	19	6	5	8	18	21	18	0	0	13	0	0	0	0	231
10 月	25	25	17	12	0	25	25	23	9	9	14	24	24	17	0	0	14	15	0	0	0	278
11月	26	26	24	19	1	25	25	23	8	8	13	25	26	26	1	0	22	0	0	0	0	298
12 月	24	24	16	12	0	24	24	19	5	6	14	18	18	18	0	0	14	4	0	1	2	243
1月	26	18	18	13	0	26	26	17	6	5	6	18	17	17	0	0	15	14	0	0	0	242
2月	21	0	20	15	2	17	17	19	11	8	15	18	10	16	0	0	20	10	0	0	1	220
3月	16	0	20	9	0	15	15	20	9	7	12	27	17	18	0	0	23	16	6	0	0	230
合計	289	244	210	144	4	281	281	231	86	71	113	256	223	211	2	1	184	88	16	1	4	2,940

#### 2 当館主催及び施設貸出内訳

#### 【2017年4月】

[201	144	/1 /							
No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)	No.	Ħ	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)
1	1	土	共 有 堂	ライリッシュ・オカリナ連盟 沖縄県那覇支部 オカリナ アンサンブル「詩音」10週年記念コンサート	14	13	木	博物館 藤座室	TV 沖縄 研修会
2	1	土	美術館 産室	JICA 沖縄国際センター JICA ボランティア「体験談&説明会」	15	14	金	スタジオ	㈱地域科学研究所 会社説明会
3	4	火	共 有 堂	ピアノ保守点検	16	14	金	博物館 産室	医療法人ミラソルのはら元氣クリニック/サイモントン療法協会サイモントン療法無料講演会
4	4	火	美術館 産室	一般社団法人絵本メンタリング協会 EQ 絵本 上級/初級講座	17	14	金	美術館 産室	一般社団法人絵本メンタリング協会 EQ 絵本 上級/初級講座
5	5	水	美術館 華座室	一般社団法人絵本メンタリング協会 EQ 絵本 上級/初級講座	18	15	土	博物館 華座室	「沖縄思想のラディックス」実行委員会 「沖縄 思想のラディックス」講演と対談
6	6	木	美術館 産室	㈱ウェルケア沖縄 グループホームめぐみ首里プレオープン記念講演会	19	15	土	美術館 産室	さくらアカデミー/一般社団法人絵本メンタリン グ協会 絵本講座/SAKURA 講座
7	8	土	共 有 堂	真喜志勉展」関連催事コンサート「TOM MAX Ambivalent, Free You'n Talk~ふりゆんたく~」	20	16	B	共 有 堂	沖縄県保険医協会 映画「いしゃ先生」上映会
8	8	土	博物館 講座室	平成 29 年度 博物館学芸員講座「貝塚の話」	21	16	B	博物館 華座室	博物館・美術館スタッフ全体研修
9	9	目	美術館 産室	一般社団法人沖縄県美術家連盟 理事会	22	18	火	美術館 産室	メットライフ生命保険㈱沖縄営業所 コンプライ アンス研修会
10	11	火	県 民 アトリエ	芭蕉布句会 俳句の勉強会	23	19	水	美術館 産室	㈱三平商会/岡田電機㈱/㈱平仲 的確な防犯対策 こそ、安全な街づくりの第一歩
11	12	水	共 有 営	沖縄県保険医協会 映画「いしゃ先生」上映会 リハーサル	24	20	木	スタジオ	TV 沖縄 ビジネス講座
12	12	水	博物館講座室	盛和塾沖縄 自主例会	25	20	木	博物館 講座室	㈱阪急交通社 トラピックス海外旅行説明会
13	12	水	博 物 館 実 習 室	しまくとぅばプロジェクト 2016「『方言札』世代 ぬハナシむぬ語い」	26	20	木	博物館 実習室	オリエンテーション/真嘉比小学校

No.	目	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)	No.	Ħ	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)
27	20	木	美術館 産室	㈱財全エステート 医師が薦める本物の健康住宅	52	28	金	美術館 産室	中継控室(沖縄県本土復帰 45 年 番組連動 特別展 「写真家が見つめた沖縄 1972-2017」)
28	21	金	共 有 堂	森の映画社ドキュメント上映実行委員会 森の映 画社ドキュメント映像試写会	53	29	土	スタジオ	沖縄本土復帰 45 年 特別展 「写真家が見つめた 沖縄 1972-2017」シンポジウム控室
29	21	金	博物館 講座室	博物館ボランティア全体会	54	29	土	共 有 講 堂	沖縄本土復帰 45 年 特別展 「写真家が見つめた 沖縄 1972-2017」シンポジウム
30	21	金	美術館 講座室	公益財団法人沖縄県産業振興公社万国津梁産業人 材育成事業説明会	55	29	土	美術館講座室	沖縄県柔道整復師連盟 研修
31	22	土	スタジオ	カガクジカン 〜「知らない」を探求せよ〜 控 室	56	30	Ħ	共 講 堂	一般社団法人皇室崇敬会 第 23 回「昭和天皇のご 聖徳を伝えづぐ集い」
32	22	土	共 有 堂	森の映画社ドキュメント上映実行委員会 森の映 画社ドキュメント映像試写会	57	30	目	博物館溝座室	琉球王国文化遺産発表会
33	22	土	共有正面 玄関雨端	科学あそびコーナー つくって・ふれて・みて・まなぶ 海洋科学技術に触れてみよう!小型 ROV 操縦	58	30	目	美術館講座室	琉球王国文化遺産発表会 第2会場
34	22	土	県 民 アトリエ	石こう版画の会 石こう版画	59	16 (		博物館 企画展示室	琉球・沖縄の地図展
35	22	土	博物館 講座室	㈱海燕社の小さな映画会 2017 長編ドキュメンタ   リー「島の道を越えて」	60	16 (		博 物 館 特別展示室	琉球・沖縄の地図展
36	22	土	博物館 実習室	カガクジカン ~「知らない」を探求せよ~	61	23 (		共有講堂前 ホワイエ	博物館企画展「琉球・沖縄の地図展」関連 国土地 理院沖縄支所・第十一管区海上保安本部 パネル展
37	22	土	エントランス ホ ー ル	カガクジカン ~「知らない」を探求せよ~	62	1 ( <u>-</u> 23 (	上) ~ 目)	美術館企画 キ゛ャラリー 1	山元恵一展
38	23	Ħ	スタジオ	沖縄県本土復帰 45 年 番組連動 特別展 「写真家が見つめた沖縄 1972-2017」事前準備	63	1 ( <u>-</u> 23 (	E) ~ 目)	美術館企画 キ*ャラリー 2	山元恵一展
39	23	Ħ	共	真の家庭運動推進沖縄 家庭講演会	64	18 (y 23 (	く) ~ 目)	美術館県民 キ゛ャラリー 1	沖縄という名(写真展)
40	23	Ħ	博物館 講座室	まぶいぐみ実行委員会/比嘉豊光/明治大学島しょ 文化研究所 沖縄という名 シンポジウム	65	18 (± 23 (	く) ~ 目)	美術館県民 キ*ャラリー2	沖縄という名(写真展)
41	23	Ħ	美術館 講座室	一般社団法人沖縄県美術家連盟 理事会	66	18 (± 23 (	く) ~ 目)	美術館県民 キ*ャラリー3	沖縄という名(写真展)
42	23	Ħ	美術館 講座室	山元恵一展関連ギャラリートーク	67	23 (		博 物 館 企画展示室	琉球・沖縄地図展 片付け
43	25	火	美術館 講座室	住みよい那覇市をつくる会 那覇市住民訴訟報告 会	68	18 (y 23 (	く) ~ 目)	博 物 館 特別展示室	琉球・沖縄地図展 片付け
44	25	火	美術館 講座室	控室 (沖縄県本土復帰 45 年 番組連動 特別展「写 真家が見つめた沖縄 1972-2017」)	69	25 (y 26 (	k) ~ 水)	美術館企画 ギャラリ-1	山元恵一展 片付け
45	26	水	共 有 堂	琉球セメント㈱高温多湿な気候条件に適したフライアッシュコン クリートの品質特性と構造物の長寿化に関する講演会	70	25 (y 26 (	t) ~ 水)	美術館企画 キ゛ャラリー 2	山元恵一展 片付け
46	26	水	博物館 実習室	琉球三線楽器保存育成会/博物館班 三線鑑定会	71	25 (y 30 (	く)~ 目)	美術館県民 キ゛ャラリー 1	沖縄県本土復帰 45 年 番組連動 特別展 「写真家が見つめた沖縄 1972-2017」
47	26	水	美術館 講座室	美術館ボランティア講座	72	25 (y 30 (	く)~ 目)	美術館県民 キ*ャラリー2	沖縄県本土復帰 45 年 番組連動 特別展「写真家が見つめた沖縄 1972-2017」
48	28	金	共 有 堂	那覇市文化協会 平成 29 年度定例総会	73	25 ( <i>y</i> 30 (	♥)~ 目)	美術館県民 キ゛ャラリー3	沖縄県本土復帰 45 年 番組連動 特別展「写真家が見つめた沖縄 1972-2017」
49	28	金	博物館 講座室	一般財団法人沖縄美ら島財団 会議	74	25 (y 30 (	く)~ 目)	エントランス ホ ー ル	沖縄県本土復帰 45 年 番組連動 特別展 「写真家 が見つめた沖縄 1972-2017」 8K モニター上映
50	28	金	博物館講座室	盛和塾沖縄 自主例会	75	27 ( <i>z</i> 30 (	た) ~ 目)	美術館企画 ギャラリー1	やんばるの森の美-写真展- 準備
51	28	金	博物館 実習室	那覇市立松川小学校/オリエンテーション	76	27 ( <i>z</i> 30 (	k) ~ 目)	美術館企画 キ゛ャラリー 2	やんばるの森の美-写真展- 準備

#### 【2017年5月】

No.	Ħ	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)	No.	Ħ	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)
1	2	火	博物館 実習室	オリエンテーション/久高中学校	12	11	木	美術館 産室	琉球キネシオロジー 1からはじめるキネシオロ ジー基礎講座
2	3	水	博物館 講座室	NPO いじめから子供を守ろう!ネットワーク沖 縄ストップいじめ!「いじめシンポジウム 2017」	13	12	金	美術館 産室	沖縄労働局職業安定部職業安定課 沖縄労働局タ イムマネジメント研修(沖縄労働局職員研修)
3	5	金	共 有 堂	琉球キネシオロジー 代替療法治療家 20 周年 齋藤慶太特別記念講演会	14	13	土	共 有 堂	沖縄韓国平和文化交流会
4	6	土	博物館 講座室	やんばるの森の美-写真展関連催事 トークショ ー 「写真家が語る"やんばるの森"」	15	13	土	博物館 講座室	平成 29 年度 博物館学芸員講座「シッキ!カイガ!!トーキ!!!」県立博物館・美術館が所蔵するお宝たちの物語
5	7	田	共 有 堂	社団法人日本脳神経外科学会/琉球大学医学部附属病院脳神経外科 社団法人日本脳神経外科学会九州支部第 20 回市民公開講座	16	13	土	博物館 実習室	ふれあい体験室ボランティア勉強会
6	7	H	スタジオ	沖縄県本土復帰 45 年 番組連動 特別展 「写真家が見つめた沖縄 1972-2017」番組上映会	17	14	H	共 有 堂	真の家庭運動推進沖縄協議会 家庭講演会
7	7	日	美術館 華座室	やんばるの森の美-写真展関連催事 ネイチャーフォト教室「あなたも写真家に!」	18	14	B	博物館 講座室	ふくしま共同診療所/福島診療所建設委員会 ふくしま共同診療所 報告会
8	9	火	県 民 アトリエ	芭蕉布句会	19	14	B	スタジオ	沖縄県本土復帰 45 年 番組連動 特別展 「写真家が見つめた沖縄 1972-2017」番組上映会
9	9	火	美術館 産室	琉球キネシオロジー 1からはじめるキネシオロジー	20	14	H	美術館 産室	一般社団法人沖縄県美術家連盟 総会
10	10	水	博物館 講座室	琉球キネシオロジー 1 からはじめるキネシオロジー初級講座	21	15	月	博物館 講座室	美術館班 銘苅小学校写真鑑賞会
11	10	水	美術館 産室	美術館ボランティア講座②	22	16	火	博物館 講座室	盛和塾沖縄 自主例会

No.	Ħ	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)	No.	Ħ	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)
23	16	火	美術館 産室	公益社団法人北那覇法人会 融資出資セミナー	56	26	金	博物館 産室	㈱リクルートマーケティングパートナーズ ゼク シィ沖縄 トレンドセミナー
24	17	水	共 有 堂	TV 沖縄 特別講演会	57	26	金	美術館 産室	盛和塾沖縄 キックオフ会
25	17	水	博物館 講座室	沖縄博物館友の会 2017 年度 沖縄博物館友の会 総会	58	26	金	美術館 産室	沖縄県地域づくりネットワーク 平成 29 年度沖 縄県地域づくりネットワーク総会・研修会
26	17	水	美術館 産室	メットライフ生命保険㈱沖縄営業所 メットライフ生命コンプライアンス研修会	59	27	土	共 有 堂	しまくとぅぽプッジェタト2017「とー またん 語てぃ んーだな むる しまくとぅぱしっ うちなーぬ 文化とぅ経済『伊野波(ぬふぁ)節』のある暮らし-沖縄の文化と経済を考える-」
27	18	木	博物館講座室	㈱JTB 沖縄 2018 年度 採用試験	60	27	土	博物館 実習室	ふれあい体験室キット勉強会
28	18	木	美術館 産室	㈱ソフィア通信 決算報告会	61	27	土	県 民 アトリエ	石こう版画の会 石こう版画
29	20	土	共	平成 29 年度博物館文化講座「琉球の海人を語るーサンゴ礁の生態史」	62	27	土	スタジオ	沖縄ワタベウェディング㈱ 2018 新卒採用選考
30	20	土	博物館 講座室	干瀬の会 第28回講演〜源氏物語を読む会〜	63	27	土	美術館 産室	日本建築家(JIA)協会 沖縄支部 JIA 全国住宅部会 全国会議
31	20	土	博物館 講座室	特定非営利活動法人沖縄県立美術館支援会 happ 平成 29 年度通常総会	64	27	土	こ ど も アトリエ	<b>南エバグリーン 経営計画発表会</b>
32	20	土	博物館 実習室	ふれあい体験室ボランティア勉強会	65	27	土	エントランス ホ ー ル	一般財団法人沖縄美ら島財団 ランタンワークショップ
33	20	土	博物館 実習室	サンクルム勉強会	66	28	H	共 有 堂	沖縄県教育委員会「沖縄県史 各論編 6 沖縄戦」 刊行記念シンポジウム『沖縄戦』を語る
34	20	土	スタジオ	平仲ボクシングスクールジム/㈱MUGEN OPBF 東洋太平洋ライトフライ級王座決定戦調印式	67	28	Ħ	博物館 講座室	㈱BEE.Japan 沖縄 ドクターやアスリートが進め る水素吸入
35	20	土	美術館 講座室	日本の教育を良くする会/沖縄の教育を良くする 会 テレビ「生命の光」を観る会	68	28	Ħ	博物館講座室	一般社団法人おきなわ芸術文化の箱 舞台演劇講 座
36	21	Ħ	共 有 當	琉球新報社/沖縄県の蝶制定県民の会 沖縄県の 蝶制定を目指し、県民の機運を高めるシンボジウム	69	28	B	博物館 実習室	沖縄県教育委員会「沖縄県史 各論編 6 沖縄戦」 刊行記念シンポジウム『沖縄戦』を語る 第 2 会場
37	21	日	共 有 堂	アステラス製薬㈱ 第7回 腎移植市民フォーラム	70	28	B	県 民アトリエ	DNA 健康と豊かさを創る会
38	21	目	博物館講座室	琉球新報社/一般財団法人沖縄美ら島財団 2017 年度「新報サイエンスクラブ」事前講演会	71	28	B	こどもアトリエ	DNA 健康と豊かさを創る会
39	21	B	県 民アトリエ	アートミュージアムキッズクラブ	72	28	B	スタジオ	沖縄ワタベウェディング㈱ 2018 新卒採用選考
40	21	目	スタジオ	沖縄県本土復帰 45 年 番組連動 特別展 「写真家が見つめた沖縄 1972-2017」 片付け	73	28	B	美術館講座室	国際交流基金アジアセンター 日本語パートナー ズ説明会
41	21	目	こどもアトリエ	アートミュージアムキッズクラブ	74	28	B	美術館講座室	雑誌海洋真時代社 地方創生は海洋創生
42	23	火	博物館講座室	一般社団法人沖縄オープンラボラトリー 意見交換会・フォーラム	75	21 (		ホ ー ル	美術館班/NHK 沖縄 沖縄県本土復帰 45 年 番組連動 特別展 「写真家が見つめた沖縄 1972-2017」8K モニター上映
43	23	火	博物館実習室	一般財団法人沖縄美ら島財団 説明会	76	21 (		キ゛ャラリー 1	美術館班/NHK 放送局 沖縄県本土復帰 45 年 番組 連動 特別展「写真家が見つめた沖縄 1972-2017」
44	23	火	美術館 講座室	医療法人沖縄徳洲会南部徳洲会病院 医療講演会	77	21 (		キ゛ャラリー 2	美術館班/NHK 放送局 沖縄県本土復帰 45 年 番組 連動 特別展「写真家が見つめた沖縄 1972-2017」
45	24	水	博物館講座室	沖縄総合事務局総務部跡地利用対策課/玉野総合コンサルタント(㈱平成29年度 跡地関係市町村連絡会議	78	21 (		民ギャラリー3	美術館班/NHK 放送局 沖縄県本土復帰 45 年 番組 連動 特別展「写真家が見つめた沖縄 1972-2017」
46	24	水	博物館実習室	三線鑑定会	79	31 (		キ゛ャラリー 1	一般財団法人沖縄美ら島財団 やんばるの森の美 -写真展-
47	24	水	スタジオ	一般財団法人沖縄美ら島財団 ポスレジデモンス トレーション	80	31 (		キ゛ャラリー 2	一般財団法人沖縄美ら島財団 やんばるの森の美一写真展一
48	24	水		一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー 平成 29 年 第1回15 離島連絡会・OKINAWA 離島コンテンツフェア 2017 説明会	81	31 (		博物館企画展示室	博物館班 新収蔵品展-平成28年度収蔵資料-
49	24	水	県 民アトリエ	一般社団法人絵本メンタル協会 絵本インストラ クター講習	82	31 (		博 物 館 特別展示室	博物館班 博物館 70 年のあゆみ
50	25	木	県 民 アトリエ	一般社団法人絵本メンタル協会 絵本インストラ クター講習	83	28 (		美術館県民 ギャラリー 1	龍賓・曹源書道会 第 13 回龍賓・曹源書道展
51	25	木	博物館講座室	沖縄県文化協会 平成 29 年度 定期総会	84	28 (		美術館県民 キ゛ャラリー 2	龍賓・曹源書道会 第 13 回龍賓・曹源書道展
52	25	木	博物館講座室	博物館 入札会場	85	28 (		美術館県民 キ*ャラリー3	龍賓・曹源書道会 第 13 回龍賓・曹源書道展
53	25	木	スタジオ	美術館ボランティア講座③	86	31 (		共 有 3階回廊	開館 10 週年関連催事恐竜化石展示
54	25	木	美術館 講座室	医療法人沖縄徳洲会南部徳洲会病院 医療講演会	87	30 (y 31 (	k) ~ (水)	美術館県民 キ゛ャラリー 1	特定非営利活動法人共に生きるネットワークまなびやー 木村浩子山城博明「抗う南風(パイカジ)と琉球すみれ」二人展
55	26	金	共 有 當	一般社団法人日本商環境デザイン協会 沖縄県支 部 商業デザイナーの真面目な小話	88	30 (y 31 (	k) ~ 水)	美術館県民 キ゛ャラリー 2	くむくくる会~あれから 30 年~

#### 【2017年6月】

No.	H	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報 (申込者)	No.	H	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)
1	2	金	博物館 講座室	㈱SRJ プレゼンツ教育講演会 in 沖縄 平成 29 年沖 縄県高校入試分析セミナー	4	3	土	県 民 アトリエ	-安次富長昭展・関連ワークショップー「版画で 話そう!」
2	2	金		沖縄県企画調整部地域・離島課/一般社団法人しまのわ沖縄県 移住定住促進事業 第0回世話役養成塾(市町村職員向け研修会)	5	3	土	博物館 藤座室	平成 29 年度 博物館学芸員講座「紅型のはなし 資料と史料から紐解く」(美術工芸)
3	3	土	こ ど も アトリエ	- 安次富長昭展・関連ワークショップー「版画で 話そう!」	6	3	土	博物館 実習室	ふれあい体験室キット勉強会

No.	Ħ	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報 (申込者)	No.	Н	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)
7	3	土	美術館 産室	田宮陽子 金運アップ女子会	45	16	金	県 民アトリエ	ブルーコンシャス㈱ 二次面接会
8	4	Ħ	美術館県民 キ*ャラリー3	製作第一課 模型 展示会	46	16	金	博物館講座室	グラフィソフトジャパン/㈱ビッグビード ARCHICAD 全国ロードショー2017
9	4	Ħ	共 有 當	ピアノリトミック教室 con amore, Edel Music ピアノ発表会	47	16	金	博物館実習室	宮古島市立上野小学校/オリエンテーション
10	4	Ħ	博物館 実習室	琉球古典音楽安冨祖流絃聲会 研修会	48	16	金	博物館実習室	博物館 民俗のボランティア勉強会
11	4	Ħ	美術館 藤座室	田宮陽子 わかちあいの会	49	16	金	美術館講座室	一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター 平成 29 年 度電力負荷平準化・省エネルギー社会実現セミナー
12	6	火	博物館講座室	沖縄県保険医療部国民健康保険課/沖縄県国民健康保 険団体連合会 平成 29 年度 国保担当新任職員研修会	50	17	土	こどもアトリエ	アートミュージアムキッズクラブ
13	6	火	美術館 選座室	(㈱ケイオーパートナーズ 平成 29 年度未来の産業人材育成事業第1回合同会議	51	17	土	共 有 當	企画展「博物館 70 年のあゆみ」展関連シンポジウム「博物館の過去・現在・未来-1946~2017」
14	7	水	スタジオ	(㈱ウェルケア沖縄 グループホームめぐみ首里 開設 記念講演会 レビー小体型の認知症患者さんを救い出せ	52	17	土	県 民アトリエ	アートミュージアムキッズクラブ
15	7	水	博物館 講座室	沖縄県国民健康保険団体連合会 平成 29 年度レセプト点検(医科)担当者説明会	53	17	土	博物館 講座室	企画展「博物館 70 年のあゆみ」展関連シンポジウム 「博物館の過去・現在・未来-1946~2017」第 2 会場
16	7	水	博物館 実習室	ブルーコンシャス㈱ 個別説明会	54	17	土	美術館 産室	沖縄内観研究会 内観懇話会~「内観」って何?
17	8	木	共 有 営	一般財団法人沖縄県建設技術センター/沖縄県土 木建築部 平成 29 年度災害復旧事業実務講習会	55	17	土	美術館 離座室	学校法人 KBC 学園国際電子ビジネス専門学校 サイバー大学説明会
18	8	木	県 民アトリエ	㈱シャンデール 研修会	56	18	В	こ ど も アトリエ	公益社団法人沖縄県建築士会 建築士文化講演会
19	8	木	博物館講座室	美里高等学校/オリエンテーション	57	18	H	共 有 堂	一般社団法人那覇青年会議所 小学生英語スピー チコンテスト 2017
20	9	金	共 有 當	(㈱シネマ沖縄 「まぶいぐみ~ニューカレドニア引き裂かれた移民史~」プレミアム上映会&記者会見	58	18	В	県 民アトリエ	公益社団法人沖縄県建築士会 建築士文化講演会
21	9	金	博物館実習室	オリエンテーション/沖縄県立美里工業高等学校	59	18	В	博物館講座室	沖縄工業高等専門学校 学校説明会
22	9	金	美術館 華座室	(網ケイオーパートナーズ 就業体験事業所向け説 明会	60	18	B	博物館 実習室	高嶺満子/渡嘉敷史子 ㈱ハウ コーヒーエネマ のセミナー
23	10	土	美術館 離 座 室	UP WOMAN 大学/Wadachi LabUP WOMAN 大学「憧れの仕事! 客室乗務員のキャリアとライフ〜夢を掴んだ CA の話〜」	61	18	В	美術館 離座室	沖縄美術の流れ関連催事 上原 美智子ギャラリー トーク
24	11	H	共 有 當	ピアノハウス ジュスト HAPPY CONCERT19	62	20	火	スタジオ	一般社団法人那覇青年会議所 幹細胞移植の未来 と可能性
25	11	H	博物館講座室	グリーフワークおきなわ第 21 回例会	63	20	火	博物館講座室	りゅうぎんビジネスクラブ主催「業績向上!営業 リーダーの条件と役割」
26	11	Ħ	博物館 実習室	一般社団法人倫理研究所 書道講師・短歌講師研 修	64	20	火	博物館実習室	博物館ガイドボランティア定例会
27	11	Ħ	美術館 産室	一般社団法人沖縄県美術家連盟 理事会	65	20	火	美術館 産室	一般社団法人沖縄県労働基準協会那覇支部 事業場 における労働安全衛生管理活動の推進のための勉強会
28	11	Ħ	美術館 産室	《今帰仁城盛衰記》知られざる金城安太郎の仕事関連催事ギャラ リートーク・第一回学芸員講座 金城安太郎と今帰仁城盛衰記	66	21	水	共 有 堂	沖縄県商工労働部情報産業振興課/NPO 法人フロム沖 縄推進機構 平成 29 年度 沖縄振興税制活用セミナー
29	13	火	こ ど も アトリエ	沖縄労働局職業安定部職業安定課 キャリアコンサルティング資格取得研修	67	21	水	博物館 華座室	美術館ボランティア講座④
30	13	火	スタジオ	SPC GLOBAL 沖縄事業協同組合 Beauty CAFE	68	21	水	博物館 実習室	三線鑑定会
31	13	火	共 有 當	沖縄国税事務所 酒税の保全及び酒類業組合法に 関する法律の一部改正に係る説明会	69	21	水	美術館講座室	メットライフ生命保険㈱ 新商品説明会
32	13	火	県 民アトリエ	芭蕉布句会 俳句の勉強会	70	22	木	共 有 堂	那覇·浦添地区中学校特別支援教育研究会/那覇市內中学校特別支援 学級合同(合同学習会)那覇市內中学校特別支援学級合同(合同学習会)
33	13	火	博物館 講座室	博物館学芸員実習【前期】 開講式	71	22	木	博物館 華座室	那覇市内中学校特別支援学級合同学習会/オリエ ンテーション
34	13	火	美術館 産室	一般社団法人日本自動車連盟沖縄支部(JAF) JAF 会員優待施設連絡会	72	22	木	博物館 講座室	沖縄県中小企業家同友会 研修会
35	13	火	美術館 講座室	University of Hawaii at Manoa Center for Japanese Japanese Studies Association2017 Okinawa Workshop	73	22	木	博 物 館 実 習 室	那覇市內中学校特別支援学級合同学習会 控室
36	14	水	こ ど も アトリエ	沖縄労働局職業安定部職業安定課 キャリアコンサルティング資格取得研修	74	22	木	美術館講座室	メットライフ生命保険㈱ 新商品説明会
37	14	水	スタジオ	沖縄県/一般財団法人沖縄観光コンベンションビュ ーロー 平成 29 年度第1回インバウンド連絡会	75	23	金	共 有 講 堂	「しまくとぅばプロジェクト 2017」慰霊の日企画 「島クトゥバで語る戦世」・比嘉座ぬ芝居・トーク
38	14	水	共 有 當	沖縄県/一般財団法人沖縄観光コンベンションビュ ーロー 平成 29 年度第1回インバウンド連絡会	76	23	金	共 有 當	623 プロジェクト/NPO にじの森文庫 「子ども 兵」からみる沖縄戦と世界の国々
39	14	水	博物館 講座室	盛和塾 沖縄 自主例会	77	23	金	博物館 講座室	一般社団法人那覇青年会議所 必ず成功できる心 技術
40	14	水	博物館 実習室	沖縄県立大平特別支援学校/オリエンテーション	78	23	金	美術館講座室	盛和塾 沖縄 キックオフ会
41	14	水	美術館 産室	University of Hawaii at Manoa Center for Japanese Japanese Studies Association2017 Okinawa Workshop	79	24	土	スタジオ	高山グループ 森 泰久 特別講演会
42	15	木	博物館 講座室	全国賃貸管理ビジネス協会沖縄支部 相続セミナー	80	24	土	共 有 講 堂	㈱海燕社 上映会「ふじ学徒隊」
43	15	木	美術館 産室	公益社団法人北那覇法人会 助成金活用セミナー	81	24	土	県 民 アトリエ	石こう版画の会
44	16	金	共 有 當	SIP インフラ維持管理・更新・マネジメント技術/琉球大学工学部/東京大学生活を支える持続可能な社会基盤の重要性を県民に伝え、考えるワークショップ	82	24	土	博物館 講座室	首里城公園友の会 平成 29 年度 首里城公園友の 会 定期総会及び記念講演会

No.	Ħ	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)
83	24	土	博物館 実習室	ふれあい体験室キット勉強会	98	1 (オ 25 (	大) ~ 目)	美術館企画 ギャラリー 1	やんばるの森の美-写真展-
84	24	土	美術館 産室	NA 中部エリア RAINBOW グループ LGBT の講演会「ありのままの自分~いろんな人がいて、わたしがいる!!」	99	1 (オ 25 (	大) ~ 目)	美術館企画 キ゛ャラリー 2	やんばるの森の美-写真展-
85	25	日	共 有 堂	在日本大韓民国民団沖縄県地方支部 第11回 沖縄弁論大会	100	6 ( <i>y</i> 11 (	<) ~ 目)	美術館県民 ギャラリ-1	第 50 回書遊会沖縄書道会展
86	25	Ħ	共	真の家庭運動推進沖縄協議会(APTF) 家庭講演会	101	6 ( <i>)</i> 11 (	<)~ 目)	美術館県民 キ*ャラリー2	第 50 回書遊会沖縄書道会展
87	25	Ħ	博物館 講座室	一般財団法人沖縄美ら島財団 2017 島嶼音樂季 H.O.T. Islands Music Festival 予備	102	6 ( <i>)</i> 11 (	<)~ 日)	美術館県民 キ*ャラリー3	第34回 日本現代美術協会 沖縄県支部展
88	25	目	博物館 実習室	台湾音楽祭 控室	103	6 ( <i>y</i> ) 22 (	<)~ 木)	エントランス ホ ー ル	Siki 希巨蘇飛「E'tolan 的靈魂」木彫りシリーズ個 展
89	25	Ħ	スタジオ	一般財団法人沖縄美ら島財団 2017 島嶼音樂季 H.O.T. Islands Music Festival ワークショップ	104	13 ( <i>y</i> 18 (	-,	美術館県民 ギャラリー1	第 35 回沖縄広告賞展
90	25	目	共有正面 玄関雨端	一般財団法人沖縄美ら島財団 2017 島嶼音樂季 H.O.T. Islands Music Festival 雨天時	105	13 ( <i>y</i> 18 (		美術館県民 キ*ャラリー2	ロゼの会油絵展
91	25	日	美術館 屋外展示場	一般財団法人沖縄美ら島財団 2017 島嶼音樂季 H.O.T. Islands Music Festival LIVE	106	13 ( <i>)</i> 18 (		美術館県民 キ*ャラリー3	ロゼの会油絵展
92	25	日	美術館 講座室	一般財団法人沖縄美ら島財団 2017 島嶼音樂季 H.O.T. Islands Music Festival Conference	107	20 ( <i>y</i> 25 (	.,	美術館県民 ギャラリー1	日本折り紙協会琉球支部「発足 10 周年記念展示 会」
93	1 (7 4 (	た) ~ 目)	美術館県民 キ*ャラリー1	木村浩子 山城博明「抗う南風(パイカジ)と琉球 すみれ」二人展	108	20 ( <i>)</i> 25 (		美術館県民 キ゛ャラリー 2	公文大里仲間・那覇真嘉比・こくら壺川書写教室 成果発表会
94	1 (オ 4 (	k) ~ 目)	美術館県民 キ*ャラリー2	くむくくる会~あれから 30 年~	109	20 ( <i>)</i> 25 (		美術館県民 キ゛ャラリー3	第一回 太陽ジャングルアート展
95	1 (7 4 (	k) ~ 目)	3階回廊	開館 10 週年関連催事 恐竜化石展示	110	20 ( <i>y</i> 25 (	-,	3階回廊	台湾音楽祭関連催事ランタン
96	1 (7 25 (	k) ~ 目)	博物館企画展示室	新収蔵品展-平成28年度収蔵資料-	111	23 ( <u>4</u> 25 (		エントランス ホ ー ル	Siki 希巨蘇飛「E'tolan 的靈魂」木彫りシリーズ個 展
97	1 (7 25 (	k) ~ 目)	博 物 館 特別展示室	博物館 70 年の歩み	112	23(全 25(		エントランス ホ ー ル	平成 29 年度前期学芸員実習生による展示

# 【2017年7月】

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報 (申込者)
1	6	木	博物館 講座室	一般財団法人総合福祉研修会 社会福祉会計簿記 入門講座	22	14	金	共 有講 堂	第4回特定検診研究班報告会イン沖縄
2	6	木	博物館 実習室	学芸員教室の勉強会	23	14	金	美術館講座室	医療法人沖縄徳洲会 南部徳洲会病院 医療講演会
3	6	木	美術館 産室	沖縄県三線製作事業協同組合 第四回県産三線普及ブランド化委員会	24	14	金	美術館講座室	メディカルサロン ビ・ビ 健康セミナー
4	7	金	博物館 講座室	IT Career 沖縄/IT プロフェッショナル・コンソーシアムガリレオスコープ㈱「IT Career 沖縄」第1回県内企業向け事業説明会	25	15	土	共 有 當	平成 29 年度 博物館文化講座「古文書に見る琉球 と秀吉」
5	7	金	博物館 実習室	学芸員教室の勉強会	26	15	土	博物館 講座室	平成 29 年度 博物館文化講座「古文書に見る琉球 と秀吉」 第 2 会場
6	7	金	美術館 産室	ソニー生命保険㈱ 生命保険営業のための不動産 評価	27	15	土	県 民アトリエ	アートミュージアムキッズクラブ
7	7	金	美術館 産室	中部広域市町村圏事務組合/内閣府沖縄総合事務 局 平成 29 年度自治体職員政策形成セミナー	28	15	土	こ ど も アトリエ	アートミュージアムキッズクラブ
8	8	土	共 有 堂	安次富長昭展・関連記念講演・シンポジウム	29	16	目	博物館 産室	イプラスジム那覇 ペップトーク講演会
9	8	土	美術館 産室	特定非営利活動法人フロム沖縄推進機構/沖縄県 ロボット教室	30	16	日	県 民 アトリエ	アートミュージアムキッズクラブ
10	9	H	共 有 當	ななち家 海兵隊を考える映画上映会	31	16	日	美術館 華座室	沖縄県柔道整復師連合会 柔道整復師保険勉強会
11	9	H	共 有 堂	琉球大学医学部腎泌尿器外科学講座 琉球大学 市民公開講座 泌尿器疾患の基礎知識	32	16	日	こ ど も アトリエ	アートミュージアムキッズクラブ
12	9	H	博物館 講座室	琉球大学熱帯生物圏研究センター 平成 29 年度 琉球大学熱帯生物圏研究センター市民公開シンポジウム	33	16	Ħ	エントランス ホ ー ル	サマーエントランスライブ 涼しい!エントラン スで盛り上がろう!
13	9	H	美術館 華座室	大鏡建設㈱ 借地借家セミナー	34	18	火	美術館講座室	沖縄県流通・加工推進課/㈱アール・ピー・アイ 平成2 年度「おきなわ型6次産業化総合支援事業」事業説明会
14	11	火	共 有 堂	(料リバース 健康セミナー	35	19	水	博物館 離座室	沖縄県高等学校地理歴史科公民科教育研究会 平成 29 年度 定期総会並びに研修会の開催について
15	11	火	県 民 アトリエ	芭蕉布句会 俳句の勉強会	36	19	水	博物館 実習室	博物館ボランティア勉強会準備
16	11	火	美術館 産室	医療法人沖縄徳洲会 南部徳洲会病院 医療講演会	37	19	水	博物館 実習室	三線鑑定会
17	12	水	博物館 講座室	サンワコムシスエンジニアリング㈱ 700MHz 安全衛生協議会	38	19	水	博物館 実習室	博物館ボランティア勉強会
18	12	水	博物館 講座室	盛和塾沖縄 自主例会	39	19	水	美術館講座室	公益社団法人北那覇法人会 応急手当講習会
19	12	水	博物館 実習室	博物館ボランティア勉強会	40	20	木	博物館講座室	沖縄食品品質管理研修会 第2回研修会
20	12	水	美術館 講座室	緑間優税理士事務所 沖縄公庫の融資制度・税制 改正セミナー	41	20	木	博物館 実習室	博物館ボランティア勉強会
21	12	水	美術館 産室	美術館班ボランティア講座⑥	42	21	金	共 有 當	一般財団法人沖縄県公衆衛生協会 亜熱帯沖縄に おける真の省エネ住宅とは?

No.	Ħ	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)	No.	Ħ	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)
43	21	金	博物館講座室	独立行政法人中小企業基盤整備機構 沖縄事務所守礼の門プログラム 2017 商 該事セミナー「食品流通業界の最新トレンドとこだだわり商品の県外服路開拓」	67	28	金	博物館 実習室	マングースの解剖
44	21	金	博物館実習室	茨城県議会 視察に係る会議	68	28	金	美術館講座室	盛和塾沖縄 キックオフ会
45	21	金	県 民アトリエ	沖縄県造形教育連盟/美術館班	69	28	金	共 有 堂	一般社団法人エーシーオー沖縄 2017 りっかり っかフェスタ
46	21	金	美術館 産室	一般社団法人しまのわ 沖縄県移住定住促進事業 第1回世話役養成塾	70	28	金	博物館 游座室	一般社団法人エーシーオー沖縄 2017 りっかり っかフェスタ
47	21	金	こ ど も アトリエ	沖縄県造形教育連盟/美術館班	71	29	土	博物館 実習室	フリーベル天久新都心修繕説明会
48	22	土	博 物 館 実 習 室	夏休みは博物館・美術館に行こう「夏休み!こどもフェスタ 2017!」 体験学習教室「昆虫標本づくり」	72	29	土	博物館 実習室	ふれあい体験室キット勉強会
49	22	土	美術館 講座室	沖縄美術の流れキュレータートーク	73	29	土	共 有 堂	一般社団法人エーシーオー沖縄 2017 りっかり っかフェスタ
50	22	土	こ ど も アトリエ	石こう版画の会	74	29	土	エントランス ホ ー ル	開館 10 周年記念 夏のわいわいイベント「サマーナイトライブ」
51	23	目	博物館 講座室	海のビックリ生物展関連催事 講演会「沖縄のイ ルカ・クジラ」	75	30	Ħ	博物館 実習室	海のビックリ生物展関連催事「サメの解剖教室」
52	23	日	博物館 実習室	夏休みは博物館・美術館に行こう「夏休み!こども フェスタ 2017!」 体験学習教室「昆虫標本づくり」	76	30	H	美術館 産室	ベトナム絵画展ギャラリートーク「描かれたベト ナム」-絵から読み解く歴史・文化-
53	23	日	美術館 産室	一般社団法人沖縄県美術家連盟 理事会	77	30	Ħ	共	一般社団法人エーシーオー沖縄 2017 りっかり っかフェスタ
54	25	火	博 物 館 実 習 室	夏休みは博物館・美術館に行こう「夏休み!こど もフェスタ 2017!」	78	6 () 9 (	k) ~ (金)	博 物 館 企画展示室	新収蔵品展-平成28年度収蔵資料- 片付け
55	25	火	エントランス ホ ー ル	博物館常設展歷史部門 開会式	79	6 () 9 (	k) ~ 金)	博 物 館 特別展示室	博物館 70 年の歩み 片付け
56	25	火	共	一般社団法人エーシーオー沖縄 2017 りっかり っかフェスタ	80	6 (± 30 (	k) ~ 金)	美術館企画 ギャラリー1	開館 10 周年企画 チームラボアイランドー学ぶ! 未来の遊園地ーin 沖縄
57	25	火	博物館 講座室	一般社団法人エーシーオー沖縄 2017 りっかり っかフェスタ	81	6 (± 30 (	k) ~ (金)	美術館企画 キ゛ャラリー 2	開館 10 周年企画 チームラボアイランドー学ぶ! 未来の遊園地-in 沖縄
58	26	水	博物館 実習室	夏休みは博物館・美術館に行こう「夏休み!こど もフェスタ 2017!」	82	7 (z 9 (	k) ~ 金)	美術館県民 キ*ャラリー1	沖縄写真デザイン工芸学校ジュエリーデザイン科 作品展
59	26	水	美術館 講座室	ビオライズ㈱ コンプライアンスセミナー	83	11 († 16 (	∃) ~ (金)	美術館県民 キ*ャラリー 1	ボタニカルアート作品展
60	26	水	共	一般社団法人エーシーオー沖縄 2017 りっかり っかフェスタ	84	11 († 17 (	∃) ~ [±)	美術館県民 キ*ャラリー3	國吉 清雲 陶芸展
61	26	水	博物館 講座室	一般社団法人エーシーオー沖縄 2017 りっかり っかフェスタ	85	11 (F 30 (	目) ~ [金)	博物館企画展示室	水族館で出会えない海のビックリ生物展
62	27	木	博物館 実習室	夏休みは博物館・美術館に行こう「夏休み!こど もフェスタ 2017!」	86	30 (		博 物 館 特別展示室	水族館で出会えない海のビックリ生物展
63	27	木	美術館 産室	孝情ヒーリングセンター 希望の講演会(真の家 庭は、正しい先祖供養から)	87	19 (J 23 (	月) ~ (金)	美術館県民 キ*ャラリー1	西村由郁子展〜指で描く世界〜
64	27	木	美術館 講座室	一般社団法人倫理研究所 短歌・書道講師研修	88	23 (		美術館県民 キ*ャラリー 2	浦添地区公文書写教室 合同成果発表会
65	27	木	共 有 堂	一般社団法人エーシーオー沖縄 2017 りっかり っかフェスタ	89	25 († 30 (	∃) ~ (金)	美術館県民 キ*ャラリー1	沖縄旺玄会小品展
66	27	木	博物館 講座室	一般社団法人エーシーオー沖縄 2017 りっかり っかフェスタ					

# 【2017年8月】

<del>-</del>	, , ,								
No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報 (申込者)	No.	H	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)
1	1	火	博物館 実習室	博物館班学芸員使用	13	5	土	こ ど も アトリエ	夏休みは博物館・美術館に行こう「夏休み!こどもフェスタ 2017!」『身近な人の似顔絵を描こう!』
2	2	水	共 有 堂	沖縄県地域保健課 第 66 回 保健師業務研究発表 会 準備	14	5	土	スタジオ	夏休みは博物館・美術館に行こう「夏休み!こどもフェスタ 2017!」『動く動く海のアニメーション!』
3	2	水	博物館 講座室	博物館教員向け講座	15	5	土	県 民アトリエ	夏休みは博物館・美術館に行こう「夏休み!こどもフェスタ 2017!」 『身近な人の似顔絵を描こう!』
4	2	水	博物館 実習室	博物館教員向け講座	16	5	土	中 庭	夏休みは博物館・美術館に行こう「夏休み!こど もフェスタ 2017!」『中庭が水族館』
5	3	木	共 有 営	沖縄県地域保健課 第 66 回 保健師業務研究発表 会	17	5	土	博物館 藤座室	特定非営利活動法人沖縄人財クラスタ研究会 「人材育成推進者養成講座 第2節」
6	3	木	1.0 1.0 -0.0	5年後の日本を考える会/㈱富士葬祭ワタミグループ創業 者 渡邉美樹本人から直接学ぶ「実践的経営学セミナー」	18	5	土	美術館 産室	夏休みは博物館・美術館に行こう「夏休み!こど もフェスタ 2017!」『写生大会 振り返り会』
7	3	木	美術館 講座室	ダイキン HVAC ソリューション沖縄㈱ 2017 年 ダイキン技術フォーラム	19	6	H	こ ど も アトリエ	夏休みは博物館・美術館に行こう「夏休み!こど もフェスタ 2017!」『海をデッサンしよう!!』
8	4	金	こ ど も アトリエ	沖縄県地域保健課/沖縄県国民健康保険団体連合 会 平成 29 年度 保健師研修会(意見交換会)	20	6	H	スタジオ	夏休みは博物館・美術館に行こう「夏休み!こども フェスタ 2017!」『動く動く海のアニメーション!』
9	4	金	スタジオ	沖縄県地域保健課/沖縄県国民健康保険団体連合 会 平成 29 年度 保健師研修会(意見交換会)	21	6	H	共 有 當	一般社団法人日本耳鼻咽喉科学会沖縄県地方部会琉球大学 医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 市民公開講座鼻の日講演会
10	4	金	共 有 堂	沖縄県地域保健課/沖縄県国民健康保険団体連合 会 平成 29 年度 保健師研修会	22	6	H	共 有 堂	沖縄協同病院 下肢静脈瘤レーザー治療について
11	4	金	県 民 アトリエ	沖縄県地域保健課/沖縄県国民健康保険団体連合 会 平成 29 年度 保健師研修会(意見交換会)	23	6	Ħ	県 民 アトリエ	夏休みは博物館・美術館に行こう「夏休み!こどもフェスタ 2017!」『海をデッサンしよう!!』
12	4	金	美術館 産室	沖縄県地域保健課/沖縄県国民健康保険団体連合 会 平成 29 年度 保健師研修会(意見交換会)	24	6	Ħ	博物館 華座室	一般社団法人日本耳鼻咽喉科学会沖縄県地方部会琉球大学 医学部耳鼻咽喉科・頭頭 部外科学 市民公開講座 鼻の日講演会〜みみ・はな・のどなんでも相談〜補穂器相談

No.	В	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報 (申込者)	No.	Ħ	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)
25	6	Ħ	博物館実習室	夏休みは博物館・美術館に行こう「夏休み!こどもフェ スタ 2017!」『美術館にねんどのキノコを植えよう』	63	19	土	県 民アトリエ	生活協同組合沖縄県高齢者協同組合 8月度 定 例理事会
26	8	火	共 有 営	沖縄県特別支援学校中学部文化連盟 平成29年度 第23回沖縄 県特別支援学校中学部 総合文化祭 オープニングセレモニー	64	19	土	博物館講座室	琉球大学形成外科/㈱琉球光和 平成 29 年 琉球大 学市民公開講座 形成外科での「かたちの治療」
27	8	火	県 民アトリエ	芭蕉布句会 俳句の勉強会	65	19	土	博物館実習室	夏休みは博物館・美術館に行こう「夏休み!こども フェスタ 2017!」体験学習教室「昆虫標本づくり
28	8	火	博物館講座室	サンワコムシスエンジニアリング㈱ 700MHz 講習会	66	19	土	美術館講座室	学校法人 KBC 学園 国際電子ビジネス専門学校 サイバー大学 2019 年度生 入学説明会
29	8	火	美術館 藤座室	ライフアカデミー/㈱イスラン 健康セミナー	67	20	H	こどもアトリエ	NPO 法人沖縄語学センター The Word Cafe & Open School
30	9	水	博物館実習室	銘苅小学校 PTCA 銘苅小学校親子ふれあいアートワークショップ	68	20	F	県 民アトリエ	NPO 法人沖縄語学センター The Word Cafe & Open School
31	10	木	博物館実習室	琉球ガラスブランド強化事業受託共同体/RGC㈱ 第一回琉球ガラス有識者委員会	69	20	H	博物館講座室	光のスピリチュアルアート綾小路有則沖縄プロジェクト 異次元ゲートの扉が開く綾小路有則沖縄講演会 2017
32	11	金	こ ど も アトリエ	アートキャンプ 2001 実行委員会/社会福祉法人若 竹福祉会 夏休み造形ワークショップ 2017	70	20	Ħ	博物館実習室	海のビックリ生物展関連催事「仔魚の世界へよう こそ!」
33	11	金	共 有	一般財団法人沖縄美ら島財団 海のビックリ生物 展関連催事 講演会「サメ〜その多様性と食事法」	71	22	火	博物館実習室	一般社団法人倫理研究所/家庭倫理の会那覇市 秋津書道、漢字、かな教室
34	11	金	共有正面 玄関雨端	一般財団法人沖縄美ら島財団 「むかしのおもちゃづくり」	72	22	火	美術館講座室	㈱沖縄銀行 行内 CS マナー講座
35	11	金	県 民 アトリエ	アートキャンプ 2001 実行委員会/社会福祉法人若 竹福祉会 夏休み造形ワークショップ 2017	73	23	水	共 有 営	(㈱沖縄タイムス社/㈱エスエフシー 沖縄タイム ス「人事採用担当者セミナー」
36	11	金	博物館 屋外展示場	一般財団法人沖縄美ら島財団 「夜の古民家で民 話の語り」	74	23	水	博物館講座室	サンワコムシスエンジニアリング㈱ 700MHz 安全衛生協議会
37	11	金	博物館講座室	一般財団法人沖縄美ら島財団 「むかしのおもち ゃづくり」 雨天時	75	23	水	博物館講座室	
38	11	金	博物館実習室	海のビックリ生物展関連催事 講演会関連「サメ の標本展示」	76	23	水	博物館実習室	琉球三線楽器保存育成会/博物館班 三線鑑定会
39	11	金	美術館講座室	一般財団法人沖縄美ら島財団 きり絵ランプをつ くろう	77	24	木	こどもアトリエ	チームラボアイランド 学ぶ!未来の遊園地関連 催事『あそぶ!天才プログラミング』
40	12	土	スタジオ	沖縄県/公益社団法人沖縄県国際交流人・材育成財 団 ウチナーチュ子弟等留学生 歴史学習研修	78	24	木	県 民アトリエ	チームラボアイランド 学ぶ!未来の遊園地関連 催事『あそぶ!天才プログラミング』
41	12	土	博物館講座室	㈱タッグチーム 会社業務研修会	79	24	木	博物館講座室	一般社団法人沖縄県労働基準協会/㈱労働調査会 建設業・雇用管理研修会 準備
42	12	土	博物館実習室	海のビックリ生物展関連催事「GODAC 出張ラボ」	80	24	木	美術館講座室	㈱りゅうせき フォローアッツブ研修(社員研修)
43	12	土	美術館 華座室	沖縄の教育を良くする会 テレビ「生命の光」を 観る会	81	25	金	こどもアトリエ	チームラボアイランド 学ぶ!未来の遊園地関連 催事『あそぶ!天才プログラミング』
44	13	Ħ	共 有 當	ゆいゆい内科クリニック うちなードクターが痩 せた食事法	82	25	金	スタジオ	㈱zero 面接会場
45	13	Ħ	共 有 當	一般社団法人日本肝臓学会(沖縄県) 肝臓の病気 を正しく理解するために	83	25	金	共 有	SMBC 日興証券㈱ 電話対応社内コンクール
46	13	Ħ	県 民アトリエ	ハピネス新都心Ⅲ管理組合 マンション管理組合 通常総会	84	25	金	県 民アトリエ	チームラボアイランド 学ぶ!未来の遊園地関連 催事『あそぶ!天才プログラミング』
47	13	日	博物館講座室	沖縄県保険医協会 講演会 戦後沖縄の医療復興~太平洋戦争後の島尻郡南部地区における医療再建とその変遷に	85	25	金	博物館講座室	一般社団法人沖縄県労働基準協会/㈱労働調査会 建設業・雇用管理研修会
48	13	Ħ	博物館実習室	海のビックリ生物展関連催事「ヤシガニ学習会」	86	25	金	博物館実習室	㈱ノエビア沖縄支店 カフェノエビア研修
49	13	Ħ	美術館講座室	琉球岳風会 総本部施策の周知及び意見交換	87	25	金	美術館講座室	公益社団法人 北那覇法人会 人材派遣を利用し た助成金セミナー
50	15	火	博物館講座室	博物館学芸員実習【後期】 開講式	88	25	金	美術館講座室	盛和塾沖縄 キックオフ会
51	15	火	博物館実習室	海のビックリ生物展関連催事「星の砂は生き物? 顕微鏡で観察しよう!」	89	26	土	こどもアトリエ	チームラボアイランド 学ぶ!未来の遊園地関連 催事『あそぶ!天オプログラミング』
52	15	火	美術館講座室	沖縄協同青果/㈱アールピーアイ 地産地消コー ディネーター育成講座	90	26	土	共 有講 堂	女子美術大学同窓会 100 周年記念トークライブ 祝嶺恭子×ゆたかはじめ
53	16	水	共 有 當	沖縄県立総合精神保健福祉センター 平成29年度ゲートキーパー養成研修(思春期相談期間職員等対象)	91	26	土	県 民アトリエ	チームラボアイランド 学ぶ!未来の遊園地関連 催事『あそぶ!天才プログラミング』
54	16	水	美術館講座室	美術館ボランティア講座	92	26	土	博物館講座室	海燕社の小さな映画会 2017/8 月会「月あかりの下で〜ある定時制高校の記憶〜」
55	17	木	こどもアトリエ	いろんな場所で生まれる美術/小橋川啓 夏休みの美術の時間	93	26	土	博物館講座室	自治医科大学 沖縄県試験委員会/沖縄県保健医療 政策課 自治医科大学 大学説明会
56	17	木	県 民 アトリエ	いろんな場所で生まれる美術/小橋川啓 夏休みの美術の時間	94	26	土	博物館実習室	チームラボ待機列
57	17	木	博物館講座室	りゅうぎんビジネスクラブ 訪日観光客の心をつ かむインバウンドビジネス成功戦略	95	26	土	博物館実習室	<ul><li>ふれあい体験室ワークショップ「ふれたい博士の かんたん化石のレプリカづくり」</li></ul>
58	17	木	美術館講座室	社会保険労務士法人なか/福働会 労働・社会保険 基礎知識・改正個人情報保護法セミナー	96	26	土	美術館講座室	チームラボ待機列
59	18	金	こどもアトリエ	㈱zero 面接会場	97	27	日	こどもアトリエ	チームラボアイランド 学ぶ!未来の遊園地関連 催事『あそぶ!天オプログラミング』
60	18	金	共 有 當	日立市職員労働組合 「オキナワ・平和の旅」平 和講演会	98	27	日	スタジオ	フリーベル天久新都心第2管理組合 総会
61	18	金	博物館講座室	沖縄県国民健康保険団体連合会 平成 29 年度第 三者行為求償事務担当職員研修会	99	27	B	共 有	JM オーシャンアベニュージャパン 社長講演会
62	19	土	共 有	平成 29 年度 博物館文化講座「冊封使が琉球へも たらした中国書跡」	100	27	日	県 民 アトリエ	チームラボアイランド 学ぶ!未来の遊園地関連 催事『あそぶ!天才プログラミング』
	L	L	mp 生	たりした工圏首専門		L		/ ドソー	

No.	В	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)	No.	В	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)
140.	H	пры н			110.				1 マード報本では地区長山田報(下2日)
101	27	Ħ	博物館講座室	沖縄歷史教育研究会/㈱東洋企画印刷 沖縄歷史 検定	118	1 (½ 30 (	k) ~ 水)	共有講堂前 ホワイエ	水族館で出会えない水生生物展 模型展示
102	27	日	博物館 講座室	すでいる-Regeneration 実行委員会 マブニ・ビースプロジェクト沖縄 2017 総括シン ポジウム 平和への思いをつなぐ〜記録・記憶・アート 新しいアプローチを求めて	119	1 (½ 30 (	k) ~ 水)	博物館企画展示室	水族館で出会えない海のビックリ生物展
103	27	日	博物館 実習室	チームラボ待機列	120	1 (½ 30 (	k) ~ 水)	博 物 館 特別展示室	水族館で出会えない海のビックリ生物展
104	27	田	美術館 産室	一般社団法人沖縄県美術家連盟 理事会	121	2) 31 (	k) ~ 末)	美術館企画 キ゛ャラリー 1	開館 10 周年企画 チームラボアイランド―学ぶ! 未来の遊園地-in 沖縄
105	27	H	美術館 産室	㈱Hobby world Marine 沖縄 地方創生は海洋創生	122	1 (y 31 (	k) ~ 木)	美術館企画 キ゛ャラリー 2	開館 10 周年企画 チームラボアイランド一学ぶ! 未来の遊園地-in 沖縄
106	29	火	共 有 堂	公益社団法人土木学会西部支部沖縄会 講演会	123	5 ( <u>-</u> 6 (	上) ~ [目)	エントランス ホ ー ル	夏休みは博物館・美術館に行こう「夏休み!こども フェスタ 2017!」『動く動く海のアニメーション!』
107	29	火	博物館 実習室	一般財団法人沖縄美ら島財団/県総務班 HP 制作 打合せ	124	8 (y 13 (	k) ~ 火)	美術館県民 キ゛ャラリー 1	沖縄県特別支援学校中学部文化連盟
108	29	火	美術館 産室	沖縄協同青果/㈱アールピーアイ 地産地消コー ディネーター育成講座	125	8 (± 13 (	k) ~ 火)	美術館県民 キ゛ャラリー 2	沖縄県特別支援学校中学部文化連盟
109	30	水	博物館 講座室	公益財団法人日本建設情報技術センター/一般社団法人沖縄 県建設業協会国土交通省後援 建設産業育成支援セミナー	126	8 (± 13 (	k) ~ 火)	美術館県民 キ゛ャラリー 3	沖縄県特別支援学校中学部文化連盟
110	30	水	美術館 産室	孝情ヒーリングセンター希望の講演会(真の家庭 は正しい先祖供養から)	127	15 (± 20 (	た) ~ [目)	スタジオ	美術の先生がつくった作品展実行委員会 美術の先生がつくった作品展 Vol5
111	30	水	美術館 産室	平成 29 年度 一般財団法人沖縄美ら島財団 事業説明会	128	15 (± 20 (	た) ~ [日)	美術館県民 キ゛ャラリー 1	美術の先生がつくった作品展実行委員会 美術の先生がつくった作品展 Vol5
112	31	木	美術館 産室	㈱イスラン 健康セミナー	129	15 (y 20 (	k) ~ [目)	美術館県民 キ*ャラリー2	美術の先生がつくった作品展実行委員会 美術の先生がつくった作品展 Vol5
113	31	木	博物館企画展示室	首里城公園開園の 25 年記念沖縄県立博物館・美術 館開館 10 周年記念特別展 準備	130	15 (y 20 (	火) ~ [目)	美術館県民 キ゛ャラリー3	美術の先生がつくった作品展実行委員会 美術の先生がつくった作品展 Vol5
114	31	木	博 物 館 特別展示室	ウィルソンが見た沖縄 -琉球の植物研究史 100 年とともに-	131	22 (y 27 (		美術館県民 キ゛ャラリー 1	女子美術大学同窓会沖縄支部 女子美術大学同窓 会 100 周年記念沖縄支部作品展-つながる-
115	1 () 6 (	k) ~ 目)	美術館県民 キ゚ャラリー 1	㈱琉球銀行/㈱アドスタッフ博報堂 第 26 回りゅうぎん紅型デザイン展	132	22 (y 27 (	火) ~ [目)	美術館県民 キ゛ャラリー 2	女子美術大学同窓会沖縄支部 女子美術大学同窓 会 100 周年記念沖縄支部作品展-つながる-
116	1 () 6 (	k) ~ 目)	美術館県民 キ゛ャラリー 2	(㈱琉球銀行/㈱アドスタッフ博報堂 第 26 回りゅうぎん紅型デザイン展	133	22 (y 31 (	k) ~ (木)	エントランス ホ ー ル	パネル展「2016年 熊本地震 活断層に備えよう」
117	1 (½ 6 (	k) ~ 目)	美術館県民 キ*ャラリー3	(構琉球銀行/㈱アドスタッフ博報堂 第 26 回りゅうぎん紅型デザイン展	134	29 (y 31 (	k) ~ (木)	美術館県民 キ*ャラリー1	豊元節子 お絵描き会 作品展

# 【2017年9月】

L 201	1 1 0 .	/ J M							
No.	В	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)	No.	H	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)
1	1	金	こ ど も アトリエ	沖縄県造形教育連盟/美術館班 造形教育ゼミナ ール特別講演会	20	9	土	スタジオ	平仲ボクシングスクールジム/㈱MUGEN 沖縄 から世界へ MUGEN 挑 Vol.6
2	1	金	スタジオ	沖縄県造形教育連盟/美術館班 造形教育ゼミナ ール特別講演会	21	9	土	共 有 當	平成 29 年度 博物館文化講座「ウィルソンの沖縄 -100 年の記憶の旅路」
3	1	金	県 民 アトリエ	沖縄県造形教育連盟美術館班 造形教育ゼミナー ル特別講演会	22	9	土	共 有 堂	㈱日本旅行 九州合唱コンクール 練習
4	1	金	博物館 講座室	沖縄タイムスサービスセンター/沖縄タイムス社・タイムス住 宅新聞社第31回沖縄県トータルリビングショウ出店社説明会	23	9	土	博物館 産室	東京大学先端科学技術研究センター/ソフトバンク㈱/ ㈱エデュアス魔法の言葉プロジェクト 沖縄セミナー
5	1	金	美術館 産室	実務能力開発支援協会/沖縄タイムス 給与計算 実務能力検定 公式対策講座	24	9	土	美術館 産室	第3回 美術館学芸員講座「美術品の保存について ~保存修復の現場から~」
6	2	土	美術館 産室	実務能力開発支援協会/沖縄タイムス 給与計算 実務能力検定 公式対策講座	25	9	土	県 民 アトリエ	一般社団法人 創元会 沖縄支部 第77回 創元展 に向けた実技研究会
7	2	土	スタジオ	ブルーコンシャス(㈱会社説明会&選考会	26	10	В	県 民 アトリエ	一般社団法人 創元会 沖縄支部 第77回 創元展 に向けた実技研究会
8	2	土	博物館 講座室	平成 29 年度 博物館学芸員講座(民俗)「海に関わる祭りについて」	27	10	Ħ	こ ど も アトリエ	一般社団法人 創元会 沖縄支部 第77回 創元展 に向けた実技研究会
9	2	土	博物館 実習室	U&I㈱ 資金調達セミナー	28	10	H	スタジオ	グラント・イーワンズ 美・健康フェスタ
10	5	火	スタジオ	ブルーコンシャス㈱最終選考	29	10	B	共 有 堂	沖縄県立博物館友の会 文化講演会 エイサーとは?-エイサーの多様性と現代的変容-
11	6	水	博物館 講座室	首里城展 交流員勉強会	30	10	H	博物館 藤座室	玉木流琉装からじ結い研究所 くしの日 美ら姿 結い遊び
12	6	水	美術館 華座室	沖縄県こども生活福祉部消費くらし安全課/㈱琉球 新報開発 地域における消費者教育の担い手研修	31	10	B	博物館 実習室	グラント・イーワンズ 沖縄 VCLP ラリー
13	7	木	共 有 堂	㈱日本旅行 九州合唱コンクール 練習	32	10	日	美術館 産室	沖縄県文化振興会 平成 29 年度沖縄県芸術文化 祭 写真部門 審査会
14	8	金	共 有 営	㈱日本旅行 九州合唱コンクール 練習	33	12	火	スタジオ	大相撲沖縄場所実行委員会/㈱オペラ 大相撲沖縄 場所 平成 29 年冬巡業開催に向けての打ち合わせ
15	8	金	博物館 講座室	沖縄総合事務局経済産業部中小企業課 平成 29 年度官公需確保対策地方推進協議会	34	12	火	博物館講座室	(㈱イスラン 健康セミナー
16	8	金	博物館 実習室	浦添小学校 民具体験	35	12	火	博物館 講座室	サンワコムシスエンジニアリング㈱ 700MHz 講習会
17	8	金	美術館 華座室	一般財団法人美ら島財団 「しまくとうばプロジェクト 2017」ワークショップ『しまくとうばライティング』	36	12	火	美術館 産室	沖縄協同青果/㈱アールピーアイ 地産地消コー ディネーター育成講座
18	8	金	美術館 華座室	南部広域市町村圏事務組合 平成 29 年度「自治体 職員政策形成セミナー」	37	12	火	美術館講座室	メットライフ生命保険㈱ 沖縄メットライフ会プ ロデューサーミーティング
19	9	土	こ ど も アトリエ	石こう版画の会	38	13	水	博物館講座室	㈱地域科学研究所 第34回 MIA 固定資産評価全 国実務研修会

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)	No.	Ħ	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)
39	13	水	美術館講座室	㈱イスラン 健康セミナー	74	24	В	博物館講座室	沖縄県眼科医会(琉球大学眼科) 第 131 回 沖縄 眼科集談会
40	13	水	美術館講座室	美術館ボランティア勉強会	75	24	Ħ	美術館講座室	一般社団法人沖縄県美術家連盟 理事会
41	14	木	博物館実習室	渡嘉敷村立渡嘉敷小学校/オリエンテーション	76	24	Ħ	美術館講座室	参情ヒーリングセンター希望の講演会(真の家庭は正しい先祖供養から)
42	14	木	博物館実習室	琉球ガラスブランド強化連絡協議会/RGC㈱ 第 2回琉球ガラス有識者委員会	77	26	火	博物館講座室	大和ライフネクスト㈱ 管理員向け研修会
43	14	木	美術館講座室	サンワコムシスエンジニアリング㈱ サンコム 700MHz テレビ受信対策キックオフ	78	26	火	美術館講座室	   沖縄協同青果/㈱アールピーアイ 地産地消コー   ディネーター育成講座
44	15	金	こどもアトリエ	沖縄県造形教育連盟/美術館班 造形教育ゼミナ ール特別講演会	79	27	水	博物館実習室	三線鑑定会
45	15	金	スタジオ	一般社団法人沖縄イーコマース協議会 次世代 E コマース人材育成セミナー	80	28	木	美術館講座室	ガリレオスコープ沖縄 IT キャリア沖縄企業向 け事業説明会
46	15	金	県 民アトリエ	沖縄県造形教育連盟美術館班 造形教育ゼミナー ル特別講演会	81	29	金	共 有 當	一般社団法人日本建設保全協会 コンクリート構造物の長寿命化対策に関わる技術講習会
47	15	金	博物館講座室	沖縄県保健医療部国民健康保険課/沖縄県国民健康保険 団体連合会平成 29 年度国保税(料) 徴収担当者研修会	82	29	金	県 民アトリエ	琉球大学 古異語系統研究打ち合わせ
48	15	金	美術館 講座室	㈱地域科学研究所 MIA 自治体研修会	83	29	金	美術館講座室	実務能力開発支援協会/沖縄タイムス給与計算実 務能力検定公式対策講座
49	16	土	こ ど もアトリエ	アートミュージアムキッズクラブ	84	30	土	共 有 當	㈱エフアンドエム ビジネススクール修了証授与 式
50	16	土	共 有 堂	沖縄県理学療法士協会 平成 29 年度臨床実習指導 者研修会	85	30	土	博物館講座室	㈱さくらアカデミー SAKURA 講座
51	16	土	共 有 堂	沖縄県立芸術大学 17 期生有志 沖縄県立芸術大 学卒業生コンサート リハーサル	86	30	土	博物館 実習室	博物館体験学習教室「身近な植物で押し花をつく ろう! (2回連続講座)
52	16	土	県 民 アトリエ	アートミュージアムキッズクラブ	87	30	土		赤嶺 ゆかり/牧 寛子~誰も教えてくれなかった攻撃性 のメカニズム~最も見たくない最も奥に隠された神秘
53	16	土	博物館 講座室	日本航空高等学校 学校説明会	88	3 (		エントランス ホ ー ル	パネル展「2016年 熊本地震 活断層に備えよう」
54	16	土	博物館 実習室	博物館体験学習教室「身近な植物で押し花をつく ろう! (2回連続講座)」	89	3 (		美術館県民 キ゛ャラリー 1	豊元節子 お絵描き会 作品展
55	16	±	美術館 産室	NPO 法人沖縄県マンション管理組合連合会 平成 29 年 沖管連マンション管理セミナー	90	21 (		美術館県民 キ゛ャラリー 1	未来の遊園地-in 沖縄
56	16	土	美術館 華座室	沖縄朝鮮友好の会 美ら島講座	91	21 (		美術館企画 キ゛ャラリー 2	未来の遊園地-in 沖縄
57	17	F	共 有 堂	真の家庭運動推進沖縄協議会 家庭講演会	92	30 (		博物館 企画展示室	
58	17	Ħ	共 有 當	沖縄県立芸術大学第 17 期生同有志沖縄県立芸術 大学卒業生コンサート	93	30 (		博 物 館 特別展示室	とともに-
59	17	日	博物館 講座室	日本理学療法士協会 平成 29 年度九州ブロック臨 床実習指導者研修会	94	10 (		美術館企画 キ゛ャラリー 2	文子絵画展 2017」
60	17	日	美術館 講座室	沖縄県文化振興会 平成 29 年度沖縄県芸術文化 祭 書道部門 審査会	95	30 (		共有講堂前 ホワイエ	の植物』
61	18	月	共 有 業	NPO 法人ココネット色彩フォーラム in 沖縄 2017	96	10 (		美術館県民 キ*ャラリー3	
62	18	月	講座室	特定非営利活動法人沖縄アジア臨床研究連携 ハーバード 大医学部臨床研究トレーニングプログラム沖縄開講説明会	97	18 (	k) ~ [月]	美術館県民 キ*ャラリー1	沖縄カメラ女子同好会 PHOTO RING
63	20	水	共 有 堂	TV 沖縄 特別講演会	98	18 (	月)	キ゛ャラリー 2	公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会沖縄地区 JA GDA 沖縄グラフィックデザイン展 2017 たのしいデザイン
64	21	木	共 有 當	㈱ブレインワークス アジア ビジネス カンファ レンス	99	18 (		キ゛ャラリー 3	公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会沖縄地区 JA GDA 沖縄グラフィックデザイン展 2017 たのしいデザイン
65	21	木	博物館講座室	サンワコムシスエンジニアリング(株) サンコム安全衛生協議会	100	24 (		キ゛ャラリー 1	地域福祉保健推進協会・アトリエ太陽 第2回太陽アンテパンタンテ展 原点回帰 近代的土偶・はにわ・火焔土器にみる魂の再生と癒やし
66	22	金	美術館 華座室	公益社団法人北那覇法人会 源泉所得研修会	101	24 (		美術館企画 キ゛ャラリー 2	金城 進 宇宙アート点描画家水華 SUIKA
67	22	金	美術館 講座室	盛和塾沖縄 キックオフ会	102	24 (		美術館県民 キ゛ャラリー3	金城 進 宇宙アート点描画家水華 SUIKA
68	23	土	共 有 堂	㈱沖縄ヒューマンキャピタル海外中期・短期イン ターシップ成果発表会	103	30 (		美術館県民 キ * ャラリー 1	THEO JANSEN 沖縄展覧会 in 沖縄
69	23	土	美術館 華座室	安次富長昭展関連催事ギャラリートーク	104	30 (		美術館企画 キ キ キ ラリー 2	THEO JANSEN 沖縄展覧会 in 沖縄
70	24	Ħ	スタジオ	鍼灸整骨院 Wom an Be Health 第3回 沖縄フォーラム	105	30 (		美術館県民 キ゛ャラリー1	専修学校国際電子ビジネス専門学校 デジタルデ ザイン展
71	24	F	共 有 堂	沖縄産科婦人科学会/沖縄県産婦人科医会 子宮頸がんから女性を守る市民公開講座	106	30 (		美術館企画 キ゛ャラリー 2	専修学校国際電子ビジネス専門学校 デジタルデ ザイン展
72	24	E	共 有 堂	家庭倫理の会那覇市 平成 30 年度方針説明およ び平成 29 年度活動報告会	107	28 ( <i>7</i> 30 (	た) ~ (土)	美術館県民 キ゛ャラリー3	専修学校国際電子ビジネス専門学校 デジタルデ ザイン展
73	24	日	博物館 講座室	一般財団法人美ら島財団 しまくとうばプロジェクト 2017「しまくとうばの日」企画しまくとうばっし「しまくとうば」語やびら					

# 【2016年10月】

No.	П	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報 (申込者)	No.	П	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)
1	1	Ħ	共 有 堂	高次脳リハビリテーション実行委員会/平安病院 高次脳リハビリテーション講習会	2	1	Ħ	博物館 講座室	日建学院沖縄校/㈱建築資料研究社 宅建全国公 開模試試験

No.	Ħ	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報 (申込者)	No.	Ħ	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)
3	1	Ħ	美術館講座室	BIORISE オープンセミナー	41	13	金	博物館講座室	ユニヴァ・ソーシャル 食育セミナー
4	1	日	美術館県民	専修学校国際電子ビジネス専門学校 デジタルデ ザイン展	42	13	金	博物館実習室	中城村立津覇小学校/オリエンテーション
5	1	日	美術館県民	専修学校国際電子ビジネス専門学校 デジタルデ ザイン展	43	13	金	博物館実習室	アウラ アンチエイジングの会/グラントイーワン ズ 沖縄スペシャルセミナー
6	1	日	美術館県民 * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	専修学校国際電子ビジネス専門学校 デジタルデ ザイン展	44	13	金	美術館講座室	㈱沖縄県商工労働部中小企業課/㈱JTB沖縄 外国人 観光客対応に係るスタッフ研修会兼店舗作り講習会
7	3	火	博物館講座室	㈱イスラン 健康セミナー	45	14	土	こどもアトリエ	アートミュージアムキッズクラブ
8	3	火	美術館	美術館へ行こう 控室	46	14	土	こどもアトリエ	沖美連・美術館アーティスト・トーク「浮遊する 多様なイメージと思考の交錯」
9	4	水	美術館講座室	美術館へ行こう 控室	47	14	土	スタジオ	沖縄の教育を良くする会 テレビ「生命の光」を観る会
10	4	水	美術館講座室	公益財団法人全国中小企業取引振興協会 価格交 渉サポートセミナー	48	14	土	県 民アトリエ	沖美連・美術館アーティスト・トーク「浮遊する   多様なイメージと思考の交錯」
11	5	木	スタジオ	美術館へ行こう 控室	49	14	土	県 民 アトリエ	アートミュージアムキッズクラブ
12	5	木	共 有	一般社団法人交通工学研究会 ミニシンポジウム 「階層型道路ネットワーク実現に向けて」	50	14	土	博物館講座室	沖縄税理士会 成年後見及び相続税に関する無料 相談会
13	5	木	博物館講座室	サンワコムシスエンジニアリング㈱ 情報セキュリティ・マナー研修	51	14	土	博物館講座室	家庭倫理の会那覇市 全役職者研修
14	5	木	博物館実習室	民具体験(大里北小)	52	14	土	博物館実習室	- 般財団法人沖縄美ら島財団総合研究センター 琉球玩具への招待
15	5	木	美術館	㈱りゅうせきビジネスサービス ハイサイプロジ   ェクト事務局 新入社員のための合同研修①	53	14	土	美術館講座室	沖縄県文化協会 しまくとうば普及人材養成講座
16	6	金		テオ・ヤンセン沖縄展覧会実行委員会 テオ・ヤンセン沖縄展覧会関連催事「テオ・ヤンセン講演会・テオ、ビーストを語る。」	54	14	土	美術館	NPO 法人沖縄語普及協議会 沖縄語講座
17	6	金	博物館講座室	一般社団法人沖縄しまたて協会 ラウンドアバウト タウンミーティング in 沖縄	55	15	H	こどもアトリエ	テオ・ヤンセン沖縄展覧会実行委員会 テオ・ヤンセン沖縄展覧 会関連催事「ミニ・ストランドビーストを作って競争してみよう」
18	6	金	博物館講座室	テオ・ヤンセン展覧会実行委員会事務局 テオ・ヤンセン沖縄展覧会 関連催事「テオ・ヤンセン講演会・テオ、ビーストを語る。」 第2会場	56	15	日	共 有 當	琉球大学医学部附属病院 第二外科 心臓病低侵襲治療の最前線~切らずに治す心臓カテーテル治療(PCI・TAVIとは~)
19	6	金	美術館講座室	オム・ファム㈱ 第23期 下期施策勉強会	57	15	日	共 有 端 堂	真の家庭運動推進沖縄協議会(APTF) 家庭講演会
20	7	土	こどもアトリエ	石こう版画の会	58	15	H	県 民 アトリエ	テオ・ヤンセン沖縄展覧会実行委員会 テオ・ヤンセン沖縄展覧 会関連催事「ミニ・ストランドビーストを作って競争してみよう」
21	7	土		JAIFA 公益社団法人生命保険ファイナンシャルアド バイザー協会 'JAIFA 秋の研修会 相続勉強会	59	15	日	博物館講座室	沖縄工業高等専門学校 学校説明会
22	7	土	博物館講座室	平成29年度 博物館学芸員講座「琉球植物研究の 偉人たち」	60	15	日	博物館講座室	一般財団法人沖縄美ら鳥財団 しまくとうばプロジェクト 2017 しまくとうば鼎巌第3弾「しまく とうばしっ語やびら うちなーさしん(沖縄写真)比嘉豊光写真集『赤いゴーヤー 1970 - 1972』」
23	7	土	博物館実習室	一般財団法人沖縄美ら島財団総合研究センター 琉球玩具への招待	61	15	H	美術館講座室	琉球大学医学部附属病院 第二外科 琉球大学医学部 附属病院 沖縄県民の健康公開講座 相談コーナー
24	7	土	美術館	沖縄語普及協議会 沖縄語講座	62	17	火	スタジオ	大相撲沖縄場所実行委員会 ミーティング
25	7	土	美術館講座室	JICA 沖縄国際センター         JICA ボランティア「体験談&説明会」	63	17	火	県 民アトリエ	   芭蕉布句会 俳句の勉強会
26	8	日	スタジオ	那覇情報システム専門学校 2017 年度デジタルクリエイター科作品展	64	17	火	美術館講座室	南部徳洲会病院 医療講演
27	8	日	共 有 黨 堂	沖縄県整形外科医会/エーザイ㈱ 骨と関節の日	65	18	水	神 座 並 こ ど も アトリエ	一般財団法人沖縄美ら島財団 絵画コンクール審
28	8	日	博物館	市民セミナー 沖縄県整形外科医会/エーザイ㈱骨と関節の日 市 民セミナー第 2 会場	66	18	水	共 有	査会 沖縄県子ども生活福祉部高齢者福祉介護課/沖縄広告㈱ 沖縄県ちゃ
29	8	日	実習室博物館	NPO 法人統合医療と健康を考える会 がん治療	67	18	水	講 堂 県 民	ーがんじゅー地域大賞表彰式及びちゃーがんじゅう地域づくり講演会 一般財団法人沖縄美ら島財団 絵画コンクール審
30	8	日	講座室 美術館	の鍵講演会     沖縄県文化振興会 平成 29 年度沖縄県芸術文化	68	18	水	アトリエ博物館講座室	査会 冒険王㈱ 採用と育成セミナー
31	9	月	講座室 スタジオ	祭 美術部門 審査会 那覇情報システム専門学校 2017 年度デジタルク	69	18	水	博 物 館	サンワコムシスエンジニアリング㈱ 700MHz 安全衛生物薬へ
32	9	月	共 有	リエイター科作品展 世界遺産登録推進委員会/泡盛マイスター協会「琉球料理」及び黒麹菌による 「琉球均球、カル図の世界無いカルカンなみで料」向けて1人ところ成ませままます。	70	18	水	講座室 美術館	安全衛生協議会 公益社団法人沖縄県産業振興公社 事業継承セミナー
33	9	月	講 堂 美術館	「琉球泡盛」文化圏の世界無形文化遺産登録に向けて!今こそ泡盛を世界遺産に NPO 法人電線の無いまちづくりネットワーク (**などないます。これます。) 対象 またがないませい	71	19	木	講座室	琉球ガラスブランド強化連絡協議会/㈱RGC
34	11	水	講座室 こどもアトリエ	災害に強いまち弱いまち"沖縄支部設立セミナー 一般財団法人沖縄美ら島財団 薬品散布	72	19	木	博物館	第3回琉球ガラス有識者委員会 (㈱りゅうせきビジネスサービス ハイサイプロジ
35	11	水	県 民	一般財団法人沖縄美ら島財団 薬品散布	73	19	木	講座室 博物館	ェクト事務局 求人票閲覧会 民具体験(自主)/阿波連小学校
36	11	水	アトリエ美術館	沖縄協同青果/㈱アールピーアイ地産地消コーデ	74	19	木	実習室美術館	㈱りゅうせきビジネスサービス ハイサイプロジ
37	12	木	講座室 博物館	ィネーター育成講座	75	20	金	講座室	ェクト事務局 求人票の見方セミナー 沖縄県高校生徒科学賞作品展 審査会 準備
38	12	木	講座室 美術館	美術館へ行こう 控室	76	20	金	アトリエスタジオ	沖縄県高校生徒科学賞作品展 審査会 準備
39	12	木	講座室 美術館	沖縄県青色申告会連合会女性部 平成 29 年度 講	77	20	金	共 有	文教楽器 英語教室の発表会 準備
40	13	金		演会 沖縄博物館・美術館 開館 10 年記念展 プレイベント	78	20	金	講 堂 県 民	沖縄県高校生徒科学賞作品展 審査会 準備
10	10	31/-	講 堂	保存修復シンポジウム「まもる」アートをアーカイブ	,0	20	4년	アトリエ	日本600円0人工代日1人日1日以 田旦A 年間

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)
79	20	金	博物館講座室	沖縄市立北美小学校/オリエンテーション	115	27	金	スタジオ	沖縄県精神保健福祉会連合会 第13回こころの芸術文化フェスティバル
80	20	金	博物館実習室	一般財団法人沖縄美ら島財団 「首里城でおでかけえの教室」	116	27	金	県 民アトリエ	合資会社沖縄時事出版 「東アジア出版人会議」 実行委員会会議
81	20	金	美術館講座室	沖縄県造形教育連盟/美術館班	117	27	金	博物館講座室	サンワコムシスエンジニアリング㈱平成 29 年度 サンコム下期安全大会
82	20	金	美術館 選座室	南部徳洲会病院 医療講演	118	27	金	博物館実習室	潮平小学校/民具体験
83	21	土	こ ど も アトリエ	沖縄県高校生徒科学賞作品展 審査会	119	27	金	美術館講座室	㈱大城マネジメント研究所 人事・賃金制度改善 セミナー
84	21	土	スタジオ	沖縄県高校生徒科学賞作品展 審査会	120	27	金	美術館講座室	盛和塾沖縄 キックオフ会
85	21	土	共 有 堂	文教楽器 英語教室の発表会	121	28	土	博物館 実習室	沖縄呼吸器外科研究会
86	21	土	県 民 アトリエ	沖縄県高校生徒科学賞作品展 審査会	122	29	Ħ	こ ど も アトリエ	テオ・ヤンセン沖縄展覧会実行委員会 テオ・ヤンセン沖 縄展覧会関連催事「フォトフレームづくりワークショップ」
87	21	土	博物館 講座室	沖縄県高等学校教頭会・副校長会	123	29	日	スタジオ	沖縄県精神保健福祉会連合会 第13回こころの芸術文化フェスティバル
88	21	土	博物館講座室	沖縄県小児科学会/日本小児科学会/琉球大学医学部小児科 こども健康週間~市民公開講座~「こどもの腎臓の病気」	124	29	日	県 民 アトリエ	テオ・ヤンセン沖縄展覧会実行委員会 テオ・ヤンセン沖 縄展覧会関連催事「フォトフレームづくりワークショップ」
89	21	土	博物館 実習室	「こどもフェスタ 2017 秋 体験キットであそぼ う!」	125	31	火	共 有 講 堂	沖縄博物館・美術館 開館 10 年記念展 プレイベン トリハーサル
90	21	土	美術館講座室	沖縄県文化協会 しまくとうば普及人材養成講座	126	31	火	美術館県民 ギャラリー1	美術館班/アートキャンプ 2001 実行委員会 アートキャンプ 2017「素材の大砲」展
91	22	H	スタジオ	TV 沖縄 研修会	127	31	火	美術館県民 ギャラリー2	
92	22	Ħ	博物館 講座室	おきなわ住民自治研究所準備会 おきなわ住民自 治研究所設立総会・記念講演会	128	31	火	美術館県民 キ゛ャラリー3	美術館班/アートキャンプ 2001 実行委員会 アートキャンプ 2017「素材の大砲」展
93	22	F	博物館 講座室	沖縄県眼科医会(琉球大学眼科)/参天製薬㈱ 第 32 回 沖縄緑内障研究会	129	31	火	エントランス ホ ー ル	美術館絵画コンクール
94	22	日	博物館 実習室	「こどもフェスタ 2017 秋 体験キットであそぼ う!」	130	1 (  15	∃) ~ 目)	共有講堂前 ホワイエ	国立科学博物館・巡回ミュージアム in 沖縄『琉球の植物』
95	22	H	美術館講座室	国鉄闘争全国運動・沖縄 71 年沖縄ゼネストを検 証する 10・22 沖縄労働者集会	131	1 (  19:	∃) ~ 木)	博 物 館 特別展示室	
96	24	火	スタジオ	沖縄県精神保健福祉会連合会 第13回こころの芸術文化フェスティバル	132	1 (1 22 (	∃) ~ 〔目)	博物館 企画展示室	
97	24	火	博物館講座室	一般社団法人沖縄県労働基準協会 無期転換等セミナー	133	1 (  31 (	∃) ~ (火)	美術館企画 キ゛ャラリー 1	THEO JANSEN 沖縄展覧会 in 沖縄
98	24	火	博物館講座室	社会保健労務士法人パ7ソネル・マネジメント 勉強会	134	31 (		美術館企画 キ*ャラリー 2	THEO JANSEN 沖縄展覧会 in 沖縄
99	24	火	美術館講座室	大鏡建設㈱ 企業が行う賃貸住宅経営の必要性と 不動産投資の方法	135	8 (		美術館県民 キ゛ャラリー 2	大倫書道会 第6回大倫書道会展
100	25	水	スタジオ	沖縄県精神保健福祉会連合会 第13回こころの芸術文化フェスティバル	136	9 (	∃) ~ 〔月)	美術館県民 キ゛ャラリー3	クリエイター科作品展
101	25	水	共 有 當	沖縄県精神保健福祉会連合会 第13回こころの芸術文化フェスティバル開会式	137	15 (		美術館県民 キ゛ャラリー 1	一般社団法人沖縄県美術家連盟 第 28 回 沖美 連展
102	25	水	共 有 當	一般社団法人沖縄しまたて協会 平成 29 年度 技術環境研究所 研究発表会	138	15 (		美術館県民 キ゛ャラリー 2	
103	25	水	博物館 講座室	グラフィソフトジャパン㈱/㈱ビックビート 施工 BIM セミナー	139	15 (		美術館県民 キ゛ャラリー 3	連展
104	25	水	博物館実習室	三線鑑定会	140	20 (		エントランス ホ ー ル	
105	25	水	博物館講座室	サンワコムシスエンジニアリング(株) 情報セキュリティ・マナー研修	141	22 (		美術館県民	礼の道
106	25	水	美術館講座室	総務省沖縄総合通信事務所 信書便制度に関する 説明会	142	22 (		美術館県民 キ゛ャラリー 2	礼の道
107	26	木	スタジオ	沖縄県精神保健福祉会連合会 第13回こころの芸術文化フェスティバル	143	21 (		美術館県民 キ キ キ ラリー 3	アパレル沖縄協同組合 ファッションブランドの 服作り
108	26	木	共 有 営	富国生命保険相互会社 沖縄支社 職員大会	144	31 (		博 物 館 企画展示室	開館 10 周年記念特別展 「海の沖縄」
109	26	木	共 有 當	一般社団法人沖縄県ビルメンテナンス協会 第13回環境衛生シンポジウム	145	31 (		博物館 特別展示室	開館 10 周年記念特別展 「海の沖縄」
110	26	木	博物館講座室	公益社団法人北那覇法人会金融関係の研修会	146	22 (		エントランス ホール	「こどもフェスタ 2017 秋 体験キットであそぼう!」
111	26	木	博物館講座室	サンワコムシスエンジニアリング(株) 現場マネジ メント研修	147	29 (		美術館県民 キ゛ャラリー 1	第 13 回こころの芸術文化フェスティバル
112	26	木	博物館実習室	金武町立中川小学校/オリエンテーション	148	29 (		美術館県民 キ * * * ラリー 2	沖縄県精神保健福祉会連合会 第13回こころの芸術文化フェスティバル
113	26	木	美術館 講座室	㈱りゅうせきビジネスサービス ハイサイプロジェクト事務局 新入社員のための合同研修②	149	29 (		美術館県民 キ゛ャラリー3	沖縄県精神保健福祉会連合会 第13回こころの芸術文化フェスティバル
114	27	金	こ ど も アトリエ	OCVB/一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー 平成 29 年度 OCVB クルーズワーキング委員会(第1回)	150	24 (± 29 (	た) ~ [目]	エントランス ホ ー ル	世界のウチナーンチュ大会パネル展

# 【2017年11月】

(2017)	7年11.	月】							
No.	B	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)
1	1	水	共 有 堂	開館 10 周年記念式典及び基調講演「日本の博物館 の現状と未来」	39	8	水	美術館講座室	㈱イスラン 健康セミナー
2	1	水	博物館講座室	開館 10 周年記念式典及び基調講演 第 2 会場	40	8	水	こ ど も アトリエ	公益財団法人日本賃貸住宅管理協会沖縄県支部 上級相続支援コンサルタント講習
3	1	水	博物館講座室	開館 10 周年記念オープニングセレモニーかぎや で風講演者控室	41	9	木	共 有 當	一般社団法人沖縄県食品衛生協会 ノロウィルス 食中毒の予防と対策講習会
4	1	水	博物館実習室	10 周年オープニング関連 来賓者との打ち合わせ	42	9	木	共 有 當	気象庁沖縄気象台 気象ビジネス推進コンソーシ アム沖縄セミナー
5	1	水	博物館実習室	開館 10 周年記念オープニング会セレモニーかぎ やで風演奏者 待機室	43	9	木	博物館講座室	日本植物病理学会九州部会 平成 29 年度 日本植 物病理学会九州部会 第 41 回シンポジウム
6	1	水	美術館講座室	開館 10 周年記念式典及び基調講演 第3会場	44	9	木	美術館講座室	九州農政局 植物防疫地区協議会 農薬分科会
7	2	木	共 有 當	沖縄生物教育研究会/博物館班 高校生による生 物科学展	45	10	金	博物館 実習室	民具体験
8	2	木	博物館講座室	公益社団法人土木学会 CIM 講演会 2017	46	10	金	スタジオ	九州地区私学保護者会連絡協議会/沖縄県私立中学高等学校保護者会 九州地区私学保護者会 連絡協議:
9	2	木	博物館実習室	オリエンテーション/高嶺中学校	47	10	金	美術館 産室	沖縄県自治研修所 歴史・文化講座
10	2	木	博物館実習室	オリエンテーション/浜川小学校	48	11	土	共 有 當	第23回地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会 一般社団法人土壌環境センター 地下水・土壌汚染対策による土地・水資源の利活用と地域振興に向けて 公開シンポジウム
11	2	木	県 民アトリエ	沖縄生物教育研究会/博物館班 高校生による生 物科学展	49	11	土	共 有 當	平成29年度 博物館文化講座「海の人類史ー南の 島々に進出したヒトの海洋適応と島嶼文化」
12	3	金	共 有	開館 10 周年記念特別展「海の沖縄」関連催事 海を越えて広がる世界と琉球	50	11	土	博物館実習室	一般財団法人沖縄美ら島財団総合研究センター 琉球玩具への招待
13	3	金	共有講堂前ホワイエ	開館 10 周年記念特別展「海の沖縄」関連催事 海を越えて広がる世界と琉球 サテライト会場	51	11	土	スタジオ	さのギター教室 ギターワークショップ
14	3	金	博物館 屋外展示場	一般財団法人沖縄美ら島財団 秋の ART & MUSIC FESTIVAL!	52	11	土	美術館講座室	アートキャンプ 2017 実行委員会/社会福祉法人若竹福祉会 美術館班 アートキャンプ 2017 「素材の大砲」展関連講演:
15	3	金	美術館 屋外展示場	一般財団法人沖縄美ら島財団 秋の ART & MUSIC FESTIVAL!	53	11	土	美術館 産室	NPO 法人沖縄語普及協議会 沖縄語講座
16	3	金	博物館講座室	秋の ART&MUSIC FESTIVAL!控室	54	12	В	共 有 當	華音音楽教室 宮里郁子門下生発表会
17	3	金	博物館実習室	全印総連女性のつどい	55	12	B	博物館講座室	医療法人かねや 屋宜内科医院 いちの会 1型 糖尿病のための糖尿病教室
18	3	金	美術館 産室	沖縄士業等ネットワーク協議会/一般社団法人沖 縄県中小企業診断士協会合同よろず相談会	56	12	Ħ	博物館講座室	七田チャイルドアカデミー 保護者セミナー
19	4	土	共 有 営	美術館開館 10 周年記念展「彷徨の海」「邂逅の海」 関連催事 映像アーカイヴと沖縄 (1) 特別上映	57	12	H	博物館実習室	公益社団法人日本国際生活体験協会 ホストファ ミリー受入れ説明会
20	4	土	共 有 當	心の歌を唄う会 第8回 心の歌を唄う会 in 沖縄	58	12	Ħ	美術館講座室	一般社団法人沖縄県美術家連盟 理事会
21	4	土	博物館講座室	平成29年度博物館学芸員講座「紅型のはなし資料 と史料から紐解く」	59	12	B	美術館講座室	北星学園余市高等学校 教育講演相談会
22	4	土	博物館実習室	一般財団法人沖縄美ら島財団総合研究センター 琉球玩具への招待	60	14	火	共 有 當	沖縄県地域保健課/一般社団法人日本家族計画協会 平成 29 年度九州地区母子保健事業研修会
23	4	土	県 民アトリエ	沖縄博物館・美術館 開館 10 年記念展 プレイベン トリハーサル	61	14	火	博物館講座室	大同火災海上保険㈱ 代理店向けセミナー
24	4	土	美術館 産室	NPO 法人沖縄語普及協議会 沖縄語講座	62	14	火	博物館講座室	沖縄税理士会北那覇支部年末調整研修会
25	5	Ħ	共 有	文教楽器㈱ 文教ミュージックサロン ソロコン サート	63	14	火	博物館実習室	民具体験
26	5	Ħ	博物館講座室	一般財団法人沖縄県環境科学センター/沖縄県自然 保護課 オニヒトデ大量発生のメカニズムとその対策	64	14	火	県 民アトリエ	芭蕉布句会 俳句の勉強会
27	5	目	博物館実習室	フリーベル天久新都心 通常総会	65	14	火	スタジオ	沖縄県衣類縫製品工業組合 平成 29 年度沖縄県縫 製業安定基盤構築事業中間報告会
28	5	Ħ	スタジオ	ミキワールド沖縄 食育の勉強会	66	14	火	美術館 産室	(㈱りゅうせきビジネスサービス ハイサイプロジェクト事務局 人事担当者のためのプレゼンセミナー
29	5	Ħ	美術館 藤座室	独立行政法人国際交流基金"日本語パートナーズ" 説明会	67	15	水	博物館講座室	盛和塾沖縄 自主例会
30	7	火	共 有 當	明治安田生命 沖縄支社 11 月チャレンジ月間進 発研修大会	68	15	水	博物館講座室	TV 沖縄 特別講演会
31	7	火	博物館講座室	沖縄県三線製作事業協同組合 第五回県産三線普 及ブランド化委員会	69	15	水	美術館講座室	NHK 営業サービス㈱ 放送受信の新技術セミナ
32	7	火	美術館講座室	(株りゅうせきビジネスサービス ハイサイプロジェクト事務局 人事評価システム導入セミナー	70	15	水	こどもアトリエ	美術館ボランティア勉強会
33	7	火	こどもアトリエ	一般財団法人沖縄美ら島財団 ワークショップ打 ち合わせ	71	16	木	共 有	<ul><li>→ 沖縄税理士会 「税を考える週間」税に関する講演会</li></ul>
34	8	水	共 有 堂	九州病害虫研究会 第 94 回研究発表会(秋季大会)	72	16	木	共 有 堂	一般社団法人沖縄県食品衛生協会 平成 29 年度 食品表示制度講習会
,		水	博物館講座室	九州病害虫研究会 第 94 回研究発表会(秋季大会)	73	16	木	博物館講座室	沖縄税理士会「税を考える週間」税に関する無料 相談会」
35	8	74.				1		<b>+</b>	
35 36	8	水	博物館	民具体験	74	16	木	界 民アトリエ	九州セメント技術委員会 11 月度会議
			<del>                                     </del>	民具体験 公益財団法人日本賃貸住宅管理協会沖縄県支部 上級相続支援コンサルタント講習	74 75	16 16	木	県 民 アトリエ スタジオ	九州セメント技術委員会 11 月度会議  一般社団法人セメント協会/琉球セメント セメントコンクリート技術専門委員会

No.	月	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)	No.	Ħ	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)
77	17	金	共 有	日本学術振興会科学研究費/沖縄県立看護大学 マルトリートメント(不適切な養育)やDVにより傷つく脳と回復へのアプローチ	115	24	金	博物館講座室	自治労沖縄県本部 九州地連介護福祉集会の企画 会議
78	17	金	共 有 営	沖縄県文化振興会 平成 29 年度 沖縄県芸術文 化祭 表彰式 準備	116	24	金	共 有講 堂	沖縄県文化振興会 第 46 回沖縄県芸術文化祭 高校生による舞台発表
79	17	金	博物館講座室	公益財団法人日本賃貸住宅管理協会沖縄県支部日管協支部定例会	117	24	金	博物館講座室	サンワコムシスエンジニアリング㈱ FTTH 安全 衛生協議会
80	17	金	博物館講座室	(株SRJ 教育をリードする先見性と決断力 沖縄 県高校入試セミナー	118	24	金	博物館講座室	
81	17	金	博物館実習室	民具体験/とよみ小学校	119	24	金	博物館実習室	民具体験
82	17	金	美術館講座室	サンワコムシスエンジニアリング㈱ 700MHz 安全衛生協議会	120	24	金	スタジオ	美術館へ行こう 控室
83	17	金	美術館	一般社団法人沖縄イーコマース協議会 次世代Eコマース人材育成セミナー	121	24	金	美術館 離座室	盛和塾沖縄 キックオフ会
84	18	土	共 有 営	沖縄県文化振興会平成 29 年度 沖縄県芸術文化 祭 表彰式	122	25	土		沖縄県ユネスコ協会/一般社団法人ユネスコ協会連盟 民間ユネスコ 70 周年記念 2017 年度九州ブロックユネスコ活動研究会 in 沖縄
85	18	土	共 有 當	開館 10 周年関連記念講演「成長する物語-済州島 の漂着琉球王子殺害事件-」	123	25	土	博物館講座室	海燕社の小さな映画会 2017/11 月 「世阿弥の能」「能」
86	18	土	博物館講座室	干瀬の会 第28回講演~源氏物語を読む会	124	25	土	博物館講座室	沖縄県キャリアセンター/隣りゅうせきビジネスサービス「親のためのキャリア教育講演会」〜IT や AI の活用で仕事や働き方はこの先どう変わるのか。
87	18	土	博物館講座室	公文教育研究会那覇事務局 公文教育講演会	125	25	土	博物館実習室	開館 10 周年記念ミュージアムコンサート「蒼海の響き」設営・リハーサル
88	18	土	博物館実習室	開館 10 周年関連記念講演「成長する物語-済州島 の漂着琉球王子殺害事件-」 第 2 会場	126	25	土	県 民 アトリエ	SCSK ニアショアシステムズ㈱ CAMP 沖縄開催 クリケットワークショップ
89	18	土	県 民アトリエ	アートミュージアムキッズスクール	127	25	土	スタジオ	沖縄県ユネスコ協会/一般社団法人ユネスコ協会連盟 民間ユネスコ70周年記念 2017年度九州ブロックユネスコ活動研究会 in 沖縄
90	18	土	スタジオ	NPO 法人沖縄語普及協議会 沖縄語講座	128	25	土	美術館 講座室	孝情ヒーリングセンター希望の講演会(真の家庭 は正しい先祖供養から)
91	18	土	美術館講座室	OKINAWA 型中古住宅流通研究会/㈱クロトン 空き家物件の民泊活用セミナー	129	25	土	美術館講座室	沖縄県文化協会 しまくとうば普及人材養成講座
92	18	土	こどもアトリエ	アートミュージアムキッズスクール	130	25	土	こどもアトリエ	SCSK ニアショアシステムズ㈱ CAMP 沖縄開催 クリケットワークショップ
93	19	Ħ	共 有 當	真の家庭運動推進沖縄協議会(APTF) 家庭講演 会	131	25	土	エントランス ホール	平成 29 年度 沖縄県芸術文化祭 モデル撮影会 【体験教室】
94	19	Ħ	共 有 堂	NPO 法人日本ホリスティック医学協会 南日本支 部沖縄事務局 開設 5 周年記念講演	132	26	H	エントランス ホール	蒼海の響き エントランスコンサート
95	19	日	共 有 堂	T.DanceFactory 発表会 リハーサル	133	26	F	博物館講座室	NPO 法人統合医療と健康を考える会 がん治療の鍵 講演会
96	19	Ħ	博物館講座室	琉球大学産学部付属病院がんセンター/国立大学法人琉球大学長 がん後悔しないための「ヘルスリテラシーてなんだ?」	134	26	H	博物館実習室	エントランスコンサート 控室
97	19	Ħ	博物館講座室	NPO 法人日本ホリスティック医学協会南日本支 部沖縄事務局開設 5 周年記念講演	135	26	F	県 民アトリエ	SCSK ニアショアシステムズ㈱CAMP 沖縄開催クリケットワークショップ
98	19	目	スタジオ	VISTA JAPAN	136	26	Ħ	美術館 離座室	㈱Hobby World Marine 沖縄 地方創生は海洋創生
99	19	Ħ	美術館 産室	ビオライズ㈱ コンプライアンスセミナー	137	26	П	こどもアトリエ	SCSK ニアショアシステムズ㈱CAMP 沖縄開催クリケットワークショップ
100	19	Ħ	こ ど も アトリエ	石こう版画の会	138	28	火	博物館講座室	NPO 法人サイバー絆研究所 沖縄で参加型ヘルスケアを考える
101	19	日	エントランス ホ ー ル	沖縄県芸術文化祭 似顔絵体験教室	139	28	火	スタジオ	RGC㈱ 第4回琉球ガラス有識者委員会
102	21	火	共 有 営	㈱JOBBANK 防災関係講演会	140	28	火	美術館 産室	沖縄観光コンベンションビュローうちな一観光道 場 58 案内人(研修)
103	21	火	博物館講座室	沖縄総合事務局公正取引室 下請取引適正化推進 講習会	141	29	水	博物館講座室	農林水産・食品産業技術振興協会/沖縄農業研究会 アグリ技術シーズセミナーin 沖縄
104	21	火	博物館実習室	民具体験(自主)/翔南小学校	142	29	水	博物館実習室	民具体験
105	21	火	美術館講座室	一般財団法人ヤマハ音楽振興会 2017 年度 ヤマ ハ学習者グレード試験官更新研修会	143	29	水	美術館 華座室	公益社団法人北那覇法人会 自動点検チェックシート活用法及び消費税の軽減率制度対策研修会
106	22	水	共 有	沖縄国税事務所/沖縄県工業技術センター/独立行政法人酒類総合研究所泡盛 サイエンス&カルチャーセミナー~泡盛の香りと文化を楽しむ教養講座~	144	30	木	共 有 當	ブルームーンパートナーズ㈱ 「ザ・メカルトー クショー2017 Vol.1」
107	22	水	博物館講座室	サンワコムシスエンジニアリング(株 サンコム安 全衛生協議会	145	30	木	博物館講座室	人形劇団トロイメライ 人形げきトロイメライ よみきかせ交流会
108	22	水	博物館 実習室	琉球三線楽器保存育成会/博物館班 三線鑑定会	146	30	木	博物館 実習室	民具体験
109	22	水	スタジオ	リッチウェイアンドライフジャパン㈱ 知って徳 する健康講座	147	30	木	博物館 実習室	㈱ビドゥー 美容・健康 勉強会
110	22	水	美術館講座室	公益社団法人全国労働基準関係団体連合会沖縄県支部/一般社団法人沖縄県労働 基準協会 基礎から学ぶ労務管理ポイント~従業員をやめさせない労働管理の工夫~	148	30	木	スタジオ	My Piece Art Project 展示
111	23	木	共 有 當	東京理科大学理窓会沖縄支部/東京理科大学こうよう 会沖縄支部 小林宏教授(東京理科大学)学術講演会	149	30	木	美術館 産室	ワールドアドベンチャーズ 海外旅行を安く行く 会
112	23	木	共 有 講 堂	ピアノ教室"わ"発表会	150	30	木	美術館県民 キ゛ャラリー 2	My Piece Art Project 展示
113	23	木	博物館 講座室	自治労沖縄県本部 九州地連介護福祉集会の企画 会議	151	30	木	美術館県民 キ゛ャラリ-3	My Piece Art Project 展示
114	23	木	エントランス ホ ー ル	県芸大コンサート リハーサル	152	1 (7 12 (	k) ~ (木)	エントランス ホ ー ル	一般財団法人沖縄美ら島財団 美術館絵画コンク ール

No.	Ħ	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)	No.	H	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)
153	1 (7 12 (	k) ~ 木)	美術館県民 キ*ャラリー1	アートキャンプ 2017「素材の大砲」展	160	14 (½ 29 (	.,	美術館県民 キ*ャラリー1	沖縄県芸術文化祭
154	1 (7 12 (	k) ~ 木)	美術館県民 キ*ャラリー2	アートキャンプ 2017「素材の大砲」展	161	14 (9 29 (	k) ~ 水)	美術館県民 キ゛ャラリー 2	沖縄県芸術文化祭
155	1 (z 12 (	k) ~ 木)	美術館県民 キ*ャラリー3	アートキャンプ 2017「素材の大砲」展	162	14 (y 29 (	k) ~ 水)	美術館県民 キ゛ャラリー3	沖縄県芸術文化祭
156	1 (7 12 (	k) ~ 木)	美術館企画 キ*ャラリー1	THEO JANSEN 沖縄展覧会 in 沖縄	163	15 ( <i>7</i> . 28 (		美術館企画 キ゛ャラリー 1	第 46 回沖縄県芸術文化祭
157	1 (z 12 (	k) ~ 木)	美術館企画 キ*ャラリー2	THEO JANSEN 沖縄展覧会 in 沖縄	164	15 (7 28 (	k) ~ 火)	美術館企画 キ゛ャラリー 2	第 46 回沖縄県芸術文化祭
158	1 (z 30 (	k) ~ 木)	博物館	開館 10 周年記念特別展 「海の沖縄 開かれた海 への挑戦」	165	29 (7 30 (		美術館企画 ギャラリー1	第9回沖縄ねんりんピック かりゆし美術展
159	1 ( <i>z</i> . 30 (	k) ~ 木)	博 物 館 特別展示室	開館 10 周年記念特別展 「海の沖縄 開かれた海 への挑戦」	166	29 ( <i>7</i> 30 (		美術館企画 キ゛ャラリー 2	第9回沖縄ねんりんピック かりゆし美術展

# 【2017年12月】

No.	Ħ	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)	No.	Ħ	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)
1	1	金	博物館講座室	NPO 法人おきなわグリーンネットワーク/おきなわアジェンダ 21 県民会議 シンポジウム赤土等対策の協働取組による"美ら島・美ら海"を未来へ	30	9	土	スタジオ	NPO 法人沖縄語普及協議会 沖縄語講座
2	1	金	美術館 産室	㈱BowL 学習する組織入門セミナー	31	9	土	博物館 実習室	博物館開館 10 周年記念「海洋資源を採取せよ!小型 ROV 操縦体験」 控室
3	1	金	美術館 講座室	美術館 海邦高校の土曜講座	32	9	土	美術館 産室	沖縄県文化協会 しまくとうば普及人材養成講座
4	1	金	共 有 営	沖縄県社会福祉協議会 第9回 ねんりんピック かりゆし美術展 表彰式 準備	33	9	土	県 民 アトリエ	八重山高校郷土芸能部 第 41 回 沖縄県高総文化 祭郷土芸能 練習
5	2	土	共 有 堂	沖縄県社会福祉協議会 第9回 ねんりんピック かりゆし美術展 表彰式	34	10	H	県 民 アトリエ	八重山高校郷土芸能部 第 41 回 沖縄県高総文化 祭郷土芸能 練習
6	2	土	共 有 堂	美術館開館 10 周年記念展「彷徨の海」「邂逅の海」関連 催事 映像アーカイヴと沖縄(2)上映・トークショー	35	9	土	こ ど も アトリエ	八重山高校郷土芸能部 第 41 回 沖縄県高総文化 祭郷土芸能 練習
7	2	土	博物館 講座室	一般財団法人沖縄美ら島財団 沖縄ザトウクジラ 会議 2017	36	10	日	こ ど も アトリエ	八重山高校郷土芸能部 第 41 回 沖縄県高総文化 祭郷土芸能 練習
8	2	土	博物館 講座室	平成 29 年度 博物館学芸員講座「雲版」が語る尚 泰久時代	37	10	日		沖縄県立博物館・美術館 ドキュメンタリー映画上映+ラウンドテーブル ドキュメンタリー映画『ヤナス 女、機、宝の物語イタリア、サルディーニャ島の織物を巡る旅』
9	2	土	美術館 産室	NPO 法人沖縄語普及協議会 沖縄語講座	38	10	日	共有正面 玄関雨端	博物館開館 10 周年記念「海洋資源を採取せよ!小型 ROV 操縦体験」
10	3	日	共 有 堂	一般社団法人沖縄県発明協会 第 34 回未来の科学 の夢絵画展 表彰式	39	10	日	博物館 産室	EIGO 那覇校 第7回 EIGO コンテスト
11	3	田	共 有 営	沖縄県立博物館・美術館 10 周年特別展関連講座 -未来につながる海の利用-	40	10	日	博物館 実習室	博物館開館 10 周年記念「海洋資源を採取せよ!小型 ROV 操縦体験」 控室
12	3	Ш	講 堂 前 ホワイエ	開館 10 周年記念講座関連展示	41	10	日	美術館 産室	公益社団法人日本リウマチ友の会沖縄支部 療養 講演会・相談会
13	3	日	博物館 講座室	沖縄県立博物館・美術館 10 周年特別展関連講座 -未来につながる海の利用- 第2会場	42	10	日	美術館 産室	一般社団法人沖縄県美術家連盟 理事会
14	3	H	美術館 講座室	(一社)表千家同門会沖縄県支部 表千家教授者連絡会及び勉強会	43	12	火	共 有 堂	総務省沖縄総合通信事務所/沖縄情報通信懇談会 沖縄デジタル映像祭 2017 上映会・セミナー・授賞式
15	3	Ħ	美術館 産室	沖縄映画研究会 第2回研究発表会	44	12	火	博物館 藤座室	沖縄県雇用政策課/㈱りゅうせきビジネスサービ ス 新規学卒者パワフルサポートプログラム
16	5	火	博物館 講座室	㈱求人おきなわ ジョーナビ新卒 2019 就活ビギ ナーワークショップ&交流会	45	12	火	博物館 実習室	博物館「鳥の剥製製作実習」
17	5	火	博物館 実習室	一般財団法人沖縄美ら島財団 民具体験	46	12	火	県 民 アトリエ	芭蕉布句会 俳句の勉強会
18	5	火	美術館 産室	(㈱琉球新報開発 グローバル人材育成セミナー	47	12	火	美術館 産室	沖縄観光コンベンションビュローうちな一観光道 場 58 案内人(研修)
19	5	火	こ ど も アトリエ	美術館ワークショップ打合せ	48	13	水	博物館 灘座室	サンワコムシスエンジニアリング㈱ 700MHz 講習会
20	6	水	博物館 講座室	沖縄総合事務局公正取引室 入札談合等関与行為 防止法に関する研修会	49	13	水	博物館 実習室	博物館「鳥の剥製製作実習」
21	6	水	博物館 実習室	一般財団法人沖縄美ら島財団 民具体験	50	13	水	美術館 産室	JPPVR㈱ VR 普及勉強会
22	6	水	美術館 産室	美術館へ行こう 控室	51	14	木	共 有 講 堂	ブルームーンパートナーズ㈱「ザ・メカルトーク ショー2017 Vol.2」
23	6	水	美術館 講座室	一般財団法人沖縄美ら島財団 見学及び説明会	52	14	木	博物館 実習室	那覇市立小禄南小学校/民具体験・オリエンテーション (自主学習)
24	8	金	共 有 営	T.DanceFactory スタジオパフォーマンス 準備	53	15	金	エントランス ホ ー ル	博物館班/沖縄県交流推進課 世界ウチナンチュ 一大会 パネル展
25	8	金	博物館 実習室	一般財団法人沖縄美ら島財団 民具体験	54	15	金	共 有 當	IT コーディネーター沖縄 IT 経営カンファレン ス 2017in 沖縄 冬
26	8	金	美術館 講座室	智創クラブ 勉強会	55	15	金	博物館 講座室	オリエンテーション/星槎国際高等学校
27	9	土	共 有 當	T.DanceFactory スタジオパフォーマンス (発表会)	56	15	金	博物館溝座室	沖縄県高等学校文化連盟美術・工芸部門 第1回全九州 高等学校総合文化祭(沖縄大会)ワークショップ準備
28	9	土	正面玄関 雨 端	博物館開館 10 周年記念「海洋資源を採取せよ!小型 ROV 操縦体験」	57	15	金	博物館 実習室	博物館「記者発表」
29	9	土	博物館講座室	早稲田大学地域・地域間研究機構 制度と権利のあり方を問い直す:国際政治と草の根の視点から	58	15	金	県 民アトリエ	沖縄県造形教育連盟/美術館班

No.	Ħ	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報 (申込者)	No.	Ħ	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)
59	15	金	こ ど も アトリエ	沖縄県造形教育連盟/美術館班	88	23	土	こ ど も アトリエ	石こう版画
60	16	土	エントランス ホ ー ル	博物館班/沖縄県交流推進課 世界ウチナンチュ 一大会パネル展	89	24	Ħ	共 有 営	ライリッシュ·オカリナ連盟沖縄県那覇支部 お とだまコンサート
61	16	土	共 有 當	平成 29 年度 博物館文化講座・シンポジウム 「宮古島の人類史を探る!」	90	24	Ħ	博物館講座室	㈱テノ.サポート 沖縄県子育て支援員研修
62	16	土	博物館 講座室	九州高等学校文化連盟・沖縄県高等学校文化連盟 第1 回全九州高等学校総合文化祭(沖縄大会)ワークショップ	91	24	日	美術館 産室	㈱Hobby World Marine 沖縄 講演会「地方創生は 海洋創生」
63	16	土	博物館 講座室	公益財団法人笹川平和財団 ウルワシ・ブタリア氏と語る会「沈 黙の向こう側」-インド・女性に対する暴力と女性たちの歴史	92	26	火	美術館講座室	サンワコムシスエンジニアリング㈱ FTTH 安全 衛生協議会
64	16	土	博物館 実習室	一般財団法人沖縄美ら島財団総合研究センター 植物自然 史講座(連続講座) おとなのためのやさしい植物学講座	93	27	水	博物館 実習室	琉球三線楽器保存育成会/博物館班 三線鑑定会
65	16	土	県 民 アトリエ	美術館アートミュージアムキッズスクール	94	27	水	県 民 アトリエ	インテリアン DIY 体験会
66	16	土	美術館 講座室	九州高等学校文化連盟・沖縄県高等学校文化連盟 第1回 全九州高等学校総合文化祭(沖縄大会)美術・工芸部門控室	95	1 ( <u>\$</u>	È) ~ 目)	スタジオ	My Piece Art Project 第8回 小さな絵本展 Vol.8
67	16	土	こ ど も アトリエ	美術館班 アートミュージアムキッズスクール	96	1 ( <u>{</u>	È) ~ 日)	美術館県民 キ*ャラリー1	一般社団法人沖縄県発明協会 第 34 回未来の科 学の夢絵画展
68	17	B	エントランス ホ ー ル	博物館班/沖縄県交流推進課 世界ウチナンチュ 一大会パネル展	97	3 (		美術館県民 キ*ャラリー2	My Piece Art Project 第8回 小さな絵本展 Vol.8
69	17	Ħ	共	真の家庭運動推進沖縄協議会(APTF 沖縄) 家庭 講演会	98	3 (		美術館県民 キ*ャラリー3	My Piece Art Project 第8回 小さな絵本展 Vol.8
70	17	Ħ	博物館 講座室	公益財団法人笹川平和財団 「ウルワシ・ブタリ ア氏」会合	99	1 ( <u>{</u>	è)~ 日)	美術館企画 キ゛ャラリー 1	沖縄県社会福祉協議会 第9回沖縄ねんりんピック かりゆし美術展
71	17	Ħ	博物館講座室	「まぶいぐみ」実行委員会「まぶいぐみ」連続写真展 「日本復帰 45 年・沖縄写真の現在」トークイベント	100	1 ( <u>4</u> 10 (	è)~ 日)	美術館企画 ギャラリー2	沖縄県社会福祉協議会 第9回沖縄ねんりんピック かりゆし美術展
72	17	Ħ	美術館 講座室	沖縄県文化協会 しまくとうば普及人材養成講座	101	1 (₹ 28 (	è)~ 木)	博 物 館 企画展示室	開館 10 周年記念特別展 「海の沖縄 開かれた海 への挑戦」
73	19	火	博物館 講座室	一般財団法人沖縄美ら島財団美ら海水族館園外販 売券企業説明会	102	1 (₹ 28 (	è)~ 木)	博 物 館 特別展示室	開館 10 周年記念特別展 「海の沖縄 開かれた海 への挑戦」
74	19	火	博物館講座室	琉球びんがた事業協同組合 沖縄伝統工芸産業の活性 化プロジェクトに向けたセミナー及びワークショップ	103	5 (± 10 (	く) ~ 目)	美術館県民 キ゛ャラリー 1	安慶名光哉 山岸遼士 しずかな風、あたたかな 匂い
75	19	火	美術館 講座室	大原学園 ジョブカード講習事務局 ジョブカー ド講習	104	5 (± 10 (	く) ~ 目)	美術館県民 キ*ャラリー2	第 20 回沖縄県真弓書道展
76	20	水	博物館 講座室	公益財団法人日本賃貸住宅管理協会上級相続支援 コンサルタント講習	105	5 () 10 (	く) ~ 目)	美術館県民 ギャラリー3	第 20 回沖縄県真弓書道展
77	20	水	美術館 講座室	大原学園 ジョブカード講習事務局 ジョブカー ド講習	106	12 (y 28 (	t) ~ 木)	美術館企画 ギャラリー 1	開館 10 周年特別企画 「邂逅の海-1980 年代以 降の沖縄美術の展開」
78	20	水	博物館 実習室	協同組合沖縄産業計画「県内企業の優先活用等実 態調査」連絡会議	107	12(タ 28(	く) ~ 木)	美術館企画 キ゛ャラリー 2	開館 10 周年特別企画 「邂逅の海-1980 年代以 降の沖縄美術の展開」
79	21	木	共 有 講 堂	一般社団法人沖縄県測量建設コンサルタンツ協会 平成 29 年度上下水道技術講習会	108	13 ( <i>7</i> . 17 (	k) ~ 目)	スタジオ	九州高等学校文化連盟/沖縄県高等学校文化連盟 第1回 全九州高等学校総合文化祭(沖縄大会)美術・工芸部門
80	21	木	美術館 講座室	サンワコムシスエンジニアリング㈱ サンコム安 全衛生協議会	109	17 (		美術館県民 ギャラリー 1	沖縄県高等学校文化連盟美術・工芸部門 第1回全九 州高等学校総合文化祭(沖縄大会)美術・工芸部門
81	22	金	美術館 講座室	㈱ライフアカデミー/㈱イスラン 健康セミナー	110	17 (		キ゛ャラリー 2	
82	22	金	美術館 講座室	ギャラリーラファイエット 表現の自由を考える 勉強会	111	17 (			九州高等学校文化連盟/沖縄県高等学校文化連盟 第1回 全九州高等学校総合文化祭(沖縄大会)美術・工芸部門
83	23	土	エントランス ホ ー ル	一般財団法人沖縄美ら島財団 総合研究センター 活動報告パネル展示及び体験学習・工作体験	112	19 (± 23 (	と) ~ 土)	スタジオ	一般社団法人沖縄しまたて協会 中学生写真コンクール 2017 ~ 第7回沖縄ふるさとづくりコンクール~
84	23	土	共 有 糞	ピアノ教室 あすういん 第7回発表会	113	24 (		美術館県民 ギャラリー 1	沖縄県立浦添工業高等学校インテリア科卒業作品 展
85	23	土	博物館講座室	一般財団法人沖縄美ら島財団 総合研究センター活動 報告会「美ら島再発見~動物、植物、琉球文化から迫る」	114	21 (7 24 (	た)~ 月)	美術館県民 キ*ャラリー2	沖縄県立浦添工業高等学校インテリア科 卒業作 品展
86	23	土	博物館 実習室	孝情ヒーリングセンター 希望の講演会(真の家 庭は正しい先祖供養から)	115	21 (7 24 (	た)~ 月)	美術館県民 キ゛ャラリー 3	沖縄県立浦添工業高等学校インテリア科 卒業作 品展
87	23	土	美術館 講座室	NPO 法人沖縄語普及協議会 沖縄語講座					

# 【2018年1月】

_									
No.	B	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)	No.	H	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)
1	5	金		全国共済農業協同組合連合会沖縄本部 平成 29 年度 JA 共済全国小・中学生書道交通安全ポスター表彰式	8	7	F	スタジオ	NPO 法人 HIV 人権ネットワーク沖縄/那覇市 人権フォーラム 2018m 那覇 控室
2	6	土		全国共済農業協同組合連合会沖縄本部 平成 29 年度 JA 共済全国小・中学生書道交通安全ポスター表彰式	9	7	H	美術館 産室	一般財団法人美ら島財団 総合研究センター 沖縄美ら島 財団所蔵の染織資料調査報告-織と染めのサイエンス-
3	6	土	博物館 講座室	㈱テノ. サポート 沖縄県子育て支援員研修	10	8	月	共 有 営	南GA-SHOW/木村あさぎ 映画 蹄 hizume 完成   披露上映会
4	6	土	美術館 華座室	経済教育ネットワーク/金融広報中央委員会/沖縄 県金融広報委員会 先生のための経済教室(沖縄)	11	10	水	博物館 藤座室	㈱JTB 沖縄/㈱JTB 首都圏 クルーズ サン・プリン セス 世界一周チャータークルーズ説明会
5	7	日	共 有 堂	NPO 法人 HIV 人権ネットワーク沖縄/那覇市 人権フォーラム 2018in 那覇	12	10	水	博物館 実習室	一般財団法人沖縄美ら島財団 民具体験
6	7	日	博物館講座室	㈱テノ. サポート 沖縄県子育て支援員研修	13	11	木	博物館 藤座室	㈱JTB 沖縄 第 131 回杜の賑わい沖縄 斡旋業務 説明会
7	7	目	博物館実習室	(㈱オペラ 仮想通貨セミナー	14	11	木	美術館 離 座室	㈱りゅうせきビジネスサービス ハイサイプロジェクト事務局 人事評価システム導入セミナー

No.	Ħ	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)	No.	Ħ	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)
15	12	金	博物館講座室	沖縄県企画部地域離島課/一般社団法人しまのわ 第4回 地域の世話役養成塾	53	21	Ħ	共 有	那覇市/那覇市文化協会 那覇市文化協会あけも どろ総合文化祭 琉球王朝禮樂部会発表会
16	12	金	博物館講座室	平成 30 年度沖縄国際物流拠点活用推進事業公募 説明会	54	21	Ħ	博物館講座室	㈱トリムフーズ 社員総会
17	12	金	博物館実習室	一般財団法人沖縄美ら島財団 民具体験	55	21	H	スタジオ	㈱クライス インターネット利用の勉強会
18	12	金	スタジオ	(株沖縄コングレ 沖縄県早期離職者定着支援事業) 定着支援セミナー	56	21	В	美術館 離座室	孝情ヒーリングセンター希望の講演会(真の家庭 は正しい先祖供養から)
19	12	金	美術館 華座室	沖縄県中小企業団体中央会(沖縄県交易促進協議 会 沖縄県交易促進協議会 第二回運営会議	57	23	火	県 民アトリエ	TV 沖縄 インターネット事業の勉強会
20	13	土	県 民アトリエ	インテリアン DIY 体験会(C100%)	58	23	火	博物館 講座室	サンワコムシスエンジニアリング㈱ 安全衛生協 議会
21	13	土	こ ど も アトリエ	石こう版画の会	59	23	火	美術館 産室	医療法人沖縄徳洲会 南部徳洲会病院 医療講演
22	13	土	共 有 當	美術館開館 10 周年記念展「彷徨の海」「邂逅の海」関連催事映像アーカイヴ と沖縄(3) 台湾映画上映会『日曜日の散歩者 わすれられた台湾詩人たち』	60	24	水	共 有 當	沖縄県工業教育研究会/美来工科高等学校 第28回沖縄県工業高等高校生徒研究成果発表大会及び第23回沖縄県工業高等学校生徒意見体験発表大会準備
23	13	土	博物館講座室	平成 29 年度 博物館学芸員講座「倭寇対策の城―約 50 0 年前に湊や村を倭寇からどのように守っていたのか」	61	24	水	博物館講座室	琉球銀行/堀下社会保険労務士事務所/TKC/税理 士法人添石綜合会計事務所経営支援セミナー2017
24	13	土	博物館 実習室	平石真由子 新次元思考テクノロジー ミロスセ ミナー	62	24	水	博物館 実習室	琉球三線楽器保存育成会/博物館班 三線鑑定会
25	13	土	美術館 蔣座室	沖縄の教育を良くする会 テレビ「生命の光」を 観る会	63	24	水	博物館 実習室	一般財団法人沖縄美ら島財団 民具体験
26	14	Ħ	美術館 講座室	一般社団法人沖縄県美術家連盟 理事会	64	24	水	美術館講座室	㈱エッカ商事 第1回 売掛金保証セミナー
27	14	H	美術館 産室	大鏡建設㈱ かりゆし倶楽部セミナー	65	24	水		行政書士法人なか/一般社団法人おきなわ安心サポート 県民 向け特別企画 相続遺言講座「会社の相続&個人の相続について」
28	16	火	博物館講座室	沖縄税理士会北那覇支部 確定申告研修会	66	25	木		沖縄県工業教育研究会/美来工科高等学校 第28回沖縄県工業高等高校生徒研究成果発表大会及び第23回沖縄県工業高等学校生徒意見体験発表大会
29	16	火	博物館 講座室	サンワコムシスエンジニアリング㈱ 700MHz 講習会	67	25	木	博物館 実習室	一般財団法人沖縄美ら島財団 オリエンテーション/仲西小学校
30	16	火	博物館 実習室	一般財団法人沖縄美ら島財団 民具体験	68	25	木	美術館 産室	沖縄県キャリアセンター/㈱りゅうせきビジネス サービス セミナー
31	17	水	共 有 講 堂	(㈱シネマ沖縄 シンポジウム 沖縄のアーカイブ 日本のアーカイブ 未来のアーカイブ	69	26	金	共	第34回日本毒性病理学会総会及び学術集会 琉球大学大学院医 学研究科腫瘍病理学講座 市民公開講座 (テーマ:食を考える)
32	17	水	博物館 講座室	公益財団法人日本賃貸住宅管理協会上級相続支援 コンサルタント講習	70	26	金	県 民 アトリエ	インテリアン DIY 体験会
33	17	水	美術館 講座室	㈱琉球新報開発 外国人在留資格セミナー	71	26	金	博 物 館 実 習 室	一般財団法人沖縄美ら島財団 民具体験
34	18	木	共	沖縄県土木建築部施設建築課 第6回 沖縄県アンダ ー40設計競技 ティーダフラッグス 2017 公開審査	72	26	金	博 物 館 実 習 室	博物館教育普及班 サンゴワークショップ打ち合 わせ
35	18	木	博物館 講座室	㈱りゅうせきビジネスサービス ハイサイプロジェク ト事務局 女性のための合同企業説明会&セミナー	73	26	金	美術館講座室	医療法人沖縄徳洲会 南部徳洲会病院 医療講演
36	18	木	博物館 実習室	一般財団法人沖縄美ら島財団 民具体験	74	26	金	美術館 講座室	沖縄県造形連盟/美術館班
37	18	木	スタジオ	(㈱シネマ沖縄 デジタル・アーカイブセミナー 国立国会 図書館デジタル・アーカイブ事業における沖縄の資料	75	27	土	共 有 當	学校法人アミークス国際学園 YEAH! AMICUS CLUB ~2nd Annual Joint Exhibition~
38	18	木	美術館 選座室	㈱りゅうせきビジネスサービス ハイサイプロジェクト事務局 求人票閲覧会	76	27	土	県 民 アトリエ	学校法人アミークス国際学園 YEAH! AMICUS CLUB ~2nd Annual Joint Exhibition~ 控室
39	18	木	美術館 講座室	公益社団法人北那覇法人会 1·2月決算法人説明 会	77	27	土	博物館 講座室	沖縄県高等学校教頭会・副校長会
40	18	木	こ ど も アトリエ	一般社団法人 創元会 沖縄支部 第77回 創元展に向けた実技研究会(2回目)	78	27	土	1.4 1.4 1.41	沖縄県/沖縄 NGO センター 1030!世界のウチナーンチュ の日関連イベント「世界中にあるたくさんのオキナワ」
41	19	金	こ ど も アトリエ	一般社団法人 創元会 沖縄支部 第77回 創元展に向けた実技研究会(2回目)	79	27	土	スタジオ	㈱Hobby World Marine 沖縄 講演会「地方創生は 海洋創生」
42	18	木	県 民アトリエ	一般社団法人 創元会 沖縄支部 第77回 創元展に向けた実技研究会(2回目)	80	28	Ħ	こ ど も アトリエ	美術館班 2017 年度 学生提案型企画「子どもの 貧困問題の解決」
43	19	金	県 民アトリエ	一般社団法人 創元会 沖縄支部 第77回 創元展に向けた実技研究会(2回目)	81	28	日	共 有 當	琉球新報社 第7回しんぶん感想文コンクール表 彰式
44	19	金	博物館講座室	沖縄県環境整備課/一般社団法人沖縄県産業廃棄物協会 産業廃棄物処理業者及び排出事業者に対する研修会	82	28	H	博物館講座室	医療法人新美会新垣形成外科/㈱あらかき美容医学研究所 分子栄養学講演会 それって、もしかして腸内細菌のせい!?
45	19	金	博物館 実習室	一般財団法人沖縄美ら島財団 民具体験・オリエンテーション/若狭小学校	83	28	Ħ	博物館講座 室	(公社)沖縄県柔道整復師会 平成 29 年度保険研修 会
46	19	金	美術館 講座室	沖縄県衣類縫製品工業組合 かりゆし品質検査ガ イドライン説明会	84	28	B	スタジオ	学校法人アミークス国際学園 YEAH! AMICUS CLUB ~2nd Annual Joint Exhibition~
47	19	金	美術館講座室	沖縄県造形教育連盟/美術館班	85	28	B	美術館講座室	家庭倫理の会那覇市 男性こんにちは倫理塾
48	20	土	こどもアトリエ	アートミュージアムキッズスクール	86	30	火	博物館 講座室	(株)りゅうせきビジネスサービス 求人票閲覧会& 求人票の見方セミナー
49	20	土	共 有 當	沖縄県/沖縄県文化協会 文化講座①琉球·奄美の 地域文化~「琉球の風」から「西郷どん」へ~	87	30	火	博物館実習室	一般財団法人沖縄美ら島財団 沖縄県立泡瀬特別 支援学校/オリエンテーション
50	20	土	県 民アトリエ	美術館 アートミュージアムキッズスクール	88	30	火	美術館講座室	盛和塾沖縄 総会&ブロック大会予行演習
51	20	土	博物館講座室	琉球大学国際研究所「感覚の記録」〜沖縄の言葉と文化を次世代に伝えるために。	89	31	水	共 有 堂	ブルームーンパートナーズ㈱ THE GATE OF SAION サイオンゲート 2018
52	20	土	博物館 実習室	一般財団法人沖縄美ら島財団総合研究センター 植物自然 史講座(連続講座) おとなのためのやさしい植物学講座	90	31	水	博物館 講座室	サンワコムシスエンジニアリング(株) FTTH 安全 衛生協議会

No.	Ħ	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)	No.	Ħ	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)
91	31	水	博物館 講座室	文教楽器㈱ 2018 年全体講師会	103	11 (オ 14 (		美術館県民 キ゛ャラリー3	沖縄県立小禄高等学校芸術教養コース 第 17 回小禄高等学校芸術教養コース発表会
92	31	水	博物館 実習室	博物館 開南小学校民具体験	104	16(タ 21(		美術館県民 キ゛ャラリー 3	仲宗根美智子展
93	31	水	美術館 産室	㈱ケイオーパートナーズ 「地域連携プラットフォーム事業」第4回コーディネーター研修	105	16 (タ 21 (		美術館県民 キ*ャラリー 2	創元会沖縄支部 第 14 回創元会 沖縄支部展
94	1 (J 21 (	引)~ 目)	博 物 館 企画展示室	開館 10 周年記念特別展 「海の沖縄 開かれた海 への挑戦」	106	16(タ 21(		美術館県民 ギャラリー1	創元会沖縄支部 第 14 回創元会 沖縄支部展
95	1 (月 21 (	引) ~ 目)	博 物 館 特別展示室	開館 10 周年記念特別展 「海の沖縄 開かれた海 への挑戦」	107	16(タ 31(		エントランス ホ ー ル	邂逅の海 映像上映
96	1 (J 31 (	引) ~ 水)	美術館企画 ギャラリー1	開館 10 周年特別企画 「邂逅の海-1980 年代以 降の沖縄美術の展開」	108	23 ( <i>)</i> 31 (	• /	博 物 館 特別展示室	大嶺薫コレクション展 準備
97	1 (J 31 (	引) ~ 水)	美術館企画 ギャラリー2	開館 10 周年特別企画 「邂逅の海-1980 年代以 降の沖縄美術の展開」	109	26(全 28(		美術館県民 キ゛ャラリー 1	専修学校インターナショナルデザインアカデミー 高等課程 IDA 高等課程 卒業・修了製作展
98	5 ( <u>4</u> 7 (	È) ~ 目)	2 - 111111111111	全国共済農業協同組合連合会沖縄本部「平成 29 年度 JA 共済全国小・中学生書道交通安全ポスター沖縄県コンクール展示会」	110	27 (± 28 (		美術館県民 キ゛ャラリー 2	学校法人アミークス国際学園 YEAH! AMICUS CLUB ~2nd Annual Joint Exhibition~
99	5 (₫ 7 (	È) ~ 目)		全国共済農業協同組合連合会沖縄本部「平成 29 年度 JA 共済全国小・中学生書道交通安全ポスター沖縄県コンクール展示会」	111	27 (± 28 (		美術館県民 キ*ャラリー3	学校法人アミークス国際学園 YEAH! AMICUS CLUB ~2nd Annual Joint Exhibition~
100	5(组 7(	È) ~ 目)		全国共済農業協同組合連合会沖縄本部「平成 29 年度 JA 共済全 国小・中学生書道交通安全ポスター沖縄県コンクール展示会」	112	30 (タ 31 (		美術館県民 キ゛ャラリー 1	グループ P(東恩納) 第 24 回 グループ P
101	11 (オ 14 (		美術館県民 ギャラリー1	沖縄県立小禄高等学校芸術教養コース 第17回小禄高等学校芸術教養コース発表会	113	30(少 31(		美術館県民 キ゛ャラリー 2	グループ P(東恩納) 第 24 回 グループ P
102	11 (オ 14 (		美術館県民 キ゛ャラリー 2	沖縄県立小禄高等学校芸術教養コース 第 17 回小禄高等学校芸術教養コース発表会	114	30 () 31 (		美術館県民 キ*ャラリー3	沖縄県写真協会・ミャンマー写真協会 交流写真 展

# 【2018年2月】

V D O T	)十4,	7 4						1	
No.	Ħ	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)	No.	Ħ	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)
1	1	木	こ ど も アトリエ	沖縄県立博物館・美術館/国立科学博物館 博物館資料に関する製作等研修	25	6	火	共	
2	1	木	共 有 堂	国立大学法人琉球大学農学部/㈱バイオジェット 公開シン ポジウム 琉球泡盛黒麹菌と沖縄〜黒麹菌の源流を追って〜	26	6	火	共 有 堂	沖縄こども専門学校 ほいくはっぴょうかい 「ハイサーイ☆こどもんシアター」 リハーサル
3	1	木	県 民 アトリエ	沖縄県立博物館・美術館/国立科学博物館 博物館 資料に関する製作等研修	27	6	火	博物館 華座室	沖縄県行政書士会 沖縄県行政書士会 講演会
4	1	木	博物館 実習室	民具体験	28	6	火	美術館 華座室	辻・本郷税理士法人沖縄事務所 平成30年度税制 改正セミナー
5	1	木	美術館 産室	尚学院国際ビジネスアカデミー SIBA 制作映画 上映会	29	7	水	こ ど も アトリエ	三菱 UFJ リサーチアンドコンサルティング㈱ 沖縄県の高等教育に関する有識者ヒアリング
6	1	木	美術館 産室	沖縄県文化観光スポーツ部スポーツ振興課/㈱宣伝 平成 29 年度沖縄県スポーツ関連産業振興戦略推進委員会	30	7	水	スタジオ	沖縄県衣類縫製品工業組合 下請取引きに関する 事例勉強会
7	2	金	共 有 堂	沖縄総合事務局/㈱環境エネルギー総合研究所 平成 29 年度 エネルギー使用合理化シンポジウム	31	7	水	共 有 當	沖縄県保健医療部衛生薬務課 第 42 回沖縄県食 肉衛生技術研修会
8	2	金	共 有 堂	一般社団法人日本電気協会 沖縄支部/沖縄電気安全・使用 合理化委員会 エネルギー管理優良工場等表彰式&講演会	32	7	水	県 民アトリエ	沖縄県保健医療部衛生薬務課 第 42 回沖縄県食 肉衛生技術研修会
9	2	金	博物館 講座室	沖縄県文化観光スポーツ部スポーツ振興課/㈱宣伝 沖縄県スポーツ関連産業振興戦略推進事業シンポジウム	33	7	水	博物館 産室	㈱りゅうせきビジネスサービス ハイサイプロジェクト事務局シニアのための合同企業説明会&セミナー
10	2	金	博 物 館 実 習 室	民具体験	34	7	水	博物館 実習室	民具体験
11	3	土	こ ど も アトリエ	Dアカデミー沖縄那覇1校/㈱MIKATA 総会	35	7	水	美術館 産室	㈱りゅうせきビジネスサービス ハイサイプロジェクト事務局 求人票閲覧会
12	3	土	共 有	開館 10 周年記念展 関連催事IVシンポジウム「彷徨の海」「邂逅の海」	36	8	木	スタジオ	沖縄こども専門学校 ほいくはっぴょうかい「ハ イサーイ☆こどもんシアター」 控室
13	3	土	共	那覇市/㈱ワンスペース/ブルームーンパートナーズ㈱ 学生の「直球質 問」にすべて答える 120 分!!IT 若手エースのまじめな話し リハーサル	37	8	木	共 講 堂	沖縄こども専門学校ほいくはっぴょうかい「ハイ サーイ☆こどもんシアター」 リハーサル
14	3	土	博物館 講座室	平成 29 年度 博物館学芸員講座「学芸員の日常と 研究-美術工芸入門編-」	38	8	木	博物館 講座室	㈱ケイオーパートナーズ 平成 29 年度 未来の 産業人材育成事業 第 2 回合同会議
15	3	土	美術館 講座室	闹フタバ FIZZ 地域ブロック勉強会	39	8	木	博物館 実習室	民具体験
16	3	土	美術館講座室	尚学院国際ビジネスアカデミー 2018 年度留学 説明会及び短期留学報告会	40	8	木	美術館講座室	サンワコムシスエンジニアリング㈱ 700TV 緊急 安全周知
17	4	日	スタジオ	ミキ・ワールド沖縄 食育の勉強会	41	8	木	美術館講座室	沖縄県保険医療部地域保健課/琉球大学医学部附属病院肝 疾患相談室沖縄県肝炎医療コーディネーターミーティング
18	4	Ħ	共	真の家庭運動推進沖縄協議会(APTF) 家庭講演 会	42	9	金	こ ど も アトリエ	美術館班 入札
19	4	Ħ	共 有 堂	沖縄県企画調整課/国際連合大学/琉球大学 水から考える SDGs×沖縄・島じまの挑戦 2018	43	9	金	スタジオ	沖縄こども専門学校 ほいくはっぴょうかい「ハ イサーイ☆こどもんシアター」 控室
20	4	日	県 民アトリエ	沖縄タロット占い師 琉月 バレンタイン企画 男性をキュンとさせる! 眉メイクと恋の願いを叶えるアンシェントメモリーオイル	44	9	金	共 有 當	沖縄こども専門学校 ほいくはっぴょうかい「ハ イサーイ☆こどもんシアター」
21	4	日	博物館 講座室	相ライブアップ 「効果的なお金の貯め方・増や し方」〜おさえておきたい金融商品の基礎知識〜	45	9	金	共 有 當	琉球大学ゆい健康プロジェクト 第6回 ゆいけ んセミナー
22	4	Ħ	博物館 実習室	沖縄県企画調整課/国際連合大学/琉球大学 水から 考える SDGs×沖縄・島じまの挑戦 2018 託児所	46	9	金	県 民アトリエ	美術館班 入札
23	4	Ħ	美術館講座室	ビオライズ㈱ BIORISE オープンセミナー	47	9	金	博物館 講座室	㈱SRJ プレゼンツ教育講演会 in 沖縄
24	6	火	スタジオ	沖縄こども専門学校 ほいくはっぴょうかい「ハ イサーイ☆こどもんシアター」 控室	48	9	金	博物館 実習室	糸満市立糸満小学校/オリエンテーション

No.	Ħ	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報 (申込者)	No.	B	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)
49	9	金	博物館実習室	一般財団法人沖縄美ら島財団 会議	87	17	土	博物館 屋外展示場	   旧正月はおきみゅーへ行こう! 『民家でぶくぶく   茶を楽しもう!!!』
50	9	金	美術館講座室	公益社団法人北那覇法人会 営業セミナー	88	17	土	博物館講座室	沖縄県高等学校教会頭・副校長会
51	10	土	共有業	地方独立行政法人那覇市立病院 平成 29 年度 第 2回 がんフォーラム「がんと就労」	89	17	土	博物館講座室	沖縄県立芸術大学附属研究所/琉球新報社平成29年度 沖縄県立芸術大学 しまくとうば実践教育開発プログラム事業 報告会― しまくとうばで学ぶ
52	10	土	県 民 アトリエ	インテリアン DIY 体験会	90	17	土	博物館実習室	一般財団法人沖縄美ら島財団総合研究センター 植物自然 史講座(連続講座) おとなのためのやさしい植物学講座
53	10	土	博物館講座室	公益社団法人映像文化製作者連盟/㈱シネマ沖縄 映文連アワード 2017 受賞作品上映会 in 沖縄	91	17	土	美術館講座室	第4回 美術館学芸員講座「沖縄アート遊具」の 開発について
54	10	土	美術館講座室	一般財団法人日本科学技術連盟/㈱シーヴィ・コンベンション JSTQB認定テスト技術者資格FL試験	92	17	±.	美術館講座室	旧正月はおきみゅーへ行こう! 『沖縄の民話の語 り(しまくとうば体験)』
55	11	H	スタジオ	山極海嗣 研究会「東シナ海南部島嶼地域を巡る 先史時代のヒト・モノの動き」	93	18	В	こどもアトリエ	一般財団法人沖縄美ら島財団 旧正月はおきみゅ ーへ行こう! 控室
56	11	Ħ	共 有	園ピアノ教室 合同ピアノ発表会	94	18	Ħ	スタジオ	沖縄県立芸術大学 美術工芸学部・大学院造形芸術 研究科 第29回 卒業・修了作品展
57	11	目	博物館 講座室	大学コンソーシアム沖縄/沖縄県立看護大学 平成29年度大学コン ソーシアム沖縄公開講座「がんと共に生きる人々を支えるケア」	95	18	В	共	Aiko ピアノ教室 ピアノ発表会
58	11	B	美術館講座室	沖縄朝鮮友好の会「反帝・自主・平和・連帯のた めのシンポジウム」	96	18	В	共有正面 玄関雨端	旧正月はおきみゅーへ行こう!『トコトコ歩くイ ヌのおもちゃづくり(ワークショップ)』
59	12	月	スタジオ	沖縄県立芸術大学 美術工芸学部・大学院造形芸術 研究科 第29回 卒業・修了作品展 準備	97	18	В	県 民 アトリエ	いろんな場所で生まれる美術 人はなぜ学ぶの か、どう学ぶのか
60	12	月	共 有 當	NPO 法人小学校英語指導者認定協議会 小学校 英語活動フォーラム	98	18	Ħ	博 物 館 屋外展示場	旧正月はおきみゅーへ行こう! 『民家でぶくぶく 茶を楽しもう!!!』
61	12	月	美術館 産室	㈱ウェルケア沖縄内認知症ケア実践研究会 認知症になっても幸せに生きられる社会を構築するための講演会 vol.4	99	18	В	博 物 館 講 座 室	名桜大学総合研究所 名桜大学総合研究所出張講座 文学と場所-<切っ先>としての「やんばる」
62	14	水	こ ど も アトリエ	沖縄経済同友会 地域・経済活性化委員会「富裕 層ビジネスとアート」	100	18	Ħ	博物館 産室	旧正月はおきみゅーへ行こう!『首里城のお正月 (特別講座)』
63	14	水	スタジオ	沖縄県立芸術大学 美術工芸学部・大学院造形芸術 研究科 第29回 卒業・修了作品展	101	18	Ħ	博物館 実習室	沖縄県立芸術大学 美術工芸学部・大学院造形芸術 研究科 第29回 卒業・修了作品展 ワークショップ
64	14	水	県 民 アトリエ	沖縄経済同友会 地域・経済活性化委員会「富裕 層ビジネスとアート」	102	18	Ħ	博物館 実習室	旧正月はおきみゅーへ行こう!『トコトコ歩くイ ヌのおもちゃづくり(ワークショップ)』 控室
65	14	水	博物館講座室	三井生命保険㈱ 建築士様向け【フラット35】セミナー	103	18	B	美術館講座室	㈱照正組 第112回賃貸アパート経営セミナー
66	14	水	博物館 講座室	サンワコムシスエンジニアリング㈱ 700MHz 講習会	104	23	金	こ ど も アトリエ	㈱アフロゾーンジャパン セミナー
67	14	水	美術館 講座室	盛和塾沖縄 自主例会	105	23	金	共 講 堂	琉球大学総合企画戦略部地域連携推進課 文部科学省「地(知)の拠点整備事業(大学 COC 事業)」「ちゅら島の未来を創る知の津梁」総括シンポジウム
68	14	水	美術館 講座室	(㈱沖縄コングレ 沖縄県早期離職者定着支援事業 定着支援セミナー	106	23	金	共 有 當	沖縄県アジア経済戦略課/㈱サン・エージェンシー アジケイコンペ準備
69	15	木	スタジオ	沖縄県立芸術大学 美術工芸学部・大学院造形芸術 研究科 第29回 卒業・修了作品展	107	23	金	県 民 アトリエ	インテリアン DIY 体験会
70	15	木	共	イオン琉球㈱ 2018 年度 方針発表会	108	23	金	博物館講座室	那覇国際倫理法人会 倫理経営講演会
71	15	木	県 民 アトリエ	電子情報通信学会/㈱フジクラ EXAT 専門委員 会 打合せ	109	23	金	博物館講座室	沖縄県キャリアセンター/㈱りゅうせきビジネス サービス 講演会「今後の採用活動」について
72	15	木	博物館講座室	電子情報通信学会 OPE·OCS·OFT·EXAT 2月期 研究会	110	23	金	博物館実習室	国立大学法人琉球大学総合企画戦略部地域連携推進課 外部評価委員会 意見交換会
73	15	木	博物館実習室	移動展ワークショップ 準備	111	23	金	美術館 講座室	サンワコムシスエンジニアリング(株) 安全衛生協議会
74	15	木	博物館実習室	オリエンテーション/馬天小学校	112	23	金	美術館 産室	那覇市/㈱アドスタッフ博報堂 那覇市伝統工芸ブランド確立事業講演会
75	15	木	美術館講座室	サンワコムシスエンジニアリング(株) コンプライ アンス研修	113	23	金	美術館 溝座室	盛和塾沖縄 勉強会
76	15	木	美術館講座室	イオン琉球㈱ 取締役会	114	24	±.	スタジオ	生活協同組合沖縄高齢者協同組合 2月度定例理事会
77	16	金	スタジオ	沖縄県立芸術大学 美術工芸学部・大学院造形芸術研究科 第 29 回 卒業・修了作品展	115	24	土	スタジオ	Ocy (オキナワクリエーターズ結い) 考える ocy
78	16	金	共 有 堂	那覇市役所(那覇市まちづくり協働推進課) 平成 29 年度 なは市民協働大学院 公開発表・修了式 準備	116	24	土	共 有 堂	沖縄県アジア経済戦略課/㈱サン・エージェンシー アジケイコンペ
79	16	金	博物館 講座室	電子情報通信学会 OPE・OCS・OFT・EXAT 2月期 研究会	117	24	土.	共 有 堂	海燕社の小さな映画会 2018/2 月会「イザイホウ」
80	16	金	博物館実習室	移動展の準備	118	24	土	共 有 堂	那覇東西地区宅地建物取引業者会 家主セミナー
81	17	土	こどもアトリエ	美術館班 アートミュージアムキッズクラブ	119	24	土	県 民アトリエ	沖縄県アジア経済戦略課/㈱サン・エージェンシー アジケイコンペ
82	17	土	こ ど も アトリエ	石こう版画の会	120	24	土	博物館講座室	NPO 法人那覇市街角ガイド 15 周年記念式典および講演会
83	17	土	スタジオ	沖縄県立芸術大学 美術工芸学部・大学院造形芸術研究科 第29回 卒業・修了作品展	121	24	土	博物館実習室	公益社団法人日本サインデザイン協会 第7回 ゆんたく会
84	17	土	共 有 堂	那覇市役所(那覇市まちづくり協働推進課) 平成 29 年度 なは市民協働大学院 公開発表・修了式	122	24	土	美術館	一般財団法人美ら島財団 総合研究センター サメの赤ちゃん研究の最前線
85	17	土	共 有 堂	平成 29 年度博物館文化講座「科学分析から見えて くる琉球の美術工芸」	123	24	土	美術館	孝情ヒーリングセンター希望の講演会(真の家庭 は正しい先祖供養から)
86	17	土	県 民アトリエ	美術館班 アートミュージアムキッズクラブ	124	25	Ħ	スタジオ	㈱Hobby World Marin 地方創生は海洋創生

No.	Ħ	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)	No.	Ħ	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)
125	25	Ħ	共 有 営	キャリア教育せんせいアワード実行委員会 キャリア教育せんせいアワード 表彰式	143	27 ( <i>)</i> 28 (	-,	エントランス ホ ー ル	沖縄県サンゴ礁保全推進協議会/博物館班サンゴ 礁ウィーク 2018 展示
126	25	Ħ	博物館 講座室	キャリア教育せんせいアワード実行委員会 キャリア教育 せんせいアワード スキルサポート(コーチングセミナー)	144	1 (オ 4 (	k) ~ 目)	美術館県民 キ゛ャラリー 1	グループ P(東恩納) 第 24 回 グループ P
127	25	目	博物館 実習室	イーエーシージザイカンパニー共同企業体/沖縄 県環境再生課 カタツムリの殻シーサーを作ろう	145	6 ( <i>)</i> 11 (	と) ~ 目)	美術館県民 ギャラリー1	佐川毅彦 色彩のチャンプルー絵画展
128	25	日	美術館 講座室	沖縄おはなしの会 伝々(ちんなん)虫 渡部豊子 の昔語り	146	12(月 18(	. ,	美術館県民 キ*ャラリー1	沖縄県立芸術大学 美術工芸学部・大学院造形芸術 研究科 第29回 卒業・修了作品展 準備
129	27	火	博物館 講座室	沖縄県三線製作事業協同組合 第6回県産三線普 及ブランド化委員会	147	14 (7 18 (		美術館県民 キ*ャラリー1	沖縄県立芸術大学 美術工芸学部・大学院造形芸術 研究科 第29回 卒業・修了作品展
130	27	火	博物館 実習室	㈱ノエビア カフェ・ノエビア研修	148	27 ( <i>)</i> 28 (		美術館県民 ギャラリー1	ひと派の会 ひと派展
131	27	火	美術館 産室	サンワコムシスエンジニアリング㈱ FTTH 安全 衛生協議会	149	1 (オ 4 (	た)~ 目)	美術館県民 キ*ャラリー2	グループ P(東恩納) 第 24 回 グループ P
132	27	火	美術館 産室	沖縄県農林水産部流通・加工推進課/沖縄協同青果㈱/㈱アールピーアイ平成29年度 地産地消コーディネーター育成講座 報告会	150	12	月	美術館県民 キ゛ャラリー 2	沖縄県立芸術大学 美術工芸学部・大学院造形芸術 研究科 第29回 卒業・修了作品展 準備
133	28	水	スタジオ	一般社団法人 IIOT 平成 29 年度沖縄型産業中核 人材育成事業 第4回実行委員会	151	14 (7) 18 (		美術館県民 キ*ャラリー 2	沖縄県立芸術大学 美術工芸学部・大学院造形芸術 研究科 第29回 卒業・修了作品展
134	28	水	共 有 堂	リフリート工業会 九州・沖縄支部 リフリート工法平成29年度施工管理 士研修会及び 講演会「コンクリート構造物の維持管理、長寿命化について」	152	27 ( <i>)</i> 28 (	.,	美術館県民 キ゛ャラリー 2	糸数 未希 (C50%)
135	28	水	博物館 講座室	ユーマーク㈱ 沖縄型中核人材育成事業フォーラ ム	153	1 (オ 4 (	た) ~ 目)	美術館県民 キ*ャラリー3	沖縄県写真協会・ミャンマー写真協会 交流写真 展
136	28	水	博物館 実習室	琉球三線楽器保存育成会/博物館班 三線鑑定会	154	6 ( <del>)</del> 11 (	火) ~ 目)	美術館県民 キ*ャラリー3	一般社団法人沖縄県美術家連盟 新春展
137	28	水	美術館 講座室	沖縄県事業引継ぎ支援センター 経営者のための 事業承継セミナー	155	12 (J 18 (		美術館県民 キ゛ャラリー 3	沖縄県立芸術大学 美術工芸学部・大学院造形芸術 研究科 第29回 卒業・修了作品展 準備
138	1 (7 4 (	k) ~ 目)	エントランス ホ ー ル	美術館班/一般財団法人沖縄美ら島財団 邂逅の 海 映像上映	156	1 (オ 28 (	k) ~ 水)	博物館特別展示室1	大嶺薫コレクション 一かざる- 展
139	14	Ħ		沖縄県立芸術大学 美術工芸学部・大学院造形芸術研究 科 第29回 卒業・修了作品展オープニングイベント	157	1 (オ 10 (	k) ~ ±)	美術館企画 キ゛ャラリー 1	開館 10 周年特別企画 「邂逅の海-1980 年代以 降の沖縄美術の展開」
140	16	金	エントランス ホ ー ル	旧正月はおきみゅーへ行こう!『護得久栄昇書き 初めライブ』『正月のお飾りの展示』	158	12 (月 24 (		美術館企画 キ゛ャラリー 1	沖縄県立芸術大学 美術工芸学部·大学院造形芸術 研究科 第29回 卒業·修了作品展 準備
141	17	土	エントランス ホ ー ル	旧正月はおきみゅーへ行こう!『みるく神のお面 作り』『正月のお飾りの展示』	159	1 (オ 10 (	k) ~ 土)	美術館企画 キ゛ャラリー 2	開館 10 周年特別企画 「邂逅の海-1980 年代以 降の沖縄美術の展開」
142	18	Ħ		芸大コンサート/旧正月はおきみゅーへ行こう!『 お正月のお飾りの展示』『護得久栄昇お笑いライブ』	160	12(月 24(		美術館企画 ギャラリー2	沖縄県立芸術大学 美術工芸学部・大学院造形芸術 研究科 第29回 卒業・修了作品展 準備

# 【2017年3月】

No.	П	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)	No.	H	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)
1	1	木	博物館 実習室	一般財団法人沖縄美ら島財団 サンサンゴーゴー 事前準備	19	4	B	県 民アトリエ	一般財団法人沖縄美ら島財団 控え室
2	1	木	博物館 実習室	一般社団法人青年会議所 メンタルトレーニング	20	4	В	美術館 産室	一般社団法人日本耳鼻咽喉科学会沖縄県地方部会 市民公開講座 耳の日講演会『補聴器展示・相談』
3	1	木	博物館 実習室	一般財団法人沖縄美ら島財団 民具体験	21	6	火	共 有 講 堂	㈱シュガートレイン 関係者映画試写会
4	1	木	美術館 産室	総務省沖縄行政評価事務所 平成 29 年度行政相 談委員特別研修(業務専門研修)	22	6	火	博物館 講座室	㈱アドスタッフ博報堂 平成30年度 沖縄観光コ ンテンツ開発支援事業 公募説明会
5	2	金	こ ど も アトリエ	沖縄県造形教育連盟/美術館班 会議	23	6	火	博物館 産室	㈱沖縄コングレ 沖縄県早期離職者定着支援事業 定着支援セミナー
6	2	金	共 有 営	UBI3000/㈱ライスロケット ベーシックインカ ム UBI 春祭り IN 沖縄	24	6	火	美術館 産室	ゆいまーる沖縄㈱沖縄県工芸製品新ニーズモデル 創出事業成果報告会
7	2	金	共 有 営	'沖縄県/沖縄観光コンベンションビューロー/沖縄フィルムオフィス/合同会社 T&S 映画[Jimami Tofu]特別試写会	25	6	火	美術館 産室	メットライフ生命保険㈱ 代理店研修会
8	2	金	博物館 講座室	一般財団法人ヤマハ音楽振興会 2018 年ヤマハ音楽教育システム講師全体研修会	26	7	水	共 有 堂	公益社団法人沖縄県青少年育成県民会議 平成29年度 沖縄県青少年育成者研修会
9	2	金	美術館 産室	UBI3000/㈱ライスロケット ベーシックインカ ム UBI 春祭り IN 沖縄 控室&第二会場	27	7	水	博物館 産室	一般財団法人沖縄美ら島財団 オリエンテーション/豊見城小学校
10	3	土	共 有 堂	UBI3000/㈱ライスロケット ベーシックインカ ム UBI 春祭り IN 沖縄	28	7	水	博物館講座室	公益財団法人日本賃貸住宅管理協会 上級相続支援コンサルタント講習
11	3	土	共 有 堂	アクア音楽院 第 14 回アクア音楽院音楽発表会	29	7	水	美術館講座室	一般財団法人沖縄県建設技術センター 平成30 年度ゆいくる材の更新申請にかかる説明会
12	3	土	博物館 講座室	UBI3000/㈱ライスロケット ベーシックインカ ム UBI 春祭り IN 沖縄 控室&第二会場	30	8	木	スタジオ	アットモア痩身講座
13	3	土	博物館 実習室	一般財団法人沖縄美ら島財団 総合研究センター植物によって 人のストレスは改善できるか~オフィスにおける調査から~	31	8	木	共	沖縄電力 OB 会 講演会
14	3	土		㈱琉球新報社 平成 29 年度沖縄地域の魅力再発見食育 推進事業食育シンポジウムおきなわ地域の魅力再発見	32	8	木	博物館講座室	盛和塾沖縄 フィロソフィ勉強会
15	4	Ħ	こ ど も アトリエ	一般財団法人沖縄美ら島財団 控え室	33	8	木	美術館講座室	有限責任監査法人トーマツ 海外展開支援セミナー
16	4	Ħ	共 有 営	文教楽器㈱ 文教アンサンブルコンサート	34	9	金	共 有 堂	沖縄県文化協会/沖縄県 平成29年度 しまくとうば普及人 材養成事業 講演会「語ていいちゃびらな しまくとうば」
17	4	Ħ	博物館 講座室	一般社団法人日本耳鼻咽喉科学会沖縄県地方部会 市民公開講座 耳の日講演会『教育講演』	35	9	金	博物館講座室	㈱静環検査センター沖縄営業所 食品衛生セミナ 2018
18	4	日	博物館 実習室	平成 29 年度 沖縄県立博物館・美術館 体験学習教室 サンゴの日は博物館へ サンサン GOGO!	36	9	金	県 民 アトリエ	インテリアン DIY 体験会

54 13 火 溝 有 機能合料電源用マーケー・アイ 写意の電気シの内容を含む したした影響を表き 仓息の事物を表から利息の事物を表から利息の事物を表から利息の事物を表から利息の事物を表から利息の事物を表から利息の事物を表から利息の事物を表がある情報を表す。	No.	Н	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報 (申込者)	No.	H	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)
20   1	37	9	金			75	17	土		
10   1   スタッグ   下記を表現   下のである   10   1   1   1   1   1   1   1   1	38	10	土			76	17	土		一般財団法人沖縄美ら島財団 しまくとうばプロジェクト
15   15   25   26   15   17   17   17   17   17   17   17	39	10	土	スタジオ	学習会自主研究「やってみよう会」	77	17	土		
19   1	40	10	土			78	17	土		
10   1	41	10	土		琉球大学大学院医学研究科 第3回 国際的バイ	79	17	土		
4   15   日   17   18   25   12   12   12   13   14   15   17   17   17   17   17   17   17	42	10	土		木村カスミ様 ベリーダンスワークショップ	80	17	土	2 4 110 244	
1 日 ファリン   一点   1 日 ファリン   一点   一点   1 日 ファリン   一点   1 日 ファリン   一点   1 日 日 ファリン   一点   1 日 日 ファリン   一点   1 日 日 ファリン   1 日 日 ファリン   1 日 日 ファリン   1 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	43	10	土			81	18	B	スタジオ	
1	44	11	Ħ			82	18	Ħ		上原明美 スプリングコンサート 2018
1	45	11	Ħ	スタジオ		83	18	H		
1	46	11	Н			84	18	日		
1 日   日   音   至   次   次   次   次   次   次   次   次   次	47	11	H			85	20	火	スタジオ	㈱地域科学研究所 会社説明会
19   11 日 大宮宝 のための極限的なマケー面神像   17   20   次   京   宝   金   金   金   金   全   金   全   金   全   金   全   金   全   金   全   金   全   金   金	48	11	Ħ			86	20	火		「なは見割りフォーラム 2018」
11 日 アリリエ 会 接金	49	11	Н			87	20	火		
11	50	11	H			88	20	火		
13   13   2   2   2   2   2   2   2   2   2	51	11	Ħ			89	21	水		沖縄県造形教育連盟/美術館班 会議
13   大	52	11	日		一般社団法人沖縄県美術家連盟 理事会	90	21	水		· · ·   · · · · · · · · · · · · · · ·
13   大 講 全   12-12   12   13   大 講 全   12-12   14   大 漢 原金   12   14   大 スタジオ   15   14   大 スタジオ   16   16   14   大 スタジオ   16   16   16   16   16   2   2   2   2   17   17   18   18   18   18   18   18	53	13	火	スタジオ		91	21	水		(㈱JTB 沖縄/㈱JTB 首都圏 JTB クルーズ 2019 年 サンプリンセス 世界一周チャータークルーズ説明会
50	54	13	火			92	21	水		TV 沖縄(琉球の風) 特別講演会
56         14         水         スタンマ         売齢に耐た水器前は水保育者部経過級会 第16回(年度29年度) 影響市体内容者部経過級会 第16回(年度29年度) 影響市体内容者部経過級会 動態会         94         22         未         素 所 館 課 座         会と対策に関するセミナーの 第2を分類に関するセミナーの 第2を分類に関するセミナーの 第2を分類に関するセミナーの 第2を分類に関するセミナーの 2を対象と図ります。         4         木 博物 館 課 座 第         社会保険労務士伝人パップネル・マネジメント 第2を 差積を数分割を返 業 所能教育普及底 美術館メランティア勉強会 2を 315 本 達 会 2003         96         23         全 集 所 課 座 第         分とは日地は日本と職権の保険者格経協議会 2003         97         23         全 集 度 32         会 情 32         会 信 32	55	13	火		サンワコムシスエンジニアリング㈱ 700MH z	93	22	木		
14 本   博物館   放金金   接近   金   上台の販労務主法人バアソネル・マネジメント   95   23 全   共 有   金   世球流後の回来を高   ・	56	14	水	スタジオ		94	22	木		
19   15   木 スタジオ   スタジオ   第 座 室   大作物部マランアイト短頭会   90   23   全   講 座 変   縄キンバス卒業証書抄与式   一般社団法人那廟市身体障害者福祉協議会 第 66   15   木	57	14	水			95	23	金		
60         15         木	58	14	水		美術館教育普及班 美術館ボランティア勉強会	96	23	金		㈱ディック学園 平成 29 年度マイン高等学院沖
15   木   講   安   説明会   16   17   表   講   安   説明会   17   17   大   表   表   表   表   表   表   表   表   表	59	15	木	スタジオ		97	23	金		
61         15         木         講座室         年度 沖縄県子ども唐特防止推進事業         99         23         室         講座室         日本タンーで化動品解 ハッピー砂球でとう。           62         15         木         業務館 館 新日本有限責任監査法人 沖縄事務所 決算直前         100         23         金         業務館 館 盛和整沖縄 勉強会           63         16         金         ごとも アトリエ 沖縄県造形教育連盟/美術館班 会議         101         24         土         スタジオ 女子美術大学同窓会 沖縄支部 理事会及び総会 第16回(平成 29 年度)那覇市跡が、考美術展           64         16         金         共 有 学校法人智聞学園博門学校琉球リハビリテーション学院 選座 要学受理学被活来リハビリテーション学院 選座 理学被学科 平成 30 年度 臨床実習指導者会議 第2 会場 第2 会場 第2 会場 第2 会場 第2 会 選出作品 達獎 (公間・衰表) /沖縄未来建築製特別講義 第2 会場 記作品 達獎 (公間・衰表) /沖縄未来建築製特別講義 第2 会場 記作品 達獎 (公間・衰去) /沖縄未来建築製特別講義 アトリエ 中親県政の副新を求める会 住民訴訟報告会 105         24         土         票区 下 リ エ 財	60	15	木			98	23	金		インテリアン DIY 体験会
62   15 本   講座 宝 セミナー   100   23 金   講座 宝   監格整件観 短頭会   16 金   二 と も	61	15	木			99	23	金		日本メナード化粧品㈱ ハッピー健康セミナー
63         16         金         こともフトリエ         神縄県造形教育連盟/美術館班 会議         101         24         土         スタジオ         女子美術大学同窓会 沖縄支部 理事会及び総会第16回(平成29年度)那覇市職が、者美術展 102         24         土         共有 療 塩 スタジオ 第16回(平成29年度)那覇市職が、者美術展 第16回(平成29年度) 那覇市職が、インターション学院 第21回卒業 空院理学療法学科 平成30年度臨床実習指導者会議 第2会場 24         103         24         土 博物館公益社団法人日本建築家協会沖縄支部 第21回卒業 設計作品 選集(公開・発表) /沖縄未来建築整勢物別講義 24           66         16         金 博物館 学校法人智晴学園専門学校琉球リハビリテーション学院 東学療法学科 平成30年度臨床実習指導者会議 第2会場 104         104         24         土 県民下ト リエ 株ペルソナッツ LAB プロ 勉強会 設計作品 選集(公開・発表) /沖縄未来建築整勢物別講義 25           67         16         金 博物館 実 習室 沖縄県政の刷新を求める会 住民訴訟報告会 105         25         日 スタジオ 合員会議	62	15	木	美術館	新日本有限責任監査法人 沖縄事務所 決算直前	100	23	金	美 術 館	盛和塾沖縄 勉強会
64         16         金         スタシオ         第16回(平成29年度)那編市除がい者美術展         102         24         土 講 堂         次クーシップ成果発表会           65         16         金         共 有 学校法人智晴学園専門学校疏球リハビリテーション学院 書 図書館 室 空間等強法学科 平成 30年度臨床実習指導者会議         103         24         土 博 物 館 講 座 室 設計作品 選獎 (公開・発表) /沖縄未来建築整特別講義           66         16         金 博 物 館 選 空室 空間等後疏球リハビリテーション学院 書 図書館本会議 第2会場 目 24         土 県民 アトリ エ 関連学療法学科 平成 30年度 臨床実習指導者会議 第2会場 目 24         土 具民 アトリ エ 大 票 図書 室 管理学展述学科 平成 30年度 臨床実習指導者会議 第2会場 目 24         土 具民 アトリ エ 大 票 図書 室 室 室 室 室 室 室 室 室 室 室 室 室 室 室 室 室 室	63	16	金		沖縄県造形教育連盟/美術館班 会議	101	24	土	スタジオ	女子美術大学同窓会 沖縄支部 理事会及び総会
65         16         金         講         堂         学院理学療法学科         平成 30 年度 臨床実習指導者会議         103         24         工         講         座         室         設計作品         選奨 (公開・発表) / 沖縄未来建築業特別講義           66         16         金         博         物         館         座         室         学校法人智時学園専門学校琉球リハビリテーション学院 理学療法学科 平成 30 年度 臨床実習指導者会議第2会場         104         24         土         県民アトリエ         榊ペルソナッツ LAB プロ 勉強会           67         16         金         博         物         第         神縄県政の刷新を求める会 住民訴訟報告会         105         25         日         スタジオ 特定非営利活動法人ワーカーズコープ沖縄 全組 合員会議           68         16         金         県民アトリエ         沖縄県造形教育連盟/美術館班 会議         106         25         日         スタジオ 特定非営利活動法人ワーカーズコープ沖縄 全組 合具会議           69         16         金         美術館 議座室内・第3 回連絡会議議         106         25         日         スタジオ 神縄県服科医会(境球大学眼科)第133 回沖縄眼 科集談会           70         16         金         業務館室室内・第10・大部・第3回連絡会議 は正しい先祖供養から)         108         25         日         博物館講 座室室の機業演会         NPO 法人統合医療と健康を考える会 の機業演会         がん治療を考える会 の機業演会           71         17         土         スタジオ         石こう版画の会 第16回にしい先祖・大部・大部・大部・大部・大部・大部・大部・大部・大部・大部・大部・大部・大部・	64	16	金	スタジオ		102	24	土		
66         16         金 博物館講座室         学校法人智晴学園専門学校琉球リハビリテーション学院理学療法学科 平成30年度 臨床実習指導者会議第2会場         104         24         土 県民アトリエ 株ペルソナッツ LABプロ 勉強会           67         16         金 博物館実習室         神縄県政の刷新を求める会 住民訴訟報告会         105         25         日 スタジオ 特定非営利活動法人ワーカーズコーブ沖縄 全組合員会議           68         16         金 県 尺トリエ 沖縄県造形教育連盟/美術館班 会議         106         25         日 スタジオ 沖縄県服料医会(琉球大学眼科)第133回沖縄眼科集談会 託児室のト第3回連絡会議           69         16         金 護座室 クト第3回連絡会議         107         25         日 共有講堂 ドルチェピアノ教室 発表会           70         16         金 美術館 接座室 は正しい先祖供養から)         108         25         日 博物館講座室 室 の鍵講演会           71         17         土 こ ども アトリエ 石こう版画の会         109         25         日 博物館講座室 室 の鍵講演会 (琉球大学眼科)第133回沖縄眼科集談会 (琉球大学眼科)第133回沖縄眼科集談会           72         17         土 スタジオ 第16回(平成29年度)那覇市資がい者美術展         110         25         日 博物館講座 室 会社団法人日本建築家協会沖縄支部 島・建築レンビ展 琉球 教養2018沖縄電業展開連催事にどもけんちくワークショップ」           73         17         土 共 有 平成29年度 博物館文化講座「胸磁器からみた成 財産「胸磁器からみた成 財産「胸磁器からみた成 財産」 財力側生         111         25         日 県民アトリ 上 美術館講座 株本建築展園 株式のよりはまた日本建築家協会沖縄支部 財産 財力側生           74         17         土 共 有 ビアノ教室によるままった。ビアノ発表会         112         25         日 美術館	65	16	金			103	24	土		公益社団法人日本建築家協会沖縄支部 第 21 回卒業 設計作品 選奨(公開・発表)/沖縄未来建築塾特別講義
67     16     金 博物館 実習室     沖縄県政の刷新を求める会 住民訴訟報告会     105     25     日 スタジオ 合員会議       68     16     金 県 尺 アトリエ     沖縄県造形教育連盟/美術館班 会議     106     25     日 スタジオ 沖縄県服科医会(琉球大学眼科)第133回沖縄眼科集談会 託児室       69     16     金 美術館 講座室 クト第3回連絡会議     107     25     日 共有講堂 ドルチェ ピアノ教室 発表会       70     16     金 美術館 講座室 は正しい先祖供養から)     108     25     日 博物館講座 室 の鍵講演会       71     17     土 こども アトリエ     石こう版画の会     109     25     日 博物館講座 室 科建談会       72     17     土 スタジオ 第16回(平成29年度)那覇市障がい者美術展     110     25     日 博物館共産業協会沖縄支際協会沖縄支部局・建築レンビ展 琉球 設置を外でルソナッツ LAB プロ 勉強会       73     17     土 共有平成29年度 博物館文化講座「陶磁器からみた琉 講座」 大大学工人発表会     111     25     日 県民アト リエ 保       74     17     土 共有 アルタット・アノ発表会     112     25     日 美術館講座 (株日のおい 大学駅 地方側生は海洋側生	66	16	金		学校法人智晴学園専門学校琉球リハビリテーション学院	104	24	土		
68     16     金 県 下 リエ 沖縄県造形教育連盟/美術館班 会議     106     25     日 スタジオ 沖縄県眼科医会(琉球大学眼科)第133回沖縄眼科集談会 託児室       69     16     金 美 術 館 講座 室 クト第3回連絡会議     107     25     日 共有講堂 ドルチェ ピアノ教室 発表会       70     16     金 美 術 館 講座 室 は正しい先祖供養から)     108     25     日 博物館講座 室 の鍵講演会       71     17     土 こどもアトリエ 石こう版画の会     109     25     日 博物館講座室 室 外縄眼科集談会(琉球大学眼科)第133回沖縄眼径       72     17     土 スタジオ 第16回(平成29年度)那覇市障がい者美術展 第16回(平成29年度)那覇市障がい者美術展 第16回(平成29年度)那覇市障がい者美術展 第16回(平成29年度)那覇市障がい者美術展 第25     110     25     日 財物館実 設置2018沖縄建築展開連催事にどもけんちくワークショップ」 第2018 沖縄・銀票開連催事にどもけんちくワークショップ」 第2018 沖縄・東京と関連権事にどもけんちくワークショップ」 第2018 沖縄・東京と関連権事にどもけんちくワークショップ 第2018 中央 第2018 沖縄・東京と関連権事にどもけんちくワークショップ 第2018 中央 第2018 中	67	16	金	博物館		105	25	B	スタジオ	
69     16     金     講座室 クト第3回連絡会議     107     25     日 共有講室     ドルチェピアノ教室 発表会       70     16     金     美術館 孝情ヒーリングセンター希望の講演会(真の家庭 は正しい先祖供養から)     108     25     日 博物館講座 室 の健講演会       71     17     土 こども アトリエ 石こう版画の会     109     25     日 博物館講座 室 解物館 達座 室 外継談会       72     17     土 スタジオ 第16回(平成29年度)那覇市障がい者美術展 第10     25     日 関物館 達座 室 経験の住職 を 全 経験の会     25       73     17     土 共 有 課金 29年度 博物館文化講座「胸磁器からみた琉 課金・日本会会を といて見 25年度 111     25     日 県民アト リ エ 株ペルソナッツ LAB プロ 勉強会       74     17     土 共 有 アス教室を含まった アスノ教表会     112     25     日 美術館講座 (株別の大学の) 25年度 112     美術館講座 112    (第2018 沖縄建築展開連催車にどもけんちくワークショップ)  「株代ルソナッツ LAB プロ 勉強会	68	16	金	県 民	沖縄県造形教育連盟/美術館班 会議	106	25	H	スタジオ	
70     16     金     美術館 講座室     著情ヒーリングセンター希望の講演会(真の家庭 は正しい先祖供養から)     108     25     日 博物館講座室     MPO 法人統合医療と健康を考える会 がん治療座室       71     17     土 こどもアトリエ     石こう版画の会     109     25     日 博物館講座室室     神縄眼科集談会(琉球大学眼科)第133 回沖縄眼屋       72     17     土 スタジオ     一般社団法人那覇市身体障害者福祉協議会第160     25     日 博物館書座室室室室室室室室室室室室室室室室室室室室室室である。     大上団田大人本建築家協会沖縄支部島・建築レシビ展 琉球会院園・産業・レンビ展 琉球会院園・全産・ファイタショップ」       73     17     土 共有平成 29 年度 博物館文化講座「陶磁器からみた境」 111     25     日 県民アトリエト 場所のホンナッツ LABプロ 勉強会       74     17     土 共有 ビアノ教室によるままった ドアノ発表会     112     25     日 美術館講座 (株日のおいのより) 112     美術館講座 (株日のおいのより) 128     株日の大いけのよりに対象を対している。 112	69	16	金			107	25	Ħ	共有講堂	ドルチェ ピアノ教室 発表会
71     17     土     こどもフトリエ     石こう版画の会     109     25     日 博物館講座室室料集談会       72     17     土 スタジオ 一般社団法人那覇市身体障害者福祉協議会第16回(平成 29 年度)那覇市障がい者美術展     110     25     日 博物館実置室室機     公益社団法人日本建築家協会沖縄支部島・建築レシビ展 琉球会院 2018 沖縄建築展関連催事にどもけんちくワークショップ」       73     17     土 共有字成 29 年度博物館文化講座「陶磁器からみた琉璃と「陶磁器からみた琉璃」は11     25     日 県民アトリエ (株ペルソナッツ LABプロ 勉強会       74     17     土 共有 アス教室与さるままったアス発表会 112     25     日 美術館講像     株代ルタナッツ LABプロ 地強会 地方側生は海洋側生	70	16	金	美術館	孝情ヒーリングセンター希望の講演会(真の家庭	108	25	Ħ		
72     17     土     スタジオ     一般社団法人那覇市身体障害者福祉協議会 第 16 回(平成 29 年度) 那覇市障がい者美術展     110     25     日     博物館実 習 室     公益社団法人日本建築家協会沖縄支部 島・建築 レシビ展 琉球 会議 2018 沖縄建築展関連催事「こどもけんちくワークショップ」       73     17     土     共     有     平成 29 年度 博物館文化講座「陶磁器からみた琉 課と中国の交流」     111     25     日     県民アト リ エ     (株ペルソナッツ LAB プロ 勉強会       74     17     土     共     有     ピアノ教室与さるままった ピアノ発表会     112     25     日     美術館講 業出りたり、World Marine 沖縄 地方側生け海洋側生	71	17	土	こども	石こう版画の会	109	25	Ħ		
73     17     土     共     有     平成 29 年度 博物館文化講座「陶磁器からみた琉 別 111     25     日     県民アト 別 エ     (株ペルソナッツ LABプロ 勉強会 財産会 財産会 財産会 財産会 財産会 財産会 財産会 財産会 財産会 財産	72	17	土			110	25	В		公益社団法人日本建築家協会沖縄支部 島・建築 レシピ展 琉球
	73	17	土		平成 29 年度 博物館文化講座「陶磁器からみた琉	111	25	Ħ	県民アト	
	74	17	土		ピアノ教室ふぇるまぁ~た ピアノ発表会	112	25	Ħ		㈱Hobby World Marine 沖縄 地方創生は海洋創生

No.	Ħ	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報 (申込者)	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)
113	27 火		共 有	沖縄県/国際大学グローバル・コミュニケーション・センター 今始める IoT・AI の活用〜最新動向と県内状況を考える〜	128	27 (火) ~ 31 (土)		美術館県民 キ*ャラリー2	シボリコミュニティ 藍・絞り シボリコミュニ ティ第 21 回合同作品展・巡回展
114	27	火	美術館 華座室	サンワコムシスエンジニアリング㈱ FTTH 安全 衛生協議会	129	6 (火) ~ 11 (日)		美術館県民 キ*ャラリー3	美術館班/一般財団法人沖縄美ら島財団 キッズ クラブ修了作品展
115	28	水	共 有 當	ピアノ保守点検	130	13 ( <i>y</i> 18 (	た) ~ [目)	美術館県民 キ゛ャラリー3	一般社団法人那覇市身体障害者福祉協議会 第 16 回(平成 29 年度)那覇市障がい者美術展
116	28	水	博物館 実習室	琉球三線楽器保存育成会/博物館班 三線鑑定会	131	25	H	美術館県民 キ*ャラリー3	第6回沖縄マシーネンクリーガー作品展示会
117	29	木	共 有 営	那覇市教育委員会教育相談課 平成 29 年度 教育相談課 芸術鑑賞会	132	27 ( <i>y</i> 31 (	k) ~ (土)	美術館県民 キ*ャラリー3	シボリコミュニティ 藍・絞り シボリコミュニ ティ第 21 回合同作品展・巡回展
118	31	土	共 有 堂	一般社団法人全日本ピアノ指導者協会/ピティナ那覇ミュージア ムステーション 2017 年度ピティナ・ピアノステップ那覇春季地区	133	6 (y 11 (	た) ~ (日)	共 有 3階回廊	沖縄県サンゴ礁保全推進協議会/博物館班 サンゴ礁ウィーク 2018 展示
119	31	土	博物館 実習室	創価学会「絵本とわたしの物語展」沖縄展実行委員会 「絵本とわたしの物語展」関連催事『手作り絵本教室』	134	1 (7 3 (	木) ~ (土)	エントランス ホ ー ル	沖縄県サンゴ礁保全推進協議会/博物館班 サンゴ礁ウィーク 2018 展示
120	1 (木) ~ 4 (目)		美術館県民 キ*ャラリー1	ひと派の会 ひと派展	135	4	H	エントランス ホ ー ル	平成 29 年度 沖縄県立博物館・美術館 体験学習 教室 サンゴの日は博物館へ サンサン GOGO!
121	6 (火) ~ 11 (日)		美術館県民 キ*ャラリー1	沖縄ガイア押花会/グラスアート倶楽部ガイア 押し花&グラスアート合同作品展	136	6 (± 18 (	た) ~ [日]	エントランス ホ ー ル	世界児童絵展【一角】/首里城連携お出かけ絵の教 室作品展【階段下】
122	13 (火) ~ 18 (日)		美術館県民 キ゛ャラリー 1	一般社団法人那覇市身体障害者福祉協議会 第16回(平成29年度)那覇市障がい者美術展	137	1 (7 18 (	木)~ 〔日〕	博物館特別 展示室 1	大嶺薫コレクション 一かざる一 展
123	20 (火) ~ 25 (日)		美術館県民 キ*ャラリー1	公益社団法人日本建築家協会沖縄支部 島・建築 レシピ展 琉球浪漫 2018 沖縄建築展	138	15 (7 16 (	木)~ 〔金〕	美術館企画 キ゛ャラリー 1	絵本とわたしの物語展 準備
124	27 (火) ~ 31 (土)		美術館県民 キ゛ャラリー 1	シボリコミュニティ 藍・絞り シボリコミュニ ティ第 21 回合同作品展・巡回展		17 ( <u>-</u> 31 (	上) ~ (土)	美術館企画 キ゛ャラリー 1	絵本とわたしの物語展
125	1 (木) ~ 4 (日)		美術館県民 キ゛ャラリー 2	糸数未希(C50%)	140	15 ( <i>7</i> 16 (	木)~ 〔金〕	美術館企画 ギャラリー2	絵本とわたしの物語展 準備
126			美術館県民 キ゛ャラリー 2	沖縄ガイア押花会/グラスアート倶楽部ガイア 押し花&グラスアート合同作品展	141	17 (± 31 (	上) ~ (土)	美術館企画 キ゛ャラリー 2	絵本とわたしの物語展
127	13 (± 18 (	k) ~ (目)	美術館県民	一般社団法人那覇市身体障害者福祉協議会 第 16回(平成29年度)那覇市障がい者美術展					

# 博物館

- I 調査研究等の活動
- Ⅱ 展示活動
- Ⅲ 教育普及活動
- IV 資料収集·保存管理

## Ι 調査研究等の活動

#### 1 調査研究の概要

博物館の機能は、調査研究、資料収集・保管、資料の展示、教育普及活動という4つの大きな柱によって構成されている。これらは互いに相互に関連しているが、調査研究は他の機能の基礎となる重要な部分である。 当館における調査研究活動は、全学芸員が一地域を対象に実施する総合調査、他機関との共同研究、学芸員それぞれによる個別の調査研究がある。

総合調査では、各島において自然、歴史、民俗、考古、美術工芸、建築の基礎資料の掘り起こしと収集を行ってきた。栗国島を皮切りに、現在までのべ18の島々で行われ、報告書の刊行は栗国島(1980)、渡名喜島(1981)、座間味島(1983)、伊計島(1987)、瀬底島(1988)、与那国島(1989)、浜比嘉島(1990)、古宇利島(1991)、久米島(1992)、波照間島(1995)、西表島(1997)、小浜島(2002)、与那国島(2005)、竹富島(2009)、鳩間島・新城(上地・下地)島・黒島(2016)と続いている。2016年からは2018年度までは伊是名島・伊平屋島の調査を実施している。

また、共同研究事業としては、国立科学博物館、東京大学と共同で、南城市玉城のハナンダガマ遺跡(2006・2007年度)、南城市玉城おきなわワールド内の武芸洞(2007~2010年度)、2011年度は武芸洞に加えてガンガラーの谷内のサキタリ洞を調査対象とした。2012年度から沖縄振興特別推進交付金対象事業(一括交付金)「沖縄遺産のブランド開発・発信事業」を立ち上げ、サキタリ洞遺跡の本調査を実施している。これまで9千年前以前のものと考えられる人骨や世界最古級(2万3千年前)の釣針が発見されたほか先史時代の貝器などが出土し、また、全国や世界的にも注目される貴重な成果が得られた。今年度は、これまでの事業総括の報告書『沖縄県南城市サキタリ洞遺跡発掘調査報告書Ⅰ』を刊行するとともに、発信事業として大阪府立弥生文化博物館と共催で、同館において出張展「沖縄の旧石器人と南島文化」(7月1日~9月18日)を開催した。また、一括交付金を活用した「琉球王国文化遺産集積・再興事業」の製作委託業務が3年目を迎え、王国ブランティングの有形無形の遺産を創出し、国内で唯一の王国文化を有した本県の文化観光の魅力の発信素材19件を製作した。さらに、3万3千話の県内各地域の民話テープの寄贈をうけて、無形遺産の収集、保存と活用をめざし優良民話の動画コンテンツ製作や配信し、沖縄の多様な言語文化や伝承文学を紹介する契機とするため「デジタル・ミュージアム推進事業」を5か年計画の2年目で、まずはモデルケースとして県内各地を代表する6件の民話コンテンツを製作した。

学芸員個別の調査研究事業は、学芸員自身がテーマを設定し自主的に実施しているものや外部から依頼を受けて行うもの等様々である。その成果は論文の形で発表されるとともに、講演等の形でも生かされている。 2017年度における学芸員個々の調査研究等の活動状況は以下のとおりである。

(園原 謙)

#### 2 博物館総合調査-伊是名・伊平屋島総合調査-

総合調査事業は県内離島の自然・歴史・文化について、博物館各分野の学芸員が総合的に調査を実施し、その成果を記録・報告するとともに、当館の展示会等をとおして、島々の自然や文化を多くの県民に伝えることを目的としている。これまで、栗国島、渡名喜島、座間味島、伊計島、瀬底島、与那国島、浜比嘉島、古宇利島、久米島、波照間島、西表島、小浜島、与那国島、竹富島、鳩間島、新城(上地・下地)島・黒島についておもに現地調査を行い、それらの成果とともに、1996年に久米島展、2010年に八重山展を実施した。2016年度からは3年計画で伊是名島、伊平屋島の調査を行っている。2018年度末に同調査の報告書を刊行する予定である。

#### 【組織】

本調査組織は博物館班の学芸員(自然史・考古・歴史・美術工芸・民俗)によって構成されるが、調査の精度を高めるため、予算の範囲内で館外の専門家を調査員として委嘱することがある。各調査員でテーマを設定し、適切な時期に調査を実施する。調査の際、テーマにそったデータの収集だけでなく、展示会を想定し、資料の収集(借用の可能性)や撮影にも努めている。

#### 【平成29年度調査実績】

山崎仁也 (博物館班 主任学芸員)2017年6月29日~7月1日 (伊平屋島)2017年11月6~9日(伊平屋島)2017年12月8~11日(野甫島、具志川島)寺田仁志 (元鹿児島県立博物館 調査員)2017年11月4~7日(伊平屋島)松村雅史 (博物館ボランティア 調査員)2017年11月6~9日(伊平屋島)小浜継雄 (博物館ボランティア 調査員)2017年11月6~9日(伊平屋島)

長田 勝	(琉球大学博物館協力研究員 調査員)	2017年11月6~9日	(伊平屋島)
野林 千枝	(沖縄昆虫同好会 調査員)	2017年11月6~9日	(伊平屋島)
横田 昌嗣	(琉球大学教授 調査員)	2017年12月8~11日	(野甫島、具志川島)
阿部 篤志	(美ら島財団研究センター 調査員)	2017年12月8~11日	(野甫島、具志川島)
宇佐美 賢	(博物館班 主任学芸員)	2017年9月19~20日	(伊平屋島)
		2017年12月21~22日	(伊平屋島)
		2018年3月13~14日	(伊是名島)
我謝 昌一	(元高等学校教諭)	2017年9月19~20日	(伊平屋島)
宮城 宏之	(博物館ボランティア 調査員)	2017年9月19~20日	(伊平屋島)
宮城 直樹	(博物館ボランティア 調査員)	2017年12月21~22日	(伊平屋島)
山崎 真治	(博物館班 主任)	2017年10月2~3日	(伊是名島)
澤岻 大佑	(博物館斑 臨任学芸員)	2017年9月5日~9日	(伊是名島)
外間 一先	(博物館班 主任学芸員)	2017年4月1日	(伊是名島)
		2017年9月7日	(伊平屋島)
久部良和子	(博物館班 主任学芸員)	2017年9月29日~10月1日	(伊平屋島)
		2018年3月15~17日	(伊平屋島)
與那嶺一子	(博物館班 主幹)	2018年3月14日~16日	(伊是名島)
篠原あかね	(博物館班 学芸員)	2018年3月14日~16日	(伊是名島)
大湾ゆかり	(博物館斑 主任学芸員)	2017年8月15日~17日	(伊平屋島)
		2017年10月11日~12日	(伊平屋島)
		2018年1月23日~26日	(伊平屋島)
山本 正昭	(博物館班 主任学芸員)	2018年3月13日~14日	(伊平屋島)
田名 真之	(博物館・美術館 館長)	2017年9月29~10月1日	(伊平屋島)
			(山山) 一

(山﨑 仁也)

# 3 「一括交付金」活用事業

#### (1) 琉球王国文化遺産集積・再興事業

戦後70年余を経て、戦災等により失われた王国時代の文化遺産を模造復元し、その世界に誇る沖縄の手わざの力を、琉球王国文化のブランドとし、モノ(模造復元品)を通して、発信し沖縄をアピールする事業。平成27年度~33年度までの7か年計画。本事業は大きく模造復元製作と発信事業の二つに分かれる。実施設計(27年度)、王国文化遺産の再興による模造・復元品製作(28~32年度)と王国文化遺産集積による発信(31~33年度)の計画に沿って実施されている。

平成29年度は、一般財団法人沖縄美ら島財団・株式会社国建共同企業体と契約し、模造復元製作業務が開始された。平成29年度は、8分野(絵画、木彫、石彫、漆芸、染織、陶芸、金工、三線)65件のうち54件の製作を実施し、11件【絵画分野(四季翎毛花卉図巻製作見本)、石彫分野(玉陵石獅子、玉陵碑)、染織分野(木綿黄色地小紋衣裳(裏布)、縫取織ウッチャキ、木綿白地裙、紫地五色浮織冠、黄色地花綾冠)、金工分野(三御飾 御酒器(銀製流台)、中城御殿耳盃)、三線分野(富盛開鐘制作工程)】が完成した。

模造復元にあたっては、分野ごとに3人の監修者(合計24人)を委嘱し、2回の監修者会議を開いた。各製作工程の中で、模造復元の仕様書の確認や、試作による製作指導がなされた。

製作にあたり実施した類似資料の熟覧調査や非破壊による科学分析調査により新たな知見を数多く得ることができ、その成果を下記のとおり報告した。

#### 〔報告会〕

日 時:2017年4月30日(日)10:00~17:00

場 所:博物館講座室

講師: 知念 績人(型紙) 城間 栄市(型紙) 島袋 明美(手花織) 山城 有希子(冠裂) 金城 裕幸(冠組立) 高良 輝幸(御供飯木地)

上原 俊展(御玉貫錫瓶) 仲嶺 幹(三線試作) 大嶺 實清(緑釉四方燭台試作)

参 加 者:150名

#### [報告会]

日 時:2018年2月7日(水)13:30~16:20

場 所:沖縄県立芸術大学大講義室 講 師:久下 有貴(孔子及四聖配像他)

喜屋武 千恵 (四季翎毛花卉図巻製作見本)

参加者:50名

#### 〔発 表〕

日 時:2018年2月4日(日)文化財保存修復学会 公開シンポジウム

場 所:東京藝術大学上野キャンパス発表者:東京芸術大学(荒井経)

参 加 者:163名

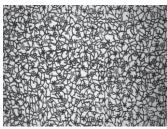
#### [論 文]

園原謙・長谷川洋一・岡田靖・上江洲安亨・大山幹成・門叶冬樹・園部凌也・山田千里・本多貴之・宮腰鉄雄 「旧円覚寺仁王像復元制作に関する研究」『沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要 第11号』沖縄県立博物館・

美術館 2018年3月



三御飾 御酒器 (銀製流台)



木綿黄色地小紋衣裳(裏布)



縫取織ウッチャキ



玉陵石獅子

(與那嶺 一子)

#### (2) 沖縄遺産のブランド開発・発信事業

2017年7月1日(土)~9月18日(月)にかけて、大阪府立弥生文化博物館×沖縄県立博物館・美術館 平成29年度大阪府立弥生文化博物館 夏季特別展「沖縄の旧石器人と南島文化」を開催した。

2017年11月6日~12月28日にかけて南城市サキタリ洞遺跡の発掘調査を実施し、サキタリ洞遺跡の調査研究成果についてとりまとめ作業を行い、2017年3月に『沖縄県南城市サキタリ洞遺跡発掘調査報告書I』を刊行した。

(山崎 真治)

#### (3) デジタルミュージアム推進事業

本事業は、2015年度に当館に寄贈された沖縄の伝承話音声資料について、2016年度から2020年度までの5ヵ年計画で、デジタルミュージアムを開設し、資料の体系的な保存・管理と80話の民話の動画コンテンツを制作により、Web上や常設展示室等で公開して、遠隔地へのサービス提供や来館者誘致、顧客満足度向上を実現することを目的としている。

題材とした伝承話音声資料とは、1973年から故遠藤庄治とその協力者たちが沖縄各地で収集した76,000話余の音声記録のうち、デジタル化済みの33,000話分の記録(カセットテープとデジタルデータ)である。沖縄では、戦争や日本語の標準語励行、生活の画一化等で口承伝承されてきた民話や伝説等が急速に失われつつある。また、本来、地域の方言で語り継いできた話が、方言での話し手の減少や地域性が薄くなった現代では、口承だけで残すのが難しくなった。それゆえ、40年余の間に収集されたこれらの資料は沖縄県民にとって貴重な財産であり、その保存と活用は博物館の重要な使命でいえる。

以上の理由により、この伝承話音声資料を無形文化遺産の一つとして捉え、適切な保管とデジタルデータを活用した展示コンテンツの開発を進めている。

2016年度には、カセットとデジタル媒体の内容確認、及び目録、データベースの作成を行い、また動画コンテンツの制作候補として、33,000話の中から80話の優良民話を選定した。2017年度には、選定した優良民話80話のうち6話(「蝿と雀」(国頭村)、「トーカチ由来」(読谷村)、「黒金座主と北谷王子」(那覇市)、「白銀堂由来」(糸満市)、「寄木の主」(宮古島市)、「猿の生き肝」(石垣市))について動画コンテンツを制作した。これらは、2018年度より順次公開し、2020年度までに80話のコンテンツ制作とともに、当館ホームページにデジタル民話ミュージアムを開設し、動画コンテンツの発信と検索システムを加味したデータベースの公開につなげ、利用に供していく計画である。

#### 4 調査・研究・講演・著作論文等

#### 園原 謙(博物館班班長)

- ○調査·研究等
  - ・九州博物館協議会理事会・総会、学芸員事務職員研修会:平成29年度第57回九州博物館協議会理事会、 総会、現地研修会(熊本県熊本市・熊本県立美術館、熊本城) (2017年5月10日~11日)
  - ・展示関係・調査:平成29年度沖縄遺産ブランド・発信事業の巡回展「沖縄の旧石器人と南島文化」(大阪府立弥生文化博物館)開会式、奈良国立博物館常設展示等調査(大阪府、奈良県)(2017年6月30日~7月2日)
  - ・第11回・第12回 全国歴史民俗系博物館協議会:全国歴史民俗系博物館協議会幹事館・総会(福岡県・ 九州国立博物館) (2017年7月12日~14日)
  - ・九州博物館協議会理事会・総会、学芸員事務職員研修会:平成29年度第47回九州博物館協議会秋季研修会(大分県大分市・大分県立現代美術館)(2017年10月19日~20日)

  - ・琉球王国文化遺産集積・再考事業関係調整・調査:東京国立博物館所蔵の古三線調査(東京都・東京国立博物館) (2017年12月21日~22日)
  - ・琉球王国文化遺産集積・再考事業関係調整・調査:木彫(仁王像制作)の進捗状況確認、金工(王冠、ガラス玉、耳盃)の進捗状況調整(名古屋市、京都市) (2018年1月16日~19日)
  - ・琉球王国文化遺産集積・再考事業関係調整・調査: 古三線調査(東京都・東京音楽大学付属民族学研究所) (2018年2月22日~23日)
  - ・琉球王国文化遺産集積・再考事業関係調整・調査:第2回木彫部会監修者会議、成果品等の確認(名古屋市) (2018年2月28日~3月1日)
  - ・展示関係・調査:展示参考調査(広島県・呉市、福岡県・太宰府市) (2018年3月22日~3月24日)

#### ○講演・学会発表等

- ・名 称:沖縄県博物館協会平成29年度総会・研修会「沖縄県立博物館・美術館がすすめる『琉球王国文化遺産集積・再興事業』概要」
  - 期 日:2017年5月19日(金)
  - 場 所:那覇市若狭公民館
  - 依頼機関:沖縄県博物館協会
- ・名 称:琉球民謡音楽協会創立15周年記念特別講演「ウトゥイムチの楽器三線の歴史・文化とビジョン」
- 期 日:2017年5月28日(土)
- 場 所:サザンプラザ海邦
- 依頼機関:琉球民謡音楽協会
- ・名 称:学芸員講座「ウトゥイムチの楽器 三線の歴史文化とビジョン」
- 期 日:2017年6月3日(土)
- 場 所:博物館講座室
- ·名 称: Japan Studies Association「Okinawan Museum History: A Tale of Two Prefectural Museum」
- 日 時:2017年6月13日(火)
- 場 所:沖縄県立博物館・美術館
- 依頼機関: Japan Studies Association
- ・名 称:平成29年度首里大学講座「首里の御殿・殿内の音色-三線名器とその音-」
- 日 時:2017年8月31日(木)
- 場 所:沖縄県総合福祉センター
- 依頼機関:那覇市・首里振興会
- ・名 称:県産三線普及ブランド化委員会
- 日 時:2017年11月13日(月)
- 場 所:沖縄県立博物館・美術館
- 依頼機関:沖縄県三線製作事業協同組合
- · 名 称:新宮古島市総合博物館建設構想委員会
- 日 時:2017年11月14日(火)、12月27日(水)、2018年3月2日(金)

#### ○著作論文等

・「旧円覚寺仁王像の制作」(共著:長谷洋一、岡田靖、上江洲安亨、大山幹成、門叶冬樹、園部凌也、山田千里、本多貴之、宮腰哲雄)『沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要』第11号 沖縄県立博物館・美術館 2018年3月

#### 與那嶺 一子(主幹 美術工芸)

#### ○調査·研究等

- ・模造復元に係る紅型勉強会(2017年8月1日)
- ・模造復元に係る織物勉強会(2017年11月20日)
- ・模造復元に係る染織品調査(久米島博物館) (2017年11月21日)
- ・模造復元に係る紅型勉強会(2017年11月22日)
- ・総合調査(伊是名島) (2018年3月14日~16日)

#### ○講演・学会発表等

・名 称:学芸員講座「"紅型のはなし"資料と史料から紐解く」

期 日:2017年11月4日 場 所:博物館講座室

・名 称:ギャラリー文化講座「御絵図のはなし 沖縄県立博物館・美術館収蔵品から」

期 日:2018年1月13日(土)

場 所:那覇市歴史博物館

#### ○著作論文等

・「璩自謙作御婚嫁衣裳下絵についての考察」『沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要』第11号 沖縄県立博物館・美術館 2018年3月

#### 篠原 あかね (学芸員 美術工芸)

#### ○調査·研究等

- ・模造復元に係る絵画・三線調査(東京藝術大学ほか) (2017年12月11日~13日)
- ・模造復元に係る染織品調査 (那覇市歴史博物館) (2017年12月15日)
- ・美術品購入基金業務に係る絵画調査(2018年1月8日~9日)
- ・総合調査: (伊是名島) (2018年3月14日)

## ○講演・学会発表等

・名 称:夏休み学芸員教室「やきものを作ろう!」

期 日:2017年7月26日(水)

・名 称:学芸員講座「学芸員の日常と研究-美術工芸入門編-」

期 日:2018年2月3日(土)

場 所:博物館講座室

#### ○著作論文等

・「尚家伝来「黄色地紅型模様図案」についての一考察」『沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要』第11 号 沖縄県立博物館・美術館 2018年3月

## 外間 一先(主任学芸員 歴史)

#### ○調查·研究等

- ・開館10周年記念特別展「海の沖縄」関連:琉球使節の足跡と資料について(愛知県、静岡県) (2016年9月25日~28日、2017年2月1日~5日)
- ・総合調査: 伊是名島公事清明祭に使用する漆器類について(伊是名島) (2017年4月1日)
- ・首里城正殿模型修理に関する調査(沖縄県立博物館・美術館)(2017年5月13日~6月28日)
- ・沖縄県博物館協会総会及び春の研修会(那覇市若狭公民館及び国際通り周辺)(2017年5月18日~19日)
- ・琉球王国文化遺産集積・再興事業:沖縄県立博物館・美術館所蔵琉球絵画資料の蛍光エックス線分析調査(沖縄県立博物館・美術館写真撮影室) (2017年6月20日~23日)
- ・16ミリフィルムの高精細デジタル化と劣化フィルム保管について(沖縄県立博物館・美術館、沖縄市、 南風原町) (2017年7月12日~2018年3月28日)
- ・沖縄県高等学校地理歴史公民科教育研究会(沖縄県立博物館・美術館、県立豊見城高等学校)(2017年7月19日~10月27日)
- ・総合調査:伊平屋島ウンジャミに使用する馬の鞍について(伊平屋島) (2017年9月7日)
- ・開館10周年記念特別展「海の沖縄」関連:尚泰久宛勅書の調査(沖縄県立博物館・美術館)(2017年 9 月13日、10月 2 日、11月17日)
- ・沖縄県博物館協会秋の研修会(東村山と水の生活博物館)(2017年11月20日)

- ・資料調査:山田真山『竹林七賢人屛風図』に関する調査(愛知県、沖縄県立博物館・美術館)(2018年 1月8日、2月13日)
- ・琉球王国文化遺産集積・再興事業:朱漆巴紋牡丹沈金大御供飯の模造復元について(沖縄県立博物館・ 美術館) (2017年6月28日~2018年2月14日)

#### ○講演・学会発表等

・名 称:博物館学芸員特別講座「博物館の資料から5・15を考える」

期 日:2017年5月15日(月)

依頼機関:那覇市立銘苅小学校

・名 称:博物館学芸員特別講座「慰霊の日と博物館」

期 日:2017年6月23日(金)

依頼機関:一般財団法人沖縄美ら島財団

・名 称:博物館学芸員講座「漆喰シーサーをつくろう」

期 日:2017年7月27日(木)

場 所:博物館実習室

・名 称:平成29年度石嶺公民館シニア講座 ふくらしゃ大学「沖縄県立博物館と琉球・沖縄の歴史」

期 日:2017年8月15日(火)

依頼機関:那覇市石嶺公民館

・名 称:出前授業「沖縄の美術・工芸について」

期 日:2017年8月29日(火)

依頼機関:沖縄県立球陽高等学校

・名 称:出前授業「失われた沖縄の文化財」

期 日:2017年12月12日(火)

依頼機関:沖縄県立那覇高等学校

・名 称:学芸員特別講座「博物館と琉球・沖縄の歴史」

期 間:2018年1月26日(金)

依頼機関:沖縄県立糸満高等学校

・名 称:社会人講話「沖縄県立博物館・美術館について」

期 日:2018年2月16日(金)依頼機関:沖縄県立首里高等学校

## ○著作論文等

- ・図録『開館10周年記念特別展「海の沖縄」』 沖縄県立博物館・美術館 2017年11月
- ・図録『開館10周年記念 博物館収蔵資料100選』 沖縄県立博物館・美術館 2018年3月
- ・目録『博物館 収蔵品目録2001~2016年度』 沖縄県立博物館・美術館 2016年11月26日
- ・「朱漆巴紋牡丹沈金大御供飯のX線CT調査について」『沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要』第11号 沖縄県立博物館・美術館 2018年3月
- ・沖縄タイムス 唐獅子「酉年 寿く雪中雉子の図」 2017年1月5日
- ・沖縄タイムス 唐獅子「ワシントンDC」 2017年1月19日
- ・沖縄タイムス 唐獅子「丁子風炉」 2017年2月2日
- ・沖縄タイムス 唐獅子「ワシントンからの撤収」 2017年2月16日
- ・沖縄タイムス 唐獅子「地図にあふれる魅力」 2017年3月2日
- ・沖縄タイムス 唐獅子「科学分析調査」 2017年3月30日
- ・沖縄タイムス 唐獅子「旧首里城正殿鐘は通称・・・」 2017年4月13日
- ・沖縄タイムス 唐獅子「学芸員の仕事」 2017年4月27日
- ・沖縄タイムス 唐獅子「屛風」 2017年5月11日
- ・沖縄タイムス 唐獅子「父の背中」 2017年5月25日
- ・沖縄タイムス 唐獅子「高校野球」 2017年6月8日
- ・沖縄タイムス 唐獅子「生きることの意味を考える」 2017年6月22日

## 久部良 和子(主任学芸員 歴史)

#### ○調査・研究等

- ・開館10周年記念特別展「海の沖縄」における借用資料調査(奈良国立博物館)(2017年8月18日~20日)
- ・総合調査:伊平屋島文献資料及び豊年祭調査(伊平屋島)(2017年9月29日~10月1日)
- ・沖縄県博物館協会秋の研修会(東村立山と水の生活博物館)(2017年11月20日)
- ・琉球王国文化遺産集積・再興事業(木彫部会): ワーキング部会(名古屋) (2018年1月16日~17日)
- ・東京・神奈川在住者所蔵の歴史資料調査(東京、神奈川) (2018年1月25日~26日)
- ・開館10周年記念特別展「海の沖縄」借用資料返却(奈良県、愛知県、静岡県)(2018年2月1日~2月

5 目)

- ・開館10周年記念特別展関連資料及び次年度企画展資料調査(台湾・台湾国史館等)(2018年2月7日~9日)
- ・琉球王国文化遺産集積・再興事業(木彫部会):第二回監修者会議(愛知県)(2018年2月28日~3月 2日)
- ・総合調査:伊平屋島に関する資料調査(伊平屋島) (2018年3月15日~17日)

#### ○講演・学会発表等

・名 称:博物館学芸員特別講座「「雲板」が語る尚泰久の時代」

期 日:2017年12月2日(土)

場 所:博物館講座室

#### 大湾 ゆかり (主任学芸員 民俗)

#### ○調査·研究等

- ・糸満ハーレーの調査(糸満市) (2017年5月29日)
- ・上江洲均氏聞き取り調査(当館)(2017年6月7日)
- ・東京文化財研究所及びサントリー美術館にて環境対策調査(東京都)(2017年6月20日~21日)
- ・琉球藍製造の調査(本部町) (2017年7月9日)
- ・平成29年度公開承認施設担当者会議(東京都)(2017年7月25日)
- 総合調査(伊平屋村) (2017年8月15日~17日)
- ・塩屋湾のウンガミ調査(大宜味村) (2017年8月29日)
- ・塩屋湾のウンガミ・古宇利島のウンジャミ調査(大宜味村、今帰仁村)(2017年9月8日~9日)
- ・総合調査・10周年展資料借用(伊平屋村)(2017年10月11日~12日)
- ・沖縄県博物館協会秋の研修会参加(東村)(2017年11月21日~22日)
- ・ 与那国マチリ調査 (与那国町) (2017年12月20日~22日)
- ・伊平屋島総合調査・10周年展資料返却(伊平屋村)(2018年1月23日~26日)
- · 筝資料調査 (那覇市) (2018年2月28日)
- ・フィルム資料調査及び文化財虫菌害防除作業に関する講習会と作業主任者認定試験(2018年3月5日~ 8日)
- ・宇那志門中アガイガーミグイ(糸満市) (2018年3月24日)

## ○講演・学会発表等

・名 称:夏休み!博物館学芸員教室「わらざんにチャレンジ!」

期 日:2017年7月26日(水)

場 所:博物館実習室

・名 称:博物館学芸員講座「海とまつり ーウンジャミとハーリーー」

期 日:2017年9月2日(土)

場 所:博物館講座室

#### ○著作論文等

・「那覇市の古墓調査2―項氏の墓の内部構造―」『沖縄県立博物館・美術館紀要』第11号 沖縄県立博物館・美術館 2018年3月

#### 山﨑 仁也(主任学芸員 生物)

#### ○調查·研究等

- ・オカガニ産卵降海調査(瀬長島) (5月~11月、満月前後4日間、日没~2時間)
- ・総合調査:伊平屋島の昆虫類(伊平屋島) (11月)
- ・総合調査:野甫島、具志川島のフロラ・ファウナ(野甫島、具志川島) (12月)
- ・2017年度国立科学博物館ネットワークによる未来へのレガシー継承・発信事業における連携業務の研究: 学芸員の資質向上とネットワークの構築を通じた博物館の機能強化モデルの提言と沖縄県内博物館との 連携強化について〜地域の核となる博物館への模索

#### ○講演・学会発表等

・名 称:科学技術週間イベント・カガクジカン「自然史系バックヤードツアーと収蔵品の重要性」 小学生以上 15名

期 日:2017年4月22日(土)

場 所:博物館バックヤード

・名 称:体験学習教室「昆虫標本づくり」 小・中学生 20名

期 日:2017年7月21日(金)、22日(土)、8月19日(土)

場 所:博物館実習室

- ・名 称:夏休み学芸員教室「顕微鏡をつくろう!」 小・中学生 20名
- 期 日:2017年7月25日(火)
- 場 所:博物館実習室
- ・名 称:博物館学芸員講座「琉球植物研究の偉人達」 一般 100名
- 期 日:2017年10月7日(金)
- 場 所:博物館講座室
- ・名 称:沖縄生物教育研究会宿泊研修会 実践報告「瀬長島におけるオカガニの産卵行動」高校生物 教員 30名
- 期 日:2017年11月21日(火)
- ・名 称:出前授業・コザ高校定時制「①沖縄の自然を知ろう!②ウミホタルの話」 生物基礎選択 20名
- 期 日:2017年12月19日(火)
- ・名 称:全国科学博物館協議会研究発表大会(福岡)「学芸員の資質向上とネットワークの構築を通じた博物館の機能強化モデルの提言〜沖縄県内博物館の連携から見えてきたもの〜」 全国 科学博物館協議会会員 100名
- 期 日:2018年2月15日(木)
- ・名 称:北大東島移動展関連催事 「これだけは見のがすな!展示解説会」 小学生以上 20名
- 期 日:2018年2月24日(土)
- ・名 称:国立科学博物館レガシー事業成果報告会「学芸員の資質向上とネットワークの構築を通じた 博物館の機能強化モデルの提言〜沖縄県内博物館の連携から見えてきたもの〜」実施報告 国立科学博物館関係者 30名
  - 期 日:2018年3月2日(金)
- ・名 称:おきなわサンゴ礁ウィーク関連催事・サンゴの日は博物館へサンサンGOGO!「サンゴで風鈴をつくろう!」 一般 40名
  - 期 日:2018年3月4日(日)

#### ○著作論文等

- ・寺田仁志・山﨑仁也「日本南限のウバメガシ林がある沖縄県伊是名島アカラ御嶽の植生について」『沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要』第11号 沖縄県立博物館・美術館 2018年3月
- ・山﨑仁也「瀬長島におけるオカガニDiscoplax hirtipes の産卵生態 その5」『沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要』第11号 沖縄県立博物館・美術館 2018年3月

# 宇佐美 賢(主任学芸員 地学)

#### ○調査·研究等

- ・地質・地形調査、資料収集(与那国島)(2017年6月19日~21日)
- ・地質・地形調査(浦添市~豊見城市) (2017年7月1日)
- ・アンモナイト化石調査(本部町) (2017年7月25日)
- ・地質調査(阿嘉島、屋嘉比島) (2017年8月5日)
- ・地質・地形調査(浦添市) (2017年8月5日)
- ・総合調査:資料収集(伊平屋島) (2017年9月19日~20日)
- ・地質・地形調査:嘉陽層調査(名護市) (2017年10月4日)
- ・地質・地形調査(久米島) (2017年12月19日)
- 総合調査:資料収集(伊平屋島) (2017年12月21日~22日)
- ・移動展ジオツアー下見(北大東島・南大東島) (2018年1月30日~2月1日)
- ・学芸員講座シオツアー下見:名護市嘉陽層(名護市) (2018年2月2日)
- ・地質調査:資料収集(栗国島) (2018年3月13日)
- ・地質調査:資料収集(渡名喜島) (2018年3月7日~8日)
- 総合調査:資料収集(伊是名島) (2018年3月13日~14日)
- ・地質調査:資料収集(座間味島、屋嘉比島、阿嘉島) (2018年3月23日~24日)
- ・鍾乳洞調査(本部町) (2018年3月30日)

#### ○講演・学会発表等

- ・名 称: IPM研修(博物館ボランティア対象)
  - 期 日:2017年4月21日(金)
- ・名 称:カガクジカン(わくわく博物館の科学:自然史系バックヤードツアーと収蔵品の重要性)
  - 期 日:2017年4月29日(土)
- ・名 称:名護市博物館友の会 嘉陽層 (天仁屋海岸) 巡検
  - 期 日:2017年4月29日(土)

- ・名 称: IPM研修(ボランティア養成講座)
  - 期 日:2017年5月20日(土)
- · 名 称:座間味村立小中学校出前授業(職員研修)
  - 期 日:2017年7月24日(月)
- ・名 称:夏休み博物館学芸員教室「アンモナイトのヒミツをさがせ!」
- 期 日:2017年7月27日(木)
- ・名 称:平成29年度『慶良間諸島国立公園 自然ふれあい行事』夏休み自然観察会「渡嘉敷の地質、 地形を学ぼう!」
- 期 日:2017年8月11日(金)
- ・名 称:名護市嘉陽層の褶曲巡検(博物館ボランティア勉強会)
  - 期 日:2017年9月22日(金)
- · 名 称:博物館常設展示室展示解説会
- 期 日:2017年10月5日(木)
- ・名 称:沖縄県立コザ高等学校出前授業
- 期 日:2017年12月1日(金)
- ・名 称:名護市サイエンスフェスタ
- 期 日:2018年1月27日(土)
- ・名 称:移動展 in 北大東村におけるジオツアー
- 期 日:2018年2月24日(土)
- 場 所:北大東島
- ・名 称:学芸員講座「ジオツアー 名護市嘉陽層の褶曲」
- 期 日:2018年3月3日(土)

#### ○著作論文

- ・「石器・石材の供給地推定についての考察-嘉手納町野国貝塚群B地点の事例-」『南島考古 第36号 高宮廣衛先生追悼号』 沖縄考古学会 2017年7月
- ・「伊平屋島西部の枕状溶岩及びレータイトの分布と産状」『沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要』 第11号 沖縄県立博物館・美術館 2018年3月
- ・「首里城の大龍柱と伝えられる残欠の石質について(短報)」『沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要』 第11号 沖縄県立博物館・美術館 2018年3月

# 山本 正昭(主任学芸員 考古)

#### ○調査研究等

- ・特別展『海の沖縄』に係る資料調査(東京特別区・神奈川県横浜市)(2017年7月13日~14日)
- ・特別展『海の沖縄』に係る資料調査(伊江村)(2017年8月2日~3日)
- ・特別展『海の沖縄』に係る資料調査(福建省・浙江省)(2017年8月14日~19日)
- ・特別展『海の沖縄』に係る資料調査(久米島町) (2017年9月13日~14日)
- ・特別展『海の沖縄』に係る資料調査(久米島町) (2017年9月21日~22日)
- ・特別展『海の沖縄』に係る資料調査(福建省・山東省)(2017年12月18日~25日)
- ・「アジア民衆史の多重境界性に関する実証的研究」(宮古島市) (2018年1月4日~7日)
- ・琉球王国文化遺産集積・再興事業:模造復元に係る金工調査(京都市 美術院、龍村美術織物) (2018 年1月18日~19日)
- 総合調査(伊平屋村) (2018年3月13日~14日)

# ○講演・学会発表等

- ・名 称:2017年度法政大学沖縄文化研究所総合講座「沖縄を考える」「考古学から見た琉球列島のグスクとその社会」
  - 期 目:2017年5月19日(金)
  - 場 所:法政大学
- ・名 称:平成29年度宮古島市教育委員会公開活用事業第1回シンポジウム「戦争遺跡の整備について」
  - 期 日:2017年6月10日(土)
  - 場 所:宮古島市総合博物館
- ・名 称:沖縄文化協会平成29年度公開研究発表会「沖縄本島における城郭の発生についての序論」
- 期 日:2017年6月24日(土)
- 場 所:沖縄県立芸術大学附属研究所
- ・名 称: 夏休み博物館学芸員教室「考古学者 体験!」
- 期 日:2017年7月27日(木)
- 場 所:沖縄県立博物館・美術館

- ・名 称:2017年度はびきの市民講座「琉球列島のグスクとは何か」
- 期 日:2017年8月12日(土)
- 場 所:LECはびきの(大阪府羽曳野市)
- ・名 称:平成29年度自主事業「地域を学ぶ学習講座」「地域の歴史と都市伝説の成り立ち」
- 期 日:2017年9月4日(月)
- 場 所:糸満市立兼城中学校
- ・名 称:沖縄県立博物館・美術館学芸員講座「倭寇対策の城」
- 期 日:2018年1月13日(土)
- 場 所:博物館講座室
- ・名 称:出前授業 伊平屋島「倭寇とグスク―伊平屋村に倭寇は来たのか―」
- 期 日:2018年3月10日(土)
- 場 所:伊平屋村歴史民俗博物館
- ・名 称: 宮古郷土史研究会3月例会「遺跡から宮古と倭寇との関係を考える」
  - 期 日:2018年3月17日(土)
  - 場 所:宮古島市総合博物館

#### ○著作論文等

- ・「遺構から見た中城御殿―発掘調査成果を通して―」『しまたてい』No.80 一般社団法人沖縄しまたて協会 2017年4月
- ・「沖縄県」『日本考古学協会年報六八 二〇一五年度』日本考古学協会 2017年5月
- ・「戦争遺跡の整備について―沖縄県内の事例から見る現状と課題―」『平成29年度地域の特色ある埋蔵 文化財活用事業第1回シンポジウム 戦争遺跡可能性―保存整備活用の視点から―資料集』宮古島市教 育委員会 2017年6月
- ・沖縄タイムス 「歴史語る逸品―県博70年のあゆみ展 考古学」 2017年6月
- ・「城時代とグスク時代」『南島考古 高宮廣衛先生追悼号』第36号 沖縄考古学会 2017年7月
- ・「グスクの集落的様相について」『しまたてい』No.81 一般社団法人沖縄しまたて協会 2017年7月
- ・「集落遺跡から見る中世相当期から近世期にかけての変遷(一)」『宮古郷土史研究会会報』No.219 宮 古郷土史研究会 2017年7月
- ・「線刻石板について」『沖縄の旧石器人と南島文化 平成29年度大阪府立弥生文化博物館夏季特別展 』 大阪府立弥生文化博物館 2017年7月
- ・「集落遺跡から見る中世相当期から近世期にかけての変遷(二)」『宮古郷土史研究会会報』No.220 宮 古郷土史研究会 2017年9月
- ・「コラム 倭寇対策の城」『海の沖縄』沖縄県立博物館・美術館 2017年11月
- ・「遺跡から宮古と倭寇との関係を考える(一)」『宮古郷土史研究会会報』No.225 宮古郷土史研究会 2018年3月
- ・「戦争遺跡の整備について―沖縄県内の事例から見る現状と課題―」『平成29年度地域の特色ある埋蔵 井文化財公開活用事業 最新の研究成果に見る宮古の歴史』No. 2 宮古島市教育委員会 2018年3月

#### 山崎 真治(主任 人類)

#### ○展示会

・大阪府立弥生文化博物館×沖縄県立博物館美術館 平成29年度大阪府立弥生文化博物館 夏季特別展「沖縄の旧石器人と南島文化」(2017年7月1日~2017年9月18日)大阪府立弥生文化博物館にて開催

#### ○調查·研究等

- ・大阪府立弥生文化博物館「多様な連携と新しい価値を創出する歴史ミュージアム事業」に係る調整(依頼出張) (大阪府立弥生文化博物館) (2017年4月19日~20日)
- ・大阪出張展に係る資料調査(うるま市立与那城歴史民俗資料館)(2017年5月12日)
- ・沖縄県博物館協会研修会(那覇市歴史博物館・壺屋焼物博物館)(2017年5月18日)
- ・大阪出張展に係る資料調査(沖縄県立埋蔵文化財センター) (2017年5月19日)
- ・日本考古学協会第83回研究発表会でのポスター発表(大正大学・東京) (2017年5月27~28日)
- ・大阪出張展に係る資料借用(伊是名村ふれあい民俗館)(2017年5月31~6月1日)
- ・大阪出張展に係る資料調査(北谷町教育委員会) (2017年6月2日)
- ・放送大学映像撮影対応(ガンガラーの谷)(2017年6月13日)
- ・大阪出張展に係る資料借用(県立埋蔵文化財センター)ほか7か所(2017年6月14日~16日)
- ・大阪出張展展示準備作業(大阪府立弥生文化博物館)(2017年6月25日~7月2日)
- ・第12回日韓新石器時代研究会参加(韓国・釜山)(2017年7月6日~10日)
- ・夏休み博物館学芸員教室用マクガイ採集・貝類調査(羽地内海・呉我)(2017年7月12日)
- ・伊江村浜崎貝塚調査見学(伊江村)(2017年7月31日)

- ・沖縄遺産事業に係る青森県尻労安部洞窟遺跡調査見学(青森県尻労) (2017年8月2~4日)
- ・平成30年度特別展関連資料調査 (新潟県十日町市ほか) (2017年8月7~12日)
- ・大阪出張展関連イベント(講演会・ワークショップ)実施(大阪府立弥生文化博物館)(2017年8月18日~20日)
- ・サキタリ洞遺跡出土品の科学分析(奈良文化財研究所)(2017年8月21日)
- ・ドイツの旧石器時代遺跡調査(デュッセルドルフほか)(2017年8月23~31日)
- ・「3万年前の航海 徹底再現プロジェクト」研究会(国立科学博物館・上野)(2017年9月1日)
- ・沖縄遺産事業に係る群馬県居家以岩陰調査見学(群馬県長野原町) (2017年9月2日)
- ・サキタリ洞遺跡調査調整会議(県博・サキタリ洞) (2017年9月5~6日)
- ・大阪出張展に係る展示替え作業(大阪府立弥生文化博物館) (2017年9月8~10日)
- ·大阪出張展撤収作業(2017年9月18~23日)
- ・明治大学博物館友の会講座での講演(明治大学) (2017年9月24~25日)
- ・大阪出張展に係る資料返却(うるま市教育委員会ほか4か所)(2017年9月28~29日)
- ・大阪出張展に係る資料返却(伊是名村ふれあい民俗館) (2017年10月2~3日)
- ・大阪出張展に係る資料返却(糸満市教育委員会ほか3か所) (2017年10月4~5日)
- ・伊江村浜崎貝塚調査見学(伊江村) (2017年10月7日)
- ・長崎県佐世保市福井洞窟出土品調査(長崎県佐世保市) (2017年10月10~12日)
- ・沖縄県史図説編会議(沖縄県公文書館)(2017年10月13日)
- ・港川遺跡整備検討委員会(八重瀬町) (2017年10月27日)
- ・大阪出張展に係る資料返却(県立埋蔵文化財センター) (2017年11月2日)
- ・日本人類学会大会参加(東京大学) (2017年11月3~5日)
- ・サキタリ洞遺跡調査(南城市サキタリ洞遺跡) (2017年11月7~12月7日)
- ・浦添城跡調査見学(2017年12月19日)
- ・港川遺跡確認調査立ち合い(2018年1月9日)
- ・中国の旧石器時代遺跡調査(北京周口店ほか) (2018年1月11~14日)
- ・サキタリ洞遺跡出土品のX線撮影立ち合い(県立埋蔵文化財センター) (2018年1月19日)
- ・平成30年度特別展関連資料調査 (新潟県十日町市ほか) (2018年1月30~2月3日)
- ・図書寄贈に係る調査(那覇市楚辺) (2018年2月6日)
- ・沖縄県史図説編会議(沖縄県公文書館) (2018年2月7日)
- ・宮古島市総合博物館展示作業立ち合い(宮古島市)(2018年2月15日)
- ・宮古島市総合博物館講演会、展示撤収作業(宮古島市)(2018年2月24日)
- ・移動展 in 北大東村撤収作業(北大東村) (2018年2月25~27日)
- ・港川遺跡整備検討委員会(八重瀬町) (2018年3月1日)
- ・平成30年度特別展関連資料調査(福岡県久留米市・佐賀県佐賀市)(2018年3月1~4日)
- ・港川遺跡整備検討委員会(八重瀬町)(2018年3月14日)
- ・九州旧石器研究会鹿児島大会参加(鹿児島県立埋蔵文化財センター) (2018年3月17~18日)
- ・図書寄贈に係る調査(那覇市楚辺) (2018年3月20日)
- ・図書寄贈に係る調査(那覇市楚辺)(2018年3月27日)

#### ○講演・学会発表等

- ・名 称:博物館学芸員講座「貝塚の話」
  - 期 目:2017年4月8日(土)
  - 場 所:博物館講座室
- ・名 称:「南城市サキタリ洞遺跡の発掘調査」 南山会(糸満市)
- 期 日:2017年4月24日(月)
- 場 所:沖縄県立博物館・美術館
- ・名 称:日本考古学協会第83回研究発表会「沖縄・奄美の海産巻貝製釣針に関する初歩的観察とその製作プロセスについて」
- 期 日:2017年5月28日(日)
- 場 所:大正大学(東京)
- ・名 称:沖縄考古学会2017年度研究発表会「南島爪形文土器以前の土器を探る-新出資料の解釈にむけた作業仮説の提示-」沖縄考古学会
  - 期 日:2017年7月23日(日)
  - 場 所:沖縄国際大学
- ・名 称:大阪府立弥生文化博物館夏季特別展「沖縄の旧石器人と南島文化」関連文化講座「沖縄の旧石器人と人類の起源」
  - 期 日:2017年8月19日(土)

- 場 所:大阪府立弥生文化博物館
- ・名 称:第6回「3万年前の航海 徹底再現プロジェクト」研究会「琉球列島における渡海の証拠」
- 期 日:2017年9月1日(金)
- 場 所:国立科学博物館
- ・名 称: 宜野湾市立博物館9月文化講座「旧石器人とその文化を探る」
- 期 日:2017年9月10日(日)
- 場 所:宜野湾市立博物館
- ・名 称:講演会「日本考古学2017 沖縄旧石器時代研究の新たな展開-南回りルートの現状と課題-」 明治大学博物館友の会
- 期 日:2017年9月24日(日)
- 場 所:明治大学(東京)
- ・名 称:向陽高校野外学習会事前学習会「港川人の時代を掘る」
- 期 日:2017年11月22日(水)
- 場 所:向陽高校(八重瀬町)
- ・名 称:博物館文化講座「シンポジウム 宮古島の人類史を探る!」「宮古島の土器文化を探る」
- 期 日:2017年12月16日(十)
- 場 所:講堂
- ・名 称:南城市文化講演会「南城市サキタリ洞遺跡の発掘と沖縄の旧石器人」
- 期 日:2017年12月17日(日)
- 場 所:南城市大里庁舎
- ・名 称:平成29年度地域の特色ある埋蔵文化財公開活用事業 第5回文化講座「沖縄最古の文化へ探 求-新発見された県内最古級の遺跡-」「サキタリ洞遺跡」
- 期 日:2018年2月24日(土)
- 場 所:宮古島市総合博物館

#### ○著作論文等

- ・「大阪府立弥生文化博物館夏季特別展『沖縄の旧石器人と南島文化』図録」沖縄県立博物館・美術館× 大阪府立弥生文化博物館 2017年7月
- ・『沖縄県南城市サキタリ洞遺跡発掘調査報告書 I 』沖縄県立博物館・美術館 2018年3月
- ・「世界最古の釣針ー沖縄県サキタリ洞遺跡の最新成果ー」『科学』2017年 6 月号(Vol.87 No. 6) 岩波書店 2017年 5 月
- ・「世界最古の釣針とその輝き―沖縄県サキタリ洞遺跡の発掘から―」『土車』132 公益財団法人古代学 協会 2017年6月
- ・「沖縄県の動向」『九州旧石器』21 九州旧石器文化研究会 2018年3月
- ・「胎土分析から見た宮古島の土器文化」『沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要』第11号 沖縄県立博物館・美術館 2018年3月
- ・「渡嘉敷村船越原におけるオオツタノハの産出層準について」『沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要』 第11号 沖縄県立博物館・美術館 2018年3月
- ・「沖縄の旧石器人とその文化」『奄美・沖縄諸島先史学の最前線』南方新社 2018年3月
- ・「非石刃技法地域の石材利用と文化-琉球弧からの視点」『九州島における石材産地と石刃技法の成立 に関する研究』 九州歴史資料館 2017年3月
- ・「沖縄・奄美の曽畑式土器をめぐる諸問題」『南島考古』36 沖縄考古学会 2017年6月
- ・「特輯:琉球弧における先史時代研究の新展開に寄せて」『古代文化』69(4) 古代学協会 2018年3月
- ・「琉球弧における旧石器時代遺跡の諸相と特質」『古代文化』69(4) 古代学協会 2018年3月
- ・沖縄タイムス 「歴史語る逸品 -県博70年のあゆみ展4 人類学」 2017年6月15日
- ・沖縄タイムス 「唐獅子 高知と沖縄」2018年1月10日
- ・沖縄タイムス 「唐獅子 過去を伝える道標」2018年1月24日
- ・沖縄タイムス 「唐獅子 縄文人の世界観」2018年2月7日
- ・沖縄タイムス 「唐獅子 島々を巡る」 2018年2月21日
- ・沖縄タイムス 「唐獅子 北大東島の風土」 2018年3月7日
- ・沖縄タイムス 「唐獅子 博物館と来館者数」 2018年3月21日

#### 澤岻 大祐(臨任学芸員 人類)

- ○調査·研究等
  - 総合調査(伊是名島) (2017年9月5~9日)
- ○著作論文等

・「八重瀬町 新城のシーヤーマーの考察 - 伝統芸能の継承や普及について-」『沖縄県立博物館・美 術館 博物館紀要』第11号 2018年3月

#### 5 職員研修

# 【沖縄県博物館協会研修会】

○総会・春の研修会・現地研修

日 時:2017年5月18日(木)~19日(金)

場 所:那覇市若狭公民館(総会)那覇市歴史博物館及び国際通り周辺、壺屋焼物博物館(市内巡見)

参加者:園原謙、外間一先、山崎 真治、篠原 あかね

○秋の研修会・現地研修

日 時:2017年11月20日(月)~21日(火)

場 所:東村山と水の生活博物館

参加者:外間 一先、久部良 和子、篠原 あかね、大湾 ゆかり、山本 正昭

#### 【国立科学博物館主催】

○アルバム辞典をつくろう!

日 時:2017年6月19日(月) 場 所:沖縄県立博物館・美術館

参加者:山崎 仁也

概 要:来館者の目線で展示物を撮影し、ユニークなキャプションを作ることで固定概念を覆す

#### 【山階鳥類研究所】

○鳥類剥製製作技術講習会

日 時:2017年12月12日(火)·13日(水)

場 所:博物館実習室

参加者:山崎仁也、勝連涼子

概 要:講師・岩見恭子指導のもと、鳥の仮剥製を製作

# 【国立科学博物館博物館ネットワークによる未来へのレガシー継承・発信事業】

○標本作製実習(封入標本を中心に)

日 時:2018年2月1日(木) 場 所:沖縄県立博物館・美術館

参加者:山﨑 仁也

概 要:昆虫の樹脂封入標本を作製しながら、他の種類の標本についても講義で学ぶ

#### 【国立科学博物館博物館ネットワークによる未来へのレガシー継承・発信事業】

○観光にかかる勉強会

日 時:2018年2月26日(月) 場 所:ちゃたんニライセンター

参加者:山﨑 仁也

概 要:観光と博物館をテーマにした勉強会 連携館+美ら島財団広報担当、ロワジールホテル広報担

当で実施

## 【博物館ゼミ(仮称)】 以下「回、期日、担当者、題」の順に記す(原則毎週月曜日に実施)

第1回	第215回	4月10日	田名 真之	「米国博物館事情」
第2回	第216回	4月24日	大湾ゆかり	「みんなで振り返ろう!博物館の歴史-「70年のあゆみ」展の前に」
第3回	第217回	5月1日	山本 正昭	「よくわかるグスクとその周辺」
第4回	第218回	5月8日	大川 剛	「ミュージアムキッズ全国フェスタ」
第5回	第219回	6月5日	山﨑 仁也	「オカガニ調査 in 瀬長島 2016」
第6回	第220回	6月12日	宇佐美 賢	「1年間の成果と課題、今後の目標-1年間を通して学んだこと」
第7回	第221回	6月19日	園原 謙	「流出文化財と海外の博物館事情」

第222回	7月10日	外間 一先	「平凡持久 ある教師が残した資料」
第223回	7月31日	篠原あかね	「琉球紅型に描かれる意匠について」
第224回	8月7日	與那嶺一子	「璩自謙が描いた下絵-紅型だったのだろうか?-」
第225回	8月14日	久部良和子	「「沖縄空手会館」の建設に関わって」
第226回	8月21日	大湾ゆかり	「伊平屋村我喜屋の大綱引」
第227回	8月28日	山本 正昭	「福建省調査概要報告」
第228回	9月11日	大川 剛	「ミュージアムキッズ全国フェスタ」
第229回	10月10日	田名 真之	「琉球・沖縄の歴史と文化」
第230回	10月16日	山崎 真治	「縄文-火焔型土器のシンボリズムとヒスイの道」
第231回	11月6日	宇佐美 賢	「開館10周年記念特別展(地学分野)の展示」
第232回	11月13日	山﨑 仁也	「ウィルソンが見た沖縄」展総括
第233回	11月20日	外間 一先	「開館10周年記念特別展「海の沖縄」より」
第234回	11月27日	久部良和子	「大里城の「雲版」について」
第235回	12月4日	與那嶺一子	「"紅型のはなし"資料と史料から紐解く」
第236回	12月11日	大川 剛	「移動展 in 北大東」
第237回	12月18日	篠原あかね	「沖縄の蔵骨器-厨子」
第238回	1月9日	大湾ゆかり	「与那国島のマチリ」
第239回	1月29日	山本 正昭	「倭寇対策の城ー福建・山東省調査概要報告ー」
第240回	2月5日	勝連 涼子	「年中行事あれこれー勝連家の事例-」
第241回	2月26日	玉城ちひろ	「明治有田焼」
第242回	3月5日	山崎 真治	「宮古島の土器文化を探る」
第243回	3月12日	澤岻 大佑	「安慶名のウスデーク」
第244回	3月19日	山﨑 仁也	「博物館勤務6年のまとめ」
	第223回 第224回 第225回 第226回 第227回 第228回 第233回 第231回 第233回 第233回 第234回 第235回 第235回 第236回 第237回 第238回 第238回 第239回 第240回 第241回 第241回 第241回 第243回	第223回       7月31日         第224回       8月7日         第225回       8月14日         第226回       8月28日         第227回       8月28日         第228回       9月11日         第229回       10月10日         第230回       10月16日         第231回       11月6日         第232回       11月20日         第233回       11月27日         第234回       11月27日         第235回       12月4日         第237回       12月18日         第238回       1月9日         第240回       2月5日         第241回       2月26日         第242回       3月5日         第243回       3月12日	第223回 7月31日 篠原あかね 第224回 8月7日 奥那嶺一子 第225回 8月14日 久部良和子 第226回 8月21日 大湾ゆかり 第227回 8月28日 山本 正昭 第228回 9月11日 大川 剛 第229回 10月10日 田名 真之 第230回 10月16日 山崎 真治 第231回 11月6日 山崎 直治 第231回 11月6日 中生美 賢 第233回 11月20日 外間 一先 第233回 11月27日 久部良和子 第234回 11月27日 久部良和子 第234回 11月27日 久部良和子 第235回 12月4日 奥那嶺一子 第236回 12月11日 大川 剛 第237回 12月18日 篠原あかね 第237回 12月18日 篠原あかね 第239回 1月29日 山本 正昭 第240回 2月5日 勝連 涼子 第241回 2月26日 玉城ちひろ 第242回 3月5日 山崎 真治 第243回 3月12日 澤岻 大佑

# Ⅱ 展示活動

## 1 展示活動概要

年間の展示活動としては、常設展示を中心に、特別展1本、企画展数本、大嶺薫コレクション展及び新収蔵品展を開催することを基本としている。また、旧博物館において実施してきた「移動博物館」については、「移動展」と改称して2008年度(平成20)からは美術館と共同で開催している。

海洋性、島嶼性の地理的要因により、沖縄には豊かな自然環境が形成されるとともに、海を介して行われた 日本本土や中国をはじめとするアジア諸国との交流により独自の歴史、文化が形成されてきた。常設展示では 「海と島に生きる一豊かさ、美しさ、平和を求めて」をテーマとし、沖縄の自然・歴史・文化に係る総合的か つ体系的な展示を行っている。

2017年度(平成29)は特別展1本と企画展を3本実施した。具体的には特別展「開館10周年記念特別展海の沖縄」、企画展「博物館70年のあゆみ」、企画展「ウィルソンが見た沖縄一琉球の植物研究史100年とともに」、大阪府立弥生文化博物館において巡回展「沖縄の旧石器人と南島文化」を開催した。

#### 2 常設展

#### 【総合展示】

常設展は、総合展示と部門展示からなり、沖縄の自然・歴史・文化を「海洋性」と「島嶼性」という二つの側面から読み解いている。古来より、沖縄の島々は海によって互いに隔てられると同時に、海によってアジア、太平洋地域と深く結びつけられてきた。島には固有の自然があり、人々の営みがあり、その一つひとつが沖縄県の特徴ある自然・歴史・文化を形成している。島に息づく豊かな自然と、島をとりまく海を媒介とした人々の営みを紹介するとともに、トー(唐:中国)とヤマト(日本)との間で花開いた琉球王朝文化、そして目まぐるしい世替わりを体験してきた沖縄の近代史と戦中・戦後史を射程に入れ、常設展のメインテーマを「海と

島に生きる一豊かさ、美しさ、平和を求めて一」とした。常設展のうち、総合展示は、開館以来展示替えを実施してこなかったが、開館10周年を節目に、2017年(平成29)2月に展示の魅力アップをはかるため、旧首里城正殿鐘を単品で紹介する展示をはじめ、当館が所蔵する県指定文化財等の梵鐘7口を新たに加え、展示の充実強化を図る初めての展示リニューアルを行った。また、屋外(駐車場側)に鐘楼を設けて、現存する最古の鐘のひとつである大聖禅寺鐘(実物)を吊り、対外的に博物館の魅力の発信を図った。

常設展へのアプローチでは、イノー(ラグーン)に広がる珊瑚礁を足元に見ながら、あたかも島に上陸するような感覚を体験することができる。また、展示室中央に設けられた「シマの自然とくらし」のコーナーには、 鹿児島から台湾まで東西1,000キロ、南北400キロの海域に散在する琉球列島の大小の島々を壮観できる大型ジオラマを配置し、島々の特徴ある自然・歴史・文化について情報端末機を用いて紹介している。また、人工衛星によって撮影された画像を用いて、島々を観察することができる。

#### ○海で結ばれた人々~サークルホールの展示~

「化石の宝庫」沖縄から発見された様々な化石を展示している。クジラやアンモナイトなど、原始の海にくらした生き物をはじめ、日本人のルーツとされる2万2,000年前の「港川人」や、その頃に生きていたリュウキュウジカ、ヤンバルクイナなどの化石がステージ上に展開している。また、正面のスクリーンでは、古生代から現在に至るまでの琉球列島の地史を映像で概観し、沖縄の自然・歴史・文化の旅へと誘う。

#### ○貝塚のムラから琉球王国へ

グスク時代、それぞれの地域に有力者が登場すると、防御などを目的とした様々なグスクが造られるようになる。また、有力者たちは中国への朝貢を通して文化の移入や交易に努め、富を築いた。各地の勢力は、やがて北山・中山・南山の3つに収斂し、激しい抗争を繰り広げた。しかし、15世紀はじめころに、これらの3つの勢力は尚巴志によって統一され、琉球王国が築かれた。ここからおよそ500年の長きにわたり、首里を拠点とする王国の歴史が始まる。

#### ○王国の繁栄(古琉球)

尚巴志によって統一された琉球王国は国家として成立したが、国内の権力基盤は不安定な状態であった。そのため、第一尚氏から第二尚氏へ王統の交代が起きた。一方で、中国との冊封・進貢貿易によって富を蓄えた琉球王国は、中国・日本・東南アジアをつなぐ中継貿易を盛んに行った。東アジアの大海原の架け橋として船を操り、国際色豊かな産物が国中にあふれるさまを謳った旧首里城正殿鐘の銘文は、往時を偲ぶ貴重な資料である。この時代、琉球は東アジア有数の貿易国家として繁栄し、より強固な国家体制を造りあげていった。展示リニューアルでは、常設展示に、旧首里城正殿鐘の単体の紹介を中心に、仏教文化と梵鐘や王都の整備、碑文に刻まれた王都の整備、円覚寺の創建、屋外には旧大聖禅寺鐘の展示を行った。

# ○薩摩の琉球支配と王国(近世琉球期)

1609年薩摩島津氏による琉球侵攻後、琉球王国は江戸幕府の影響下に置かれるようになる。しかし、中国との冊封・進貢関係は維持され、他方で江戸への謝恩・慶賀使の派遣が義務づけられた。

近世琉球期は、王国の危機を向かえて、羽地朝秀・蔡温などの強力な政治家による王国の経営が行われ、 琉球独自の文化が花開く時代でもある。江戸文化の影響をうけ、組踊などの芸能が確立し、『中山世鑑』 『球陽』等の歴史書が編纂され、首里王府内に多くの役職が確立した。さらに貝摺奉行所を中心に琉球漆 器・紅型などの様々な工芸品が数多く製作された。

#### ○王国の衰亡

19世紀頃には、欧米諸国の船舶がアジア進出を目指して琉球近海に頻繁に来航し、首里王府にも開国を せまってきた。一方で、中国・日本との関係を保ちながら体制を維持してきた琉球王国だが、農村の疲弊 や災害などが原因で、王府の財政難は顕著となっていった。

#### ○沖縄の近代

江戸幕府が崩壊し、明治政府が発足すると日本と琉球との関係性も変化した。1879年(明治12)に明治 政府は琉球藩を廃し、沖縄県を設置した(琉球処分)。琉球王国は消滅し、近代日本国家の一部としての 沖縄県が誕生した。

政府は旧慣温存政策を実施したが、その結果沖縄県の土地所有権の確立や国政参加は大きく遅れ、教育制度の確立も大正期になってようやく整った。しかし、日本は次第に領土拡大と戦争へと突入していき、沖縄も戦争体制に組み込まれていった。1945年(昭和20)、沖縄では住民を巻き込んだ日米両軍による地上戦が展開され、24万人余りの尊い命が失われた。焦土と化した沖縄では、多くの貴重な文化財も焼失し、破壊された。

#### ○戦後の沖縄

沖縄戦によって大きな戦禍をこうむった沖縄。住民たちの生活はゼロからの出発であった。沖縄の施政権は日本からアメリカに移譲され、27年間のアメリカ統治下に置かれた。アメリカは東アジアの戦略基地として沖縄を重要視し、基地の機能強化を進めた。軍事優先の政策は、住民の生活を侵害し、米軍関係の事件・事故が多発したため、日本への復帰を望む運動が高まっていった。その結果、1972年(昭和47)に沖縄の施政権は日本に返還されたが、多くの基地が残されるなど未解決の問題が山積したままである。

#### ○沖縄の今、そして未来へ

復帰後、沖縄では大規模な公共事業のほか、沖縄国際海洋博覧会の開催を契機にリゾート開発が各地で始まった。豊かな社会の実現を目指して開発が進められたが、同時に環境の悪化も問題化した。2000年(平成12)には九州・沖縄サミットが名護市で開催され注目を集めた。同年には「琉球王国のグスク及び関連遺産群」が世界遺産に登録されるなど、沖縄文化の優位性が広く認知されてきている。今日では観光客や移住者の大幅増加とともに沖縄は新たな時代を迎えている。

エピローグの「沖縄の現代生活」は、開館時に募集した写真作品で構成され、まさに「現代生活」のドキュメント資料である。

#### 【部門展示】

総合展示室の周囲には、自然史、考古、美術工芸、歴史、民俗の5つの部門展示室を設け、沖縄の自然・文化・歴史・民俗の特徴をより深く理解していただくために、それぞれのテーマをより特化した形での展示している。部門展示で扱うテーマは可変性を持ち、頻繁に展示替えを行っている。

# ○自然史部門展示 「生物が語る沖縄2億年」

琉球列島の成り立ちや、島の環境に適応して独自の進化をとげた生き物の世界を展示するとともに、沖縄が世界に誇る化石人類である港川人の最新の研究成果を紹介している。またジオラマ展示では、ヤンバル(沖縄島北部)、宮古島、西表島、マングローブについて自然の成り立ちを重視した展示を行っている。

○考古部門展示 「沖縄考古学の世界」

発掘調査によって出土した実物資料を用いて、人々の暮らしぶりや地域的な特徴、時代の変化などをわかりやすく紹介している。

○美術工芸部門展示 「琉球の美」

島々に生きた先人たちは、自分たちの生活・文化に海外との交流によってもたらされた「モノ」や「文化」を取り入れることによって、琉球の美術工芸品を生み出した。ここでは王国時代の人々の美意識を伝えながら、現代に生きる私たちにとって、より親しみやすい形で、1年に数回テーマを決めて展示替えを行いながら、琉球の美を紹介する。

○歴史部門展示 「モノから読む歴史」

沖縄は、独立した国家であった琉球王国の歴史に加え、近代以降、日本やアメリカなど国際社会の動向の中で、何度も世替わりを経験した。ここでは年に数回のテーマ展示を通して、沖縄をはじめ各地の様々なモノから歴史をひもとき、歴史の醍醐味や楽しさを紹介する。

○民俗部門展示 「沖縄の伝統とくらし」

沖縄の島々に伝わる生活文化について紹介している。村落の成り立ち、信仰と祭り、人の一生、農耕と漁労、衣食住、職人の技、変容する民俗などのテーマを設けて、「観る」、「聴く」、「触る」、「調べる」といった体験的な要素を加えた展示を行っている。

#### 3 常設展 部門展示替え

#### 【美術工芸部門】

沖縄は、湿潤亜熱帯の気候風土にあり、中国、朝鮮半島、日本、東南アジアの中継地点に位置し、独立した 王国を営んできた。美術工芸部門展示室では、沖縄で育まれた琉球の美を紹介している。展示は下記のテーマ で展示替えを行った。

#### ○「王国の輝き」

展示期間:2017年(平成29) 4月18日(火)~9月10日(日)

主 旨:琉球の美術工芸は、その自然的、地理的環境と歴史の流れの なかで育まれ、中国とも日本とも異なる様相をみせる特徴が ある。絵画は、宮廷や王族、士族の座敷を飾り、書芸は士族 のたしなみとして詩文とともに展開した。人々の暮らしで使 われた焼物や染織品、中国や大和への贈物として発展した漆 芸など、多彩な美術と工芸の世界を紹介した。



#### 展示資料:36件41点

伝自了「寿老人」・呉師虔「神猫図(複製)」・殷元良「竹の図」・呉著温「関帝王」・慎思九「山水図」・毛世輝「蘭の図」・作者不詳「琉球風俗図」/黒漆箔巴紋丸盆(寄託)・黒漆箔巴紋 煮付板・足付盆(寄託)・朱漆沈金巴紋入り化粧箱・朱漆巴紋牡丹沈金足付盆/赤絵竹梅文茶家・赤絵急須・赤絵雲龍文からから・赤絵雁蟹急須・赤絵撫子文茶碗・緑釉碗・赤絵抱瓶/李鼎元「聯(対句)」・毛維藩「五言対句」・周煌「七言絶句」・鄭元

偉「五言絶句」・楊文彬「鶯」・鄭元偉「扁額徳高」/苧麻白地花の丸笹雪輪模様衣装・木綿紺 青地松皮菱に菊水茄子模様スディナ・木綿紺青地霞に梅桜鳥模様衣装・桐板経緯絣衣装・木綿浅 地手縞子ども着・苧麻白地総絣衣装・芭蕉緑地格子縞衣装・木綿菊模様ウチュキー

#### ○「美のかたち ~海と風と~」

展示期間:2017年(平成29) 9月20日(水)~12月17日(日)

主 旨:琉球は小さな島々で構成される国で、海や風は人の暮らしに 大きな影響を与えてきた。それに関連する、琉球で育まれ、 継承される美のかたちを紹介した。

琉球の美術工芸は、中国(明・清)、大和の影響を受けながら、どちらとも異なる様相をみせている。絵画は風に揺らぐ花鳥を、書芸では航海安全のために掲げられた聯や扁額などを公開した。工芸品では海の素材を活用した螺鈿、波や魚

介の表現、そして風を通すと評される琉球の染織品をご覧いただいた。

#### 展示資料:34件35点

股元良「枯柳水禽図」・査丕烈「牡丹の図」・作者不詳「菜園蝶虫図」・沈南蘋「草花群虫の図」・毛文達「蘭の図」・義村朝義「朝日と波」・作者不詳「琉球風俗画」(後半は彫刻に展示替え) /徐葆光「聯:統全海之洪波洪俯順人情應」・伝鄭週「扁額:龍王殿」・鄭嘉訓「清風」・義村朝義「海濶」・鄭元偉「扁額徳高」/朱漆双龍螺鈿軸盆・黒漆花鳥図菱繋螺鈿四段重・朱漆沈金煙草入・朱漆牡丹唐草箔絵食籠・黒漆海老堆錦椀/苧麻浅地菊貝模様衣装・木綿浅地格子に絣模様スディナ・木綿灰色地葦繋ぎに波笹舟若松模様衣装・紅型型紙:青海波に桜楓模様・紅型型紙:波に桜千鳥散し模様・芭蕉木綿経縞絽織子供着・木綿紺青地流水に鯉撫子模様衣装・木綿浅地経緯絣衣装・桐板経緯絣衣装/色象嵌栗絵菊花皿・黒釉掻落魚文皿・赤絵雁蟹急須・線彫海老文皿・線彫松竹梅文筒形花生・波魚貼付文壺/玉陵石獅子(複製)※後半展示

#### ○「春を愛でる」

展示期間:2017年(平成29)12月26日(火)~2018年(平成30)4月1日(日)

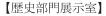
孫億「花鳥図」・義村朝義「不老長春」・比嘉盛清「琉球風

主 旨:「春」とは冬から夏の間の季節のこと。暦の上では立春から 立夏の前日までの、昼が次第に長くなり、草木が芽吹く頃で ある。旧暦の正月をふくむことから「始まり」「新年」「旅 立」のイメージがある。琉球の人々が、「春」を迎えて楽し む様子を美術工芸の作品から紹介した。

展示資料:33件33点

俗画帖」・比嘉盛清「関帝王」・作者不詳「八重山風俗図」/鄭嘉訓「福」・周煌「福」・武勇義「福」・宣湾朝保「和歌:梅告春近」・魏学賢「春日」・義村朝義「寿」・鄭元偉「扁額徳高」/朱漆螺鈿緑石文庫・黒塗花鳥漆絵提重・黒漆松竹梅文螺鈿角盆/木綿浅地波に桜千鳥模様衣装・木綿緋色地菊花模様衣装・木綿染分地鶴松梅菊模様子ども着・紅型型紙:波に桜千鳥模様・絹木綿浅地手縞子ども着/絹阿まんだ地経緯絣袷衣装・絹木綿紺地手縞袷衣装・木綿茶格子に絣袷衣装・木綿紺地経緯絣袷衣装(裏浅地総絣)/色象嵌粟絵菊花皿・黒釉嘉瓶(玉の字入り)・竹梅文釘彫抱瓶・紫泥枝梅文花生・赤絵急須・線彫花文蓋物(金城次郎)・赤絵海老文急須セット(新垣勉)/三線「盛嶋開鐘」/玉陵石獅子(複製)

(與那嶺 一子)



歴史部門展示室では、様々な資料から歴史をひも解く展示を志し、「モノから読む歴史」という大テーマを 設定している。ここでは、様々なテーマに沿って、年に数回の展示替えやトピック的な展示を行うなど、柔軟 な機能を備えている。

歴史部門では、「那覇港〜往来する人とモノ〜」というテーマの展示を通年で展示し、平成29年度は、沖縄 美ら島財団との共催で「描かれた首里・那覇〜バーズアイから見た琉球〜」展を開催した。また同展では開会 式を行い、県立芸大の学生による琉球舞踊で開会式に花を添えた。 以下に、それぞれの概要を紹介する。

○「那覇港~往来する人とモノ~」

展示期間:通年展示



主 旨:琉球王国から国内外への玄関口として機能し、様々な人やモノが行き交った那覇港の歴史のなかでも、17~19世紀を中心に取り上げ、3つのテーマに分けて紹介する。「1王国の港・那覇港」では、琉球王国の王都であり政治の中心地であった「首里」と海上交通の要所であった「那覇」の強い結びつきを示し、「2往来する人・モノ」では、王国の玄関口である那覇港から行き来した様々な人やモノを紹介する。「3那覇のマチ」では、歴史地図を手がかりとして「那覇四町」とよばれる地域に隣接する久米村や辻・渡地・仲島に注目し遊郭地区、女性によるマチ(市場)の様子など、港をとりまく人々の姿を示す。



展示資料: 首里那覇港図屛風、間切図(複製)、琉球列島并三十六島之図、新濬那覇江碑文、おもろさうし(複製)他



○「描かれた首里・那覇~バーズアイから見た琉球~」

展示期間:2017年(平成29) 7月25日(火)~10月9日(月)

主 旨:開館10周年を迎えた当館と復元から25周年を迎えた首里城公園を記念して沖縄県立博物館・美術館と一般財団法人沖縄美ら島財団が共催で常設展歴史部門展示室において企画展を開催。展示は、当館と沖縄美ら島財団が所蔵する資料を中心に、那覇市歴史博物館と浦添市美術館が所蔵する首里や那覇が描かれた鳥瞰図、すなわちバーズアイ・飛ぶ鳥の目で見たように高い視点からとらえた図を中心にした。現在と王国時代の街並を比較することで、首里や那覇の街並に残る都市の変遷や、戦前に鎌倉芳太郎氏が記録した写真資料の鳥瞰図屛風についても併せて紹介した。

展示資料: 首里那覇港図屛風、琉球貿易図屛風(複製)、那覇港図(沖縄美ら島財団蔵)、琉球交易港図屛風(浦添市美術館蔵)、琉球進貢船図屛風(那覇市歴史博物館蔵)、首里那覇全景図屛風(鎌倉 芳太郎資料より複製)



開会式のテープカット



開会式に華をそえたかぎやで風







常設展歴史展示室内で開催されたバーズアイ展 展示会場の様子

(外間 一先)

#### 【民俗部門展示室】

民俗分野では、毎年季節の行事にあわせて「沖縄のすまい」コーナーにおいて、仏壇前にお供え物等を展示している。平成29年度も以下のように行った。

主 旨:沖縄では旧暦の1日・15日に仏壇にお供え物をするほか、季節の節目の行事ごとにいろいろなお 供え物をする。民俗常設展示室の民家模型にある仏壇にも行事にあわせてお供え物や説明パネル を展示した。5月5日 (グングヮチグニチ) の展示では、ハーリーの模型及び張り子を一緒に展 示した。

展示期間:正月(新・旧)、清明祭、5月4日(ユッカヌヒー)と5月5日(グングヮチグニチ)、旧盆、 十五夜、冬至、ムーチー等



旧正月



清明祭







ユッカヌヒーとグングヮチグニチ (ハーリーの模型や張り子、ヤカジも同時展示)





旧盆(写真は2016年度のもの)







ムーチー (軒下に吊して歳の数だけ食す)

冬至 (トゥンジージューシー) (大湾 ゆかり)

#### 【常設展示室企画展示コーナー】

○平成28年度寄贈資料

「石橋毅博士コレクション:沖縄島北部・周辺離島の古生代・中生代化石・岩石標本及び調査・研究資料一式」 展示期間:2017年(平成29)6月27日(火)~2018年(平成30)4月15日(日)

旨:1960年代に沖縄島北部・周辺離島の地質・古生物化石の調査を行った石橋博士の調査・研究資料及び当時採集した多数の岩石・化石標本です。アンモナイトやハロビアを発見した石橋博士の資料・標本は、沖縄島周辺の古生代、中生代の地史を紐解くものであり、また当時の資料は地質学、古生物学研究の歴史を物語るものとしても重要な意味をもちます。自然史部門の入口の企画展示コーナーに展示することにより、自然史部門展示室の琉球列島の古生代から中生代の地史に関する展示を補填します。



展示資料:1960年代に石橋博士が採集した岩石・化石標本781点のうちの一部。アンモナイト化石、ハロビア 化石、紡錘虫化石、岩石薄片、岩石標本、地図類等。

(宇佐美 賢)

#### 【エントランスホール】

○パネル展「2016年 熊本地震 活断層に備えよう」

展示期間:2017年(平成29)8月22日(火)~9月3日(日)後 援:国立研究開発法人 産業技術総合研究所 地質標本館

協 力:琉球大学物質地球科学科教授 中村 衛

資料提供:沖縄気象台

(宇佐美 賢)

#### 4 沖縄県立博物館・美術館10周年記念特別展「海の沖縄 - 開かれた海への挑戦-」

会 期:2017年(平成29)11月1日(水)~2018年(平成30)1月14日(日)

会 場:企画展示室、特別展示室1・2

観 覧 料:一般1000 (800) 円、高校・大学生600 (480) 円、中・小学生300 (240) 円

※常設展共通

※() 内は、前売り及び20名以上の団体料金

観覧者数:8,711人(62日間)

#### 【開催形式】

主 催:沖縄県立博物館・美術館

助 成:日本財団 (海の学び ミュージアムサポート)

協 力:大宜味村教育委員会、伊江村教育委員会、うるま市教育委員会、読谷村教育委員会、那覇市教育委員会、北谷町教育委員会、久米島町教育委員会、宮古島市教育委員会、伊平屋村教育委員会、淨智寺、奈良国立博物館、沖縄県立図書館、清見寺、舟模型の会 アンカー、沖縄県公文書館、国立研究開発法人海洋研究開発機構、第十一管区海上保安本部、ミュージアムパーク茨城県自然博物館、神奈川県立生命の星・地球博物館、国立大学法人琉球大学、株式会社武村石材建設、琉幸建設株式会社、船の科学館

後 援:沖縄県教育委員会、沖縄民俗学会、沖縄考古学会、沖縄タイムス、琉球新報、沖縄テレビ、NHK 沖縄放送局、琉球放送、琉球朝日放送、FM沖縄、ラジオ沖縄、エフエム那覇、FMレキオ

#### 【開催趣旨】

沖縄県立博物館・美術館が那覇市おもろまちに開館して10年を記念して、 沖縄に関係する総合的な視点で展示会を企画した。その際に沖縄と海との 関係は密接に捉えることができることから、海を視座に据えて沖縄を総合 的に見ていくことを目的に展示会を実施するに至った。

各分野、以下に着目して海を表現し、意外なことに気づき、大切なことに気づけるように学ぶことを趣旨に据えて開催した。

- ①生物では世界最速の海流を誇る黒潮と生物多様性が高い珊瑚礁の海。
- ②地学では雄大な時間をかけて海が作った大地(石灰岩)に人が住んでおり、その大地すらも資源として利用する事。
- ③人類では我々ホモ・サピエンスが初めて海を越えて島に到達し、海洋 適応を果たすことによって、世界的にも例が少ない旧石器時代からの 長期的居住を可能にしたこと。
- ④考古では、旧石器時代から海洋資源を最大限に利用して、精神性豊かで工芸的価値も高い装飾品や生活道具を生み出したこと。
- ⑤歴史では、琉球王国が船を利用した海外貿易によって海洋国家となったことを、また、世界中で多くの移民に成功し、現在も海を繋いだウチナーンチュとしてのアイデンティティを保持していること
- チナーンチュとしてのアイデンティティを保持していること。 ⑥民俗では海が豊穣の象徴とともに、畏怖の海ともなって、祈りや祭り
- ⑥民俗では海が豊穣の象徴とともに、畏怖の海ともなって、祈りや祭り に様々な表現があること、また、守るだけでなく資源としてのサンゴの利用や塩の生産があること。
- ⑦美術・工芸では紅型の文様や螺鈿細工に利用されている海。
- ⑧教育・普及では体験キットの開発やワークショップ、シンポジウムや出前講座を通して、体験し、わかりやすく海を学ぶ。



展示室前の碇模型とターポリン

# 【展示内容】

#### 第1章 プロローグー海の自然と大地ー

海を自然(生物・地学)の観点から学ぶ。そもそも「海」とはどのようなものなのか、沖縄の海の特徴は何か、世界有数の速度を誇る黒潮、そしてそこから育まれる生物。生物だけではない、我々が住む島々の多くは石灰岩で形成されおり、その起源は海である。我々の立つ大地すらも海で形成されていることを、石灰岩に含まれる生物等をとおして実感する展示を行った。

〔主な展示品〕

リュウグウノツカイ剥製、ジュゴン剥製、チムニー模型、海底地形床面パネル、大型岩石標本、体験キット「貝半栽標本」、体験キット「古代海の化石」・「古代海の背物」





第1章 プロローグ -海の自然と大地

#### 第2章 海のめぐみー豊穣の海ー

海の資源資料を抜きにして琉球列島の自然と歴史・文化を語ることはできない。我々の身の回りには実に多くの海が存在する。本章では食料資源となってきた海産物、サンゴやビーチロックを利用した建築材、石灰・漆喰の生産、道具類、海洋に生きたヒトの特徴。琉球の海がもたらす様々な恵みを学び、その大切さについて気づく展示を行った。

#### 〔主な展示品〕

製塩道具一式、ナガラ原第三遺跡出土貝製品、浦底遺跡出土シャコガイ製 貝斧、体験キット「貝匙」、珊瑚石厨子、石積み模型、沖合漁関連漁具一 式、



第2章 海のめぐみー豊穣の海ー

#### 第3章 ヒト、海を渡る一荒波を越えて一

旧石器時代、人は船を利用して海を渡り、それまで無人だった琉球列島に初めて到達し、様々な島々に広がって適応していった。島で生きるためには海洋資源の利用も必要であり、その採集にも船が利用されただろう。 琉球王国時代には大量の物資運搬が可能な大型船を駆使し、黒潮を越えてアジアの国々と交易を行った。近代には海を越えて外国へと移民する沖縄人も多く現れた。過去の沖縄人が生活の中で海を介してもたらされた物品や、船を利用して海を駆け巡った痕跡を追いかけていく展示を行った。

#### 〔主な展示品〕

尚泰久宛勅書、奉使琉球図、大里城雲板、旧首里城正殿鐘、港川人4号人骨、平安山原遺跡出土大洞式系土器、城嶽貝塚出土明刀銭、渡地村跡出土銭貨、清見寺蔵朱漆巴文牡丹七宝繋沈金天目台と天目碗、体験キット「銭差」・「三線」・「ツナガルマップ江戸立ち編」





第3章 ヒト、海を渡る一荒波を越えて一

#### 第4章 いのりの海-畏敬の海-

海は豊穣の恵みをもたらすだけではなく、時には荒れ狂い、災害として多くの人の命をも奪ってきた。そのため、海に畏怖・畏敬の念をいだき、時には信仰の対象として様々な「いのり」が行われてきた。琉球列島で育まれてきた祈りの形について学び、海への畏怖と畏敬を想起させる展示を行った。

#### 〔主な展示品〕

螺鈿の馬の蔵、ミルクの面、マユンガナシの面、サバニ





第4章 いのりの海 - 畏敬の海-

#### 第5章 海の美ーさまざまな表現ー

沖縄の美、そこには海や波、海洋生物をモチーフとしたり、海洋生物そのものを利用して製作された工芸品や美術品がある。無数にある海洋資源から、沖縄人が好んだモチーフや生物は何だろうか。戦前・戦後の美術作家達はどのように海を表現したのか。海が表現された美術工芸品を通して沖縄人の心に近づいてみるような展示を行った。

〔主な展示品〕嘉手納貝塚出土蝶形骨製品、世持橋勾欄羽目、苧麻白地鶴貝流水水鳥模様衣装、苧麻紺地鶴に 波文藍型幕、線彫魚文大皿





第5章 海の美 ーさまざまな表現ー

#### 第6章 エピローグーこれからの海ー

世界の目は海洋資源の開発と利用に向けて注目が集まっている。様々な分野で海をテーマとした先進的な研究が行われており、琉球列島はその波の渦中にあると言っても過言ではない。琉球列島で展開されている最先端の海洋研究や海の利用について学び、未来への希望を想像してみるような展示に努めた。

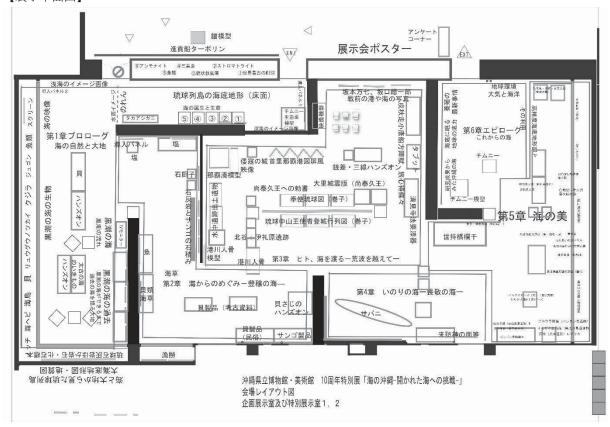
#### 〔主な展示品〕

プラスティーネーション標本、巨大チムニー、マグロ剥製、石垣島屋良部 崎沖海底遺跡模型



第6章 エピローグ ーこれからの海ー

#### 【展示平面図】



#### 【関連催事】

(1) 特別展関連講座①「海を越えて広がる世界と琉球(沖縄)」

日 時:2017年11月3日(金)10:00~15:00

場 所:講堂

講 師:梶田 忠 (琉球大学熱帯生物圏研究センター教授)

戸田 守(琉球大学熱帯生物圏研究センター准教授)

藤田 祐樹(国立科学博物館人類研究部人類史研究グループ研究員)

萩尾 俊章 (沖縄県教育庁文化財課)

岡本 亜紀 (浦添市美術館)

上里 隆史(法政大学沖縄文化研究所国内研究員)

参 加 者:100名

(2) 特別展関連講座②「未来につながる海の利用」

日 時:2017年12月3日(土)13:00~15:00

場 所:講堂

講師: 菅浩伸(九州大学 先導的学術研究拠点浅海底フロンティア研究センター)

中西 裕見子(大阪府教育委員会文化財保護課文化財企画グループ)

升間 主計(近畿大学水産研究所)

木川 栄一 (国立研究開発法人海洋研究開発機構 海底資源研究開発センター)

参 加 者:47名

(3) GODAC出張ラボ:体験学習教室『海底資源を採取せよ!水中カメラロボット操縦体験』

目 時:2017年12月9日(土)10:00~16:00

場 所:メインエントランス

参加者:60名

(4) ふれあい体験室ワークショップ「海へのあこがれ ~ジェルキャンドルで小さな海を作ろう!~」・「海 へのあこがれ ~波もようトートバッグを作ろう!~」

日 時:2017年10月から翌年1月までの毎週土曜日開催(計14日) 2017年10月7日、14日、21日、28日 11月4日、11日、18日、25日 12月2日、9日、16日、23日

2018年1月6日、13日

場 所:エントランスホール

参加者:282名

(山本 正昭)

#### 5 「新収蔵品展-平成28年度収蔵資料-」

会 期:2017年(平成29) 5月23日(火)~2017年6月25日(日)

会 場:企画展示室

観 覧 料:一般600円(480円)、高校・大学生400円(320円)、小・中学生300円(240円)

※( )は、前売り及び20名以上の団体料金

※上記観覧料で「博物館70年のあゆみ展」「博物館常設展」の観覧料込み

博物館企画展「新収蔵品展」は、前年度に寄贈・収集・購入・移管・修理された諸資料を一堂に集め、広く一般に公開するとともに、今後の博物館活動の充実と発展をめざして開催するものである。

#### 【事業内容】

2016年度(平成28)に寄贈・収集・購入・修理された諸資料を地学、 生物、人類、考古、歴史、美術工芸、民俗の各分野に分類し、博物館 3階の企画展示室で展示・公開した。

本展の初日には、寄贈者への感謝状贈呈式および開会式等を実施した。



開会式・テープカット

#### 【展示内容】

2016年度(平成28)は、寄贈・収集・購入等により362件の新資料を収蔵した。自然史分野では、781点にのぼる沖縄島北部や周辺離島の古生代・中生代化石・岩石標本や調査研究資料一式(石橋毅氏寄贈)や、北大東島の燐鉱石(金城勇徳氏・赤嶺善光氏寄贈)などの資料をご寄贈いただいた。歴史分野では、戦時中の沖縄の姿を捉えた写真(勝子ウィルソン氏寄贈)や、日本軍の九九式短小銃(那覇警察署寄贈)、壺川松尾墓碑(玉川御殿始祖の墓碑 1679年の銘あり)(仲里朝豪氏寄贈)などをご寄贈いただいた。美術工芸分野では、米国ハワイ州より陶磁器をはじめとする125点の大型コレクション(福田経子氏寄贈)のご寄贈があり、また、芭蕉布経緯絣の着物(大城君子氏寄贈)や苧麻紺地亀甲模様反物(宮古上布)がご寄贈された。民俗分野では、メジロ籠の名工友寄英春氏が製作したメジロ籠5点や龍武年号の入った石厨子(砂辺松博氏寄贈)などの貴重な品々をご寄贈いただいた。このほか、平成28年度に開催した「目からウロコの生物実験展」に際して作られたプラスティネーション標本や「平成28年度琉球王国文化遺産集積・再興事業」の成果物として7点の資料が加わった。







新収蔵品展 学芸員による展示解説の様子

(大湾 ゆかり)

#### 6 企画展「未来へ沖縄を伝え遺す 博物館70年のあゆみ」

会 期:2017年(平成29)5月23日(火)~2017年6月25日(日)「新収蔵品展」と同時開催

会 場:特別展示室1·2

観 覧 料:一般600円(480円)、高校・大学生400円(320円)、小・中学生300円(240円)

※( )は、前売り及び20名以上の団体料金

※上記観覧料は「新収蔵品展-平成28年度収蔵資料-」「博物館常設展」の観覧料込み

沖縄県立博物館(沖縄県立博物館・美術館)は、沖縄戦直後の1946年(昭和21)に設立された東恩納博物館から数えて、2016年(平成28)で70周年を迎えた。戦後復興の中での残欠遺物の収集に始まり、海外に散逸した資料の収集、ペリー来沖100年記念の1953年(昭和28)に「おもろさうし」等の返還、自然史分野の創設など、時代や社会のニーズに合わせて博物館の規模や役割も変容してきた。また、琉球政府立博物館や沖縄県立博物館、そして沖縄県立博物館・美術館へと場所や名称も変えながら、資料収集、保管、研究等の活動を重ねてきた。その多年にわたる活動を通じて、当館には18万点を超える資料が収蔵されてきた。本展覧会では、70年の資料収集活動で博物館に収蔵された逸品の数々を紹介しつつ博物館の歴史を振り返り、今後のさらなる発展を目指す博物館活動を紹介した。

#### 【事業内容】

冒頭で博物館の歴史を振り返る「博物館70年のあゆみ」年表を設置し、それに沿いながら、収蔵品の中から時代を象徴する資料を時系列的に展示して、各時代に博物館が果たしてきた役割を紹介した。続いて、各分野の代表的な収蔵資料を紹介し、分野ごとに設立の時期や主要な資料の受入時期などを説明し、博物館機能が多様化し充実してきたことを紹介した。このほか、過去に実施した展示会のポスター展示や、恐竜の原寸大骨格標本、首里城正殿の模型等、懐かしい資料や大型資料も数多く蔵出しした。

関連催事として、展示解説会や関連シンポジウム「博物館70年のあゆみ」を開催し、過去に博物館活動に関わった方々から当時の活動などを報告いただき、次世代に向けての抱負等をお話しいただいた。

#### 【主な展示資料リスト】

歴史分野: 『混効験集』、『おもろさうし(尚家本)』、『中山世鑑』、『中山世譜(蔡鐸本)』、『中山世譜(蔡]本)』、『中山世譜(蔡]本)』、御玉貫、聞得大君御殿雲龍黄金簪、守礼門模型、首里城正殿模型など

人類分野:世界最古の釣針、港川人第3号、同第4号など

考古分野:大山貝塚出土の縄文土器(多和田真淳コレクション)、ヤジャーガマ遺跡表採土器、八重山式土器ほか(G・H・ケアコレクション)、火矢、勝連グスク出土遺物など

民俗分野:円覚寺三牌、蓮弁鳳凰彫刻位牌、上焼本御殿型厨子等、神扇、古代祝女衣裳のカカン、ウスデーク、獅子頭、ワラザン、張り子、農具・漁具類など

美術工芸分野:末吉宮石獅子、円覚寺石彫片、三線江戸与那、円覚寺十六羅漢立像、渡海観音図(模写)、 殷元良「花鳥図」、染分地霞に遠山菊水模様胴衣、赤絵菊花紋壺、黒漆遊雁芦螺鈿料紙箱など

地学分野:タルボサウルス頭骨、サウロロロフスの皮膚化石、珪化木、深海底マンガンノジュール、アメジスト他一式、リュウキュウジカ・リュウキュウムカシキョン・ケラマジカ骨格、赤ちゃんマンモス(模型)、マンモスの毛と歯、隕石など

生物分野:仲嶺貝コレクション一式、ハナサンゴ等サンゴ、リュウキュウユビナガコウモリ・ジュゴン・イ リオモテヤマネコ・オキナタトゲネズミ・ヤンバルクイナ・ヤンバルテナガコガネ等の剥製

その他:『博物館収蔵台帳』第1号、G・H・ケア博士の民俗調査報告書、博物館70年のあゆみ関連年表





学芸員による展示解説

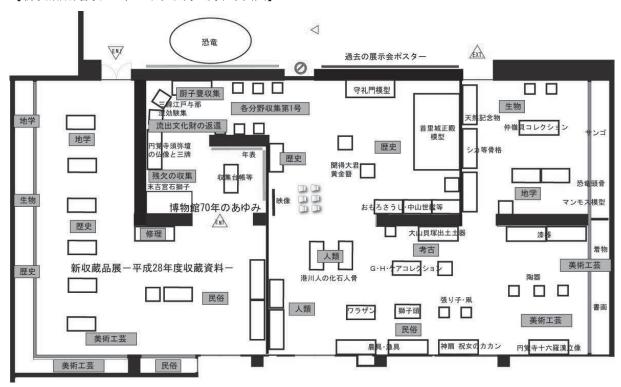


資料に見入る観覧者



70年のあゆみ展にあわせて展示された 恐竜たち

#### 【新収蔵品展及び70年のあゆみ展 展示平面図】



(大湾 ゆかり)

#### 7 企画展「ウィルソンが見た沖縄 一琉球の植物研究史100年とともに一」

会 期:2017年(平成29) 9月8日(金)~2017年10月15日(日)

※沖縄美ら島財団にて11月中旬~翌年1月初旬に移動展開催

会 場:特別展示室1・2

観 覧 料:一般600円 (480) 、高大生400円 (320) 、小中生300円 (240)

※上記観覧料は「博物館常設展」も含む

※()内は前売り、または20名以上の団体料金

#### 【開催形式】

主 催:沖縄県立博物館・美術館、一般財団法人沖縄美ら島財団

共 催:琉球新報社

特別協力:古居 智子(著述家・ウィルソン研究家)

協 力:ハーバード大学、国立科学博物館、鹿児島県立博物館、高知県立牧野植物園、琉球大学、沖縄県 公文書館指定管理者公益財団法人沖縄県文化振興会、那覇市歴史博物館、名護博物館、名護市教 育委員会、宜野湾市立博物館、公益財団法人屋久島環境文化財団、国立沖縄青少年交流の家、那 覇市文化協会、嘉手納町教育委員会、古都首里探訪会

後 援:沖縄県教育委員会、座間味村教育委員会、渡嘉敷村教育委員会、沖縄タイムス、沖縄テレビ放送、 NHK沖縄放送局、琉球放送、琉球朝日放送、沖縄ケーブルネットワーク、ラジオ沖縄、エフエム 沖縄、FMレキオ、エフエム那覇

#### 【開催趣旨】

本展覧会では、屋久島のウィルソン株で有名な英国人プラント・ハンターのアーネスト・ヘンリー・ウィルソンが100年前に沖縄で撮影した貴重な写真を展示した。

1917年当時の沖縄の風景と現在の沖縄の同地点の風景を対比することで、来館者が100年の環境の変化やその歴史的背景に思いをはせることをねらいとした。あわせて、多くの植物標本を採集して持ち帰ったウィルソンの植物学者としての生きざまを紹介するとともに、その後連綿と続く沖縄県の植物研究について、当館の収蔵資料を中心に、時系列で紹介した。

#### 【展示内容】

屋久島のウィルソン株で有名な英国人プラント・ハンターのアーネスト・ヘンリー・ウィルソンが100年前に

日本で撮影した貴重な写真のうち、特に沖縄で撮影したものを中心に展示した。当時(20世紀初頭)、写真撮影には重装備が必要であったが、ウィルソンは労をいとわず、日本中を回った。総数773枚のうち屋久島を含む 鹿児島で118枚、沖縄で59枚の写真が撮影されている。これらのガラス乾板は現在、アメリカのハーバード大学 に収蔵されている。

屋久島在住の著述家、古居智子氏はその写真の存在を発掘し、2013年に同大学アーノルド植物園から屋久島および鹿児島県内の写真を入手した。屋久島と鹿児島市内で、このウィルソンの写真展が行われ、平葺きの木造家屋が寄り添うように軒を並べる里の風景、山の中の巨木の佇まい、そして今や「ウィルソン株」と呼ばれ観光スポットになっている大株のいにしえの姿など、100年前にタイムトリップしたような写真の数々を多くの方が楽しんだ。また、写真展に関連し、当時を知る人の聞き込み調査が行われ、単なる歴史資料にとどまらない新たな展開も見せた(参照:『ウィルソンの屋久島-100年の記憶の旅路』古居智子著・KTC中央出版、1913)。その後2015年には鹿児島県立博物館での企画展示も行われ、大盛況だった(参照:『ウィルソンが見た鹿児島・プラント・ハンターの足跡を追って』古居智子著・南方新社、1915)。

今回の展覧会を行うに当たっては、ウィルソンが沖縄で撮影した各写真の撮影場所や植物種およびその歴史的背景を考察した。また、同時に、この時代に琉球の動植物調査を行った沖縄の植物学者を紹介するとともに、戦前から戦後の植物学研究の体系化を試み、博物館・美術館、沖縄美ら島財団が所蔵する植物関係資料を紹介し、100年前の沖縄の植生を浮かび上がらせた。

関連企画として、現生の沖縄の植物について国立科学博物館の協力を得、同館筑波実験植物園で行われた「琉球の植物」展の内容を一部紹介するとともに、沖縄美ら島財団より生きた絶滅危惧植物を借用し、展示した。

#### 第1章 ウィルソンの旅

ウィルソンとはどういう人物だったか、どのような視点で世界を旅したかなど、人間ウィルソンにスポットをあて、100年後に思いを馳せた彼の業績をたどった。ウィルソンの日本での旅を紹介、写真撮影の方法(ガラス乾板の原理)など

〔展示物〕ウィルソン株写真大パネル、腊葉標本など

#### 第2章 ウィルソンと琉球の風景

100年前の屋久島、那覇、名護、慶良間の貴重な写真を紹介し、特定ができる場所では現在と比較する。主に歴史、文化、民俗など、人と植物のかかわりを捉えた写真を中心に紹介した。

[展示物]展示説明パネル、ウィルソンの沖縄の足跡をたどる地図、写真パネル(大小27点)、映像

#### 第3章 ウィルソンが撮った琉球の植物

100年前の那覇、名護、慶良間の貴重な写真を紹介し、特定ができる場所では現在の写真と比較する。主に、植物に焦点をあてた写真を中心に紹介した。

〔展示物〕展示パネル、植物リスト、写真パネル(大小17点)、ウィルソンの肖像、野冊・胴乱、採集箱などの植物研究関連資料、沖縄の植物に関するウィルソンの論文(パネル)、さく葉標本、当時の植物採集やプラント・ハンターについてなど

#### 第4章 沖縄の植物研究(黎明期~現在)

戦前に琉球に探検に来た外国人、その後の琉球植物研究の黎明期等について紹介 [展示物] さく葉標本、遺品、植物採集の道具など

#### 関連企画 同時開催「琉球の植物」(ホワイエおよびベランダにて)

国立科学博物館の企画展「琉球の植物」を一部抜粋して紹介 〔展示物〕パネル、絶滅危惧植物(生きた植物)約20点

#### 【パンフレット製作】

展覧会内容に関するパンフレット(A4、16ページ、オールカラー)を刊行(無償配布)

#### 【展示室の様子】



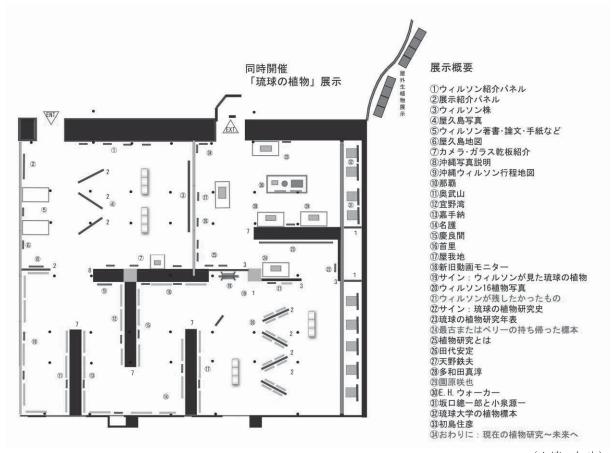






ウィルソンが写した沖縄の風景写真やカメラ、琉球の植物研究者の資料が展示された

#### 【展示平面図】



(山﨑 仁也)

#### 8 企画展「大嶺薫コレクション -かざる- 展」

会 期:2018年(平成30)2月1日(木)~2018年3月11日(日)※展示日数:36日

会 場:博物館特別展示室1 (約220㎡) 観 覧 料:※博物館常設展料金に同じ

#### 【開催主旨】

大嶺薫コレクションは、故大嶺薫氏 (1905~1970) が戦前・戦後をとおして収集したものである。氏の没後、その意志をひきついだ遺族によって、1971年 (昭和46)、大嶺薫美術館が設立され、沖縄の美術工芸や文化の振興に貢献してきた。1985年 (昭和60) 3月、同美術館の閉館にともない、収蔵資料3,550点の美術工芸のコレクションが当時の沖縄県立博物館へ寄贈された。

戦後、沖縄の多くの文化遺産が消失あるいは海外へ散逸したが、 大嶺薫はこれら文化財の流出を憂慮し、収集に努めたことは高く評価されている。



本展は、大嶺の業績を顕彰するとともに、毎年1回開催するもので、本年度は、「かざる」をテーマに各分野の資料を紹介した。人は日々の暮らしや祭礼などの場などで、美を求めてさまざまな飾りをこらしてきた。

場を飾る、身を飾るもの、そこには使い込んだ用の美もあり、また技巧を凝らしたものなどさまざまであり、 大嶺氏が追及した美の世界を展覧した。

#### 【展示資料】 95件101点

○美術工芸:場を飾る軸物の美を紹介(絵画 2件5点/書跡 4件4点)

暮らしの調度品や器物のかたちや装飾の美を紹介(漆器 5件5点/陶磁器 6件6点)

祈りの美を紹介(天尊子像・天部形神像 2件2点)

○歴史資料:台湾原住民族の装飾品 25点

日本(アイヌ・本土・沖縄)、中国の装飾品 14点

北米・エジプト・インド・メキシコ等の装飾品 15点

〇民 俗:身を飾る美や木彫の調度品の美を紹介(台湾原住民の装身具等 13点/透かし彫り木彫 4件

6点)

○考 古:古墳出土の刀や勾玉の美を紹介(5件6点)

(與那嶺 一子)

9 大阪府立弥生文化博物館×沖縄県立博物館・美術館 平成29年度大阪府立弥生文化博物館 夏季 特別展「沖縄の旧石器人と南島文化」

会 期:2017年(平成29)7月1日(土)~2017年9月18日(月)

会 場:大阪府立弥生文化博物館 特別展示室(大阪府和泉市池上町4丁目8-27)

観 覧 料:一般650円、65歳以上・高大生450円

※8月20日(日)は夏休みフェスタで入館無料

観覧者数:11,608名(68日間)

#### 【開催形式】

主 催:大阪府立弥生文化博物館 沖縄県立博物館・美術館

共 催:読売新聞社

特別協力:株式会社南都(おきなわワールド ガンガラーの谷)

後 援:泉大津市、泉大津市教育委員会、和泉市、和泉市教育委員会、南城市教育委員会、八重瀬町教育

委員会

#### 【開催趣旨】

九州の南方海上に浮かぶ沖縄の島々。湿潤な亜熱帯に位置し、隆起サンゴ礁からなる石灰岩が広く分布する沖縄では、旧石器時代の人骨化石が数多く発見されています。特に、約2万年前の港川人は、日本列島の旧石器人を代表する人骨化石として、広く知られています。ただ、これらの旧石器人が使ったはずの石器などの道具は沖縄ではみつかっていません。このため、沖縄の旧石器人がどのような暮らしをしていたのかは、よくわかっていません。また、旧石器時代以降、一万年ほどの期間は人骨も発見されない「空白の時代」となっており、旧石器人とその後の人々との間に関連があるのかどうか、謎とされていました。



開会式(テープカット)の様子

しかし、近年になって沖縄各地で進められている発掘調査で、旧石器時

代とそれに続く「空白の時代」に相当する人骨や石器、貝器などの遺物が発見され、従来の沖縄の人類史が書き換えられてきました。

本展覧会では、近年新発見が続く琉球列島の旧石器時代を中心に、沖縄の特色ある人類史をテーマとします。人類の起源と進化のあらましからスタートし、沖縄の洞穴遺跡から出土した旧石器時代人骨や貝器を中心に、縄文・弥生時代と同時期の貝塚文化や、グスク、王国に至る南島文化を紹介します。加えて、沖縄とは異なる変遷を遂げた大阪の旧石器時代の石器と比較を行い、日本列島の文化と環境の多様性を浮き彫りにしたいと思います。

#### 【展示内容】

## 第1部 人類の進化と日本列島への拡散

①人類の誕生

猿人(サヘラントロプス・アウストラロピテクス)の紹介

②アフリカを出た原人とそのゆくえ

原人(ドマニシ(グルジア)、北京原人(中国)、フローレス原人(インドネシア))の紹介

- ③ネアンデルタール人の時代 ネアンデルタール人の紹介
- ④新人の誕生と拡散

ホモ・サピエンス (クロマニヨン人) とその文化の紹介

⑤アジア大陸東縁への到達

東アジアの新人化石(山頂洞、ワジャク人、柳江人、港川人)の紹介

⑥日本列島への人類の拡散

大阪の旧石器の紹介

⑦旧石器時代の環境

動物化石(ナウマンゾウ、ニホンムカシジカ等)の紹介

#### 第2部 沖縄の旧石器人とその文化

①島々のなりたち

湿潤な亜熱帯に位置する沖縄の島々の環境や固有の生物相・化石などの紹介

②沖縄の旧石器人と遺跡

沖縄への人類の渡来、港川人の紹介

③沖縄旧石器時代研究の最前線

サキタリ洞遺跡・白保竿根田原洞穴遺跡における発掘調査・研究の最新成果の紹介

#### 第3部 交流する島々-貝塚の時代

①先史時代1 空白の時代を探る(ティーラガマ遺跡、港川遺跡、サキタリ洞遺跡等出土土器の展示)

②先史時代2 南島爪形文土器の時代・波涛を越えた曽畑人-南島爪形文土器と曽畑式土器(南島爪形文期の文化、曽畑式期の九州との交流について紹介)

③先史時代3 海と島に生きた人々(縄文後・晩期) (市来式土器、荻堂式土器、獣形貝製品、蝶形骨製品等)

④先史時代4 貝交易の時代(弥生・平安並行時代) (ゴホウラ・イモガイ、貝輪、明刀銭、銅鏃等)

⑤先史時代5 先島諸島の先史時代(下田原式土器、無土器期の貝斧等)

#### 第4部 グスクから王国へ

- ①南島農耕社会の成立と展開 (グスク時代) (カムイヤキ、玉縁白磁、滑石製石鍋等)
- ②グスクから王国へ(琉球王国時代) (首里那覇港図屛風、首里城出土厭勝銭、貿易陶磁等)
- ③線刻石板の謎 (線刻石板)

#### 【関連催事】

(1) 講演会(展示に即した講演会を実施)

時 間:14:00~16:00 参加費:無料(要入館料)

定 員:各回とも170名(当日先着順 開館時より整理券配付・開演30分前から受付)

第1回「最古の関西人あらわる!? -古本州島における大阪の旧石器文化-」

日 時:7月15日(土)

講師:大阪文化財研究所 絹川一徳

第2回「海を越えた旧石器人-3万年前の大航海の謎に迫る-」

日 時:7月22日(土)

講師:国立科学博物館海部陽介

第3回「沖縄の旧石器人と人類の起源」

日 時:8月19日(土)

講師:沖縄県立博物館・美術館 山崎真治

第4回「琉球の歴史と文化」

日 時:8月26日(土)

講師:沖縄県立博物館・美術館 田名真之

(2) 学芸員による展示解説

2017年7月15日(土)、22日(土)、8月19日(土)、26日(土)

11:00~12:00頃(要入館料)

#### (3) 夏休みフェスタ

2017年8月20日(日)に「貝器作り」などワークショップを中心としたイベントを開催(当日は入館無料)

#### 【展示会の様子】



大阪府立弥生文化博物館の外観



特別展示室の様子①



特別展示室の様子②



展示状況(第1部「人類の進化と 日本列島への拡散コーナー」)



展示状況(第2部「沖縄の旧石器人と遺跡」コーナー



展示状況 (第3部先史時代3「海と島に生きた人々」コーナー



展示解説会の様子(8月19日)

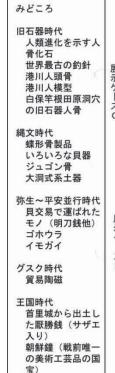


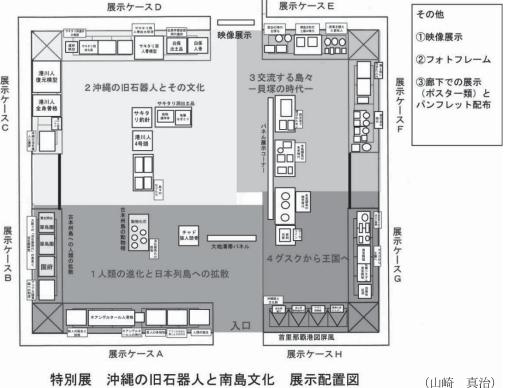
文化講座「沖縄の旧石器人と人類 の起源」(8月19日)



夏休みフェスタ「ワークショップ 貝器づくり」(8月20日)

#### 【展示平面図】





#### Ⅲ 教育普及活動

#### 1 博物館教育普及活動の概要

博物館は資料をわかりやすく展示し、多くの人々に観覧していただくことを大きな使命としている。同時に、 来館者の知的文化的な好奇心を充実させる地域の中軸施設であることも求められている。近年博物館を訪れる 来館者のニーズは多様化し、利用者はそれぞれが様々な目的をもって来館する。このような来館者の要求によ り多くこたえていくため、当館では今年度も多くの教育普及活動を実施してきた。

博物館の教育普及活動では、学校の計画する授業・行事等で博物館を利用する際に支援する学校連携事業、博物館が企画運営する文化講座、学芸員講座、体験学習教室、ボランティア養成等、大きく2つの事業に分け推進してきた。学校連携事業では、学校団体受入の充実した態勢を図るため、ボランティア員を活用した学校団体に対する支援体制の強化を推進し、サービスの向上を図ってきた。また、「出前授業等」実施要項を作成し、学芸員と教師が連携した授業を実施することができた。文化講座は「地図を手に持った史跡めぐり」を皮切りに計11回実施し、県民の皆様に多くの参加をいただき好評を得ることができた。その他にも、体験学習教室では「昆虫標本をつくろう!」をはじめとする5回の体験学習教室の開催や、学芸員講座と常設展展示解説会12回、バックヤードツアー12回、夏休み企画として「夏休み子どもフェスタ 博物館学芸員教室」全9教室開催した。運営面では、指定管理者制度のもと、事業の計画を県職員が立案し事業の実施を指定管理者が行うことになっている。博物館が行う各種事業の中でも、県と指定管理者双方の連携が求められる分野の一つである。博物館教育普及事業の実施に際しては、指定管理者と定例の連絡会議を持ち、運営の方法を協議し事業を推進してきた

県内学校団体の博物館来館目的(教科内容・自由学習など) ※重複あり

項目	小学校	中学校	高等学校	特別支援	大学	合計
下見(学習プログラム作成打合せ)	27	0	0	0	0	27
民具体験(小学校3年社会科)	29	0	0	0	0	29
教科(社会科、理科など)	62	0	15	6	0	83
領域(道徳、特活、総学の時間)	13	2	6	2	0	23
民俗ガイド(小規模校対応)	5	1	0	0	0	6
総合展示部門解説ガイド	8	1	1	1	0	11
修学旅行など	37	0	1	1	0	39
博物館活用学習(自由見学)	35	0	3	3	9	50
その他	9	2	4	7	4	26
合 計	225	6	30	20	13	294

(大川 剛)

#### 2 学校連携事業

学校連携事業は、大きく二つの事業を実施した。

一つは、教育課程の一環として博物館を学習の場として利用する学校団体への学習支援で、館から提供できる支援内容の調整を行った。学校の規模や授業の進度、生徒の実態等を含めた学校からの要望と博物館の施設・職員・ボランティアの支援体制を考慮し、学校と博物館が連携していく学習プログラムを実施した。

二つめは、『出前授業等』実施要項の作成及び、『教育普及報告書』『博物館学校団体利用マニュアル』を 作成し、沖縄県内の小学校、中学校、高等学校、特別支援校に配布した。

#### (1) 学校団体受入れ

9月頃から3月にかけて、県内の小学校から民具体験学習のために小学3年生が数多く来館する。この民具体験学習では、教師が生徒の実態に合わせて体験メニューを選択し、学習プログラムを組み立てることが出来る。学校側の打合せとして、約2時間の下見を実施している。学校と博物館が互いに協力した学習支援体制がスムーズに行えるよう取り組んだ。教師が主体性を持ち、博物館を活用した授業展開の在り方が構築されたと考える。今年度は、20校がボランティアを活用した学習プログラムを行った。

#### (2) 出前授業等

博物館のもつ資源(もの、情報)を学校教育の場で有効に活用することを趣旨とし、昨年度から出前授業等を実施している。今年度は、小中併置校1校・小学校2校・高等学校7校での授業及び校内研修で出前授業等を実施した。

(大川 剛)

#### 3 博物館体験学習教室

沖縄の自然や歴史、文化と結びつけた体験的な活動を通して、郷土について関心を持ち、先人の知恵等を学ぶ機会としている。博物館の各分野(自然史、人類、考古、歴史、美術工芸、民俗)の展示と関連する体験を実施し、総合博物館としての豊かな学びの場を提供している。

(1) 第1回講座「昆虫標本作り!」 7月22日(土)・23日(日)・8月19日(土)







初日は昆虫採集



2日目、標本製作

3日目、ラベルの作成

(2) 第2回講座「身近な植物で押し花を作ろう!」 9月16日(土)・30日(土)











### 0 - 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00 | 0 - 12-00

2日目、クリアファイルで作品作り

(3) 第3回講座「体験キットであそぼう!」 10月21日 (土) ・22日 (日)









ボランティアによる紙芝居や、美術館のハンズオンキットも紹介された





体験のほか、海をテーマに したワークショップも開 催された

#### (4) 第4回講座「ROV操縦体験」 12月9日(土) 10日(日)









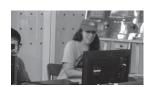
多くの親子連れが操縦体験を楽しんだ













# (5) 第5回講座「サンゴ礁ウィーク 2018」 3月3日(土)















(大川 剛)

#### 4 博物館文化講座

博物館文化講座は、博物館の展示内容と関連する自然史、人類、考古、歴史、美術工芸、民俗の各分野につ いて分かりやすい内容で楽しく学習が出来ることを目的に1974年(昭和49)から始まった事業である。講演、 展示解説、実技指導、現地研修などを通して、県民各層が楽しく有意義に学べる講座を実施している。今年度 の総受講者数は、968名であった。

#### (1) 文化講座一覧

回数	期日	演題	講師名	定員	参加者
479	4月15日 (土)	地図を手に持った史跡めぐり	安里 進	200	20
480	5月20日 (土)	琉球の海人を語る ~サンゴ礁の生態史~	秋道 智彌	200	84
481	6月17日 (土)	博物館70周年記念シンポジウム 「博物館の過去・現在・未来 1946~2017」	宜保     榮冶郎       大城     将保       當眞     嗣一       田名     真之	200	74
482	7月15日 (土)	古文書に見る琉球と秀吉	黒嶋 敏	200	120
483	8月19日 (土)	冊封使が琉球へもたらした中国書跡	城間 圭太	200	155
484	9月9日 (土)	ウィルソンの沖縄 ~100年の記憶の旅路~	古居 智子	200	200
485	10月14日 (土)	身近な石を見てみよう	加藤 祐三	20	24

回数	期日	演 題	講師名	定員	参加者
486	11月11日 (土)	海の人類史 ~南の島々に進出したヒトの海 洋適応と島嶼適応~	小野 林太郎	200	74
487	12月16日 (土)	シンポジウム「宮古島の人類史を探る!」	久貝 弥嗣       宮城 弘樹       山崎 真治	200	85
488	2月17日 (土)	科学分析から見えてくる琉球の美術工芸	早川 泰弘	200	44
489	3月17日 (土)	陶磁器からみた琉球と中国の交流	森 達也	200	90

(大川 剛)

#### 5 学芸員講座

学芸員講座は、本館の学芸員が研究成果や収蔵品の調査成果等を報告すると共に、館を訪れる人々に博物館内部の紹介をする良い機会となっている。各分野の充実した講話は博物館をより身近に捉え、参観者の層を拡大する大切な役割を果たしている。総受講者数は、675名だった。

#### (1) 学芸員講座一覧

□	期日	演 題	講師名	定員	参加者
1	4月8日(土)	「貝塚の話」	山崎 真治	80	65
2	5月13日(土)	「シッキ!カイガ!!トーキ!!!」 県立博物館・美術館が所蔵するお宝たちの物語	外間 一先	80	34
3	6月3日(土)	「ウトゥイムチの楽器三線の歴史文化とビジョン」	園原 謙	80	68
4	8月5日(土)	「博物館こども探検隊!」~博物館のナゾを探れ~	大川 剛	15	16
5	9月2日(土)	「海とまつり-ウンジャミとハーリー-」	大湾 ゆかり	80	45
6	10月7日(土)	「琉球植物研究の偉人たち」	山﨑 仁也	80	100
7	11月4日(土)	「紅型のはなし」資料と史料から紐解く	與那嶺 一子	80	69
8	11月18日(土)	開館10周年特別講演「成長する物語-済州島の漂着 琉球王子殺害事件-」	田名 真之	200	72
9	12月2日(土)	「雲版が語る尚泰久の時代」	久部良 和子	80	68
10	1月13日(土)	倭寇対策の城-約500年前に湊や村を倭寇からどの ように守っていたのか-」	山本 正昭	80	100
11	2月3日(土)	学芸員の日常と研究-美術工芸入門編-	篠原 あかね	80	24
12	3月3日(土)	ジオツアー国指定天然記念物「名護市嘉陽層の褶曲」	宇佐美 賢	20	14

(大川 剛)

#### 6 展示解説会

常設展の展示解説会は、展示資料を前に、学芸員が展示解説パネルだけでは補いきれない「博物館ならではの最新の調査報告や情報」を踏まえた内容を紹介。参加者の内訳は、初めて参加するお客様のみならず年間パスポートや友の会会員、個人のリピーターの参加が定着している。各学芸員が1回ずつ担当し、全12回127名(定員なし、平均参加人数10名)の参加を集めた。

- ① 学芸員による展示解説会 定員なし
- ② 平成29年度 博物館企画展・特別展付帯催事 展示解説会

	日程	分 野	講師名	定員	参加者
1	4月13日	人類	山崎 真治		8
2	5月11日	美術工芸	與那嶺 一子		8
3	6月8日	歴 史	外間 一先	なし	11
4	7月13日	教育普及	大川 剛		6
5	8月10日	生 物	山﨑 仁也		8

	日 程	分 野	講師名	定員	参加者
6	9月7日	美術工芸	園原 謙		9
7	10月 5 日	地 学	宇佐美 賢		15
8	11月9日	美術工芸	與那嶺 一子		8
9	12月7日	考 古	山本 正昭	なし	14
10	1月11日	歷史	久部良 和子		18
11	2月8日	民 俗	大湾 ゆかり		13
12	3月8日	教育普及	大川 剛		9
			127		

(大濱 萌子)

#### 7 バックヤードツアー

バックヤードツアーは、より専門性を生かした内容とリピーターづくりを目指し、学芸員が月ごとに講師を務めた。安全性を考慮し、常に学芸員と指定管理者スタッフの2名体制で臨んだ。

学芸員研究室、研究資料室(書庫)、自然史実験室、トラックヤード、写真撮影室、冷凍室、工作室を基本コースとしたが、収蔵庫は専門分野を中心に案内することにより、資料に関する質問にも的確に対応することができた。また、建物の構造やIPM(Integrated Pest Management:総合的病害虫管理)の取り組み、資料の修復について解説するなど、来館者に博物館の役割や使命を理解してもらうための工夫が担当毎に見られた。参加者層は、県外からの旅行客を含む一般来館者が大多数を占め、夏休み期間中は、親子連れが目立った。全12回132名(定員12名、平均参加人数11名)の参加があった。

	日 程	分 野	講師名	定員	参加者
1	4月22日	人類	山崎 真治	12	12
2	5月27日	地 学	宇佐美 賢	12	13
	*無料開放日で年2回実施	教育普及	大川 剛	12	14
3	6月24日	歴 史	久部良 和子	12	13
4	7月29日	教育普及	大川 剛	12	10
5	8月26日	歴 史	外間 一先	12	12
6	9月30日	人類	澤岻 大佑	12	4
7	10月28日	美術工芸	篠原 あかね	12	*台風のため中止
8	11月25日	生 物	山﨑 仁也	12	15
9	12月23日	民 俗	大湾 ゆかり	12	12
10	1月27日	美術工芸	與那嶺 一子	12	10
11	2月24日	美術工芸	園原 謙	12	12
12	3月10日	考 古	山本 正昭	12	5
	合	計人数		156	132

(大濱 萌子)

#### 8 夏休み!博物館学芸員教室

「夏休み!博物館学芸員教室」は、学芸員が夏休みの課題に取り組む子供たちに向けて、沖縄の自然・歴史・文化に関する自由研究のテーマを提供する場である。10名の学芸員がそれぞれ90分の教室を開講。1日3教室、全9回の教室を開講した。

期日	教室内容	参加	
7月25日 (火)	①「けんびきょうをつくろう!」	山﨑 仁也 【生物担当学芸員】	20名
	②「貝器を作ろう!」	山崎 真治 【人類担当学芸員】	10名
	③「知り隊!鐘のこと!」	久部良 和子【歴史担当学芸員】	15名
7月26日 (水)	④「藁算づくりにチャレンジ!」	大湾 ゆかり【民俗担当学芸員】	15名

期日	教室内领	参加	
7月26日 (水)	⑤「折り紙で琉服を作ろう」	與那嶺 一子【美工担当学芸員】	15名
	⑥「やきものを作ろう!」	篠原 あかね【美工担当学芸員】 大川 剛 【教育普及担当学芸員】	15組
7月27日 (木)	⑦「アンモナイトの秘密をさがせ!」	宇佐美 賢 【地学担当学芸員】	16名
	⑧「考古学者体験!」	山本 正昭 【考古担当学芸員】	10組15名
	⑨「漆喰シーサーを作ろう」	外間 一先 【歴史担当学芸員】	10組15名

(大川 剛)

#### 9 博物館ボランティア活動

博物館では、県民の自己啓発や学習発表の場の提供を行うと共に、博物館支援活動を目的とした「博物館ボランティア」を導入している。平成29年度は、多様化する来館者のニーズに対応し、よりきめ細かなサービスの寄与を目的として、ふれあい体験室専属ボランティアを募集し、3名のふれあい体験室専属ボランティア員の登録ができた。博物館ボランティアと総勢79名のボランティアを登録している。

(大川 剛)

#### 10 ふれあい体験室

「ふれあい体験室」は、ハンズ・オン展示の資料を通して来館者同士、来館者とスタッフ、また、ここで展示されている"おきなわ"との「ふれあい空間」創りをめざしている部屋である。この部屋は、常設展示として、総合展示・部門展示と補完しあい、また、実習室や野外体験プログラムと連携し、効果的に運用できる機能を併せもっている。

さらに、この部屋は館内における教育普及活動の拠点施設となり、来館者に発見や感動の喜びを提供する場として、教育のさらなる向上に寄与する展示・プログラムの開発を行う場ともなる。

#### (1) 利用状況

( = ) ( 4) (1) ( ) ( )		
年 度	利用者数	備考
平成19		記録なし
平成20	17, 185	11/5~3/31まで
平成21	39, 698	
平成22	40, 566	
平成23	45, 384	
平成24	46, 873	
平成25	53, 140	
平成26	42, 781	
平成27	59, 689	
平成28	53, 018	
平成29	82, 691	

(比嘉 麻乃)

#### 11 常設展に関する取り組み

## (1) 博物館常設展見どころマップ「ここだけは見逃すな!」の活用

博物館常設展の見学の手助けとして、平成23年度に作成した見どころマップ「ここだけは見逃すな!」を引き続き常設展入口のラックに設置し、今年度は、15,000枚を配布した。また、英語版「ここだけは見逃すな!」も5,000枚を配布した。

#### (2) 博物館・美術館連携事業「博物館・美術館で平和を考えるイベント」

博物館・美術館連携催事として、慰霊の日に「博物館・美術館で平和を考えるイベント」を開催した。美術

館で戦争に関する絵画作品を中心に鑑賞ツアーをおこなった後、博物館へ移動し近現代史の展示資料を解説しながら戦前戦後の沖縄について解説した。そして、最後に黙祷を捧げた。

(比嘉 麻乃)

#### 12 沖縄県立博物館・美術館のフリーパス

沖縄県立博物館・美術館では、県内の小中学生が博物館・美術館を知る機会とし、また、同館を身近に感じてもらい、何度も足を運んで欲しいとする目的で「沖縄県立博物館・美術館フリーパス」の印刷・作成を小・中学校に依頼している。

表紙は沖縄の自然、歴史、文化に関する図案を基本とするが、自らデザインした図柄でもよい。裏面にはマス目があり、来館の際にスタンプが押印できる形になっていて、学校で印刷した上で、裏面に校長印を押印し、来館時に総合案内に提出する。

利用の対象は、県内の小・中学生で、学校の授業の一環、または個人での来館の際に持参して利用する。スタンプの押印数については、遠隔地や離島などの学校の生徒にはスタンプの数を調整するなどとして、配慮を行っている。平成22年度から、ゴールした児童生徒には、情報センターにおいて名前入りの「フリーパス終了証」と記念品(オリジナルクリアファイルと消しゴム)をプレゼントしている。今年度の対象者は0名。

#### 13 体験キット製作

沖縄県立博物館・美術館開館10周年を記念し、特別展「海の沖縄」展が2017年11月1日より開催された。そこで新たにハンズオンキット(体験キット)が特別展に向けて製作された。

各章・テーマ	キット名・体験内容	分野	キット写真
第1章 プロローグ -海の自然と大地-	○貝の不思議なカタチ 貝の断面から成長の様子を学ぶとともに、 切断面の観察を通して、貝の不思議な形につ いて考えることができる。	生物	5.000
	○石になった海のいきもの 岩石中の海の生物化石の観察を通して、太 の海と化石生物が生きたすがたを想像する。 さらに生物が化石になる過程や、私たちが生 きる大地の多くが海で形成されたものである ことを学ぶ。	地学	
	○太古の海のいきもの 太古の海に生きた古生物の、化石には残ら ない生物の姿や形等を学ぶとともに、生物の 進化と絶滅について考察する。	地学	
第2章 海からのめぐみ -豊穣の海-	○貝さじの謎 貝さじの使用方法 (未解決) についての考 察を促す。	考古	ナソの選集(資金U) 例に使われていたが、表えてから)

各章・テーマ	キット名・体験内容	分野	キット写真
第3章 ヒト、海を越える 一荒波を越えて一	○大海原とツナガルマップ ・約2000キロに及ぶ琉球・江戸間のルートを、現代の地図と19世紀の地図で比較体験する。 ・琉球施設が日本本土に残した痕跡をたどり、琉球と日本の交流を学ぶ ○海を渡った中国古銭 中国の古銭について、その重さ・触り心地を体験するとともに、交易品としての貨幣の使途・目的について考察を深める。	歴史   考古	
第4章 いのりの海 - 畏敬の海- 第5章 海の美 第6章 エピローグ - これからの海-			

# 14 普及資料の貸出

# (1) 教育普及資料貸出一覧(平成29年度)

	利用者	資料名	利用目的	貸出期間
1	沖縄県立盲学校	・土器 4 点 ・着衣体験キット	社会科授業	2017年4月20日~27日 2018年3月6日~13日
2	南城市立玉城小学校	・着衣の道具	民具体験学習	2017年10月19日~25日
3	沖縄市立沖縄東中学校	・化石組み立て体験	社会科授業	2017年10月18日~25日
4	那覇市立泊小学校	<ul><li>・骨スーツ</li><li>・説明パネル</li></ul>	理科授業	2017年10月31日~11月7日
5	那覇市立天久小学校	・むかしむんキット ・ティール ・ターグ ・タライ	民具体験学習	2017年11月14日~22日
6	浦添市立神森小学校	・むかしむんキット	民具体験学習	2018年1月19日~26日
7	那覇市立天妃小学校	<ul><li>・むかしむんキット</li><li>・運搬の道具(魚)</li></ul>	民具体験学習	2018年1月30日~2月6日
8	糸満市立光洋小学校	・洗濯板	民具体験学習	2018年2月9日~16日
9	那覇市立石嶺小学校	<ul><li>・着衣の道具</li><li>・運搬の道具(水)</li><li>・洗濯の道具</li></ul>	民具体験学習	2018年2月16日~23日
10	浦添市立宮城小学校	<ul><li>・運搬の道具(魚)</li><li>・むかしむんキット</li><li>・洗濯板</li></ul>	民具体験学習	2018年2月22日~28日
11	那覇市立松川小学校	・民具(5種類)	民具体験学習	2018年3月14日~16日

#### (2) 他館における体験キット活用(平成29年度)

	開催地	活用資料	活動内容	期日
1	熊本県立装飾古墳館	・三線・サンバ	ミュージアムキッズ全国	2017年6月17日
1	(熊本県)	・御三味	フェスタ	~18日
2	大阪府立弥生文化博	・化石組み立てキット	沖縄の旧石器人と南島文	2017年7月1日~
	物館 (大阪府)	<ul><li>10石組み立くキット</li></ul>	化	9月18日
3	神戸アートビレッジ	<ul><li>三線</li></ul>	ミュージアムキッズパー	2017年11月20日
3	センター (兵庫県)	<ul><li>・琉球玉手箱(自然史)</li></ul>	ティー	2017年11月20日
4	21世紀の森体育館(沖 縄県名護市)	・琉球玉手箱(自然史) ・化石組み立てキット	なごサイエンスフェスタ	2018年1月27日
	ロワジールホテル	· 美脚羊大		2018年1月9日~10
5	ヒルトン沖縄北谷リ	<ul><li>・着物着衣</li><li>・衣からわかること</li></ul>	ゆくゆんミュージアム	日/2018年1月24日
	ゾート	· 12/1-1047/1-10 C C		~25日

- ・博物館の教育普及関係資料等を活用し、学校団体以外にもアウトリーチ活動を展開した。
- ・平成29年度の貸出団体数は5件であった。

(大川 剛)

## 15 職場体験受入

指定管理者が窓口となり、職場体験およびインターンシップを受け入れた。

平成29年度は、中学校・等学校4校14名を受け入れた。学生たちは、もぎりやミュージアムショップでの接客業務や情報センターでの資料整理他、ふれあい体験室における対応やワークショップの下準備等を体験した。また、博物館・美術館職員による学芸業務の紹介やバックヤード見学なども実施。博物館・美術館に関わる様々な職種を体験することができた。

#### (1) 体験内容

- ○もぎり(入場券の確認)
- ○ふれあい体験室(ワークショップの準備)
- ○ミュージアムショップ (接客、商品の管理)
- ○情報センター(新聞の切り抜き作業・その他資料整理)
- ○博物館・美術館班 (バックヤードおよび学芸業務の見学)

#### (2) 受入校: 4校14名(中学校3校、高等学校2校)

- ①那覇市立石田中学校 (3名) 2017年8月30日~31日(2日)
- ②沖縄県立沖縄工業高校(4名)2017年9月12日~14日(3日)
- ③那覇市立那覇中学校 (4名) 2017年11月28日~30日 (3日)
- ④那覇市立金城中学校 (3名) 2018年1月31日~2月1日(3日)

#### 16 ボランティアによる展示ガイド

博物館ボランティアの活動の一つに、展示解説ガイドがある。これは、来館者サービス向上の一環として、 博物館常設展示室の「民俗部門」と「総合展示部門」で、ボランティアがわかりやすく解説することを目指し ている。

まず、民俗部門展示室においては、民俗勉強会のボランティア有志メンバーが中心となり、沖縄県内の離島をはじめとする小規模校(20名以下)の子供たちを対象に解説ガイドを実施している。来館当日は、指定管理者のスタッフが引率教員と担当ボランティアとを引き合わせるが、<教員との打ち合わせ~オリエンテーション~展示ガイド~まとめ>までボランティアが先導し行っている。今年度は、合計 5 校70名を受け入れた。

そして、総合展示部門解説ガイドは平成26年度から本格実施し、今年度は22団体1,170名を受け入れた。こちらは、県外の修学旅行や一般団体の他、県内では小学校以外に地域の老人会やデイサービスなど、一般・70歳以上の団体、外国観光客からも依頼があり、幅広い層の来館者へガイドを実施することができた。また、週3回(8月は週4日)午後に待機型ガイドでは、2,454名(2月時点)に対応した。広報については、県内外の旅行会社へ向けた説明会の他、ホームページ掲載を行っている。また、団体受付窓口の情報センターから直接案内することもあり、年間を通じて実績を残すことができた。これらは、リピーターによる依頼のみならず、口コミなどで情報が発信している様子も窺える。

(大濵 萌子)

# IV 資料の収集・保存管理

# 1 収蔵資料現在高

2018年3月31日現在

分	類	購入	寄贈	収 集	移管	分担管理	小 計	総計
	地 学	632	27, 872	3, 065	1	0	31, 570	
自然史	動物	1, 514	18, 704	523	141	0	20, 882	57, 056
日	植物	38	4, 563	0	0	0	4,601	57,050
	菌類	3	0	0	0	0	3	
人類	資 料	92	23	6	0	2	123	123
	絵 画	102	585	2	4	0	693	
	書 跡	180	489	49	6	0	724	
	彫 刻	8	115	136	7	0	266	
美術工芸	陶磁器	632	3, 525	466	538	0	5, 161	10, 904
	漆器	233	367	195	19	0	814	
	染 織	1, 283	1, 787	51	27	0	3, 148	
	その他	6	92	0	0	0	98	
歴史	資 料	2, 921	10,069	673	456	0	14, 119	14, 119
考 古	資 料	297	6, 638	2, 820	1	0	9, 756	9, 756
民 俗	資 料	593	6, 035	1,072	178	0	7, 878	7, 878
総	計	8, 534	80, 864	9, 058	1, 378	2	99, 836	99, 836

<sup>※</sup>新館に移転してから件数と点数が混在していた収蔵高を、2017年度実績をまとめるにあたり、点数のみに修正した。

# 2 2017 (平成29) 年度新収蔵資料高

2018年3月31日現在

分	類	購入	寄贈	収 集	移管	小計	総計
	地 学	1	10	4	0	15	
自然史	動物	0	6	0	0	6	91
日於史	植物	0	0	0	0	0	21
	菌類	0	0	0	0	0	
人類	資 料	0	0	0	0	0	0
	絵 画	7	0	0	0	7	
	書跡	0	0	0	0	0	
	彫刻	3	0	0	0	3	
美術工芸	陶磁器	0	25	0	0	25	173
	漆器	0	1	0	0	1	
	染 織	2	41	0	0	43	
	その他	5	89	0	0	94	
歴 史 資 料		6	232	32	0	270	270
考 古 資 料		3	0	0	0	3	3
民 俗 資 料		24	12	0	0	36	36
総	計	51	416	36	0	503	503

# 3 2017 (平成29) 年度新収蔵資料目録

# 【購入】

分	類	資 料 名	数量	提供者・所在地	
	生物	貝殻切断ハンズオン標本 ※	1	(株) 学習館	西原町
		体験キット(石になった海の生きもの:岩石・ 化石観察用石材 ※	6	琉幸建設 株式会社・株式 会社武村石材建設	うるま市 ・南城市
		体験キット(太古の海の生きもの:古生物模型:三葉虫、紡錘虫、アンモナイト)※	3	有限会社 絵馬洞	福井県福 井市
自然史	地学	琉球列島海底地形鳥瞰図床面シート ※	1	製作・データ提供:第11管 区海上保安本部 印刷:沖縄広告株式会社	那覇市
		チムニーと化学合成生物群集模型	1	製作協力:GODAC国際海 洋環境情報センター 製作:沖縄広告株式会社、 食品サンプル山月	名護市、 那覇市
		貝匙(体験キット)※	3	工房海彩	鹿児島県 徳之島町
		銭差(体験キット)※	3	(株)学秀館	那覇市
考	古	那覇湊模型	2	(株)パスコ	那覇市
		屋良部崎沖海底遺跡模型	1	国立大学法人九州大学・沖 縄建立芸術大学	福岡県福 岡市・那覇 市
		萬国人物図絵(2枚組)	1	榕樹書林	宜野湾市
		薩摩風土器(坤之巻)	1	榕樹書林	宜野湾市
	史	紫地五色浮織冠	1	(一財)沖縄美ら島財団・ (株)国建共同企業体	本部町
歴		黄色地花菱冠	1	(一財)沖縄美ら島財団・ (株)国建共同企業体	本部町
		三御飾(美御前御揃)御酒器(銀製流台)	1	(一財)沖縄美ら島財団・ (株)国建共同企業体	本部町
		中城御殿耳盃	1	(一財)沖縄美ら島財団・ (株)国建共同企業体	本部町
		竹林七賢人屏風図 (山田真山筆)	2	渡邊 務	愛知県
	絵画	紙本墨画 査丕烈・蘭之図	1		沖縄市
		四季翎毛花卉図巻 制作工程見本(4工程)	4	(一財)沖縄美ら島財団・ (株)国建共同企業体	本部町
美術	彫刻	玉陵石獅子	2	(一財)沖縄美ら島財団・ (株)国建共同企業体	本部町
工芸	/N/2/3	玉陵碑	1	(一財)沖縄美ら島財団・ (株)国建共同企業体	本部町
	染織	縫取織ウッチャキ	1	(一財)沖縄美ら島財団・ (株)国建共同企業体	本部町
	<i>&gt;</i>   <b>∠</b>   <i>γ</i>   <i>γ</i>   <b>γ</b>	木綿白地裙	1	(一財)沖縄美ら島財団・ (株)国建共同企業体	本部町
	その他	富盛開鐘製作工程(5工程)	5	(一財)沖縄美ら島財団・ (株)国建共同企業体	本部町
		イカスミ汁 (レプリカ)	1	食品サンプル山月	那覇市
		チキ揚げカマボコ (レプリカ)	1	食品サンプル山月	那覇市
民	l/s	アオブダイ(イラブチャー)(レプリカ)	1	食品サンプル山月	那覇市
片	俗	アイゴ (エーグヮー) (レプリカ)	1	食品サンプル山月	那覇市
		タカサゴ (グルクン) (レプリカ)	1	食品サンプル山月	那覇市
		鰹節(レプリカ)	1	食品サンプル山月	那覇市

分 類	資 料 名	数量	提供者・所在地	
	石積み模型(野面積み)	1	(株)沖縄広告・ 武村石材(株)	那覇市
	石積み模型(相方積み)	1	(株)沖縄広告・ 武村石材(株)	那覇市
	石積み模型 (布積み)	1	(株)沖縄広告・ 武村石材(株)	那覇市
民 俗	映像「塩屋湾のウンガ」・「いのりの海」 (文字・画像別) 2枚セット	2	(株)シネマ沖縄	南風原町
	映像「塩屋湾のウンガミ」(字幕付き)	4	(株)シネマ沖縄	南風原町
	映像「いのりの海」 (字幕付き)	4	(株)シネマ沖縄	南風原町
	映像「民話の動画コンテンツ」	5	丸正印刷株式会社・NPO 法人沖縄伝承話資料セン ター共同企業体	西原町

# 【寄 贈】

分 類		資 料 名	数量	提供者・所在地	
		ヤギ(ボア種)本剥製	1	沖縄県農林水産部畜産研 究センター (委託製作: 湘 南剥製研究所)	(神奈川県 平塚市)
		ヤギ(ボア種)交連骨格	1	沖縄県農林水産部畜産研 究センター (委託製作: 湘 南剥製研究所)	
	生物	オオハクチョウ本剥製	1	佐藤文保 (委託製作:東京 内田科学社	久米島町 (埼玉県三 郷市)
		カンムリカッコウ本剥製	1	藤本治彦、土城勝彦(委託 製作:東京内田化学社	石垣市 (埼玉県三 郷市)
自然史		ホトトギス本剥製	1	沖縄県立埋蔵文化財セン ター (委託製作:東京内田 化学社)	
		ホトトギス(赤色型)本剥製	1	沖縄県立埋蔵文化財セン ター (委託製作:東京内田 化学社)	西原町 (埼玉県三 郷市)
		島尻層群豊見城層の材化石(マキ科マキ属)	1	株式会社琉球新報社	那覇市
	地学	本部石灰岩、琉球石灰岩 (勝連トラバーチン)、 琉球石灰岩 (石灰藻球石灰岩)	3	琉幸建設株式会社	うるま市
		大型岩石標本 琉球石灰岩、砂岩(ニービノ フニ)、琉球石灰岩(粟石)	3	沖縄県石材事業協同組合	那覇市
		大型岩石標本 島尻層群与那原層群泥岩 (ク チャ)	1	有限会社仲座建設	八重瀬町
		フズリナ化石を含む本部石灰岩	2	宮城 宏之	沖縄市
		辞令書(沖縄縣への出向:昭和15年)	1	小林 誼	神奈川県 藤沢市
		辞令書:俸給(沖縄縣立水産學校教諭:昭和 15年)	1	小林 誼	神奈川県 藤沢市
歴	山	辞令書:官吏等級(沖縄縣立水産學校教諭: 昭和15年)	1	小林 誼	神奈川県 藤沢市
// // //	义	辞令書:俸給(公立實業學校教諭:昭和15年)	1	小林 誼	神奈川県 藤沢市
		辞令通知(公立實業學校教諭:昭和16年)	1	小林 誼	神奈川県 藤沢市
		辞令書(沖縄縣立沖縄拓南訓練所:昭和16年)	1	小林 誼	神奈川県 藤沢市

分類	資 料 名	数量		提供者・所在地	
	公文(縣立沖縄拓南訓練所関係:昭和16年)	1	小林 誼		神奈川県 藤沢市
1	辞令通知(國民學校教員試験検定委員:昭和1	1	小林 誼		神奈川県
1	6年) 辞令通知(職務特別勉勵:昭和16年)	1	   小林 : 誼		藤沢市 神奈川県
1					藤沢市神奈川県
1	公文(縣立沖縄拓南訓練所:昭和17年)	1	小林 誼		藤沢市
İ	辞令通知(公立實業學校教諭:昭和17年)	1	小林 誼		神奈川県 藤沢市
1	公文(管外私事旅行ノ件:昭和18年)	1	小林 誼		神奈川県 藤沢市
İ	轉任證明書(昭和18年)	1	小林 誼		神奈川県 藤沢市
1	一般職業能力申告票控(昭和16年)	1	小林 誼		神奈川県 藤沢市
1	那覇市世帯調査簿(昭和18年)	1	小林 誼		神奈川県 藤沢市
1	那覇市家庭用物資配給帳(昭和18年)	1	小林 誼		神奈川県藤沢市
1	レコード 民謡「上り口説」「下り口説」	1	小林 誼		神奈川県藤沢市
1	レコード 八重山民謡「白保節」「港節」	1	小林 誼		神奈川県藤沢市
1	レコード 八重山民謡「とまた松節」「安里 屋ユンタ」	1	小林 誼		神奈川県藤沢市
l <u> </u>	レコード 琉球民謡「子守節」「浜千鳥節」	1	小林 誼		神奈川県藤沢市
歴 史	レコード 琉球民謡「瓦屋節」「しょんがない節」「鳩間節」	1	小林 誼		神奈川県藤沢市
1	写真「首里城」	1	小林 誼		神奈川県藤沢市
1	写真「守礼門」	1	小林 誼		神奈川県 藤沢市
İ	写真「ジュリ馬祭」	1	小林 誼		神奈川県 藤沢市
İ	写真「辻遊郭(四つ竹)」	1	小林 誼		神奈川県 藤沢市
1	写真「辻遊郭(花風)」	1	小林 誼		神奈川県 藤沢市
1	写真「辻遊郭(かせかけ)」	1	小林 誼		神奈川県 藤沢市
1	三国通覧図説 全	1	樋口 淳		神奈川県 川崎市
l	琉球三省并三十六島之図	1	樋口 淳		神奈川県川崎市
l	朝鮮琉球蝦夷及類国接壤図	1	樋口 淳		神奈川県川崎市
l	朝鮮八道之図	1	樋口 淳		神奈川県川崎市
l	蝦夷全図	1	樋口 淳		神奈川県川崎市
l	無人島大小八十余山之図	1	樋口 淳		神奈川県川崎市
1	主図合結記 巻之一	1	樋口 淳		神奈川県川崎市

分	類	資 料 名	数量	提供者・所在地	
		主図合結記 巻之四	1	樋口 淳	神奈川県 川崎市
		主図合結記 巻之八	1	樋口 淳	神奈川県川崎市
		橋銘文(真玉橋 橋りょう銘板 1963年)	4	県南部土木事務所	那覇市
		チュンジー(象棋)盤	1	野村 朝生	那覇市
		伊波普猷『古琉球』(1911年初版)	1	越智 駿太	沖縄市
		8ミリカメラ ヤシカスーパー8	1	屋富祖 仲啓	那覇市
		8ミリフィルム(小)	3	屋富祖 仲啓	那覇市
		8ミリフィルム(中)	1	屋富祖 仲啓	那覇市
		8ミリフィルム KODAK super8 MOVIE FI LM	1	屋富祖 仲啓	那覇市
		8ミリフィルム(大)	1	屋富祖 仲啓	那覇市
		ポジフィルム	33	屋富祖 仲啓	那覇市
		8ミリフィルム(カセットタイプ)	1	屋富祖 仲啓	那覇市
		カセットテープ(90分)	2	屋富祖 仲啓	那覇市
		身分証明書 (緑)	1	屋富祖 仲啓	那覇市
		日本国旅券 (パスポート)	1	屋富祖 仲啓	那覇市
		予防接種証明書	1	屋富祖 仲啓	那覇市
		日本中国友好協会手帳カバー(赤)	1	屋富祖 仲啓	那覇市
		毛沢東バッジ	1	屋富祖 仲啓	那覇市
		香港 旅行用タグ	2	屋富祖 仲啓	那覇市
歴	史	絵はがき (香港)	2	屋富祖 仲啓	那覇市
		招待状	1	屋富祖 仲啓	那覇市
		第一回沖縄県中国友好訪問団メンバー(切り 抜き)	1	屋富祖 仲啓	那覇市
		写真(第一回沖縄県中国友好訪問団)1972年 1月	5	屋富祖 仲啓	那覇市
		写真(第一回沖縄県中国友好訪問団)1972年 1月	9	屋富祖 仲啓	那覇市
		會員手帳	1	屋富祖 仲啓	那覇市
		山城宗雄教育関係資料	108	安慶名 美幸	うるま市
		守礼門復元竣工記念瓦	1	仲宗根 克	那覇市
		松岡輝幸旧蔵資料 (世界の貨幣)	1	松岡 さよ子	愛知県稲 沢市
		山陽姓系図家譜	1	冨永 望	京都府京都市
		膳府(符)日記	1	冨永 望	京都府京 都市
		冨永マワツ葬儀参列者名簿	1	冨永 望	京都府京 都市
		冨永家三十三回忌焼香参加者名簿	1	冨永 望	京都府京 都市
		冨永家長女婚姻参加者名簿	1	冨永 望	京都府京 都市
		農神之図 (絵画・巻物)	1	冨永 望	京都府京 都市
		東恩納寛惇旧蔵資料(古銭)	1	東恩納 文江	東京都大 田区

分	類	資 料 名	数量	提供者・所名	E地
		新参項姓家譜	1	砂辺 松博	埼玉県さ いたま市
		御法條(写)	1	砂辺 松博	埼玉県さ
歴	史				いたま市 埼玉県さ
		三字経(写)	1	砂辺 松博	いたま市
		墓敷譲渡証文	1	砂辺 松博	埼玉県さ いたま市
		琉球古典焼 徳利と盃	8	小林 誼	神奈川県藤沢市
		琉球古典焼 焼締め盃	5	小林 誼	神奈川県藤沢市
		琉球古典焼 蓋物	6	小林 誼	神奈川県藤沢市
	陶磁器	琉球古典焼 獅子形灰皿	1	小林 誼	神奈川県藤沢市
		琉球古典焼 獅子形灰皿	1	小林 誼	神奈川県藤沢市
		貼付龍文壺(金城敏徳作)	1	宮里 栄徳	うるま市
		パナリ焼壺	1	仲宗根 克	那覇市
		油壺	2	仲宗根 克	那覇市
	漆器	朱漆堆錦松竹梅芭蕉模様重箱	1	宮里 八重子	那覇市
		絹青地手縞袷振袖	1	伊禮 和子	宜野湾市
		絹茶地格子に絣袷振袖	1	伊禮 和子	宜野湾市
		絹水色地流水青海波松皮菱に扇菊山並模様反 物	1	喜屋武 延子	那覇市
		絹芭蕉無地反物	1	大城 亙	那覇市
美術		絹ロートン織帯	1	大堀 節子	東京都豊島区
工芸		絹茶ぼかし地に緯絣帯地	1	大堀 節子	東京都豊島区
		絹茶地三段綾の中袷着物	1	大堀 節子	東京都豊島区
		絹白地経緯絣に両面浮花織着物	1	大堀 節子	東京都豊島区
	染織	縮緬白地梅づくし模様袷着物	1	大堀 節子	東京都豊島区
	米州以	絹紺地芭蕉に蝶梅模様着物	1	大堀 節子	東京都豊島区
		縮緬染分地石垣に楼閣模様給着物	1	大堀 節子	東京都豊島区
		絹浅地この葉模様帯地	1	大堀 節子	東京都豊島区
		麻紺地松皮菱に松梅模様名古屋帯	1	大堀 節子	東京都豊島区
		芭蕉両面浮花織帯地	1	大堀 節子	東京都豊島区
		芭蕉経縞反物	1	大堀 節子	東京都豊島区
		芭蕉無地反物	1	大堀 節子	東京都豊 島区
		芭蕉無地布	1	大堀 節子	東京都豊島区

分	類	資 料 名	数量	提供者・所在地	L
		芭蕉無地布	1	大堀 節子	東京都豊島区
		芭蕉紙に紅型型付け「シーサー」	1	大堀 節子	東京都豊島区
		芭蕉紙に紅型型付け「鯉の滝登り」	1	大堀 節子	東京都豊島区
		芭蕉紙に紅型型付け「帆船に花散らし文」	1	大堀 節子	東京都豊島区
		芭蕉紙に紅型型付け「花笠にあかばなー」	1	大堀 節子	東京都豊 島区
		芭蕉布「トゥイグヮー」	1	大堀 節子	東京都豊 島区
		芭蕉紙に紅型型付け「霞に梅」	1	大堀 節子	東京都豊 島区
		芭蕉紙に紅型型付け「籬に菊柳」	1	大堀 節子	東京都豊 島区
		芭蕉紙に紅型型付け「花笠にあかばなー」	1	大堀 節子	東京都豊 島区
	染織	芭蕉紙に紅型型付け「霞に扇牡丹」	1	大堀 節子	東京都豊 島区
		芭蕉紙に紅型型付け「馬乗り童子」	1	大堀 節子	東京都豊 島区
		芭蕉紙に紅型型付け「鶴に松竹梅」	1	大堀 節子	東京都豊 島区
		芭蕉紙に紅型型付け「波に鴛鴦」	1	大堀 節子	東京都豊 島区
美術		芭蕉紙に紅型型付け「扇に牡丹」	1	大堀 節子	東京都豊 島区
工芸		桐板白地格子に緯絣着物	1	大城 君子	那覇市
		木綿芭蕉黒地型付着物	1	大城 君子	那覇市
		木綿白地格子に緯絣着物	1	大城 君子	那覇市
		木綿紺地経緯絣子供着	1	大城 君子	那覇市
		真栄城興盛作品裂	4	大城 君子	那覇市
		シルチョウ(芭蕉無地上衣)	1	田畑 富美子	那覇市
		ミチジ(御辻)	1	田畑 富美子	那覇市
		芭蕉紙(中判)	5	上江洲敏夫(勝公彦記念琉球紙振興記念実行委員会)	うるま市
		芭蕉紙 (極薄中判)	5	上江洲敏夫(勝公彦記念琉球紙振興記念実行委員会)	うるま市
		芭蕉紙(長判)	5	上江洲敏夫(勝公彦記念琉球紙振興記念実行委員会)	うるま市
		芭蕉紙(厚手中判)	5	上江洲敏夫(勝公彦記念琉 球紙振興記念実行委員会)	うるま市
	その他	青雁皮紙(長判)	3	上江洲敏夫(勝公彦記念琉 球紙振興記念実行委員会)	うるま市
		楮紙(長判)	3	上江洲敏夫(勝公彦記念琉 球紙振興記念実行委員会)	うるま市
		楮・雲龍紙(長判)	3	上江洲敏夫(勝公彦記念琉 球紙振興記念実行委員会)	うるま市
		楮・雲龍色紙入り(長判)	3	上江洲敏夫(勝公彦記念琉球紙振興記念実行委員会)	うるま市
		三椏紙(長判)	3	上江洲敏夫(勝公彦記念琉 球紙振興記念実行委員会)	うるま市

分	類	資 料 名	数量	提供者・所在地	
		三椏染色紙(長判)	10	上江洲敏夫(勝公彦記念琉球紙振興記念実行委員会)	うるま市
			1	上江洲敏夫(勝公彦記念琉	うるま市
				球紙振興記念実行委員会) 上江洲敏夫(勝公彦記念琉	
		芭蕉紙名刺(中)	1	球紙振興記念実行委員会) 上江洲敏夫(勝公彦記念琉	うるま市
		琉球紙名刺(大)	1	球紙振興記念実行委員会)	うるま市
		琉球紙名刺(中)	1	上江洲敏夫(勝公彦記念琉球紙振興記念実行委員会)	うるま市
		琉球色紙	1	上江洲敏夫(勝公彦記念琉球紙振興記念実行委員会)	うるま市
		琉球紙便箋	1	上江洲敏夫(勝公彦記念琉球紙振興記念実行委員会)	うるま市
		琉球紙封筒 (和風)	1	上江洲敏夫(勝公彦記念琉球紙振興記念実行委員会)	うるま市
		琉球紙封筒(洋風)	1	上江洲敏夫(勝公彦記念琉球紙振興記念実行委員会)	うるま市
		琉球紙レターセット	1	上江洲敏夫(勝公彦記念琉球紙振興記念実行委員会)	うるま市
		琉球紙葉書	1	上江洲敏夫(勝公彦記念琉球紙振興記念実行委員会)	うるま市
		琉球紙封筒・カード	1	上江洲敏夫(勝公彦記念琉球紙振興記念実行委員会)	うるま市
美術 工芸	その他	芭蕉紙中判	2	大堀 節子	東京都豊 島区
		琉球和紙三椏製「年間カレンダー1985年」	3	大堀 節子	東京都豊島区
		琉球紙加工品: B 5 用三椏封筒	7	大堀 節子	東京都豊島区
		琉球紙加工品: 三椏洋封筒	6	大堀 節子	東京都豊 島区
		琉球紙加工品:三椏葉書	2	大堀 節子	東京都豊 島区
		琉球紙加工品:芭蕉紙名刺	2	大堀 節子	東京都豊 島区
		琉球紙加工品:三椏名刺	1	大堀 節子	東京都豊 島区
		琉球紙加工品:三椏名刺(文字印刷済)	1	大堀 節子	東京都豊 島区
		琉球紙加工品:琉球和紙製壁掛けカレンダー	2	大堀 節子	東京都豊 島区
		琉球紙加工品:琉球和紙三椏便箋	5	大堀 節子	東京都豊 島区
		「手漉き琉球和紙の見本」	1	大堀 節子	東京都豊島区
		大堀一彦撮影沖縄伝統工芸写真資料(ポジ・ ネガ・紙焼き)※	96	大堀 節子	東京都豊 島区
		三線 与那城型 銘玉城與那(県指定有形文化財)	1	島袋 正雄	沖縄市
		ミーカガン	1	宮里 栄徳	うるま市
		木臼	1	宮里 栄徳	うるま市
民	俗	正綱本刃付 銀峰肥後ナイフ	1	宮里 栄徳	うるま市
		正綱本刃付 千代田鋸付ナイフ	1	宮里 栄徳	うるま市
		ミャンマー国の喫煙具と入れ墨道具箱	1	宮里 栄徳	うるま市

分類	資 料 名	数量	提供者・所在地	ı
民 俗	薬莢の灰皿	1	宮里 栄徳	うるま市
	ヘチマのあかすり	2	宮里 栄徳	うるま市
	三方供物台	2	村山 剛	那覇市
	水差し	1	仲宗根 克	那覇市
	弁当箱	1	仲宗根 克	那覇市

<sup>※</sup>は、学芸資料及び教育普及資料

# 【収集】

分	類	資 料 名	数量	担当学芸員	収集・採集地
自然史	地学	大東諸島の岩石	4	宇佐美 賢	
歴	史	世界ウチナーンチュ大会関連資料	32	外間 一先	

# 4 所蔵指定文化財

# 【国指定文化財(重要文化財)】

2018年3月31日 現在

種 別	名 称	員 数	指定年月日	所有者
工芸品	銅鐘(旧首里城正殿鐘)	1 □	昭53. 6.15	沖縄県
	梵鐘(旧円覚寺殿前鐘・旧円覚寺殿中鐘・旧円覚寺楼鐘)	3 □	"	"
典 籍	おもろさうし	22冊	昭48. 6. 6	"
	混効験集	2 ∰	"	"
歴史資料	明孝宗勅諭 琉球国中山王尚真宛	1巻	平11. 6. 7	IJ
	間切図	7枚	平28. 8.17	"

# 【県指定文化財(有形文化財)】

2018年3月31日 現在

種 別	名 称	員 数	指定年月日	所有者
絵 画	絹本着色花鳥図殷元良筆	1幅	昭54.4.9	沖縄県
	紙本着色雪中雉子の図殷元良筆	"	"	"
	紙本墨画竹の図殷元良筆		昭57. 3. 4	"
	紙本着色奉使琉球図	1巻	昭57. 3. 4	"
	紙本着色冊封使行列図	1巻	平15. 7.11	"
彫 刻	木彫円覚寺白象並びに趣意書木札	1躯1枚	昭31.12.14	"
	世持橋勾欄羽目	1括	"	"
	旧円覚寺関係木彫資料	35点	平15. 7.11	"
工芸品	黒塗螺鈿遊雁絵大文庫	1合	昭31.12.14	"
	黒塗堆錦山水絵大文庫	11	"	"
	黒塗螺鈿雲龍文内金箔蓋付椀	IJ	"	"
	聞得大君御殿雲龍黄金簪	1本	"	"
	三線江戸与那	1丁	"	"
	枝梅竹文赤絵碗	1口	昭54.9.3	"
	線彫染付魚文皿	"	"	"
	色象嵌粟絵菊花皿	IJ	"	"
	象嵌色差面取抱瓶	IJ	"	"
	梵鐘(旧霊応寺鐘)	IJ	昭60. 6.18	11

種別	名 称	員 数	指定年月日	所有者
工芸品	梵鐘(旧普門禅寺鐘)		"	"
	梵鐘 (旧天竜精舎鐘)	IJ	"	"
	銅鐘(旧天尊殿鐘)	IJ	"	11
	銅鐘(旧天妃宮鐘)	IJ	"	"
	銅鐘(旧一品権現鐘)	IJ	"	"
	梵鐘 旧大安禅寺鐘 (一名 護国寺の鐘)	IJ	昭63. 1.12	"
	梵鐘 (旧永福寺鐘)	1 □	平2.2.6	"
	黒漆山水楼閣人物螺鈿机	1基	"	"
	白密陀山水楼閣人物漆絵箔絵角盆	1枚	"	"
	朱漆山水楼閣人物箔絵丸型東道盆	1合	"	11
	黒漆薔薇堆錦軸盆	1枚	"	"
	朱漆巴紋牡丹沈金大御供飯		"	"
	三線盛嶋開鐘附胴		平6.3.15	"
書跡	程順則の書	1巻	昭42.4.11	"
	扁額徳高 鄭元偉書	1面	平元. 9.29	"
	扁額凌雲 林麟焻書	1面	"	11
古文書	宮古島下地の首里大屋子への辞令書	1幅	昭31.12.14	"
	伊平屋島仲田の首里大屋子への辞令書	1通	昭53.4.1	"
	羽地間切の屋我のろへの辞令書	1幅	昭56. 3.30	"
典 籍	評定所格護定本 中山世鑑	6 冊	昭31.12.14	"
	評定所格護定本 中山世譜	19∰	"	11
歴史資料	銅鐘残欠(旧波上宮朝鮮鐘)	1点	昭60. 6.18	11
	安国山樹花木記碑	1基	平元. 9.29	"

#### 5 修理事業

戦後、沖縄戦を経て収集された博物館資料は、戦禍をくぐってきた貴重な資料である。特に琉球王国時代の 美術工芸資料の中には類例がない資料が多くある。資料は適正な温湿度管理のもと収蔵庫で大切に保存してい るが、経年による変化で修復が必要な状態になっているものが多くある。資料によっては当館へ収蔵された時 点ですでに劣化している資料もある。

当館では、限られた予算の範囲で沖縄の歴史・文化史上重要な資料の修理事業を実施した。修理を必要とする資料が多くある中で、展示公開の頻度や展示効果の高さを考慮して優先順位をつけて選定した。また博物館活動のひとつである資料の保存活用を推進するための修理事業についての理解を促すために、平成29年度新収蔵品展では修理コーナーを設けて、修理した資料の展示公開を行った。

# 【予算執行額】 2,100,000円

【事業内容】 修理件数:6件6点

E 4 2141 1 11 2			
○美術工芸	(漆器)	黒漆双鳥菊七宝繋沈金中央卓	(1基)
		黒塗螺鈿葡萄に栗鼠絵食籠(蓋のみ)	(1合)
		黒漆海老絵堆錦菓子器	(1器)
○美術工芸	(絵画)	紙本著色 毛長禧 花鳥図	(1幅)
○民 俗	(絵画)	絹本著色 ふいごの神図	(1額)
○歴 史	(木製品)	首里城正殿模型	(1棟)

## 【修理内容】

漆器資料に関しては、経年の汚れ、乾燥による木地の収縮、漆塗膜の亀裂・剥離・劣化が生じていた。修理

絵画資料は、2点の修復を行った。期間は2017年9月20日から2018年3月23日までである。琉球王国時代に活躍した毛長禧(1806~1865)の作品は現存数が非常に少ないため貴重だが、経年劣化により本紙の横折れや部分的な欠失が生じていた。修復においては欠失箇所に補修紙で補修を施し、横折れには「折れ伏せ」の作業などを行い、長期的な保存・管理ができるようにした。また本紙の科学分析した結果、竹の繊維であると確認された。「ふいごの神図」は絵画としての価値に加え祭祀風習を伝える民俗資料としても貴重であるため、すり切れて崩れた絹本を可能な限り整形し、補修する作業を行った。歴史資料の中では企画展「70年のあゆみ展」に展示するため「首里城正殿模型」の修理作業を行った。

【修理業者】 漆器:琉球漆工藝舎、絵画:石川堂、木製品:木の工房 杢陽



黒漆双鳥菊七宝繋沈金中央卓



ふいごの神図



毛長禧「花鳥図」

(篠原 あかね)

#### 6 資料保存管理事業 レプリカ・剥製製作(生物資料)

資料収集・保存は、博物館の大きな役割のひとつである。本事業は、県立の博物館施設として、沖縄県に現存する貴重な動植物を剥製やレプリカにして保存することで、その役割の一部を、継続的かつ半永久的に果たしてゆくことを目的とし、平成23年度より新たに立ち上げられた事業である。本館所蔵のレプリカ・剥製の数、種類は未だ十分とは言えず、今後も展示を視野に入れながら、少しずつ増やしてゆくことが望まれる。

剥製製作予定の標本は、多くが交通事故死等により滅失したものを、拾得者が本館へ寄贈してくれたものである。遺体は剥製にするまで冷凍室で保存している。現在、冷凍室には数百の標本が保管されているため、状態の良い物や保存価値のあるもの(希少性の高いもの)から順に、剥製(またはレプリカ)として再生してゆく。

平成29年度は、以下の動物剥製および骨格標本を委託製作した。

名 称	提供	標本製作
ヤギ(ボア種)本剥製	献体:沖縄県農林水産部畜産研究セン ター	湘南剥製研究所(神奈川県平塚市)
ヤギ(ボア種)交連骨格標本	上記剥製と同一個体	湘南剥製研究所(神奈川県平塚市)
カンムリカッコウ本剥製	献体:藤本 治彦 (石垣島)	東京内田科学社(埼玉県三郷市)
オオハクチョウ本剥製	献体:佐藤 文保(久米島)	東京内田科学社(埼玉県三郷市)
ホトトギス本剥製	献体:沖縄県立埋蔵文化財センター	東京内田科学社(埼玉県三郷市)
ホトトギス (赤色型) 本剥製	献体:沖縄県立埋蔵文化財センター	東京内田科学社(埼玉県三郷市)

(山﨑 仁也)

#### 7 資料収集事業

#### (1) 資料収集

資料収集事業は、文化財の収集活動によって沖縄の遺産を保存管理し、調査研究を踏まえた展示を通して、

本県の教育文化の振興・向上をめざした事業である。常設展示において魅力ある展示を構成する上で、資料収集事業は不可欠である。本事業では、沖縄における文化及び歴史的価値の高い資料の購入を計画的に行っている。

今年度は、「萬国人物図絵(2枚組)」及び「薩摩風土記(坤之巻)」の2件を購入した。

「萬国人物図絵」は、版元や刊行年月日は不明であるが、1714年西川如見が刊行した「四十二国人図説」と同様に様々な国の人物像と風俗等が記されており、17~18世紀に日本で刊行された多色刷木版の資料である。中央に描かれた世界地図の下部に横一列で16か国の人物図が描かれており、なかには琉球人も描かれている。江戸時代の日本における琉球認識を伺うことのできる資料である。

「薩摩風土記」は、江戸時代の薩摩の風俗・風土が色彩豊かに描かれた写本である。収録された記事には琉球に関する事柄が多く、琉球人衣装、床飾、親方、琉球人下着、官位、琉球館、トンダー盆、ゾリ(ジュリ・遊女)、琉球の産物等が記録されている。当該資料は、2冊セットになっており、平成27年度に(乾之巻)を購入し、今年度は(坤之巻)購入した。

(久部良 和子)

#### (2) 基金

当館の収蔵品は、沖縄の歴史・文化を後世に伝える貴重な資料である。特に先の大戦で戦火を免れた琉球王 国時代の資料は現存数が少ないことに加え、文化的・歴史的に非常に価値が高い。当館ではこのような資料を 収集し、常設展や企画展において展示公開の機会を設けることにより、沖縄県の文化振興に寄与すると共に県 民の学びの場を提供し、豊かな沖縄の創造を目指している。

資料収集活動の一つである沖縄県美術品等取得基金(以下「基金」という)は、貴重な資料を購入し、県外および国外に流失させないことを目的の一つとしている。当館では、調査研究や展示の充実を図るために、沖縄の歴史・文化の豊かさを表す資料を基金により継続的に収集している。なお収集にあたって外部の有識者による収集委員会を招集し、意見を求めて購入の可否を判断している。

本年度は2月13日に収集委員会(3名)を開催し、「竹林七賢人屛風図」(山田真山筆)と「蘭の図」(仲 宗根真補筆)の2作品の購入を基金財源で運用した。

(篠原 あかね)

#### 8 資料貸出

○事 業 名:日タイ修好130年記念 特別展「タイ ~仏の国の輝き~」

主 催:九州国立博物館 会 場:九州国立博物館

貸出機関:2017年4月11日(火)~2017年6月4日(日)

貸出資料:おもろさうし、田名家文書 計2件

○事業名:平成29年度1~3月企画展「御絵図~琉球の織物デザイン~」

主 催:那覇市歴史博物館 会 場:那覇市歴史博物館

貸出期間:2017年(平成29)12月25日(水)~2018年(平成30)3月20日(月)

貸出資料: 黒朝衣 他 計16件

○事業名:名護サイエンスフェスタ

借用先:公益財団法人沖縄こどもの国

貸出期間:2018年(平成30) 1月25日(木)~2018年1月27日(土)

貸出資料:アンモナイト化石(土橋氏寄託資料)一式

○事 業 名:2017年特別展 三別抄と東アジア

借用先:国立済州博物館(韓国)

貸出期間:2017年11月1日~2018年8月31日(※長期貸出)

貸出資料:勝連城跡出土高麗系瓦 計2点

#### 9 写真貸出

博物館・美術館では、県民の財産である収蔵資料の普及的活用の一環として、写真画像等の貸出も行っている。毎年多くの写真借用・資料撮影関連の依頼があり、2017年度は博物館班に221件の依頼があった。利用目的では、書籍・冊子等の出版物への掲載が多く、これに次ぐテレビ放映と併せて、申請理由の大半を占めている。

その他、学術研究や小学校での副読本、高等学校の教科書にも活用されている。

画像の貸出依頼があった資料を分野ごとでみていくと、歴史分野では、「旧首里城正殿鐘」や「間切図」、「おもろさうし」などがあり、美術工芸分野では、絵画の「首里那覇港図屛風」や「進貢船図」、中国との関係を表している「冊封使行列図」や「奉仕琉球図」、日本との関係を表している「舞楽図」や「琉球人座楽之図」などがあり、染織の紅型衣裳の申請も多い。民俗分野では、「サバニ」や「三線」が多く、考古では「線刻石版」や土器類、自然史分野では、近年継続して成果報告があげられているサキタリ洞遺跡関係資料から「世界最古の釣り針」や「港川人復元模型」の利用申請が多い。

近年では、インターネットにおける電子書籍やテレビ番組などの映像配信が行われるようになり、海外からの問い合わせも増えつつある。

(勝連 涼子)

# 美術館

- I 調査研究等の活動
- Ⅱ 展示活動
- Ⅲ 教育普及活動
- IV 資料収集·保存管理

## I 調査研究等の活動

### 1 調査研究の概要

調査研究事業(以下、本事業とする)を美術館活動の根幹と捉え、開館準備の頃より収集作品調査及び、企画 展開催に伴う調査研究に重点を置いて積極的に取り組んできた。

2017年度は、開館10周年を迎えるため、前年度に引き続いて展覧会へ向けて準備を行い更なる発展に繋がるよう進めた。またこの機会に、これまで収集した作品の整理を行い、貴重な資料となる収蔵品目録を作成し発刊した。今後とも調査研究を進めながら質の高い展覧会の開催や収蔵品の充実に努めていく。

### (1)調査研究の事業内容

- ① 美術品の収集に関すること
- ② 美術品の保存科学に関すること
- ③ 美術品の修復に関すること
- ④ 展示技術に関すること
- ⑤ 教育普及に関すること
- ⑥ 美術情報提供システムの活用に関すること
- ⑦ ボランティア育成支援に関すること
- ⑧ 美術館の振興に関すること

#### (2) 学芸員研究

研究テーマを設定し、一年ないしは数年をかけて調査研究に取り組み研究紀要にまとめる。

	氏 名	研究テーマ
1	富原 圭子	美術館の教育普及・実践とその現状 ~「教育普及報告書」に見る成果とこれからの課題~
2	豊見山 愛	儀間比呂志をめぐる表現の多様性について
3	島筒 格	伊志嶺隆について
4	玉那覇 英人	沖縄における彫刻について
5	梶原 正史	沖縄県立美術館におけるIPM管理再考 Part 2
6	大城 さゆり	大城志津子を多角的に見るために 一聞き取り調査まとめー
7	謝花 聡恵	沖縄県立美術館収蔵作家年譜まとめ

### (3)調査研究体制

調査研究活動は学芸員及び嘱託員で実施、画像を含む調査によって得られたデータは研究用データベースに保存しており、展覧会事業、収集事業といった内部資料はもとより、個人情報保護の範疇にないものに限り、外部のリファレンスにも対応するよう心掛けている。その場合は閲覧申請等、正式な申請をふまえている。

(玉那覇 英人)

### 2 調査・研究・講演・著作論文等

豊見山 愛(主任学芸員/沖縄大学地域研究所特別研究員)

○調査・研究

- ・調査協力:板橋区立美術館「東京等沖縄 池袋モンパルナスとニシムイ美術村」(弘中智子学芸員)(通 年)
- ・調査協力:立命館大学国際平和ミュージアム開館25周年記念2017年秋季特別展「儀間比呂志版画展ー沖縄への思いー」(西山直子学芸員)(5月~11月)
- ・10周年展:喜久村徳男、奥原崇典、松本力、多田弘(沖縄県内)(2017年5月~9月)
- ・大城精徳に関する作品及び聞き取り調査: 當銘藤子(沖縄県内)(2017年6月4日、9月2~4日・15日、10月14日、)
- ・アーティスト調査(沖縄県内) (2017年5月19日、9月9日)
- ・アーティスト調査(沖縄県内) (2017年7月26日)
- ・10周年展企画のための調査:南風原朝光氏関係者(沖縄県内)(2017年7月13日、10月14日)
- ・企画展「彷徨の海」展に関する聞き取り調査:神山泰治、屋部憲次郎(沖縄県内)(2017年7月22日)
- ・企画展「彷徨の海」展に関する作品調査:阿波根昌鴻(沖縄県内) (2017年9月15日)

- ・企画展「彷徨の海」展に関する作品及び聞き取り調査:沖縄平和祈念堂(2017年9月16日)
- ・企画展「彷徨の海」展に関する作品及び聞き取り調査: 佐喜眞美術館ほか (2017年9月21日)
- ・企画展「彷徨の海」展に関する聞き取り調査:星雅彦氏(2017年9月30日、10月17日)
- ・企画展「邂逅の海」展に関する作品調査:山城えりか(美術館内及びギャラリー等) (2017年9月13日~17日)
- ・企画展「彷徨の海」展に関する作品調査: (個人コレクター) (那覇市内) (2017年10月2日他)
- ・国外借用に関する調査及び調整: (当館内ほか) (2017年10月5日、12月15日)
- ・板橋区美術館主催企画展「二つのアトリエ村」(仮称)調査研究会議: (当美術館ほか) (2017年10月 13日~14日)
- ・10周年展借用のための調査:陳澄波財団、台湾美術院(台湾) (2017年9月10日~12日)
- ・10周年展企画展関連調査:台湾美術院ほか(台湾) (2017年3月12日~14日)

#### ○講師依頼等

・「第10回 なは市民芸術展」実行委員

### ○講演等

- ・名 称:パネルディスカッション「沖縄のアール・ブリュット作品の魅力と美術館の役割」(東京国立 近代美術館主任研究員・保坂健二朗、アートキャンプ2001実行委員会・今村清輝と)
- 期 目:2017年11月11日(土)
- ・名 称:板橋区立美術館「東京等沖縄 池袋モンパルナスとニシムイ美術村」催事「沖縄・ニシムイ美術村と画家たち」
  - 期 日:2018年2月24日(土)
- ・名 称:美術館開館10周年記念展「彷徨の海」「邂逅の海」関連催事 美術館開館10周年記念シンポジ ウム/基調講演「南風原朝光と台湾、沖縄、東京」
- 期 日:2017年2月4日(土)

### ○著作・論文等

- ・「いま、儀間比呂志の絵と向き合うことの意味」立命館大学国際平和ミュージアム開館25周年記念2017 年秋季特別展『儀間比呂志版画展―沖縄への思い―』図録 2017年11月
- ・『彷徨の海:南風原朝光と台湾・沖縄』 沖縄県立博物館・美術館 2017年11月
- ・九州藝術学会誌「デアルテ」展覧会紹介

### 富原 圭子(主任学芸員)

## ○調査・研究

- ・開館10周年特別企画・ニューコレクションシリーズ3「安次富長昭展―光・風・土への憧憬ー」に関する 調査研究:安次富長昭資料調査(那覇市内) (2017年4月6日・13日・21日・7月6日・10月25日)
- ・沖縄美術の流れに関する調査研究:ボランティア研修会(稲嶺成祚氏)資料調査(パレットくもじ7F) (2017年5月18日)
- ・沖縄美術の流れに関する調査研究:ボランティア研修会(稲嶺成祚氏)資料調査(那覇市内) (2017年5月21日・23日)
- ・移動展(北大東島)移動展会場・借用資材調整等・ワークショップ材料・資料調査: (北大東村) (2017年11月28日・29日)
- ・美術館リーフレット作成に関する研究・資料調査

第1回	提案	2017年 5 月 16日	リーフレットの必要生
第2回	共通理解会議	2017年5月30日	内容検討
第3回	代表者会議	2017年6月22日	美術班役割分担 7月12日締め切り
	原稿締め切り	2017年7月12日	各分担フォルダー入力
第4回	制作①	2017年8月24日	デザイナーと最終調整
第5回	制作②	2017年9月26日	デザイナー調整
第6回	決定	2017年10月10日	4案選択 美術班内
第7回	入稿前校正	2017年10月17日	リード文最終点検 美術班
		2017年10月25日	完成 美術班・財団 資料配付

・2017学生提案型企画に関する研究・資料調査:子どもの居場所学生ボランティアセンター

(沖縄女子短大・沖国際大・沖縄大・県立美術館協力)

第1回	2017年10月14日	趣旨説明
第2回	2017年10月30日	内容検討・講師紹介・日時・場所予約
第3回	2017年12月11日	ワークショップ内容確認
第4回	2017年12月19日	ワークショップ模擬
第5回	2018年1月22日	当日の最終打合せ

2018年1月28日 当日(バックヤード→展示鑑賞→ワーショップ) 第6回

第7回 2018年3月3日 学生企画発表 (沖縄国際大学)

第8回 2018年3月6日~11日 展示・展示会・撤収

### ○出前講座・授業(鑑賞レクチャー)

 国頭村立奥間小学校 2017年8月31日

2017年9月4日 · 豊見城市立座安小学校

西原町立西原南小学校 2017年9月7日

国頭村立安田小学校 2017年9月13日

名護市立東江小学校 2017年9月13日

• 読谷村立読谷小学校 2017年9月15日

· 名護市立久辺小学校 2017年9月15日

・宜野湾市立普天間小学校 2017年9月26日

沖縄市立室川小学校 2017年11月13日

・沖縄市立中の町小学校 2017年11月20日

沖縄市立美里小学校 2017年11月21日

· 糸満市立真壁小学校 ・北中城村立島袋小学校 2018年2月8日

### ○著作・論文等

『美術館教育普及報告書 平成29年度』 沖縄県立博物館・美術館 2018年3月

#### 玉那覇 英人(主任)

### ○調査·研究

・「彷徨の海」展に係る作家調査(高良憲義/那覇市) (2017年8月3日)

2017年11月22日

- ・「彷徨の海」展に係る作家調査(上原一明/那覇市)(2017年8月7日)
- ・「彷徨の海」展に係る作家調査(上條文穂/那覇市)(2017年8月8日)
- ・「邂逅の海」展に係る作家調査 (las barcus/那覇市) (2017年8月19日)
- ・「邂逅の海」展に係る作家調査(金城満/浦添市) (2017年8月31日)
- ・「彷徨の海」展に係る調査(大田和人/糸満市)(2017年9月7日)
- ・「彷徨の海」展に係る作家調査(丸山映/那覇市)(2017年9月15日)
- ・「邂逅の海」展に係る作家調査(波多野泉/那覇市)(2017年9月26日) ・「邂逅の海」展に係る作家調査(金城徹/那覇市) (2017年10月3日)
- ・「邂逅の海」展に係る作家調査(平良優季/那覇市) (2017年)

### ○講演等

称:学芸員講座「金城安太郎と《今帰仁城盛衰記》」 名

日 時:2017年6月11日(土)

場 所:美術館講座室

### ○著作·論文等

- ・「奥原崇典」『開館10周年記念展 彷徨の海ー旅する画家・南風原朝光と台湾、沖縄』116-117頁 沖縄 県立博物館・美術館 2017年11月
- ・「丸山映」『開館10周年記念展 彷徨の海-旅する画家・南風原朝光と台湾、沖縄』118-119頁 沖縄県 立博物館・美術館 2017年11月
- ・「上條文穂」『開館10周年記念展 彷徨の海ー旅する画家・南風原朝光と台湾、沖縄』120-121頁 沖縄 県立博物館・美術館 2017年11月
- ・「上原一明」『開館10周年記念展 彷徨の海ー旅する画家・南風原朝光と台湾、沖縄』122-123頁 沖縄 県立博物館・美術館 2017年11月
- ・「余連春」『開館10周年記念展 彷徨の海-旅する画家・南風原朝光と台湾、沖縄』124-125頁 沖縄県 立博物館・美術館 2017年11月
- ・「沖縄の美術の「いま」と「これから」のために」『開館10周年記念展 邂逅の海 交差するリアリズム』 6~7頁 沖縄県立博物館・美術館 2017年12月
- ・「儀保克幸」『開館10周年記念展 邂逅の海 交差するリアリズム』15頁 沖縄県立博物館・美術館 2 017年12月
- ・「水谷篤司」『開館10周年記念展 邂逅の海 交差するリアリズム』17頁 沖縄県立博物館・美術館 2 017年12月
- ・「波多野泉」『開館10周年記念展 邂逅の海 交差するリアリズム』19頁 沖縄県立博物館・美術館 2 017年12月
- ・「夏愛華」『開館10周年記念展 邂逅の海 交差するリアリズム』21頁 沖縄県立博物館・美術館 201

7年12月

- ・「我喜屋位瑳務」『開館10周年記念展 邂逅の海 交差するリアリズム』31頁 沖縄県立博物館・美術館 2017年12月
- ・「金城徹」『開館10周年記念展 邂逅の海 交差するリアリズム』35頁 沖縄県立博物館・美術館 201 7年12月
- ・「石田尚志」『開館10周年記念展 邂逅の海 交差するリアリズム』68頁 沖縄県立博物館・美術館 2 017年12月

#### 梶原 正史(保存修復担当学芸員)

### ○調査・研究

- ・山城えりか作品調査 (那覇市) (2017年7月24日)
- ・公開承認施設会議出席・聴講(2017年7月25~26日)
- ・台湾保存修復センター調査 (2017年9月26~28日)
- ・台湾・陳澄波作品クーリエ業務(2017年10月10~11日)
- ・名古屋・絵画修復用機材調査(2018年1月24~25日)
- ・東京5沖縄 池袋モンパルナスとニシムイ美術村出品作品クーリエ業務(2018年2月20~22日)
- ・台湾・陳澄波作品クーリエ業務(返却) (2018年2月26~28日)
- ・米国・スタンレースタインバーグ氏宅にて収蔵品作家についての聞き取り・調査(2018年3月27~31日)

#### ○講演・発表等

- ・名 称:沖縄美術の流れ 関連催事「上原美智子ギャラリートーク」
  - 日 時:2017年6月18日(日)
- 場 所:美術館講座室
- ・名 称:キュレータートーク「沖縄美術の流れ」
  - 日 時:2017年7月22日(土)
  - 場 所:美術館講座室
- ・名 称:学芸員講座「沖縄美術の流れ」
  - 日 時:2017年9月9日(土)
  - 場 所:美術館講座室
- ・名 称:開館10周年記念展プレイベント・シンポジウム「まもる-アートをアーカイブせよ! 亜熱帯気 候の美術館による修復と保存」
  - 日 時:2017年10月13日(金)
  - 場 所:講堂

## 大城 さゆり (美術品調査嘱託員)

### ○調査・研究

- ・山城えりか作品調査(那覇市) (2017年7月24日)
- ・阿波根昌鴻写真調査(那覇市・県立図書館) (2017年8月2~3日)

#### ○講演・発表等

- ・名 称:ベトナム絵画展関連 学芸員講座
  - 日 時:2017年7月6日(木)
- 場 所:美術館講座室
- ・名 称:「『島の女』から『紅型の女』へ―ゴーギャンのイメージを基にした大城皓也の女性像に関する一考―」(コロキウム アジア美術におけるゴーギャン受容 日本画と沖縄/第44回アジア近代美術研究会)
- 日 時:2017年10月8日(日)
- 場 所:福岡アジア美術館 会議室

## Ⅱ 展示活動

## 1 展示活動概要

通年、当美術館のコレクションギャラリーでは、沖縄県立現代美術館(仮称)基本計画に基づき収集した作品から、沖縄県及び沖縄県ゆかりの作家の近現代美術作品を中心にして、観覧者のニーズに沿った企画を立てて、展示を行っている。しかし本年度のコレクション展示事業は、特別に国内外からの借用を行うテーマ展示を企画した。開館10周年記念展として、コレクション1、2、3室を会場とした「彷徨の海ー南風原朝光と台湾、沖縄」

がそれにあたり、沖縄・台湾と海を渡り、制作を続けた沖縄出身の画家、南風原朝光(はえばる・ちょうこう 1904-1961)を中心に、1930年代から第二次世界大戦の動乱期における沖縄の画家に焦点をあてた企画展を行った。台湾美術院の諸氏を含む、陳澄波財団からの貴重な作品数点の借用は、日本国内でも初めてであり、話題となった。また、前年度から、沖縄の美術作品の体系的な収集と、その展示のありようを考慮した個展「ニューコレクション」(新収蔵品)シリーズの第3回展企画「安次富長昭展」が、開館10周年の機会を捉えて、開催され好評を博した。

企画展については、本年度は「彷徨の海」展とあわせて、「邂逅の海」展を開催することで、日本を含むアジア諸国への水平線的な広がりと、沖縄の若手アーティストを視野に入れた、国内外の優れた作品を展示することで、沖縄の美術を世代の層を意識的に、垂直方向に掘り下げることも企画の目的としたことで、これまでの調査研究対象の枠を押し広げることができた。

(豊見山 愛)

## 2 コレクション展 (常設展)

## (1) 「沖縄美術の流れ」

会 期:前期 2017年 (平成29) 4月25日 (火) ~2017年10月15日 (日) 後期 2018年 (平成30) 2月23日 (金) ~2018年6月24日 (日)

会 場:コレクションギャラリー3

担 当:梶原 正史

内 容:沖縄には、本土と異なる風土と歴史の中から育まれてきた独特な文化がある。沖縄の美術もまた、 その中から生み出され育まれてきた。現代までのさまざまな時代の変容は、沖縄の美術家とその 作風に大きく影響を与えてきたと言える。「沖縄美術の流れ」では、沖縄の画家や沖縄に影響を 与えた画家、又は沖縄と交流があった画家の作品を、戦前、戦後、復帰後、現代に章分けし、そ の変遷を紹介した。目玉となるのは、昨年度寄託された浦崎コレクションである。ニシムイの作 家を中心に戦後復興期の美術作品が多く集められ、当館のコレクションを補完する名品ぞろいと なっている。さらに、昨年寄贈された琉球大学教授の永津禎三の作品も初公開し、県外から来て 美術教育に携わった作家たちによる沖縄美術への影響も考察させる内容とする。

(梶原 正史)

### (2) 「沖縄 本土復帰45年特別展「写真家が見つめた沖縄 1972-2017」

会 期:2017年(平成29) 4月25日(火)~5月21日(日)(計25日間)

会 場:コレクションギャラリー1、県民ギャラリー1・2・3

担 当:島筒 格(展覧会ディレクター 写真家・石川竜一)

内 容:沖縄県が本土復帰を果たして45年を迎える2017年、NHK沖縄放送局と沖縄県立博物館・美術館の 共催事業として、沖縄の写真家たちが撮影した写真をとおして、本土復帰以降の沖縄の時間を振り 返る、NHK沖縄放送制作する番組と連動した特別展を開催した。本展覧会は「第40回木村伊兵衛写 真賞」を受賞した、新進気鋭の写真家・石川竜一をディレクターに迎えて、復帰前後を知る世代か ら当時を知らない世代まで、沖縄を撮ってきた写真家たちの沖縄を題材とした大規模な写真展であ った。

(豊見山 愛)

### (3) 開館10周年特別企画・ニューコレクション・シリーズ3「安次富長昭展-光・風・土への憧憬-」

会 期:2017年(平成29) 4月25日(火)~2017年10月15日(日)

会場:コレクションギャラリー2、ホワイエ

担 当:富原 圭子

内 容: 開館10周年記念及びニューコレクションシリーズ第3弾として開催した。安次富氏は、ニシムイの 画家と活動を共にし、第9回五人展への参加、安次嶺金正らと創斗会を結成し沖縄の前衛的な絵画 をリードした画家である。また、絵画のみならず琉球大学創立記念切手や海洋博記念メダルなどを 手がけたデザイナーとしても多くの功績がある。卒業制作の《少女》から代表作の《きびを食う男》 や2000年代制作の作品まで、同氏の変遷が分かる構成となっており、絵画やデザインの精華を紹介した。

### 【展示構成】

- ・第1章 学生時代の活動から創斗展開催まで
- ・第2章 創斗展以降から1968年までの活動
- ・第3章 沖縄の色と形、1969年以降の絵画

#### 【関連催事】

- ① オープニング・ギャラリートーク
  - 日 時:2017年4月25日(火)9:30~12:00
  - 講師:安次富隆(多摩美術大学教授)
  - 会 場:アトリウム・コレクションギャラリー2
  - 参 加 者:56名

### ② 鑑賞ツアー

- 日 時:2017年5月27日(土)14:00~15:00
- 内 容:鑑賞ボランティア対応による対話型鑑賞ツアー
- 会 場:美術館コレクションギャラリー
- 対 応:美術館鑑賞ボランティア
- 参 加 者:6名

### ③ ワークショップ

- 目 時:2017年6月3日(土)10:00~13:00
- 講師:永津 禎三(琉球大学教育学部教授)
- 内 容:彫り進み版画 3名1組でのリレー版画
- 対 象:小学生4年~6年(親子同伴)
- 会場:県民アトリエ、こどもアトリエ
- 参 加 者:15名

### ④ 開催記念講演会-シンポジウム

- 日 時:2017年7月8日(十)14:00~16:00
- 講師:安次富隆(多摩美術大学教授)
  - 石垣 博孝 (画家·民俗学者)
  - 金城 博之 (think ofデザイナー)
- 内 容:1部 開催記念講演会「安次富長昭の画業と周辺」
  - 2部 シンポジウム「安次富長昭と沖縄」
- 会 場:講堂
- 参 加 者:36名

### ⑤ ギャラリートーク

- 日 時:2017年9月23日(土)14:00~15:30
- 講師:仲里安広(美術家)
- 内 容:安次富長昭の変遷・調査研究資料収集について
- 会場:美術館講座室、コレクションギャラリー2
- 参 加 者:19名

(富原 圭子)

#### (4)「《今帰仁城盛衰記》 -知られざる金城安太郎の仕事-」

- 会 期:2017年(平成29) 5月23日(火)~6月25日(日)
- 会 場:コレクションギャラリー1
- 担 当:玉那覇 英人
- 内 容:本展覧会は、沖縄画壇ではやや少ない日本画家の一人、金城安太郎 (1911-1999) が描いた《今帰 仁城盛衰記》全11枚と関連する資料を紹介した。1970 年代初頭の沖縄は、本土復帰を目前に、沖縄 国際海洋博覧会の準備が盛り上がりを見せる一方で、グスク群の発掘調査がすすみ、今帰仁城も197 2年(昭和47)5月15日の本土復帰の日には「今帰仁城跡」として国の史跡に指定された。本作は、その文化財指定への関心も高まっていた1973年の作。半紙大ほどの和紙に、顔彩や墨で描かれた11 枚は、テレビ番組用の原画で、まるで歴史画としての趣を感じさせるダイナミックで品格のある佳作である。今帰仁城跡の鳥瞰図や伝説、風習や行事の様子が緻密かつ生き生きと描かれており、安太郎の時代考証の確かさと成熟期の力量を示す作品である。

本展覧会では、ご遺族の多大なご協力の下で、画材やスケッチと、貴重な番組収録ビデオをご提供いただき、安太郎の創作のプロセスを感じられる機会となった。

### 【展示構成】

- ・第1章 はじめに
- ・第2章 金城安太郎の仕事
- ·第3章 《今帰仁城盛衰記》
  - 1. 「昔の今帰仁城〕
  - 2. [会戦の図]
  - 3. [昔の今帰仁上りの風俗]

#### 【関連催事】

① ギャラリートーク 「《今帰仁城盛衰記》 - 知られざる金城安太郎の仕事-」

日 時:2017年6月11日(日)14:00~15:30

講師:仲原弘哲(今帰仁村歴史文化センター元館長)

会 場:美術館講座室、コレクションギャラリー1

参 加 者:36名

② 学芸員講座「金城安太郎と《今帰仁城盛衰記》」

日 時:2017年6月11日(日)14:00~15:30 講 師:玉那覇 英人(展覧会担当学芸員)

会場:美術館講座室、コレクションギャラリー1

参 加 者:36名

(玉那覇 英人)

### (5) ベトナム絵画展

会 期:2017年(平成29)7月6日(木)~10月15日(日)

会 場:コレクションギャラリー1

内 容:沖縄と共通する風習も多く、文化的に身近な国であるベトナムの近代美術作品を紹介した。当館は、 平成20年度に寄贈された作品群を核として、約250点のベトナム絵画を所蔵している。本展では版 画、絹絵、漆絵など、ベトナム近代美術の特徴的な技法が用いられた作品を約30点展示し、当館の アジア美術コレクションの中心となっているベトナム絵画の魅力を紹介した。

(大城 さゆり)

### (6) 「大和コレクション展Ⅲ」

会 期:2018年(平成30)2月23日(金)~2018年6月24日(日)

担 当:島筒 格

内 容:この展覧会は、日本を代表するコレクターにより当館に委ねられた、「大和コレクション」の中から作品を紹介する。日本有数の現代美術コレクターである佐藤辰美氏により集められた作品群で、平成22年度に当館にされ寄託された。その内容は、アントン・ヘニングやライアン・ガンダーら世界的に評価の高い作家、或いは国内外の若手作家による平面、立体、写真、陶芸、インスタレーションなど多岐にわたる。当館では、コレクションギャラリーにおいて「大和コレクション」を複数回展示してきた。今回で8回目となるコレクションの貴重な現代美術作品の数々を展示する。

3 特別企画展 開館10周年展「彷徨の海-旅する画家・南風原朝光と台湾、沖縄」 Over the Wandering Sea:Artist from Okinawa, HAEBARU Choko and World War II.

会 期:2017年(平成29)11月1日(水)~2018年(平成30)2月4日(日)

会 場:コレクションギャラリー1・2・3

観 覧 料:一般 310円 (250円) 高校・大学円 210円 (170円) 小・中学生 100円 (80円)

※()は20人以上の団体料金

※県内小学・中学生、未就学児、70歳以上の方、障がい者手帳をお持ちの方および介助者1名は無料

※表示料金は消費税込

観覧者数:11,782名

### 【開催形式】

主 催:沖縄県立博物館・美術館

- 助 成:芸術文化振興基金
- 協力:沖縄県立芸術大学、国立大学法人琉球大学、沖縄大学、台北駐日經済文化代表處那覇分處、台湾美術院、財團法人陳澄波文化基金會、中琉協会、八重山台湾親善交流協会沖縄支部、那覇日台親善協会、琉球華僑總會、一般社団法人琉球台湾商工協会
- 後 援:一般社団法人沖縄県美術家連盟、沖縄女流美術家協会、沖縄県文化協会、沖縄県教育委員会、那覇 市文化協会

### 【趣 旨】キーワード:旅をする画家・南風原朝光、日本統治下の台湾と沖縄

本展は、沖縄県立博物館・美術館開館10周年を記念して、沖縄・台湾と海を渡り、制作を続けた沖縄出身の画家、南風原朝光(はえばる・ちょうこう 1904-1961)を中心に、1930年代から第二次世界大戦の動乱期における沖縄の画家に焦点をあてた企画展である。那覇市安里生まれの南風原は、1929年(昭和4)に日本美術学校(現:多摩美術大学)卒業後、東京と沖縄、そして台湾を行き来して絵画制作を続けてきた。台展では第1回展から出品を重ね、沖縄と東京、戦後は東京都石神井と台湾との交流に尽力している。沖縄では、芸能に精通した画家として知られていたが、交通事故で早世したこともあり、画家として、これまで正当に評価をあげてきたとはいえない。このような意味であらためて、沖縄県民に南風原の画業を紹介することは意義深いものであった。

さらに、戦前期に台湾から東京美術学校へ進学した、陳澄波や、第二次世界大戦後に長期の戒厳令がしかれる中、美術教育並びにアートシーンを牽引してきた、台湾美術院の諸氏についても紹介し、沖縄と台湾、そして東京の美術界のありようを考え、その時代を振り返った。

### 【内 容】

当美術館の記念すべき初コレクション「魚の静物」(南風原朝光)をはじめ、絵画を中心に約120点で構成した。

### 【おもなアーティスト】

第1章では、「日本のアカデミズムと台湾・沖縄 — 海に隔たれたリアリティ 従属する美術」をテーマに于右任、謝花雲石ほかを紹介。また、南風原朝光と陳澄波をはじめ、台展・府展に出品していたアーティストを紹介した。

陳澄波、南風原朝光、中澤弘光、南薫造、名渡山愛順、喜久村徳男、喜久村宏、宮城健盛、大浜英治、青山惠昭ほか

第2章では、「彷徨-戦後リアリズムとローカリズム、台湾と沖縄にみる戦後文化の生成あるいは抵抗と告発」 をテーマに紹介した。

- 1. 沖縄の戦後美術 「沖縄らしさ」を求めて 沖縄の湾生画家と、沖縄の台湾以外に移民経験を持つ美術家、写真家を紹介した。 伊志嶺隆、阿波根昌鴻、高良憲義、内間安瑆
- 2. 台湾美術界の精鋭・アイデンティティの模索 台湾美術院の諸氏による、戦後台湾美術の潮流を紹介した。 廖修平、鐘有輝、謝里法、傳申、江明賢、黃光男

第3章では、「沖縄と台湾との交わり・必然的なつながりの中で」をテーマに芸術を通して、台湾と沖縄との交流が再確認できる作品を紹介した。

奥原崇典、丸山映、上條文穂、余連春、上原一明

### 【出版物】

・展覧会図録『開館10周年記念展 彷徨の海-旅する画家・南風原朝光と台湾、沖縄』(176頁、和・英・中文 繁体字)外部執筆者を含む

[エッセイ・執筆者]

- 「台湾美術院」(廖新田・台灣藝術大學人文學院院長、台灣藝術史研究學會理事長)
- ・「沖縄と台湾の深い絆の中の作品展」(又吉盛清・沖縄大学客員教授)
- ・「人間の住んでいる島」からのメッセージー海を渡って伝わった阿波根昌鴻の写真-(小屋敷琢己・琉球大学教授)
- ・「台湾での思い出」(喜久村徳男・画家)
- ・「沖縄・台湾交流ことはじめ」(上條文穂・沖縄県立芸術大学美術工芸学部彫刻専攻教授)
- ・「琉日布合作映画としての『執念の毒蛇』」(世良利和・映画研究家)
- ・「映画『吉屋チルー物語』―金城哲夫の出発点―」(世良利和・映画研究家)
- ・「沖縄と海」 (田名真之・館長)

・「彷徨の海―南風原朝光と台湾・沖縄・東京」(豊見山愛・展覧会企画学芸員)

#### 【関連催事】

10周年記念展関連催事では、「まもる」(修復)、「のこす」(保存管理)、「つなぐ」「みせる」(調査研 究・展示)と、当美術館の活動にちなんだ分類をして企画をした。

※すべて参加費無料

(1) プレ・イベント「まもる」「アートをアーカイヴせよ!亜熱帯地域の美術館による修復と保存」

日 時:2017年10月13日(金) 13:30~17:00(13:00開場)

場 所:講堂

登 壇:張元鳳(台湾師範大学文化財保存修復センター教授)

Ioseba Imanol SORALUZE HERRERA(台湾正修科技大学保存修復センター絵画部門チーフ、 シンガポールYHコンサベーション研究員)

梶原 正史(当館学芸員保存修復担当)

(2) オープニングとアーティスト・トーク

時:2017年11月1日(水)

所:エントランス、コレクションギャラリー2・3

オープニング 9:30~

アーティスト・トーク 10:10 ~11:20

廖修平(台湾美術院 院長)

鐘有輝(台湾美術院 事務局長)

喜久村 徳男(画家/(一社)沖縄県美術家連盟顧問)

大浜 英治(画家/(一社)沖縄県美術家連盟理事)

(3)「のこす」映像アーカイヴと沖縄

・映像アーカイヴと沖縄① 特別上映

時:2017年11月4日(土) 14:00~(13:30開場)

所:講堂

上映作品:《執念の毒蛇》(1931年、84分、監督:吉野二郎)(弁士:高宮城実人)

《吉屋チルー物語》 (1962年、98分、監督:金城哲夫)

・映像アーカイヴと沖縄② 上映・トークショー

時:2017年12月2日(土) 14:00~(13:30開場)

所:講堂

上映作品:《執念の毒蛇》

トーク:世良 利和(映画研究家)

仲程 昌徳 (元琉球大学教授)

真喜屋 力(シネマ沖縄プロデューサー)

・映像アーカイヴと沖縄③ 台湾映画上映会

時:2018年1月13日(土)13:30~(13:00開場)

上映作品:《日曜日の散歩者 わすれられた台湾詩人たち》2015年、162分

督: 黄亞歷 (ホアン・ヤーリー)

映画と展覧会を楽しむトークショー:真喜屋力(シネマ沖縄)+豊見山愛(展覧会企画者、主任学芸員)

(4) 「つなぐ」「みせる」 美術館開館10周年展記念シンポジウム

日 時:2018年2月3日(土)13:30~16:30 (13:00開場)

第1部 基調講演:廖新田(台湾芸術大学教授・人文学院院長、台湾芸術史研究学会理事長)

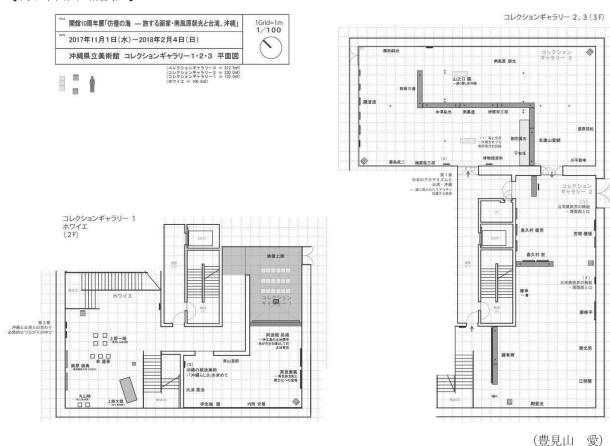
豐見山 愛 (展覧会企画者、当館主任学芸員)

第2部 翁長 直樹 (美術評論家/元美術館副館長)

前田 比呂也(上山中学校校長/前美術館副館長)

ファシリテーター:池原 盛浩(美術館副館長)

### 【展示平面図(概要)】



### 4 企画展 「邂逅の海 交差するリアリズム」

A Reunion with the Sea: Realism as Modern Asian Thought.

会 期:2017年(平成29)12月19日(火)~2018年(平成30)2月4日(日)

会 場:美術館企画ギャラリー1・2、アトリウム

観 覧 料:一般1,000円 (800円) 高校生・大学生600円 (480円) 小学生・中学生300円 (240円)

※表示料金は消費税込

※() 内は20名以上団体料金

観覧者数: 3,185名

#### 【開催形式】

主 催:沖縄県立博物館·美術館

後 援:沖縄県美術家連盟、沖縄女流美術家協会、沖縄県文化協会、那覇市文化協会、NHK沖縄放送局、沖縄テレビ放送株式会社、琉球放送株式会社、琉球朝日放送株式会社、株式会社エフエム沖縄、株式会社ラジオ沖縄、沖縄タイムス社、琉球新報社、タイフーンfm

協 力:沖縄県立芸術大学、琉球大学、沖縄大学、台北駐日経済文化代表処那覇分処、台湾美術院、財團法 人陳澄波文化基金會、中琉協会、八重山台湾親善交流協会沖縄支部、那覇日台親善協会、琉球華僑 総会、一般社団法人琉球台湾商工協会、沖縄県教育委員会

## 【開催趣旨】

本展覧会では、現在を見据え今後の美術館の在りようを考える展覧会として、沖縄で活動する作家や、沖縄を制作の舞台とした作家、さらに台湾などで活動する作家など、19人と1組の活動を紹介した。多種で多様な表現によって、新たな価値観を模索しながら、これからの沖縄の美術の方向性について考えた。

## 【展示構成】

展示は、大きく3つの章で構成した。

第1章では、「表現のフレームを押し広げるアーティスト①」として、素材を通して表現方法を模索したアーティストを紹介。

我喜屋位瑳務、山城えりか、喜舎場盛也、平良優季、金城満、金城徹、仲里安広、前田比呂也、波多野泉、夏 愛華、水谷篤司、多田弘

第2章では「言葉-美術などのジャンルを超えた表現の多様性」として、沖縄を拠点に活動するアーティストやキュレーター、研究者などが、作品を発表できるよう立ち上げられた雑誌『las barcas』のメンバーによる空間展示。

las barcus(井上間従文、岡田有美子、親川哲、阪田清子、新城郁夫、砂川敦志、仲宗根香織、根間智子、濱 治佳、山城知佳子)

第3章では「表現のフレームを押し広げるアーティスト②」として、映像やインスタレーションを通して、沖縄や台湾の現実に応答する作品を紹介した。

ジュン・グェン=ハツシバ、袁廣鳴(ユェン・グァンミン)、石田尚志、嘉手苅志朗、松本力、照屋勇賢

#### 【出版物】

- ・展示会図録『開館10周年記念展 邂逅の海 交差するリアリズム』 (112頁、和・英)
- ・『沖縄県立博物館・美術館 開館10周年記念「彷徨の海」「邂逅の海」関連年表 沖縄近代美術年表+台湾近代美術事項』(96頁、和・英・中文繁体字)

## 【関連催事】※参加者数など詳細は、Ⅲ教育普及活動を参照

(1) アーティストトーク

日 時:2018年1月20日(土)14:00~15:30

講師:山城 えりか、平良 優季、金城 徹、水谷 篤司、夏愛華

担 当: 玉那覇 英人 (展覧会担当学芸員) コーディネーター: 大城 さゆり (調査研究員)

会 場:企画ギャラリー

参加者:40名

(2) ギャラリートーク (las barcas)

日 時:2018 (平成30) 2月4日 (日) 14:00~15:30

講師:山城知佳子、根間智子、阪田清子、親川智

コーディネーター:町田 恵美、岡田 有美子

会場:企画ギャラリー

参加者:57名

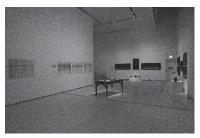
## 【会場風景】



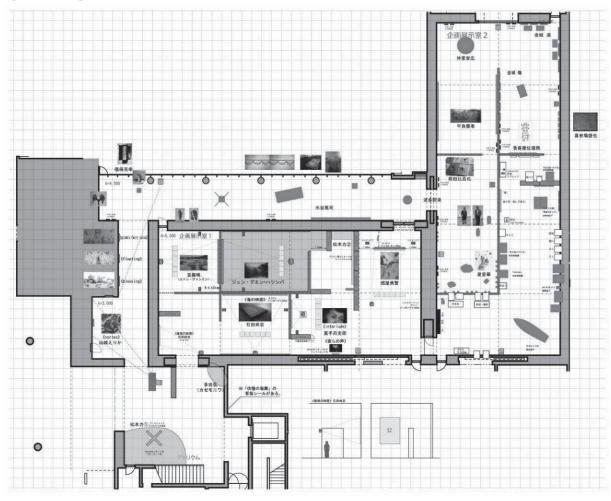








#### 【展示平面図】



(玉那覇 英人)

## Ⅲ 教育普及活動

## 1 美術館教育普及活動の概要

美術館の教育普及活動は、「鑑賞活動の支援プログラム」「実技体験の支援プログラム」「発表活動の支援プログラム」という3つの柱に沿って展開している。

鑑賞活動のプログラムでは、ガイドボランティアによる「対話による鑑賞」を展開し、今年度は学校団体への対応に加え、公民館と連携した新たな親子向け鑑賞プログラムを実施した。

実技体験では、夏休み子どもフェスタにおいて多彩なプログラムで多くの児童生徒が参加し、また、展覧会と 関連させたワープショップも実施した。その他、学芸員によるキュレータートーク、作品制作者やその関係者に よるアーティストトークやギャラリートークなどを美術館講座室と展示室で実施した。

本年度は、新たに当館及び美術への興味・関心を高め、親しめる美術館作りを目的としたアートコンクールへの参加を県内の児童生徒を対象に呼びかけた。また県内外の方々に「沖縄にある美術館」を強くアピールすることを目的に美術館パンフレットを作成、子どもたち(主な対象  $3 \sim 6$  歳)が親子で楽しみながら当館や沖縄美術への関心を持ってもらうことを目的に昨年度制作した「沖縄アート遊具」を設置し、活用した。新たな取り組みを行うことで様々な個人・団体との連携を図ることができ、新規来館者の開拓に繋がったと考えられる。

## 2 鑑賞活動支援

開館記念展より継続で、作品の鑑賞をより深めるために各展示担当によるキュレータートークや、作品の制作を行った作家や関係者を招き、アーティストトーク、ギャラリートークを行った。また来館者に対して鑑賞ボランティアによる「鑑賞ツアー」を、展示室内で作品を観ながら行った。

## 【キュレータートーク】

展覧会を企画した担当学芸員が、作家や作品、展示に関する意図、また開催するにあたり進めてきた調査・研究した内容を語る場でもある。観覧者にとっては、学芸員の話を聞くことにより「美術作品」への関心を高め、より作品理解を深めることができる。また学芸員にとっては、観覧者に展示会がどう伝わったかを知る重要な機会となり、今後の展覧会に向けての情報収集となる。



梶原学芸員キュレータトーク

□	月日	曜	展 示 会 名	担当	参加者
1	4月23日	目	「山元恵一展-まなざしのシュルレアリスム-」	豊見山 愛	40名
2	7月22日	土	沖縄美術の流れ 関連催事 修復方針・作業の進め方解説→展示説明	梶原 正史	33名
3	7月30日	土	「描かれたベトナム」-絵から読み解く歴史・文化-	大城 さゆり	40名

## 【アーティスト (ギャラリー) トーク】

アーティストトーク、ギャラリートークは、作家本人や作家とゆかりがある、あるいは研究者から話しを聞く機会である。作家自身から作品、制作に関することや思いを直接聞くことで作家の人柄や思想、歩んできた人生、客観的な事実や制作スタイル、モチーフの変遷などについて新たな気付きや理解がより深まっていくことに繋がっていく。



廖修平アーティストトーク

□	月日	曜	展 示 会 名	講師	参加者
1	4月23日	日	企画展「山元恵一展-まなざしのシュルレアリスム-」	弘中 智子	40名
2	4月25日	火	コレクション展・ニューコレクションシリーズ3関連催事 開館10周年特別企画「安次富長昭展-光・風・土への憧憬-」 オープニング・ギャラリートーク	安次富 隆	56名
3	5月29日	日	企画展・沖縄本土復帰45年特別展関連 「写真家が見つめた沖縄-1972-2017-」	石川 竜一	45名
4	6月11日	日	H29年度 コレクション展 金城安太郎展関連 「《今帰仁城盛衰記》-知られざる金城安太郎の仕事-」	仲原 弘哲	36名
5	6月18日	日	H29年度 コレクション展 沖縄美術の流れ関連 「上原美智子」ギャラリートーク	上原 美智子	40名
6	7月30日	土	ベトナム絵画展関連催事 「描かれたベトナム」 ―絵から読み解く歴史・文化― ギャラリートーク	那須 泉	40名
7	9月23日	土	コレクション展・ニューコレクションシリーズ3関連催事 「安次富長昭展-光・風・土への憧憬-」 ギャラリートーク	仲里 安広	19名
8	11月1日	水	開館10周年記念展「彷徨の海」関連催事 オープニング・アーティストトーク	廖修平 鐘有輝 喜久村 徳男 大浜 英治	43名
9	1月20日	土	開館10周年記念展「邂逅の海」関連催事 アーティスト・トーク	山城 えりか 平良 優季 金城 徹 水谷 篤司 夏愛華	40名
10	2月4日	月	開館10周年記念展「邂逅の海」関連催事(las barcas)	山城 知佳子 根間 智子 阪田 清子 親川 哲	57名

## 【学校団体対応】

学校団体に対して展示作品の鑑賞を支援するプログラムを行った。鑑賞ボラティア員が案内役となり、コレクション展の中から $2\sim3$ 作品程度をグループ別に「対話による鑑賞」を通してお互いに共感し合いながら作品理解を深めた。

口	月日	曜	学校名・学年	参加者
1	5月15日	月	那覇市立銘苅小学校(6年)	132
2	6月22日	金	那覇地区特別支援学級(中1~3年)	150
3	7月22日	土	沖縄県立芸術大学 (一般募集)	20
4	8月2日	水	うるま市小中校長会	20
5	8月14日	月	沖縄県立芸術大学学芸員実習	10
6	9月29日	木	伊是名村立伊是名小学校(6年)	15
7	11月24日	水	沖縄市立室川小学校(6年)	43
8	12月2日	土	沖縄県立開邦高校(1・2年)	37
9	12月22日	金	沖縄県立浦添工業高校デザイン科 (1年)	75
10	2月1日	木	沖縄県立浦添工業高校デザイン科 (1年)	83



鑑賞ツアーの様子



## 3 ミュージアム・ツアー

収蔵庫や修復室、工作室といった通常一般開放していない美術館のバックヤードを案内する事業。学芸員の仕事や美術作品に対する保存、展示についても学ぶ機会となっている。前年度からコレクションギュラリーの鑑賞と合わせて行っている。

回	月日	担当	参加者
1	5月27日	島筒・富原	9名
2	7月29日	富原・島筒	12名
3	8月27日	富原・島筒	11名
4	11月3日	富原・島筒	6名
5	1月27日	富原・島筒	10名

## 見学内容

- ・トラックヤード
- 企画準備室
- ・エレベーター
- •一時保管庫
- 収蔵庫
- 工作室
- •展示室作品鑑賞





ミュージアム・ツアーの様子

## 4 コレクション・企画展関連催事

(1) 沖縄本土復帰45年特別展 [写真家が見つめた沖縄 1972-2017]

会 期:2017年4月25日(火)~2017年5月21日(日)

会 場:コレクションギャラリー1

① 高校生とつくる「2017 沖縄」写真展

期 間:2017年4月25日(火)~2017年5月21日(日)

会場:県民ギャラリー・ロビー

参加者:20名(県内高校生)※ワークショップの後、作品を展示



2017.4.25-5.21 学用意立用物館・美術館

### ② シンポジウム

日 時:2017年4月29日(土)14:00~17:00

内 容:第1部:石川竜一氏と若手写真家が展示作品について語った

第2部:写真を沖縄の文化として育てていくにはどうすればよいか

会 場:講堂 参加者:100名

③ 写真家が見つめた沖縄―特別展関連 銘苅小学校鑑賞ツアー

日 時:2017年5月15日(月)9:00~12:00

対 応:美術館鑑賞ボランティア

会 場:博物館・美術館 美術館常設展

④ 関連番組の放送

番組名:沖縄金曜クルーズきんくる「写真家が見つめた沖縄復帰45年」

(NHK沖縄放送局)

日 時:2017年4月28日(金)19:30

出 演:石川 竜一

## (2) 開館10周年特別企画・ニューコレクションシリーズ3 [安次富長昭展-光・風・土への憧憬-]

会 期:2017年4月25日(火)~2017年10月15日(日)

会 場:コレクションギャラリー2、ホワイエ

① 安次富長昭展 ーオープニング・ギャラリートーク

日 時:2017年4月25日(火)9:30~12:00 講 師:安次富 隆 (多摩美術大学教授)

会 場:アトリウム、コレクションギャラリー2

参 加 者:56名

## ② 安次富長昭展 -鑑賞ツアー

日 時:2017年5月27日(土)14:00~15:00

内 容:鑑賞ボランティア対応による対話型鑑賞ツアー

対 応:美術館鑑賞ボランティア 会 場:コレクションギャラリー

参 加 者:6名

## ③ 安次富長昭展 -ワークショップ

日 時:2017年6月3日(土)10:00~13:00

内 容:彫り進み版画 3名1組でのリレー版画

講 師:永津 禎三(琉球大学教育学部教授)

対 象:小学生4年~6年(親子同伴)

会 場:県民アトリエ、子どもアトリエ

参 加 者:9名

## ④ 安次富長昭展 -開催記念講演会-シンポジウム

日 時:2017年7月8日(土)14:00~16:00

講 師:安次富 隆 (多摩美術大学教授)

石垣 博孝 (画家・民俗学者)

金城 博之 (think of デザイナー) 容:第1部 開催記念講演会「安次富長昭の画業と周辺」

第2部 シンポジウム「安次富長昭と沖縄」

会 場:講堂 参加者:36名

## ⑤ 安次富長昭展 -鑑賞ギャラリートーク

目 時:2017年9月23日(土)14:00~15:00

内 容:安次富長昭の変遷













講師: 仲里 安広 (美術家・沖縄県立那覇高等学校教諭)

会場:コレクションギャラリー

参 加 者:19名

## (3) [沖縄美術の流れ]

前 期:2017年4月25日(火)~2017年10月15日(日) 後 期:2017年2月23日(金)~2018年6月24日(日)

会 場:コレクションギャラリー3

① 沖縄美術の流れ -オープニング

日 時:2017年4月25日(火) 会 場:コレクションギャラリー3

② 沖縄美術の流れ ーギャラリートーク

\*第3回ボランティア研修会

日 時:2017年5月25日(木)10:00~12:00 講 師:稲嶺 成祚(画家、琉球大学名誉教授) 会 場:県民スタジオ・コレクションギャラリー3

参 加 者:18名

③ 沖縄美術の流れ ーギャラリートーク

日 時:2017年6月18日(土)14:00~15:30

講師:上原美智子(染織家)

会 場:美術館講座室

参 加 者:40名

④ 沖縄美術の流れ ーキュレータートーク

日 時:2017年7月22日(土)14:00~15:30

講 師:梶原 正史(当館担当学芸員)

会 場:美術館講座室

参加者:33名

## (4) [ベトナム絵画展]

会 期:2017年7月6日(木)~2017年10月15日(日)

会 場:コレクションギャラリー1

① ベトナム絵画展 ーキュレータートーク

\*学校招聘事前学習会

日 時:2017年7月12日 (水) 10:00~12:00 講 師:大城 さゆり (美術館調査研究員)

対 象:美術館鑑賞ボランティア 会 場:コレクションギャラリー1

参 加 者:9名

② ベトナム絵画展 ーギャラリートーク

\*「描かれたベトナム」 - 絵から読み解く歴史・文化 日 時:2017年7月30日(土)14:00~15:30

講 師:那須 泉(うちなあじあ研究所代表)

会場:美術館講座室、コレクションギャラリー1

参加者:40名

③ ベトナム絵画展 一学芸員講座

日 時:2017年7月30日(土)14:00~15:30

内 容:展示作品よりベトナムの歴史、文化について読み解く

講 師:大城 さゆり (美術館調査研究員)

会 場:美術館講座室、コレクションギャラリー1













## (5) [今帰仁城盛衰記―知られざる金城安太郎の仕事―]

日 時:2017年5月23日(火)~2017年6月25日(日)

会 場:コレクションギャラリー1

① 金城安太郎展 ーギャラリートーク

\*《今帰仁城盛衰記》-知られざる金城安太郎の仕事-

日 時:2017年6月11日(日)14:00~15:30

講師: 仲原 弘哲(今帰仁村歴史文化センター元館長)

会 場:美術館講座室、コレクションギャラリー1

参 加 者:36名

## ② 金城安太郎展 -学芸員講座

\*「金城安太郎と《今帰仁城盛衰記》」

日 時:2017年6月11日(日)14:00~15:30 講 師:玉那覇 英人(展覧会担当学芸員)

会 場:美術館講座室、コレクションギャラリー1

参 加 者:36名

### (6) 開館10周年特別企画 [彷徨の海-旅する画家・南風原朝光と台湾、沖縄]

日 時:2017年11月1日(水)~2018年2月4日(日)

会 場:コレクションギャラリー1・2・3、美術館ホワイエ

① 彷徨の海展-開館10周年記念展関連 -オープニング・アーティストトーク

日 時:2017年11月1日(水)10:30~12:00

講師:廖修平(台湾美術院院長)

鐘有輝(台湾美術院事務局長)

喜久村 徳男(画家/沖縄美術連盟顧問)

大浜 英治 (画家/沖縄美術家連盟理事)

コーディネーター: 豊見山 愛 (展示担当学芸員)

会 場:コレクションギャラリー1、2、3

参 加 者:43名

② 彷徨の海展-開館10周年記念展関連 -「のこす」

映像アーカイブと沖縄①

特別上映デジタル化した「執念の毒蛇」「吉屋チルー物語」

日 時:2017年11月4日(土)13:30~18:00

内 容:無声映画「執念の毒蛇」(弁士・楽士による生演奏あり)

講師:高宮城 実人(弁士) 楽士3人

会 場:講堂 参加者:142名

③ 彷徨の海展-開館10周年記念展関連 -「のこす」

映像アーカイブと沖縄② 特別上映

目 時:2017年12月2日(土)10:30~11:30

内 容:弁士・楽士入り映画「執念の毒蛇」上映

ハワイ移民の文化、沖縄映画史、映画の修復と保存について

講師:真喜屋力(シネマ沖縄プロデューサー)

仲程 昌徳 (元琉球大学教授)

世良 利和 (映画研究家)

会 場:講堂 参加者:200名以上

④ 開館10周年記念展「彷徨の海」「邂逅の海」関連

- 「日曜日の散歩者」上映会+トークショー













日 時:2018年1月13日(土)13:30~17:00 講 師:真喜屋 カ(シネマ沖縄プロデューサー) コーディネーター:豊見山 愛(展覧会担当学芸員)

会 場:講堂 参加者:67名

⑤ 開館10周年記念展関連「彷徨の海」「邂逅の海」 シンポジウム・トーク ディスカッション

・第1部《シンポジウム》 「つなぐ」海と交流

日 時:2018年2月3日(土)13:30~

講師:廖新田(國立臺灣藝術大學藝術管理與文化政策研究專長)

基調講演:「台湾の発見:台湾の芸術発見と日本」

講師: 豊見山 愛(当館学芸員)

講演:「南風原朝光を通してみた台湾、東京、沖縄」

会 場:講堂 参加者:75名

・第2部《トークディスカッション》「みせる」展示で何を伝えてきたの

かー美術館前史と美術館ー

講師: 翁長 直樹(美術評論家/元美術館副館長)

前田 比呂也(上山中学校校長/前美術館副館長)

コーディネーター:池原 盛浩(美術館副館長)

会 場:講堂 参加者:75名

## (7) 開館10周年特別企画 [邂逅の海-交差するリアリズム]

日 時:2017年12月19日(火)~2018年2月4日(日) 会 場:美術館企画ギャラリー1・2、アトリウム

① 開館10周年記念展「邂逅の海」関連 アーティストトーク

日 時:2018年1月20日(土)14:00~15:30

講師:山城 えりか

平良 優季

金城 徹

水谷 篤司

夏愛華

担 当:玉那覇 英人(展覧会担当学芸員)

コーディネーター:大城 さゆり (調査研究員)

会 場:企画ギャラリー

参 加 者:40名

② 開館10周年記念展「邂逅の海」関連 ギャラリートーク (las barcas)

日 時:2018年2月4日(日)14:00~15:30

講師:山城知佳子

根間 智子

阪田 清子

親川 哲

コーディネーター:町田 恵美、岡田 有美子

会 場:企画ギャラリー

参 加 者:57名

#### 5 ワークショップ

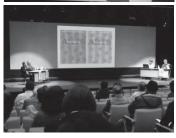
(1) コレクション展関連・ニューコレクションシリーズ3 開館10周年特別企画「安次富長昭展-光・風・ 土への憧憬-」 関連催事「版画で話そう」

時:2017年6月3日(土) 第1回 10:00~13:00

内 容:彫り進み版画 3名1組でのリレー版画











講師:永津 禎三(琉球大学教育学部教授)

対 象:小学生4年~6年(親子同伴)

会 場:県民アトリエ、こどもアトリエ

参 加 者:9名

## (2) 美術館夏休みこどもフェスタ①「中庭が水族館」

日 時:2017年8月5日(土) 第1回 9:30~10:00

第2回 10:30~11:00

内 容:中庭の窓ガラスに好きな魚などを彩色して水族館に

講師:保久村智恵(美ら島財団学芸員)

対 象:小学生以下(親子同伴)

会場:美術館中庭 \*台風接近のため中止

## (3) 美術館夏休みこどもフェスタ②「写生大会」

日 時:2017年8月5日(土) 9:00~12:00

内 容:屋外展示場や周辺の公園の風景を講師の指導のもと水彩画を描く

 講
 師: (沖縄県美術家連盟)

 対
 象: 小学1年~中学3年

 会
 場:博物館・美術館周辺

\*台風接近のため中止

## (4) 美術館夏休みこどもフェスタ③「身近な人の似顔絵を描こう」

日 時:2017年8月5日(土)13:00~16:00

内 容:描き方のコツを教えてもらい、家族、友人と一緒に似顔絵を 完成させる

講師:小松 橋人(アニメーター) 琉球大学教育学部の大学生のみなさん

対 象:小学校1年~中学校3年

会場:県民アトリエ、こどもアトリエ

参加者:39名



中庭が水族館

永津禎三ワークショップ

親子で似顔絵

## (5) 美術館夏休みこどもフェスタ④「動く動く海のアニメーション」

日 時:2017年8月5日(土)~6日(日) 10:00~15:00

内 容:海をテーマに各自がイラストを描き、参加者の絵を繋ぎ合わせて一つのアニメーションを完成させ、 エントランスで上映する

講師:松本力 (アニメーション作家)

下地 慶子 (美術館ボランティア) 前川 ひろえ (美術館ボランティア) 福島 弘子 (美術館ボランティア)

金城 章 (美術館ボランティア)

対 象:未就学児~高校生

会 場:県民ギャラリー (スタジオ)

参加者:62名



アニメーション上映

## (6) 美術館夏休みこどもフェスタ⑤「水中美術館」

日 時:2017年8月5日(土)13:00~15:00

8月6日(日)10:00~12:00

内容:海の生物を画用紙に描き、3階回廊のガラスに展示

講 師:保久村 智恵(美ら島財団学芸員) 松尾 康生 (美術館ボランティア)

前川 ひろえ (美術館ボランティア)

対象:未就学児~大人会場:共有ホワイエ

参加者:47名



## (7) 美術館夏休みこどもフェスタ⑥「海をデッサンしよう」

日 時:2017年8月6日(日) 10:00~15:00

内 容:海に関連するモチーフで木炭・鉛筆・コンテなどを使い、本

格的なデッサンに挑戦

講師:豊里三智恵(画家)

対 象:小学校3年~中学校3年

会 場:県民アトリエ、こどもアトリエ

参 加 者:16名



海をデッサンしよう

## (8) 美術館夏休みこどもフェスタ⑦ 「美術館にねんどのキノコを植えよう」

日 時:2017年8月6日(日)9:00~12:00

内 容:自由に着彩出来る粘土で色とりどりのキノコを作り、中庭

に展示

講師:仲本賢(沖縄県立芸術大学)

沖縄県立芸術大学大学生のみなさん

対 象:小学校3年~中学校3年

会 場:博物館実習室

参加者:37名



ねんどのキノコを植えよう

## 6 美術館招待事業 (美術館へ行こう)

児童生徒をバスで送迎し、コレクション展示作品を使って鑑賞学習指導を行う・・・・・・・参加者617名

①対 象:県内小中学校、特別支援学校 学年単位で5~7校程度

②方 法:公募により学校を決定 ③場 所:コレクション展示室

④内 容:鑑賞ボランティアによる鑑賞学習支援

回	月日	曜	学 校 名	見学者
1	9月20日	水	国頭村立安田小学校(1~6年)	19名
2	9月21日	木	西原町立西原南小学校(6年)	57名
3	9月22日	金	国頭村立奥間小学校(4・5年)	35名
4	9月26日	火	豊見城市立座安小学校(6年)	61名
5	10月3日	火	名護市立東江小学校(5年)	110名
6	10月4日	水	読谷村立読谷小学校(6年)	103名
7	10月5日	木	名護市立久辺小学校(5・6年)	52名
8	10月12日	木	宜野湾市立普天間小学校 (3年)	105名
9	12月6日	水	沖縄市立中の町小学校 (6年)	65名
10	12月7日	木	糸満市立真壁小学校 (5年)	25名
11	12月8日	金	沖縄市立美里小学校(特別支援学級)	60名











### 7 アートコンクール

今年度、美術館は開館10周年の事業の一つとして児童・生徒にアートコンクールへの参加の機会を提供し、親しめる美術館づくりを目指した。第1回目のテーマは10周年特別記念展覧会と同じ「海」。「あなたにとっての海とは・・」で募集した535作品の中から特に色彩豊かで独創性に優れた作品が入賞に選ばれた。



平成29年度 沖縄県立博物館・美術館企画 第1回アートコンクール 入賞者

賞	小学校の部	中学校の部	T	高校の	の部	特	別支援の部	
最優秀賞	◎仲西夏葉 アミークス小3年	◎津波愛香 那覇市立松城中	<ul><li>◎津波愛香</li><li>那覇市立松城中2年</li></ul>		◎生盛愛彩 県立開邦高校2年		◎花城可奈 県立森川特別支援中学部3年	
優秀賞	<ul><li>◎本盛美海</li><li>竹富町立大原小6年</li><li>◎安次富寛心</li><li>北中城村立島袋小6年</li></ul>	沖縄市立山内中3年 ◎亀川亜依		◎砂川真生 県立開邦高校2年 ◎宮城梨七 県立南部農林高校3年		<ul><li>◎比嘉萌珠</li><li>県立沖縄ろう学校中学部3年</li><li>◎仲門結衣</li><li>県立沖縄ろう学校中学部3年</li></ul>		
優良賞	◎本盛海吏 竹富町立大原小2年 ◎崎田帆夏 石垣市立平真小1年 ◎小林祐貴 石垣市立平真小2年 ◎阿慶田空南 伊江村立伊江小6年	<ul><li>◎運天意識 浦添市立神森中</li><li>◎平田愛華</li></ul>	◎徳村呼夏 那覇市立上山中3年 ◎運天意識 浦添市立神森中3年		<ul><li>◎運天海莉 県立開邦高校1年</li><li>◎比嘉鈴音南 県立那覇高校2年</li><li>◎宮里悠平</li><li>つくば開成国際高校</li></ul>		妙 糸満南小6年 河 特別支援高等部2年 立ゆたか小6年	
佳 作	9名	18名	18名		8名		3名	
優 秀 団体賞	豊見城市立 ゆたか小学校	五垣市立 平真小学校	名護 屋部	市立 祁中学校	沖縄県立 球陽中		沖縄県立 前原高校	

## 8 「移動展 in 北大東島」

会 期:2018年2月23日(金)・24日(土)・25日(日)(3日間)

開催地:北大東島

内 容:映像作品の展示、遊具体験、ワークシップの実施 来場者数:北大東村人材交流センター・民俗資料館・・・・・328名

ワークショップ:「月桃の根で染めてみよう」

講師:江谷紋子(染織家)

参 加 者:44名

○23日(金) /121名(70歳以上1名、一般80名、高大0名、小中13名、

未就学児27名)

○24日(土) /92名(70歳以上5名、一般39名、高大0名、小中24名、未就学児24名) ○25日(日) /115名(70歳以上6名、一般51名、高大1名、小中35名、未就学児22名)







## 9 ハンズオンキット「子供を対象としたハンズオン遊具」の開発

平成28年度に魅力アップ事業の一つとして開発を行った「子どもを対象としたハンズオン遊具(名称:おきなわアート遊具)」が昨年度末に完成し、今年度公開した。美術館の課題の一つである若年層、特に3~6歳程度の末就学児を主な対象として、館で所蔵している作品をモチーフにしたロボットの組み立て式ぬいぐるみや、立体パズル、ちんすこうなど沖縄のお菓子を使ったぬいぐるみ、木や陶器を使った、さわって遊べる12種類の遊具を制作した。





## 平成29年度の主な公開

回	期日	関連した催事	場所	人数(延べ)
1	8/5 (土) ~6 (目)	夏休みこどもフェスタ	エントランス	未集計
2	10/21 (土) ~22 (日)	こどもフェスタ秋 〜体験キットで遊ぼう	エントランス 博物館講座室	1227
3	2/17 (土)	旧盆イベント	エントランス	未集計
4	2/23 (金) ~25 (日)	第10回 移動展 in 北大東島	人材交流センター	127

## 10 アートミュージアムキッズクラブ

「アートミュージアムキッズクラブ」小学生を対象に実施したプログラム。より美術に親しみ楽しで活動できるように、年間を通して行った。今年度は小学校3年生から中学2年生の児童生徒13名が参加し、作品鑑賞、造形ワークショップなどに取り組んだ。

口	月日	曜	プログラム	講師			
1	5月21日	月	キッズクラブ活動説明+バックヤードツアー	島筒格			
1	<b>Э</b> Д 21 р	H	コレクションギャラリー鑑賞	富原 圭子			
2	6月17日	土	キッズクラブオリジナルmyTシャツ作り	真喜志 康一			
3	7月15日	土	陶芸1日目 「たたらづくり」皿・コップ	金城 安正			
4	7月16日	目	陶芸2日目 釉薬・絵付け「てびねり」シーサー	金姒 女正			
5	9月16日	土	フィンガーアート	富原・保久村・植田			
6	10月14日	土	藍染め*あい*を染めよう ~藍・愛・I~	江谷 紋子			
7	11月18日	土:	錫細工を作ろう 自分のお守り	上原 俊展			
8	12月16日	土	ドローイングマシン	植田 瑞生			
9	1月20日	日	書画 アダンの根で筆作り	伊江 隆人			
10	2月17日	目	修了式 キッズクラブ展覧会準備	富原・保久村・植田			



藍染め



錫細工



Tシャツづくり



藍染で描く



陶芸釉薬かけ

## 11 ボランティア活動

美術館のボランティアスタッフは、学校団体に向けた作品鑑賞を実施するガイドボランティア、作品づくりのワークショップをサポートするワークショップボランティア、美術関連書籍を整理する資料整理ボランティアと3つのグループに分かれ、それぞれが特技を活かし美術館の活動を盛り上げている。



### ボランティア養成講座

口	月日	曜	講義内容	参加者
1	4月26日	水	職員紹介・活動計画と事務手続き等説明会	19
2	5月10日	水	団体鑑賞プログラム説明、プログラム学習会	14
3	5月25日	水	作家 稲嶺成祚による講座「沖縄美術の流れ」	18
4	6月14日	水	那覇市歴史博物館 外間政明による文化財修復・展示解説	10
5	6月21日	水	那覇地区特別支援学級対応勉強会	7
6	7月12日	水	大城学芸員による展示解説会・8月外部講師来館前の勉強会	9
7	8月16日	水	外部講師 杉浦幸子による講座「美術館鑑賞」	20
8	9月13日	水	対話による鑑賞実践体験①	9
9	11月15日	水	「彷徨の海」展示解説会、対話による鑑賞実践体験②	11
10	3月14日	水	平成29年度 振り返り会	12

## 12 鑑賞ツアー・博美連携事業

### (1) 企画展関連

「写真家が見つめた沖縄1972-2017」銘苅小学校

日 時:2017年5月15日(月)9:00~15:00

内 容:鑑賞ボランティア対応による対話型鑑賞ツアー

対 応:美術館鑑賞ボランティア

場 所:美術館コレクションギャラリー、県民ギャラリー、博物館常設展示室

#### (2) コレクション展関連

開館10周年特別企画 .....(一般) 6 名参加

ニューコレクションシリーズ3「安次富長昭展」

日 時:2017年5月27日(土)14:00~15:00

内 容:鑑賞ボランティア対応による対話型鑑賞ツアー

対 応:美術館鑑賞ボランティア

場 所:美術館コレクションギャラリー

### (3) 博物館·美術館連携事業

慰霊の日特別企画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(一般) 6 名参加

「博物館・美術館で平和を考えるイベント」

日 時:2017年6月23日(金)10:00~10:50

内 容:鑑賞ボランティア対応による対話型鑑賞ツアー

対 応:美術館鑑賞ボランティア

場 所:美術館コレクションギャラリー

## (4) 博物館·美術館連携事業

「こどもフェスタ2017秋 体験キットで遊ぼう!」 ・・・・・・・・1227名参加

「博物館・美術館で平和を考えるイベント」 1日目485名 2日目742名

日 時:2017年10月21日(土)·10月22日(日)10:00~17:00

内 容:鑑賞ボランティア対応による対話型鑑賞ツアー

対 応:美術館教育普及班、美ら島財団教育普及班

場 所:エントランス、博物館実習室

## 13 学芸員講座

学芸員が展覧会調査や作家調査の成果、あるいは、美術館業務で担当している内容等を広く県民皆様に公開することを目的に開催し、今年度は計4回実施した。今年度はギャラリートークとアーティストトークとタイアップすることで充実が図れた。

回	期日	曜日	講座名	担当		
1	6月11日 日 金城安太郎と《今帰仁城盛衰記》		金城安太郎と《今帰仁城盛衰記》	玉那覇英人		
2	2 6月11日 土		「描かれたベトナム」 ー絵から読み解く歴史・文化-	大城さゆり		
3	9月17日 土		「美術品の保存について」 -保存修復の現場から-	梶原正史		
4	2月17日	土	「沖縄アート遊具」の開発について	島筒 格		



## 14 職場体験

キャリア教育の具体的理解として、生徒が職場で働くことを通じて、職業や 仕事の実際について体験したり、働く人々と接したりする学習。館内施設を見 学し、博物館・美術館交互に業務体験。

対 象:本島域内中学校・高等学校 方 法:各学校の依頼受け入れ

場 所:コレクション展示室・バックヤード・美術館資料室

内 容:施設見学、美術館班資料整理、各業務体験



□	月日	曜日	学校名	見学者	担当		
1	8月3日	木	島添の丘 真和志高校・那覇工業高校	3	富原		
2	8月30日	水	那覇市立石田中学校(1年)	3	富原		
3	9月12日	火	沖縄工業高校(2年)	4	富原		
4	11月28日	火	那覇市立那覇中学校(1年)	4	富原		
5	10月3日	火	那覇市立金城中学校(1年)	5	富原		

## 15 出前授業

来館前の出前授業で、先生方に鑑賞授業のレクチャーを行った。ティーチャーズキットやアートカードを活用した鑑賞の授業とマナーについて学んだ。当日、児童にとってこの体験が美術館鑑賞のスタートとなり、今後の美術館での鑑賞に大きな期待をもたらすきっかけになることを期待する。

口	月日	学校名	口	月日	学校名
1	9月20日	国頭村立安田小学校(1~6年)	8	10月12日	宜野湾市立普天間小学校 (3年)
2	9月21日	西原町立西原南小学校(6年)	9	11月22日	沖縄市立室川小学校 (5年)
3	9月22日	国頭村立奥間小学校(4、5年)	10	12月6日	沖縄市立中の町小学校(6年)
4	9月26日	豊見城市立座安小学校(6年)	11	12月7日	糸満市立真壁小学校(5年)
5	10月3日	名護市立東江小学校(5年)	12	12月8日	沖縄市立美里小学校(特別支援学級)
6	10月4日	読谷村立読谷小学校(6年)	13	2月8日	北中城村立島袋小学校(4年)
7	10月5日	名護市立久辺小学校(5、6年)			

事前学習「出前授業」\*資料\*

- ・授業プレゼン(45分用)
- 授業指導案
- ・ティーチャーズキット
- ・アートカード
- ・鑑賞のヒント
- ・実物大コピー絵画
- ・招聘事業アンケート(教師用)
- ・振り返りシート(生徒用)



アートカード活用



ティーチャーズキット活用

## 16 名画を贈ろう!「私たちの学校へ沖縄の名画を贈ろう!キャンペーン」への協力

沖縄明治乳業株式会社が取り組む「私たちの学校へ世界の名画・沖縄の名画を贈ろう!キャンペーン」において、高精細レプリカ作成のために美術館所蔵作品の画像を無償で提供する協力を平成26年度より行っている。3年目となる今年度は、新規に稲嶺成祚作《太陽のある家族》を加えた11作品の画像提供を行い、8校より8作品の応募があった。

(平成30年2月28日現在)







検品後に日付と館名を署名する

学校名	応募作品名	作家名
宜野湾市立長田小学校	白地紅型を着る	名渡山愛順
浦添市立浦西中学校	太陽のある家族	稲嶺成祚
那覇市立さつき小学校	太陽のある家族	稲嶺成祚
沖縄県立鏡が丘特別支援学校	八重山風景	大嶺政寛
豊見城市立豊見城小学校	太陽のある家族	稲嶺成祚
浦添市立内間小学校	太陽のある家族	稲嶺成祚
伊平屋村立伊平屋小学校	太陽のある家族	稲嶺成祚
那覇市立金城小学校	青い空	安次嶺金正

## 17 学生提案型企画 協力 アートでひろがる子どものせかい

この学生提案型企画は、一般財団法人大学コンソーシアム沖縄子どもの居場所ボランティアセンターが主催するもので、学生が子どもの貧困問題の解決や寄与することを目的に企画提案し、美術館やボランティアセンターがサポートし実施した。バックヤード・鑑賞・ワークショップを体験した。

口	期日	内 容	提案者		
1	10/14(土)	趣旨説明	   沖縄女子短期大学   注	<b>治</b>   佐口芸	
2	10/30(月)	内容検討・講師紹介・日時・場所予約	伊湘女子起朔八子 7	用呵口米	
3	12/11(月)	ワークショップ内容確認	   沖縄女子短期大学	<b>体扑</b> 美	
4	12/19(火)	沖縄女子短大にてプレワークショップ	(中純女丁应朔八子 /	<b>簡</b> 你 天米	
5	2/22(月)	当日の最終打合せ	沖縄国際大学	呉屋奈菜子	
6	1/28(目)	バックヤード・展示鑑賞・ワーショップ		只 <b></b> 全宗米丁	
7	3/3(土)	学生企画発表(沖縄国際大学)	児童生徒15名		
8	$3/6 \sim 3/11$	展示・展示会・撤収	施設職員3名		



ワークショップ説明の様子



ワークショップの様子



展示室鑑賞の様子

# Ⅳ 資料収集・保存管理

## 1 収蔵作品現在高

2018年3月31日現在

分 類	購入	寄 贈	移管	その他	小 計	寄 託	総計
平面	366	1, 311	64	2	1, 743	171	1,914
立体	29	221	0	8	258	10	268
写真・映像	365 (映像:19)	1,717 (映像:4)	0	0	2,082 (映像:23)	767 (映像:0)	2,849 (映像:23)
その他	13	12	1	3	29	41	70
総計	773	3, 261	65	13	4112	989	5, 101

<sup>※「</sup>写真・映像」の収蔵数に含まれる、映像作品数をカッコ内に記した。

## 2 2017 (平成29) 年度 新収蔵作品高

分 類	購入	寄 贈	移管	小 計	寄 託	総計
平面	0	367	0	367	0	367
立体	0	0	0	0	0	0
写真・映像	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
総計	0	367	0	367	0	367

# 3 2017 (平成29) 年度 新収蔵作品目録

## 【寄 贈】

2017年4月1日~2018年3月31日

分	類	作家名	作品名	制作年	技法・素材	数量	寄贈者
		安谷屋 正義	花と少女	1952. 4. 1	キャンバス、油彩	1	古波倉 史子
		大嶺 政寛	タイトル不明 (仮題:真玉橋)	不明	キャンバス、油彩	1	古波倉 史子
		山里 永吉	廃園	不明	キャンバス、油彩	1	古波倉 史子
		山里 永吉	ポーチ	1954	キャンバス、油彩	1	古波倉 史子
		山里 永吉	タイトル不明	不明	キャンバス、油彩	1	古波倉 史子
平	絵	安次富 長昭	バレリーナ	不明	紙、コンテ	1	古波倉 史子
面	画	安次富 長昭	タイトル不明	不明	紙、コンテ	1	古波倉 史子
		大城 皓也	タイトル不明	1972	キャンバス、油彩	1	古波倉 史子
		大城 皓也	花とブドウ	1970	キャンバス、油彩	1	古波倉 史子
		大城 皓也	海の見える道	1971	キャンバス、油彩	1	古波倉 史子
		大城 皓也	タイトル不明	1970	キャンバス、油彩	1	古波倉 史子
		大城 皓也	宮古風景	1972	色紙、水彩	1	古波倉 史子
		南風原 朝光	風景	1930	キャンバス、油彩	1	永嶋 伸一郎
		伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
'E		伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
写真	写	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
映像	真	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
隊		伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市

分	類	作家	名	1	作品名	制作年	技法・素材	数量	寄贈者
		伊志嶺	隆	海の旅人		不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺	隆	海の旅人		不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺	隆	海の旅人		不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺	隆	海の旅人		不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺	隆	海の旅人		1990	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺	隆	海の旅人		不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺	隆	海の旅人		不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺	隆	海の旅人		不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺	隆	海の旅人	糸満	1991	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺	隆	海の旅人		不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺	隆	海の旅人		不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺	隆	海の旅人		不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺	隆	海の旅人		不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺	隆	海の旅人		不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺	隆	海の旅人		不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺	隆	海の旅人		不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺	隆	海の旅人		不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺	隆	海の旅人	港川	1992	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺	隆	海の旅人	伊計島	1992	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺	隆	海の旅人	伊計島	1992	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
写真	写	伊志嶺	隆	海の旅人	伊計島	1992	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
•		伊志嶺	隆	海の旅人	波照間島	1991	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
映像	真	伊志嶺	隆	海の旅人		不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺	隆	海の旅人		不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺	隆	海の旅人		不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺	隆	海の旅人	糸満	1992	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺	隆	海の旅人	糸満	1992	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺	隆	海の旅人	糸満	1992頃	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺	隆	海の旅人		不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺	隆	海の旅人	小浜島	1992	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺	隆	海の旅人		不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺	隆	海の旅人		不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺	隆	海の旅人	糸満	1989-92頃	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺	隆	海の旅人		不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺	隆	海の旅人		不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺	隆	海の旅人		不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺	隆	海の旅人		不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺	隆	海の旅人		不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺	隆	海の旅人		不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺	隆	海の旅人		不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺	隆	海の旅人		不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺	隆	海の旅人		不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺	隆	海の旅人		不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市

分類	作》	家名	作品名	制作年	技法・素材	数量	寄贈者
	伊志嶺	隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺	隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺	隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺	隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺	隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺	隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺	隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺	隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺	隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺	隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺	隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺	隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺	隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺	隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺	隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺	隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺	隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺	隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺	隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺	隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
写真写	伊志嶺	隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
•	伊志嶺	隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
映真像	伊志嶺	隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺	隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺	隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺	隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺	隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺	隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺	隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺	隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺	隆	光と陰の島 西表島・祖内	1986	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺	隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺	隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺	隆	海の旅人 石垣島	1991	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺	隆	海の旅人 奄美大島	1990頃	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺	隆	海の旅人 奄美大島	1990頃	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺	隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺	隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺	隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺	隆	海の旅人の美	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺	隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺	隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺	隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市

分類	i 1	作家名		作品名	制作年	技法・素材	数量	寄贈者
	伊志智	貢 隆	海の	旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志智	資 隆	海の	旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志智	責 隆	海の	旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志智	資 隆	海の	旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志智	員 隆	海の	旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志智	貢 隆	海の	旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志智	貢 隆	海の	旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志智	貢 隆	海の	旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志智	貢 隆	海の	旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志智	貞 隆	海の	旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志智	責 隆	海の	旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志智	責 隆	海の	旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志智	貞 隆	光と	陰の島 西表島・宇多良	1986	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志智	員 隆	海の	旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志智	員 隆	海の		不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志智	貞 隆	海の	旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志智	資 隆	海の	旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志智	貞 隆	海の	旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志智	貞 隆	海の	旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志智	員 隆	海の	旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
写真写	伊志智	資 隆	海の	旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
•	伊志智	資 隆	海の	旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
映賞	伊志智	貞 隆	海の	旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志智	資 隆	海の	旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志智	員 隆	海の	旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志智	貞 隆	海の	旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志智	貢 隆	海の	旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志智	資 隆	海の	旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志智	貞 隆	海の	旅人 奄美	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志智	貞 隆	海の	旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志智	資 隆	海の	旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志智	資 隆	海の	旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志智	貞 隆	海の	旅人 糸満喜屋武	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志智	員 隆	海の	旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志智	貞 隆	海の	旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志智	貞 隆	海の	旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志智	員 隆	海の	旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志智	貞 隆	海の	旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志智	貞 隆	海の	旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志智	責 隆	海の	旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志智	貢 隆	海の		不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志智	貢 隆	海の	旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志智	責 隆	海の	 旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市

分類	作家名	作品名	制作年	技法・素材	数量	寄贈者
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
写 写	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
•	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
映真像	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	1991	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人 黒島	1991	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	光と陰の島 西表島・美多良	1987	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市

分類	作家名	作品名	制作年	技法・素材	数量	寄贈者
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人 波照間島	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人 波照間島	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
写 写	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
映 真	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市

分類	作家名	作品名	制作年	技法・素材	数量	寄贈者
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	72年の夏	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	72年の夏	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	72年の夏	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	72年の夏	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	72年の夏	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	72年の夏	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	72年の夏	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	72年の夏	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	72年の夏	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	72年の夏	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	72年の夏	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
写 写	伊志嶺 隆	72年の夏	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
•	伊志嶺 隆	72年の夏	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
映真像	伊志嶺 隆	72年の夏	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	72年の夏	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	72年の夏	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	72年の夏	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	72年の夏	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	72年の夏	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	72年の夏	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	72年の夏	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	72年の夏	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	72年の夏	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	72年の夏	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	72年の夏	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	72年の夏	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	72年の夏	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	72年の夏	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	72年の夏	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	72年の夏	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	72年の夏	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	72年の夏	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	72年の夏	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	72年の夏	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市

分類	作家名	作品名	制作年	技法・素材	数量	寄贈者
	伊志嶺 隆	72年の夏	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	72年の夏	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	72年の夏	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	72年の夏	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	72年の夏	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	72年の夏	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	72年の夏	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	72年の夏	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	72年の夏	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	72年の夏	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	72年の夏	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	72年の夏	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	72年の夏	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	72年の夏	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	72年の夏	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	72年の夏	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	72年の夏	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	72年の夏	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	72年の夏	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	72年の夏	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
写 写	伊志嶺 隆	72年の夏	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
•	伊志嶺 隆	72年の夏	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
映 真	伊志嶺 隆	72年の夏	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	72年の夏	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	72年の夏	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	72年の夏	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	72年の夏	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	光と陰の島 西表島	1986	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	光と陰の島 西表島・高那付近	1986	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	光と陰の島 西表島・星立	1986	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	光と陰の島 西表島・元成屋	1986	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	光と陰の島 与論島	1987	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	光と陰の島 西表島・祖内	1986	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	光と陰の島 西表島・星立	1987	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	光と陰の島 西表島・白浜	1986	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	光と陰の島 黒島	1986	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	光と陰の島	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	光と陰の島 西表島・祖内	1986	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	光と陰の島 与論島	1987	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	光と陰の島 西表島・宇多	1986	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	光と陰の島 石垣島	1987頃	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	光と陰の島 竹富島・御神崎	1987	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	伊志嶺 隆	光と陰の島 与論島	1987	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市

分	類	作家	 《名	作品名	制作年	技法・素材	数量	寄贈者
		伊志嶺	隆	光と陰の島 西表島・星立	1987	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺	隆	光と陰の島 石垣島	1987	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺	隆	光と陰の島 西表島・船浦	1987	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺	隆	光と陰の島 西表島・祖内	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺	隆	光と陰の島 小浜島	1986	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺	隆	光と陰の島 鳩間島	1987	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺	隆	光と陰の島 西表島・星立	1986	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺	隆	光と陰の島 与論島	1987	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺	隆	光と陰の島 西表島・星立	1987	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺	隆	光と陰の島 西表島・宇多良	1986	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺	隆	光と陰の島 西表島・八坑	1986	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺	隆	光と陰の島 西表島・宇多良	1986	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺	隆	光と陰の島 石垣島	1987	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺	隆	光と陰の島 西表島・月ガ浜	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺	隆	光と陰の島 西表島・星立	1986	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺	隆	光と陰の島 石垣島・厚生園	1987	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺	隆	光と陰の島	1986	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺	隆	光と陰の島 鳩間島	1986	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺	隆	光と陰の島 竹富島 西 表炭鉱・増田長次郎	1987	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
写		伊志嶺	隆	光と陰の島 西表島・美原	1986	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
写真・映像	写真	伊志嶺	隆	光と陰の島 石垣市 元 炭鉱村住人(弓削初枝)	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
像		伊志嶺	隆	光と陰の島 石垣市 西 表炭鉱・藤原茂	1987	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺	隆	光と陰の島 西表島・祖内	1986	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺	隆	光と陰の島 西表島・高那	1987	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺	隆	光と陰の島 西表島・大原	1987	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺	隆	光と陰の島 西表島・星立	1986	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺	隆	光と陰の島	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺	隆	光と陰の島	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺	隆	光と陰の島	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺	隆	光と陰の島 石垣島	1987	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺	隆	光と陰の島 鳩間島	1987	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺	隆	光と陰の島 西表島・祖内	1987	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺	隆	光と陰の島	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺	隆	光と陰の島	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺	隆	光と陰の島	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺	隆	光と陰の島 鳩間島	1987	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺	隆	光と陰の島 鳩間島	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺	隆	光と陰の島 鳩間島	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺	隆	光と陰の島 西表島・南風坂	1986	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺	隆	光と陰の島 西表島・祖内	1986	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺	隆	光と陰の島 鳩間島	1986	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市

分	·類	作家名	作品名	制作年	技法・素材	数量	寄贈者
写真・映像		伊志嶺 隆	光と陰の島 鳩間島	1986	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	真	伊志嶺 隆	光と陰の島	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺 隆	光と陰の島	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺 隆	学生時代(東京)	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺 隆	海の旅人	不明	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市

## 4 作品収集事業

本美術館は、県民に多様な芸術鑑賞の機会や創造性を高める場を提供し、地域の文化芸術の拠点となると同時に、芸術文化活動を通じて、アジア地域や沖縄の発展に貢献する国際化の拠点となることを目的としている。収集事業は、本県独自でオリジナリティのあるコレクションを形成するために不可欠な事業である。

平成29年度は、1回の美術品等収集委員会を実施し、寄贈367点について諮った。作品の収集に当たっては、 事前調査を基に、美術館学芸員会議で一次審査、二次審査を行い、県内外の有識者で構成された収集委員会で審 議した。その結果を参考に所定の手続きを経て収集した。

(島筒 格)

## 5 保存管理事業

## (1) 保存環境の整備

沖縄県民の財産である収蔵美術作品の適切な保存を目的として、収蔵庫及び展示スペース内の温湿度が年間を通して一定に維持されるよう管理を徹底し、保存環境の整備を行う。具体的には、IPM管理による虫菌害予防(ペストコントロールを含む)が挙げられる。収集等の際に、新たな美術作品を館に入れる前の殺虫・消毒など、対策の強化を重点的に行っている。さらに収蔵作品においては効率的な状態調査を計画し、実施することで、今後の修復計画をよりスムーズかつ安全に行うよう配慮している。

## (2) 収蔵作品の保存修復

収蔵作品のコンディション調査を行い、生物劣化や物理劣化、化学劣化等に応じた修復計画を立てて、その作業内容に沿った修復家への依頼、招聘を行い、当館保存修復室にて共同で修復作業を行うこととしている。本年度の外部委託の依頼はなかった。

企画及び常設展へ出品するための状態チェック、修復作業、額装及び金具等整備作業、版画作品のマウント作業、借用作品の状態チェックなどを行った。保存修復内容の詳細は以下の通りである。

### (3) 収蔵品修復(館内処置)

作家名	作品名	技法・素材	処置の内容	備考
安次富長昭	虚	油彩・キャンバス	額装の改善、吊金具変更、裏板 の設置	H29年度 常設展
安次富長昭	闘鶏	油彩・キャンバス	絵具層の浮き上がりと剥落周縁 の固着。画面洗浄。キャンバス 裏面の汚損の除去と殺菌洗浄	H29年度 常設展
安次富長昭	民話	油彩・キャンバス	額装の改善	H29年度 常設展
グエン・トゥ・ ギエム	遊んでいる子供達	漆絵	額装の改善、吊金具変更、裏板 の設置	H29年度 常設展
ファン・キ・アン	ホーおじさん	漆絵	額装の改善、吊金具変更、裏板 の設置	H29年度 常設展
グェン・ヒェム	獅子舞	漆絵	額装の改善、吊金具変更、裏板 の設置	H29年度 常設展
ズォン・タク・ チャン	茶の集荷場	漆絵	額装の改善、吊金具変更、裏板 の設置	H29年度 常設展
XCUONG	不明	紙に木片、彩色	ブックマウント 作品固定方法の改善。	H29年度 常設展

作家名	作品名	技法・素材	処置の内容	備考
ファン・ヴァ ン・ドン	戦時図3他6点	紙に木片、彩色	ブックマウント 作品固定方法の改善。	H29年度 常設展
グェン・パンテ ィ	ハロン湾の漁舟	箔絵、漆絵	額装の改善、吊金具変更、裏板 の設置	H29年度 常設展
ラン・フー・チャット	機織	箔絵、漆絵	額装の改善、吊金具変更、裏板 の設置	H29年度 常設展
ホ・チャン・ドク	花と少女(南)	箔絵、漆絵	額装の改善、吊金具変更、裏板 の設置	H29年度 常設展
トォン・アン	秋声	箔絵、漆絵	額装の改善、吊金具変更、裏板 の設置	H29年度 常設展
グェン・サン	牛	箔絵、漆絵	額装の改善、吊金具変更、裏板 の設置	H29年度 常設展
グェン・ドク・ トオン	ハス池のほとり	箔絵、漆絵	額装の改善、吊金具変更、裏板の設置	H29年度 常設展
金城安太郎	琉球国首里語三箇寺 初行幸	紙・鉛筆・墨・顔 彩	ごックマウント	H29年度 常設展
金城安太郎	今帰仁城盛衰記11点	<u>を</u> 画仙紙・墨・イン ク・顔彩	ブックマウント 作品固定方法の改善	H29年度 常設展
安次嶺金正	紅い布と少女	油彩・メソナイト	裏面の洗浄 額装の改善	H29年度 常設展
浦崎彦志	ダムのある風景	油彩・キャンバス	額装の改善、吊金具変更、裏板の設置	H29年度 常設展
宮城健盛	黒い街	油彩・キャンバス	額装の改善、吊金具変更、裏板 の設置	H29年度 常設展
治谷文夫	ニルヤの日々	油彩・キャンバ ス・発泡スチロー ル・バーナー	絵具層の浮き上がりと剥落周縁 部の固着、額装の改善	H29年度 常設展
新城征孝	海の記憶(流木)	油彩・キャンバス	絵具層の浮き上がりと剥落周縁 の固着。画面洗浄。キャンバス 裏面の汚損の除去と殺菌洗浄、 剥落部へ補彩	H29年度 常設展
永津貞三	Number4	卵テンペラ・パネ ル	吊金具変更	H29年度 常設展
中沢弘光	染井のほとり	油彩・キャンバス	額装の改善、吊金具変更、裏板 の設置	H29年度企画 展(個人蔵)
南風原朝光	石神井の秋	油彩・キャンバス	額装の改善、吊金具変更、裏板 の設置	H29年度 常設展
南風原朝光	蛾	油彩・キャンバス	絵具層の浮き上がりと剥落周縁 の固着。画面洗浄。キャンバス 裏面の汚損の除去と殺菌洗浄	H29年度 常設展
南風原朝光	石神井他20点	油彩・キャンバス	額装の改善、吊金具変更、裏板 の設置	H29年度企画 展(個人蔵)
伊志嶺隆	光と影の島 西表島 宇多良他24点	ゼラチンシルバー プリント	ブックマウント、作品固定方法 の改善	H29年度 常設展
阿波根昌鴻	演習に使われた1ト ン爆弾。他13点	ゼラチンシルバー プリント	ブックマウント、作品固定方法の改善	H29年度 常設展
喜舎場盛也	漢字シリーズ	油性ペン・クーピー・紙	ブックマウント、作品固定方法の改善	H29年度 常設展

## 注記

## ① 館内処置について

作品における処置は全て当館保存修復担当学芸員梶原正史が行った。額装の改善とは主に入れ子へのフェルト貼りや、スペーサー装着、額縁裏面・泥足の補強、ぐらつき防止のネジ止め、割れの接着、汚損の除去など。

## ② 修復に使用した材料について

作品に悪影響を及ぼすことがないこと、材質的に安定していて、将来的に除去が可能なことを前提に、様々な作品状態にあったものを使用している。

## 6 作品貸出

2017年度は、下記のとおり1件の館外貸出を行った。なお美術館では、借用先のファシリティーズレポートの提出と、温湿度管理に関する情報提供を求めた後に、厳正な審査の下で可否を決定している。また、輸送会社へ貸出作品の状態に合わせた梱包仕様の提案を行い、作品貸出及び返却作業には、美術館職員と借用先職員の両者が立ち合い、作品状態の点検を行っている。

展覧会名:「東京等沖縄 池袋モンパルナスとニシムイ美術村」展

展覧会場:板橋区立美術館(東京都)

貸出期間:2017年2月上旬~2018年4月下旬 貸出作品:29点(収蔵品27点 寄託2点)

	作家名	作品名	制作年	作品_材質
1	安次嶺 金正	群像	1950年	キャンバス、油彩
2	安次嶺 金正	佗住	1958年	キャンバス、油彩
3	安次嶺 金正	私はつかれた	1950年	キャンバス、油彩
4	安谷屋 正義	塔	1958年	キャンバス、油彩、砂
5	安谷屋 正義	望郷	1965年	キャンバス、油彩
6	安谷屋 正義	クリスマスカード3/18	1945-1950年代	紙、水彩
7	安谷屋 正義	クリスマスカード4/18	1945-1950年代	紙、水彩
8	安谷屋 正義	玉那覇正吉氏像	1950年	キャンバス、油彩
9	安谷屋 正義	孤影	1958年	ボード、油彩
10	大城 皓也	戦場へゆく	1968年	キャンバス、油彩
11	大嶺 政寛	1950年西原	1950年	キャンバス、油彩
12	玉那覇 正吉	老母像	1954年	キャンバス、油彩
13	玉那覇 正吉	老母像	1951年	ブロンズ
14	玉那覇 正吉	鳥たち	1966 年	キャンバス、油彩
15	名渡山 愛順	郷愁	1946年	キャンバス、油彩
16	名渡山 愛順	沖縄の女	1956年	キャンバス、油彩
17	南風原 朝光	窓	1954 年	キャンバス、油彩
18	南風原 朝光	泉	1961 年	キャンバス、油彩
19	南風原 朝光	野菜と果物	1940年	キャンバス、油彩
20	宮城 健盛	鶏	1960 年	キャンバス、油彩
21	山元 恵一	貴方を愛する時と憎む時	1951年	合板に油彩
22	山元 恵一	クリスマスカード1/18	1945-1950年代	紙、水彩
23	山元 恵一	クリスマスカード2/18	1945-1950年代	紙、水彩
24	山元 恵一	港	1964	キャンバス、油彩
25	藤田 嗣治	孫	1938年	キャンバス、油彩
26	北川 民次	沖縄風景	1939年頃	キャンバス、油彩
27	北川 民次	海王丸ニテ	1938年	ボード(厚紙)、油彩
28	屋部 憲	クリスマスカード7/18	1945-1950年代	紙、水彩
29	屋部 憲	クリスマスカード 9 / 18	1945-1950年代	紙、水彩

(梶原 正史)

# 一般財団法人 沖縄美ら島財団 (指定管理者)

- I 沖縄美ら島財団の概要
- Ⅱ 運営方針
- Ⅲ 組織
- IV 展示活動
- V 教育・イベント活動
- VI 広報事業に関する業務
- VII 調査・研究・講演・著作論文等の活動
- Ⅷ その他

## I 沖縄美ら島財団の概要

#### 【沿革】

1976年(昭和51)7月16日、海洋博覧会記念公園管理財団発足。同年8月1日、国営沖縄海洋博覧会記念公園維持管理業務受託開始。1991年(平成3)8月、首里城基金を設立。翌年11月、首里城公園(国営沖縄記念公園首里城地区、県営公園の一部、城郭)の維持管理業務受託開始。同年営業契約により特定公園施設(正殿、南殿・番所、北殿、奉神門、御庭等)の管理運営を開始。2002年(平成14)11月、営業契約により特定公園施設(沖縄美ら海水族館)の管理運営を開始。2004年(平成16)12月、ISO14001認証取得。2008年(平成20)12月、総合研究センター発足。2012年(平成24)10月1日、一般財団法人沖縄美ら島財団に改称。

#### 【業務内容】

1976年8月開園以来海洋博公園の維持管理業務、1992年(平成4)11月開園以来首里城公園国営公園部分と首里城城郭を含む県営公園部分の維持管理業務の受託を行っている他、首里城有料区域及び沖縄美ら海水族館等特定公園施設については独立行政法人都市再生機構との営業契約で運営している。2006年度(平成18)からは指定管理者として県営首里城公園、2013年度(平成25)から県立名護青少年の家、2014年(平成26)からなごアグリパーク(名護市農産物6次産業支援拠点施設)の管理運営を行う他、2015年(平成27)より名護市の小学校跡地に沖縄の自然に関する調査研究・普及啓発活動の拠点施設として「美ら島自然学校」を開校し運営している。2014年より国際通りの沖縄美ら海水族館アンテナショップ「うみちゅらら」、翌年より、なごアグリパーク内に設置された沖縄本島北部の農産物加工品や健康食品等を扱うショップ「しまちゅらら」を開店・運営している。また、2008年に「総合研究センター」を設立し、海洋生物や亜熱帯植物、海洋文化、首里城等琉球王朝文化の調査・研究普及啓発、社会貢献・地域連携活動を行い、2014年には文部科学省により科学研究費補助金取扱規程に定める研究機関に指定された。平成28年4月より沖縄県立博物館・美術館の指定管理者として同館の管理・運営にあたっている。指定期間は2016年4月~2021年3月までの5年間。

## Ⅱ 運営方針

#### 1 管理運営の基本方針

## (1) 基本的な考え方

沖縄県立博物館・美術館の設置目的及び基本理念等を理解し、業務仕様書に基づき沖縄県文化観光スポーツ部文化振興課や博物館・美術館との調整を的確に実施し、管理運営上の課題に適切に対応していきます。

また、当財団では以下に示す管理理念の下、6つの基本方針と具体的な取組を展開することで施設が保有する多くの貴重な収蔵品等を守り、育み、伝える使命を果たすとともに、県民をはじめ多くの方に開かれた館となることを目指し21世紀ビジョン等に掲げられた施策目的が達成できるよう努めます。

#### (2) 管理理念

#### 理念1:「沖縄の輝き」を守り育み、御万人へ、そして未来へとつなぎます。

沖縄県立博物館・美術館(以降、本館という)が保有する多くの貴重な資料は、守り、育み全ての方へそして未来へつないでいくべき「沖縄の輝き」です。

私たち(一財)沖縄美ら島財団(以下、財団)は「沖縄美ら海水族館」や「首里城公園」等、沖縄県を代表する博物館や文化施設の運営を行うとともに、当財団の「総合研究センター」による独自の調査研究・普及啓発活動により、沖縄の自然、文化、歴史等の「沖縄の輝き」を守り育み、多くの方へ伝えて参りました。そのノウハウや人材、ネットワークを活かし、本館が行う博物館資料の保管や展示、調査研究普及啓発事業を強力にサポートし、県全体の文化芸術や教育学習の発展、調査研究の発展に寄与します。

## 理念2:観覧者の心へ「沖縄の魅力」をダイレクトに伝えます。

沖縄県は「唯一無二の素晴らしい」自然文化、歴史を持つ「魅力的な」地域です。博物館・美術館には、その沖縄を代表する沢山の収蔵品がありますが、情報量が多くアカデミックな展示であるため、沖縄の魅力が観覧者の心に伝わりにくいという一面もあります。私たちは心に響く「鮮烈な」展示解説やライブプログラムによる「体験」を充実させることで観覧者の心へ「沖縄の魅力」をダイレクトに伝える管理運営を目指します。

#### 理念3:観光客を誘致し「観光立県おきなわ」の推進に寄与します。

「観光立県」を標榜する沖縄県において「沖縄の自然・歴史・文化・美術作品をトータルに紹介」できる本館の役割は非常に重要です。私たちは沖縄県の観光事業を牽引する「沖縄美ら海水族館」や「首里城公園」

を支えるブランディング力、プロモーションネットワーク、誘客力を活かし、沖縄を訪れる多くのお客様を、 積極的に本館に誘致し、地域の活力向上に寄与します。

#### (3) 運営方針

#### 方針1:誰もが使いやすい「開かれた博物館・美術館」を目指します。

・法令の遵守と平等性の確保

本館の基本理念及び管理規則を遵守するとともに個人情報の保護を徹底し、公平・公正で開かれた館の運営を行います。

・リスクマネジメント

事件・事故・災害等のリスクを予め想定して対策と訓練を行い、お客様と資料の安全確保に努めます。

・お客様の立場に立った接客

観光施設で培ったホスピタリティ溢れる接客・接遇を行うとともに、お客様の声を収集し、サービスの向上に努めます。

・「利用しやすい」環境の整備

ユニバーサルデザインの推進と海外観光客対応の強化のため、サインやHP等を見直すとともに県民活動の場としても利用しやすい環境を整えます。

・総合案内機能の向上

沖縄県の自然・歴史文化・美術作品に関する案内やレファレンスサービスの強化を図るとともに沖縄の観光案内も行います。

・衛生的で快適な施設の提供

清掃と衛生管理の徹底を図り誰もが快適に利用できる施設環境を整えます。

#### 方針2:沖縄県が目指す「博物館・美術館の将来像の実現」をサポートします。

・関連計画に掲げられた目標達成への努力

「沖縄21世紀ビジョン」や「沖縄県教育振興基本計画」、「沖縄県立博物館・美術館中長期事業計画」等 に示された将来像の実現と入館者数の達成を目指します。

・本館の「拠点機能」「ネットワークハブ機能」構築のサポート

本館が目指す沖縄県の教育学習や県内文化芸術関連施設、沖縄県の主要観光資源のネットワークハブ機能構築に向けて当財団が保有する国内外観光・学術ネットワークを最大限に活用し、その構築をサポートします。

#### 方針3:「博物館・美術館の本来機能の向上」を強力にサポートします。

・膨大な標本等資料・美術工芸品を活用した展示サポート

当財団が所有する沖縄の生物・植物標本(約51,000点)や琉球王朝に関連する美術工芸品(約1,400点)を活用し、本館の展示をサポートします。

・調査・研究成果、豊富な普及啓発プログラムの活用

当財団の「総合研究センター」による独自の調査研究の成果や普及啓発プログラムを活用し、本館の調査・研究や普及啓発事業をサポートします。

・本館での学びを助ける「活動フィールド」と「研究人材」の提供

体験・活動フィールドと、それをサポートする人材の提供により本館での学びをサポートします。

・ (独) 東京文化財研究所主催の「保存担当学芸員講習受講者」による適切な資料管理

首里城公園で美術工芸品を扱う「保存担当学芸員講習受講者」の指導の下、適切な資料管理をサポートします。

## 方針4:「沖縄県の主要観光施設」に相応しい経営と運営を行います。

・本館の魅力を引き出し高める「ブランディング・マーケティング」の実施

沖縄観光の二大拠点を支えるブランディング・マーケティングノウハウを基に、「経営戦略会議」を引き 続き実施し本館の企画や運営を総合的に検討します。

・観覧者の心に響く「展示解説」の工夫と「ライブプログラム」の実施

観覧者の心に響く「鮮烈な展示解説」や観覧者が「参加・体験でき、思い出に残るプログラムやイベント」、展示を短時間で分かりやすく解説する「ガイドツアー」、観覧者の興味・注目を引き付ける「誰かに伝えたくなる」情報の発信を行います。

・首里城公園や沖縄美ら海水族館との連携による「新たな沖縄観光」の提案

首里城公園と連携した「琉球王朝文化ガイドツアー」や「催し」を実施し、「首里城公園」や「沖縄美ら海水族館」の半券提示で企画展が割引になるサービスや、旅行会社へ営業活動を行う中でクーポン券でのセット割引サービスの導入を検討します。

#### 方針5:県民・観光客に「選ばれる」ために、積極的な誘客・広報活動を行います。

「県内外広報ネットワーク」を活用した誘客につながる情報発信

国内外での観光プロモーションや県内老人会への個別訪問、お客様の手元に本館の情報が直接届く「スマホアプリ」の活用まで、広域かつ緻密なネットワークを活かした広報・プロモーション展開を行います。

・国内外の観光客に「選ばれるため」に積極的な誘客・広報活動を行います。

旅行社とタイアップした「ツアー等旅行商品」の造成や修学旅行の誘致について旅行社への営業、周辺ホテル・商業施設と連携した誘客広報、県外観光客・海外観光客向けの誘致活動を行います。

・質の高い広報を支える「豊富な人材」の活用

沖縄美ら海水族館及び海洋博公園・首里城公園の広報・PR経験者を「企画広報事業部責任者」に配置します。また、当財団の実績豊富なデザイナーやIT技術者が、デザイン制作及びITを活用したPRをバックアップします。

#### 方針6:県民・観光客に「選ばれる」ために、積極的な誘客・広報活動を行います。

・地域コミュニティを育成するイベントや取り組みの実施

お祭りやワークショップ等の「地域と連携したライブイベント」の実施や本館を拠点とした「教室・文化サークル」の運営、カフェやホワイエを活用した「ギャラリー」「定期講演会」等を実施し県民が集い・学び・発表できる「地域活動の舞台づくり」を検討します。

- ・開館10周年にちなんだ「オリジナルミュージアムグッズ」の開発・販売 館の収蔵品などを活用した「オリジナルミュージアムグッズ」の開発・販売を検討します。
- ・地域活動団体、博物館・美術館支援組織との「協働」による館の運営

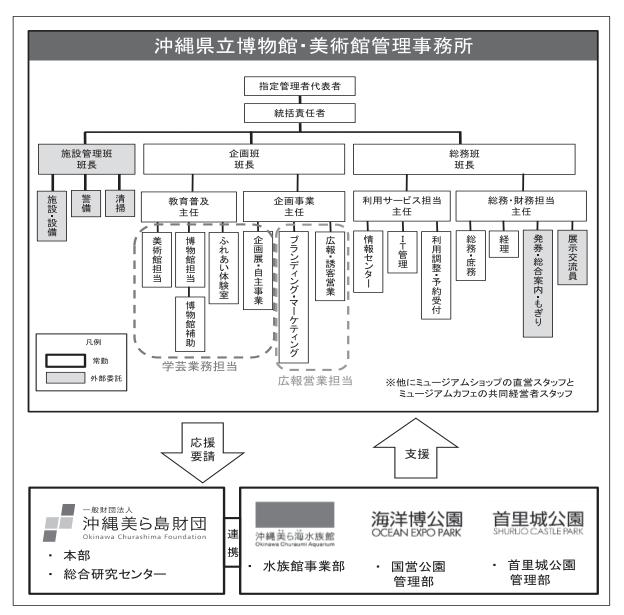
地域活動団体である「那覇市新都心通り会」とともに、団体が行う「アートのまちづくり」活動等を連携して行います。また、博物館支援団体「博物館友の会」、美術館支援団体「NPO happ」「博物館・美術館ボランティア」との「連絡会議」を行い、意見や情報交換の活発化、業務連携による事業効率化、研修会等人材育成事業のサポートを行います。

## Ⅲ 組織

## 1 管理組織図

前年度同様に下図のとおり実施します。カフェについては共同運営者を企画コンペにより選定し、より魅力ある施設運営を目指します。

管 理 組 織 図



#### 【職員構成】

	氏 名	担当業務					
統 括	大城 慧	指定管理業務の統括に関すること					
	﨑村 栄子	総務全般、県や博物館・美術館との現場調整に関すること					
	平良 亜紀子	予算、料金申請、人事管理(展示交流員等)に関すること					
	仲宗根 めぐみ	総務補助、クーポン券やその他総務全般に関すること					
₩Z∀rir	池宮城 啓子	ミュージアムショップゆいむい 店長					
総務班	玉城 照美	ショップ、カフェの管理					
	具志堅 春樹	企画、施設貸出に関すること					
	宮里 宗彦	施設管理、県民ギャラリーに関すること					
	島袋 百恵	情報センターの管理・運営に関すること					

	氏 名	担 当 業 務						
∳/\>\Z\女工 T	仲本 美奈子	情報センターの管理・運営に関すること						
総務班	新川 恵子	情報センター業務						
	前川 剛	営業、広報業務、自主事業の取りまとめ						
	大濵 萌子	教育普及(博物館業務)に関すること						
	保久村 智恵	教育普及(美物館業務)に関すること						
	植田 瑞希	教育普及(美術館業務)に関すること						
事業広報	比嘉 麻乃	ふれあい体験室、教育普及に関すること						
営業班	金城美奈子	広報業務、自主事業に関すること						
	謝花 佐和子	広報業務、自主事業に関すること						
	國吉 貴奈	広報業務、自主事業に関すること						
	金城 正仁	営業、広報業務に関すること						
	福治 広規	営業、広報業務に関すること						
展示交流員		展示室における監視業務、誘導、解説等に関すること						
ふれあい体	験室	ふれあい体験室での来館者諸対応に関すること						

【人事異動】 2018年3月31日現在

部	署	氏	名		適	Ī	用	
転入		大竹 康道	Ī	2018年6月1日	転入			
転出								
退職		大城 慧 﨑村 栄子	_	2018年5月31日 2018年3月31日	退職 退職			
		大竹 康道	<u>.</u>	2018年3月31日	退職			

## Ⅳ 展示活動

## 1 展示活動概要

一般財団法人沖縄美ら島財団の指定管理2年目となる平成29年度は、自主企画事業として展覧会を4件開催した。財団総合研究センターの研究成果やノウハウを活かし、植物研究室企画「やんばるの森の美-写真展」、動物研究室企画「水族館でも出会えない!海のビックリ生物展」、琉球文化財研究室企画「描かれた首里・那覇~バーズアイから見た琉球~」「平成の復元 首里城の25年と中城御殿・円覚寺三門」展を開催したほか、夏休みの目玉企画として沖縄県立博物館・美術館管理事務所企画「Learn&Play! teamLab Future Parkーチームラボアイランド 学ぶ!未来の遊園地」を開催した。

#### (1) 自主企画展「やんばるの森の美-写真展」

会 期:2017年(平成29) 5月6日(土)~6月25日(日)(開催日数:45日)

場 所:美術館企画ギャラリー1・2

観 覧 料:一般700円 (560円)、高校・大学500円 (400円)、小・中学生300円 (240円)

※() は前売および20名以上の団体料金

観覧者数:4,880名(1日平均108名) 担当学芸員:阿部 篤志、國吉 貴奈

### 【開催形式】

主 催:一般財団法人沖縄美ら島財団

後 援:環境省那覇自然環境事務所、名護市、国頭村、大宜味村、東村、国立科学博物館、琉球大学、沖縄 生物学会、沖縄生物教育研究会、名護博物館、名護市教育委員会、国頭村教育委員会、大宜味村教 育委員会、東村教育委員会、琉球朝日放送株式会社

#### 【企画概要】

本企画展では、世界自然遺産登録候補地のひとつとして注目を浴びている"やんばるの森"に生きる多くの貴重な野生動植物、それらを育む森や川などの自然環境にスポットをあて、地元の著名な写真家、学芸員や植物研究家が撮影した写真等を元に、やんばるの森の自然・生命の"美"を紹介した。

#### 【展示内容】

やんばるの自然の希少性や特殊性を広く知らせるため、地元の写真家、学芸員、植物研究家が撮影した写真約490点を展示した。6人の作家ごとに写真作品を展示したほか、やんばるの自然を音と生体展示で知る展示も行った。展示物および展示構成は以下のとおり。

#### 展示物

- ・写真パネル(自然風景・動植物の写真490点)
- ・音源展示(やんばるの森の生きものの声)
- ・植物の生体展示 (屋外のテラスでやんばるの森をイメージした装飾 展示)
- ・標本展示 (オリヅルスミレのアクリル標本)
- ・解説パネル(やんばる国立公園指定及び世界自然遺産登録に関する 解説[沖縄県、国頭村])



展示会場の様子

## ② 展示構成

第1章 奇跡の森 やんばる

第2章 写真家:嵩原建二の作品「やんばるの鳥」

第3章 写真家:小原祐二の作品「やんばるの両生類・陸生貝類」

第4章 学芸員:村田尚史の作品「やんばるの淡水魚」

第5章 写真家:湊和雄の作品「やんばるの自然風景・動物・昆虫」

第6章 写真家:熊井健の作品「やんばるの昆虫・は虫類・甲殻類(サワガニ)」

第7章 写真家:篠原太郎の作品「やんばるの動物・昆虫類」

第8章 植物研究家:阿部篤志の作品「やんばるの植物」

## 【関連催事】

① トークショー

日 時:5月6日(土)13:00~15:00

場 所:博物館講座室

講 師:湊 和雄、小原 祐二、嵩原 建二、村田 尚史、熊井 健、

阿部 篤志(出品者)

参加費:無料

内 容:本展出品者が、自身の撮影した作品について解説した。やんばるの自然を撮影したときのエピソードや撮影されている動植物の解説などを行い、作品を楽しく鑑賞するポイントややん

ばるの自然の貴重さを伝えた。

参 加 者:約60名 ※定員100名



トークショー

#### ② ネイチャーフォト教室

日 時:5月7日(日)10:00~12:00

場 所:美術館講座室

講師:湊和雄、熊井健(出品者)

参加費:無料

内 容:自然を撮影する際の特殊な技術について、写真家の二人が解 説。動植物を撮影するときに使用するカメラやレンズ、機材

参 加 者:15名 ※定員50名

## 説。動植物を撮影するときに使用するカメラやレンズ、機構 の解説を行った。

③ やんばるの田んぼの植物観察会 日 時:6月3日(土)※荒天のため中止

④ やんばるの森の生きものと植物観察会

日 時:6月17日(土)※荒天のため中止



ネイチャー写真教室

## ⑤ やんばるのマングローブ観察会

日 時:6月25日(日)14:00~15:30

場 所:名護市大浦「わんさか大浦パーク」

講師:村田尚史(動物)、阿部篤志(植物)(出品者)

内 容: やんばるの自然を、展示されている写真だけでなく、実際に現

地へ足を運び触れてみようという企画。名護市博物館の学芸員

と沖縄美ら島財団の研究員を講師として、動植物の観察、解説

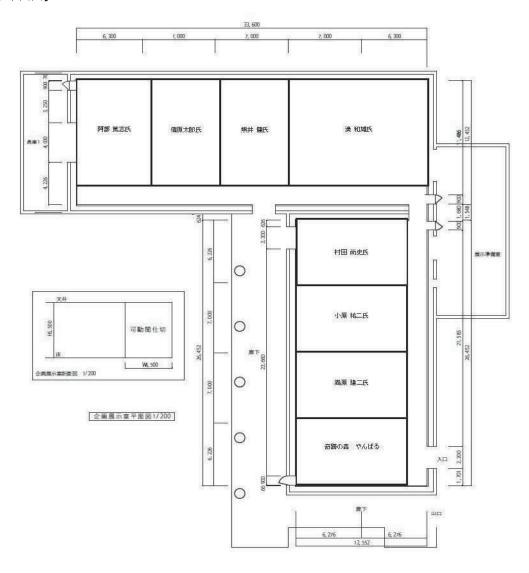
会を行った。

参 加 者:20名 ※定員20名



植物観察会

#### 【展示平面図】



(総合研究センター植物研究室 阿部 篤志、沖縄県立博物館・美術館管理事務所 國吉 貴奈)

## (2) 自主企画 Learn&Play! teamLab Future Park-チームラボアイランド 学ぶ!未来の遊園地-」

会 期:2017年(平成29) 7月15日(土)~9月18日(日) (開催日数:58日)

会 場:美術館企画ギャラリー1・2

観 覧 料:一般1,300円(1,100円)、中高生1,000円(800円)、小人(3歳~小6年生)600円(500円)

※ ( ) は前売および20人以上の団体料金ペアチケット2,000円 ※前売り券のみ

観覧者数:75,953名(1日平均1,309名)

担当学芸員:金城美奈子

## 【開催形式】

主 催: Learn&Play! teamLab Future Park in 沖縄実行委員会 (琉球新報社、一般財団法人沖縄美ら島財団、

チームラボキッズ)

協 賛:メガネ一番、沖縄美ら海水族館

協力: ぺんてる、王子ネピア、琉球海運

後 援:沖縄県、沖縄県教育委員会、那覇市、沖縄観光コンベンションビューロー、沖縄テレビ放送、ラジオ沖縄、エフエム沖縄、沖縄県専修学校各種学校協会、沖縄県PTA連合会、沖縄県学童保育連絡協議会、沖縄県私立幼稚園連合会、沖縄県私立保育園連盟、沖縄県ハイヤー・タクシー協会

#### 【企画概要】

デジタル領域を中心に独創的な事業を展開するウルトラテクノロジスト集団チームラボ。全国各地で大人気の「お絵かき水族館」「光のボールでオーケストラ」などに加え、新作2作品を含めた計6作品を展示した。最先端を走るチームラボの魅力を体験することでテクノロジーとアート、学びと遊びの本質を発見し、未来を切り拓くクリエイティブ活動に自ら参加することができる企画となった。

#### 【展示内容】

すべって育てる! フルーツ畑/お絵かき水族館/光のボールでオーケストラ/メディアブロックチェア/ まだ かみさまが いたるところにいたころの ものがたり/Graffiti Nature - 山と谷

## 【関連催事】

① プレワークショップ「お絵かきピープル」

目 時:6月28日(水)、29日(木)9:35~12:20

場 所:那覇市立天久小学校

参加対象: 2学年6クラス全員(160人)※クラスごとに実施

講師:安齋 潤哉 (チームラボキッズディレクター)

内 容:8月25日~27日に開催するプログラミングワークショップの

デモンストレーションとして実施したプレワークショップ。 生徒が自分で描いた人物をスキャニングし、コンピュータで

様々な動きをプログラムすることによって自分の思った通り

に動かすことができるプログラミングについて学んだ。

参加者:6月28日(水)80名(1校時/27名、2校時/26名、3校時/27名)

29日(木)80名(1校時/27名、2校時/27名、3校時/26名)

合 計:160名

#### ② 開会式

日 時:7月14日(金)15:00~15:15

会 場:企画ギャラリー入口

招 待:関係者、近隣保育園児、SNSキャンペーン当選者、マスコミ等約200名

参 加 者:約300名

※内覧会終了後 15:15~内覧会

あいさつ: 花城 良廣(一般財団法人 沖縄美ら島財団 理事長)

富田 詢一(琉球新報社代表取締役社長)

松本 明耐 (チームラボキッズ 代表取締役社長 ※代理:石井 松夫)

#### ③ ワークショップ「あそぶ!天才プログラミング」

日 時:8月25日(金)、26日(土)、27日(日)

 $10:00\sim11:00$ ,  $12:00\sim13:00$ ,  $14:00\sim15:00$ ,  $16:00\sim17:00$ 

会 場:県民アトリエ、こどもアトリエ

参加方法:事前予約制(専用WEBサイト)

参加費用: 2,000円(税込)

講師:安齋 潤哉(チームラボキッズディレクター)

参 加 者:8月25日(金)84名(10時/26名、12時/24名、14時/10名、

16時/24名)



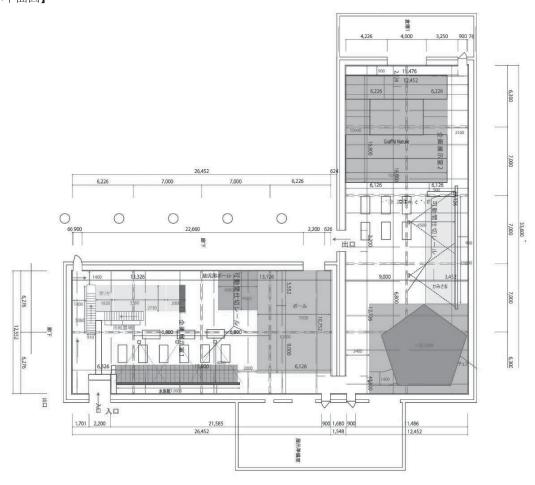
プレワークショップ

あそぶ!天才プログラミング

26日 (土) 100名 (10時/29名、12時/27名、14時/22名、16時/22名) 27日 (日) 117名 (10時/28名、12時/33名、14時/29名、16時/27名)

合 計:301名 ※各回、定員30名

#### 【展示平面図】



(金城 美奈子)

## (3) 自主企画展「水族館でも出会えない! 海のビックリ生物展」

会 期:2017年(平成29)7月18日(火)~8月27日(日)(開催日数:36日)

場 所:博物館 企画展示室、特別展示室1・2

観 覧 料:一般800円 (640円)、高校・大学500円 (400円)、小・中学生400円 (320円)

※() は前売および20人以上の団体料金

観覧者数: 28,500名(1日平均791名) 担当学芸員: 宮本 圭、謝花 佐和子

#### 【開催形式】

主 催:一般財団法人沖縄美ら島財団

展示協力: JAMSTEC(海洋研究開発機構)/GODAC、名護博物館

後 援: 琉球放送株式会社、琉球朝日放送株式会社、沖縄テレビ放送株式会社、NHK沖縄放送局、沖縄ケーブルネットワーク株式会社、沖縄タイムス社、琉球新報社、株式会社ラジオ沖縄、株式会社エフエム沖縄

## 【企画概要】

一般財団法人沖縄美ら島財団は、沖縄美ら海水族館の管理・運営を通して、多くの人々に水生生物の魅力を伝えてきた。しかしながら、水族館で生体展示が可能な種は全体のごく一部でしかなく、実際の海中には、一般の人がほとんど目にする機会の無い生物が多数存在する。本企画展では、そのような「水族館でも出会えない生物」に着目し、標本、レプリカ、および映像資料を通して、その奇妙な姿や驚きの生態を紹介した。

#### 【展示内容】

・標本展示:ウバザメレプリカ、ザトウクジラ骨格標本、ホホジロザメ胎仔、クサビフグ液浸標本、シチクイカ 乾燥標本、メガマウスザメの歯の化石、ミツクリザメ液浸標本、フジクジラ液浸標本、オサガメの 背甲ほか。約100点

・音響展示:ザトウクジラ鳴音

- ・映像展示: Sony Aquarium「4 K慶良間諸島」、JAMSTEC/GODAC「沖縄の 深海生物」、ザトウクジラ骨格標本メイキング映像、潜水艇の撮 影した深海生物の映像ほか。7 点
- ・その他展示物: JAMSTEC/GODAC潜水艇紹介ブース、大型海洋生物等身大タペストリー6点、Q&Aパネル、フォトスポットなど
- ・配布物:A3パンフレット

# 【関連催事】

① 開会式

目 時:2017年7月18日(火)9:30~9:50

場 所:博物館企画展示室入口

あいさつ:花城 良廣(一般財団法人沖縄美ら島財団 理事長)

テープカット:城所 駿介(展示資料「クサビフグ(名護博物館収蔵)」

の収集者)

他谷 康(国立研究開発法人海洋研究開発機構 国際海洋

環境情報センター センター長)

田名 真之 (沖縄県立博物館・美術館 館長)

花城 良廣(一般財団法人 沖縄美ら島財団 理事長)



ザトウクジラの全身骨格標本



ミツクリザメ液浸標本

#### ② 展示解説ツアー

日 時:7月23日(日)11:00~、15:00~ 8月6日(日)11:00~、14:00~ ※各回1時間程度

場 所:展示室内

講師: 宮本 圭 (展覧会担当/一般財団法人沖縄美ら島財団)

参加費:無料

内容:展示物の見所や設営の裏話など、「海のビックリ生物展」の

展示担当者だから知っているエピソードを一緒に会場を巡りながら紹介した。

なから稲力した。

参加者:7月23日(日)50名(11:00/26名、15:00/24名)

8月6日(目)45名(11:00/30名、14:00/15人)

※各回、定員30名



展示解説会

## ③ 講演会「沖縄のイルカ・クジラ」

日 時:7月23日(日)13:00~14:00

場 所:博物館講座室

講師:小林希実(一般財団法人沖縄美ら島財団)

参加費:無料

内 容:沖縄の周りに広がる海には魚やウミガメ、サンゴのほかに

も、実にさまざまな種類のイルカやクジラがいることなどを、実際に標本を観察しながら沖縄のイルカやクジラにつ

いて学んだ。

参 加 者:40名 ※定員100名



講演会「沖縄のイルカ・クジラ」

## ④ サメの解剖教室

日 時:7月30日(日)14:00~16:00

場 所:博物館実習室

講師: 冨田 武照(一般財団法人沖縄美ら島財団)

参加費:無料

内 容:ツマジロをはじめとした何種類かのサメを解剖し、サメの体

の秘密を解説した。

参 加 者:33名 ※定員20名



サメの解剖教室

#### ⑤ 講演会「サメ~その多様性と食事法」

日 時:8月11日(金)14:00~15:00

場 所:講堂 ※15:00~17:00の間、博物館実習室にて講演会関連催事として「サメの標本展示」開催

講師:仲谷一宏(北海道大学名誉教授)

参加費:無料

内 容:サメ類の食事法について、サメ博士として知られる仲谷一宏 先生がわかり易く解説した。また、講演後にはサメの標本観 察を行い、講演内容への理解を深めた。

参 加 者:85名 ※定員200名

※本催事終了後に下記の調査報告会を実施。 「世界初! 財団研究チームがガラパゴス諸島で野生ジンベ

エザメの採血と超音波画像撮影に成功!」

#### ⑥ GODAC出張ラボ

時:8月12日(土)10:00~、11:00~、13:00~、14:00~ ※各回40分程度

所:博物館実習室

講 師:GODAC/国際海洋環境情報センター

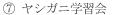
参加費:無料

容:GODAC/国際海洋環境情報センターの協力により、深海につ いて楽しく学び、水圧を利用した「浮沈子」を作成する科学

教室を開催した。

参加者:74名(10:00/28名、11:00/28名、13:00/8名、14:00/10名)

※各回、定員30名



日 時:8月13日(日)10:00~11:00、14:00~15:00

所:博物館実習室

師:岡 慎一郎(一般財団法人沖縄美ら島財団)

参加費:無料

容:世界最大の陸生甲殻類「ヤシガニ」の生態について、最新の 学術成果を交えて紹介。生きたヤシガニを観察し、甲殻類最

強のハサミの力の計測実験なども行った。

参加者:39名(10:00/23名、14:00/16名)



時:8月15日(火)14:00~15:00 日

場 所:博物館実習室

師:鈴木 瑞穂(一般財団法人沖縄美ら島財団)

参加費:無料

容:はじめにホシズナの生態や形態について写真や動画を用いた 解説を行った。その後参加者全員に顕微鏡でホシズナを代表 とする有孔虫の生体を観察してもらい、生体と死骸の見分け

方について解説した。

参 加 者:20名 ※定員20名

#### ⑨ 仔魚の世界へようこそ!

日 時:8月20日(日)10:00~11:00、14:00~15:00

場 所:博物館実習室

師:花原 望(一般財団法人沖縄美ら島財団)

参加費:無料

容: 仔魚研究の第一歩として、魚の種類を調べる作業を体験する。

参加者: 22名(10:00/20名、14:00/2名) ※各回、定員20名



講演会「サメ~そのその多様性と 食事法」



GODAC出張ラボ



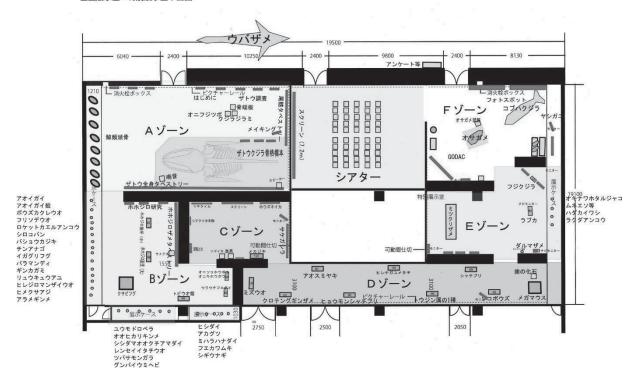
ヤシガニ学習会





#### 【展示平面図】

企画展示室・特別展示室平面図



(総合研究センター動物研究室 宮本 圭、沖縄県立博物館・美術館管理事務所 謝花 佐和子)

## (4) 「首里城公園開園25周年記念・沖縄県立博物館・美術館開館10周年記念特別展」

沖縄戦で焼失した首里城が復元されて25年を迎え、また沖縄県立博物館・美術館が開館して10年が経ったことを記念して、沖縄美ら島財団はこの2つの節目の年に初めて首里城公園と博物館展示室を連携させた2つの特別展を開催した。

①「描かれた首里・那覇~バーズアイから見た琉球~」

会 期:2017年(平成29)7月25日(火)~10月9日(月)(開催日数67日)

会 場:常設展歴史部門展示室

入 場 料:一般410円 (330円)、高大生260円 (210円)、小中生150円 (120円)

※上記料金は博物館常設展の入場料

※()は20名以上の団体料金

観覧者数:15,539名(1日平均231.9名) 担当学芸員:安里 成哉、金城 美奈子

#### 【開催形式】

主 催:一般財団法人沖縄美ら島財団、沖縄県立博物館・美術館

## 【開催趣旨】

沖縄県立博物館・美術館、沖縄美ら島財団所蔵資料を中心に那覇市歴史博物館・浦添市美術館所蔵の首里・那覇が描かれた屏風・絵画作品の展示をとおして、首里城の描かれ方や当時の町の様子などを紹介した。

#### 【展示内容】

首里城や那覇の街が描かれた屏風や掛け軸、関連玩具、写真パネル等

#### 【関連催事】

a) 展示解説会

日 時:8月18日(土)10:00~11:00

会 場:常設展歴史部門展示室

講師:輝広志(首里城公園管理部 調査展示係)、外間 一先(沖縄県立博物館・美術館 主任学芸員)

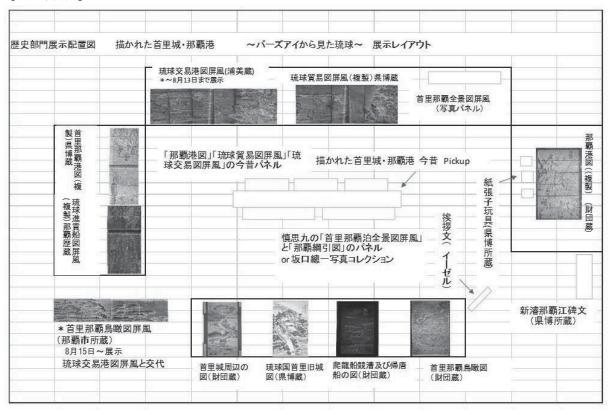
参加方法:事前申込制



参 加 者:15名(定員15名)

内 容:王国時代や廃藩後に描かれた鳥瞰図(屏風・掛軸)の内容や見方などのポイントを解説した。

#### 【展示平面図】



(総合研究センター琉球文化財研究室 安里 成哉、沖縄県立博物館・美術館管理事務所 金城 美奈子)

② 「平成の復元 首里城の25年と中城御殿・円覚寺三門」

会 期:2017年(平成29)9月7日(木)~10月15日(日)(開催日数34日)

会 場:博物館企画展示室

入場料:無料

観覧者数:9,509名(1日平均279.67名) 担当学芸員:仲嶺 絵里奈、金城 美奈子

#### 【開催形式】

主 催:一般財団法人沖縄美ら島財団

#### 【開催趣旨】

首里城正殿を中心とした復元施設の根拠資料となる考古遺物や関係資料を展示し、首里城公園の復元整備について紹介した。

#### 【展示内容】

首里城の復元整備関連資料、円覚寺復元整備関連資料、鎌倉芳太郎写真資料、森政三資料など

## 【関連催事】

a) 展示解説会

日 時:2017年9月9日(日)10:00~11:00

会 場:博物館企画展示室

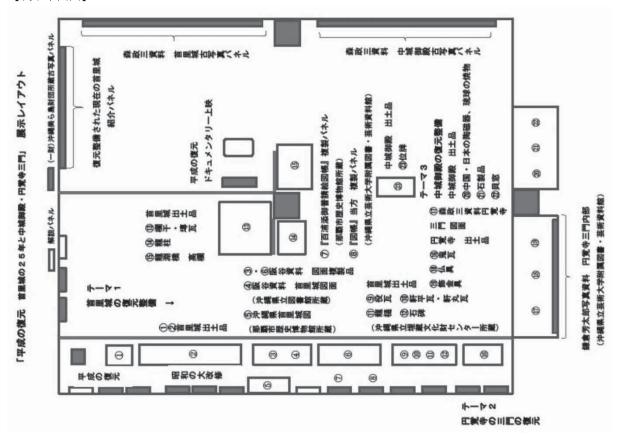
参加方法:事前申込制

講 師:仲嶺 絵里奈(一般財団法人沖縄美ら島財団 琉球文化財研究室)

参 加 者:48名 ※定員25名

内 容: 首里城跡、中城御殿、円覚寺の発掘調査の成果や開園に至るまでの取り組みを紹介した展示内容を 企画担当者が解説した。

#### 【展示平面図】



(総合研究センター琉球文化財研究室 仲嶺 絵里奈、沖縄県立博物館・美術館管理事務所 金城 美奈子)

## Ⅴ 教育・イベント活動

博物館、美術館のファンの育成を目的とし、大人から子供まで気軽に参加できる楽しいプログラムを企画、立案、実施した。

#### 1 ワークショップ等

#### (1) ふれあい体験室ワークショップ

体験キットの充実・発展を目的に、各分野担当学芸員や専門の指導者と協力して3か月毎に4つのプログラムを提供した。未就学児から大人まで幅広い世代に参加してもらえるよう、難易度を低くすることや短時間で取り組める内容を選定した。講座の要点をまとめた「博士カード」を参加者へ配布し、カードを集める楽しさを取り入れながら学びを深められるように工夫した。

講師:比嘉 麻乃・ふれあい体験室スタッフ(一般財団法人沖縄美ら島財団)

場 所:ふれあい体験室前エントランスホール

## ① 4・5・6月「ふれたい博士のてづくりおもちゃ」

体験キットNo.19「いろいろな玩具」から、アダン葉細工の「カジマヤー・ウマグヮー・星コロ・ハブグヮー」をカラフルな色画用紙で製作した。

時 間:10:00「カジマヤー」、10:30「ウマグヮー」、11:00「星コロ」、

11:30「ハブグヮー」

参 加 費:100円

実施日/参加者: 4月1日(土) 27名、8日(土) 15名

15日(土)12名、22日(土)32名、29日(土)25名

5月6日(土)39名、13日(土)23名、20日(土)21名、27日(土)19名

6月3日(土)36名、10日(土)16名、17日(土)23名、24日(土)31名

※各日、定員40名(各回10名)



② 7・8・9月「ふれたい博士のかんたん化石のレプリカづくり」

体験キットNo.10「化石」から、アンモナイトや三葉虫などの化石の型を使い、樹脂粘土を流し込んで化石のレプリカを製作した。

時 間:10:00/10:30/11:00/11:30

参加費:150円

実施日/参加者:7月8日(土)40名、15日(土)44名、22日(土)48名

29日 (土) 56名

8月5日(土)58名、12日(土)60名、19日(土)64名

26日 (土) 62名

9月2日(土)40名、9日(土)54名、16日(土)48名、23日(土)59名

30日 (土) 56名

※各日、定員60名(各回15名)8月より定員40名から60名へ増員

③ 10・11・12月 沖縄県立博物館・美術館開館10周年記念展関連「海へのあこがれ 〜ジェルキャンドルで小さな海を作ろう!〜」

博物館班より依頼を受け、「海の沖縄展」に関連してイノーの仕組みを知り、イノーを表現したジェルキャンドルを製作した。10月21、22日は「子どもフェスタ2017(秋)たいけんキットであそぼう!」付帯催事として実施した。

時 間:10:00/10:30/11:00/11:30

\*21日(土)、22日(日)10:00/11:00/14:00/15:00

参加費:300円

実施日/参加者:10月7日(土)27名、14日(土)28名、

21日(土)40名、22日(日)40名

11月4日(土)38名、11日(土)40名、

18日(土)28名、25日(土)19名

12月2日(土)36名、9日(土)22名、

16日(土)31名、23日(土)28名

※各日、定員40名(各回10名)



④  $1 \cdot 2 \cdot 3$ 月 沖縄県立博物館・美術館開館10周年記念展関連「海へのあこがれ ~波もようトートバッグを作ろう!~」

博物館班より依頼を受け、海の沖縄展に関連して、沖縄の工芸品にみられる波模様の歴史や図柄について学んだのち、スタンプを使って波模様のトートバッグを製作した。2月25日(日)は、「第10回 移動展 in 北大東島」付帯催事として実施した。

時 間:10:00/10:30/11:00/11:30

\*25日 (日) 10:00/11:00/14:00/15:00

参加費:300円

実施日/参加者:1月6日(土)21名、13日(土)19名、20日(土)17名、27日(土)25名

2月3日(土)21名、10日(土)17名、17日(土)30名、25日(日)49名

3月3日(土)28名、10日(土)27名、17日(土)33名、24日(土)50名

31日 (土) 55名

※各日、定員40名(各回10名)

(比嘉 麻乃)

#### (2) 首里城公園連携企画「首里城でおでかけ えの教室」

首里城公園と連携し首里城の解説や絵の描き方教室、写生大会、作品展を実施した。1日目は、博物館実習室でオリジナルワークブックを活用し、首里城公園学芸員が「守礼門」「石垣」について解説した後、絵の講師が石垣や瓦の描き方を伝えた。

2日目は、舞台を首里城に移し参加者が描きたい場所で1日目に練習した技法を試しながら写生大会を楽しんだ。今回の作品展では、参加者の取り組む様子や工夫した点など感想を紹介することを目的とし、参加者と講師から作品に対するコメントを集め展示した。

程:2017年10月20日(金)沖縄県立博物館・美術館

11月12日(日)首里城公園周辺(10月12日に予定していたが台風により延期)

講師:絵本作家SAVA(和田 瑞希)

宇保 朝輝(首里城公園学芸員)

参加費:100円

参加者:1日目21名、2日目17名

作品展

会期/会場: 3月6日(火)  $\sim$  3月18日(日)沖縄県立博物館・美術館 3月20日(火)  $\sim$  3月30日(土) 首里城公園首里杜館

(大濵 萌子)

#### 2 その他

#### (1) しまくとうばプロジェクト

「しまくとうば」は、沖縄独自の伝統文化、芸能など世界観・価値体系の源である。その一方、「しまくとうば」への関心と話者の広がりは、未だ充分とはいえない。各地域で伝えられてきた「しまくとうば」を理解し継承していくために、「しまくとうば」の現状を考え、聞き・話し・理解し・さらに学ぶ機会を提供する必要がある。沖縄文化の発信拠点である文化施設として、その世界観ー歴史・民俗・自然・芸術などーを展示や体験などで理解し学習できる環境を生かし、「しまくとうば」の復興、普及、発展的継承を事業の目的とし、事業を実施した。今年度は4月から事業始め7つの催事を実施、延べ409名が参加した。

① 『方言札』世代ぬハナシむぬ語い

実施 日:4月12日(水)14:00~16:00

場 所:博物館実習室

進 行:上原 美智子(しまくとうばプロジェクト)

参加費:300円

実施内容:参加者がしまくとうばで語りあうワークショップの最終回。これまでの開催を振り返り、参加者がしまくとうばで感想を述べた。また毎回発表してきた成果(沖縄の民話などをしまくとうばに読み替えた文章)を取りまとめ、資料として配付した。さらに参加者がしまくとうばを取り戻す実践として各地域で活動することを期待し、最終回を終えた。

参 加 者:12名 ※定員20名

② 鼎談「とー またん 語てい んーだな むる しまくとうばしっ うちなーぬ 文化とう経済『伊野波(ぬふぁ) 節』のある暮らしー沖縄の文化と経済を考える一」

実施 日:5月27日(土)14:00~17:30

場 所:講堂

登 壇 者: 伊佐 眞一 (沖縄近代史家)、屋嘉 宗彦 (法政大学名誉教授)、比嘉 豊光 (写真家、琉球弧 を記録する会)

参 加 費:500円

実施内容:自主企画「しまくとうばプロジェクト2017」「しまくとうば 鼎談」の第2弾。しまくとうばで思想や学問を語ることへの 実践的な取り組みと、その表現の豊かさを認識するための企 画として実施した。しまくとうばに関心を持つ幅広い年齢層 が来場した。経済と文化さらに琉球古典舞踊・音楽に造詣の 深い屋嘉氏によるしまくとうばでの語りと表現に対する関心 の高さを実感する催事となった。まず、屋嘉宗彦氏(法政大 学名誉教授)が「沖縄自立の条件をつくるのは経済であり、



内容をつくるのは文化である」と題し、沖縄の経済について財政状況などから解説。さらに自立経済の柱となる観光業の根幹をなすのは文化であることを強調した。また琉球舞踊の歴史的背景や見解について「伊野波節」の映像を鑑賞後、解説した。続く鼎談では、屋嘉氏、伊佐眞一氏(沖縄近現代史家)、比嘉豊光氏(写真家)が、「沖縄の歴史、経済、文化をしまくとうばで語る」と題し琉球古典音楽や芸能をについて、意見交換をおこなった。会場からは、しまくとうばを次代に繋いでいくための参加者自身の取り組みなどについて紹介があった。しまくとうば継承への意識を来場者が共有し、自覚する契機となった。

参 加 者:118名 ※定員200名

③ 慰霊の日企画「『島クトゥバで語る戦世』・比嘉座ぬ芝居・トーク」

実施日:6月23日(金)16:00~19:00

場 所:講堂

登 壇 者:桑江 常光 (NPO法人うちなぁぐち会会長)、比嘉 陽花 (比嘉座)、比嘉 豊光 (琉球弧を記録する会、写真家)

参加費:500円

実施内容:慰霊の日関連企画として実施。しまくとうばによる戦争体験を記録している琉球弧を記録する会による「島クトゥバで語る戦世」の上映、戦争体験の聴き取りを基にした演劇に取り組む比嘉座の芝居を上演した。続くトークでは、沖縄島中部地域でしまくとうばの普及活動に取り組む桑江常光氏、比嘉豊光氏、比嘉陽花氏によるクロストークを開催。戦争体験者の記録と記憶、しまくとうばの継承の方法や各自の取り組み



等について意見交換を行った。会場からは、しまくとうばの継承を危惧する意見や継承のために 参加者が取り組んでいる事例等の紹介があり、継承のあり方について、参加者と登壇者の意見の 共有が行われた。

参 加 者:81名 ※定員200名

④ 「ワークショップ しまくとうばライティング」

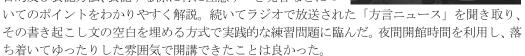
実施日:9月8日(金)18:30~19:50

場 所:美術館講座室

講師:西岡敏(沖縄国際大学)

参加費:400円

実施内容:「しまくとうば」による記録と記述方法について、歴史的背景、 目的及び表記方法、表記する際に特に注意すべき発音などにつ



参 加 者:16名 ※定員50名

⑤ 「しまくとうばっし『しまくとうば』語やびら」

実施日:9月24日(日)14:00~17:00

場 所:博物館講座室

登 壇 者:上原 美智子(しまくとうばプロジェクトメンバー)、小禄 隆司(琉球大学学生)、西岡 敏 (奈良出身、沖縄国際大学教授)、ハイス・ファン・デル・ルベ(オランダ出身、浦添市立仲西小学校ALT、うちな一ぐち習得勉強会)、比嘉 豊光(写真家)、真栄里・サマンサ・明美(ハワイ出身、県系4世、琉球大学研究生)、宮里 朝光(NPO法人沖縄県沖縄語普及協議会名誉会長)

コーディネーター: 仲原 穣 (沖縄県立芸術大学ほか 非常勤講師)

参 加 費:500円

実施内容:日頃「しまくとうば」について、継承、記録、保存、表現、研究、実践などいろんな活動をしている様々な人々が集まり、ないるかじりしまくとうばっし(できる限りしまくとうばで)意見を述べ合った。「しまくとうば」に対する想い、現在行っている活動や取り組み、これまで実践してみた「しまくとうばの勉強法」など様々なテーマについて「しまくとうば」で対談を行った。全員によるクロストークではコーディネー



ターより、継承への取り組みやヒントについての問いかけや登壇者同志の意見交換を行なった。 会場参加者との意見交換では、「しまくとうば」や「琉球語」、「方言」の呼称やその定義について意見があった。個人が継承に取り組むための実践例について、情報を共有することができた。

参 加 者:51名 ※定員100名

⑥ 鼎談「しまくとうばしっ 語やびら うちなーさしん (沖縄写真) 比嘉豊光写真集『赤いゴーヤー 1970-19 72』」

実施 日:10月15日(日)14:00~17:00

場 所:博物館 講座室

登 壇 者:伊佐眞一(沖縄近現代史家)、比嘉豊光(写真家)、屋嘉宗彦(法政大学名誉教授)

参 加 費:500円

実施内容:しまくとうばで沖縄の文化、政治、思想について語り合う「しまくとうば鼎談」シリーズの第3 弾。第1部では今回のテーマである『赤いゴーヤー』の写真について、比嘉氏がスライドを使いながら解説した。1970年から72年に撮影された沖縄の写真に、写っているのはどこかという話になったり、現在の沖縄では見られなくなった顔つきや人々の姿に感想が出たり、45年間の沖縄の

変化に来場者が感慨をもって見入っていた。しまくとうばが 未だ多く話されていた頃の沖縄の写真をしまくとうばで解説 し、しまくとうばで感想を述べ合うことで、これまで日本語 でのみ語られた比嘉氏の作品があらたな形で立ち現れること を狙った試みだった。

第2部では伊佐氏、屋嘉氏が加わり、比嘉氏の基調報告を受けて話を展開した。伊佐氏は比嘉氏の作品を12点取り上げ、しまくとうばで感想を述べた。当時の沖縄の空気を知る一人



して、写真を読み解いていた。屋嘉は文化的背景やチムググルを知らずに、沖縄の伝統芸能の継承はできないということを語った。

最後の1時間は会場からの質疑応答とし、しまくとうばをどのように継承するかということなどがしまくとうばで話し合われた。政治や思想など難しい話にはならなかったが、沖縄について公の場でしまくとうばで語り、聞くという、しまくとうばを継承していく上で必要な雰囲気作りができた。

参 加 者:48名 ※定員100名

⑦ 鼎談/座談「琉球 (ルーチュー)・沖縄 (うちなー) ぬ 歴史とう 文化ぁ ぬーさーに 造 (ちゅ) くてぃ ちゃが?」

実施 日:2018年3月17日(土)14:00~17:00

場 所:博物館 講座室

登 壇 者: 伊佐 眞一(沖縄近現代史家)、知念 ウシ(むぬかちゃー)、比嘉 豊光(写真家)

屋嘉 宗彦 (法政大学誉教授)

参加費:500円

実施内容:自主企画「しまくとうばプロジェクト2017」「しまくとうば 鼎談」シリーズの第4回。しまくとうばで思想や学問を語る 実践的な取り組みと、その可能性を認識する企画として実施 した。しまくとうばに関心のある多様な世代が来場した。今 回は伊佐氏が、基調講演「琉球・沖縄ぬ歴史とう 文化ぁ ぬ ーさーに 造くてい ちゃが?」と題し、「会話と文字表現」 「近代沖縄の文化創造」「近代沖縄知識人の言語と役割」に



ついて解説した。座談会では、ゲストに知念ウシ氏を迎え、しまくとうばを取り巻く現状について「県高校入試問題」「県民意識調査」などを例に詳解した。また一般参加の安里進氏(沖縄県立博物館・美術館前館長)が「県民意識調査」における県民意識の変化と「しまくとうば」の危機について、しまくとうばで解説した。会場との意見交換では、記録のための表記方法についての意見、しまくとうばを日常生活で積極的に話す取り組み、しまくとうばの経験談について、様々な意見が紹介された。

参 加 者:84名 ※定員100名

(謝花 佐和子)

## Ⅵ 広報事業に関する業務

広報業務では、一般財団法人沖縄美ら島財団本部と連携し財団のネットワークや管理施設を活用した広報および、有料・無料の媒体利用により当館の展覧会や事業・活動を県民や観光客に広くアピールし、博物館・美術館活動への理解を深めてもらうとともに一層の集客を図った。

当館で開催される展示会と関連イベント、教育普及事業、講演会、県民ギャラリーなどの催しについては「県立博物館・美術館 週間展示会・イベント情報」及びニュースリリースを作成し、県内の主要マスコミ各社(下記※印参照)へFAXやメールで配信し、情報の告知や取材を依頼した。

※マスコミ各社:新聞社(沖縄タイムス社、琉球新報社)、テレビ局(NHK沖縄放送局、琉球放送、琉球朝日放送、沖縄テレビ、沖縄ケーブルネットワーク)ラジオ局(RBCiラジオ、NHK沖縄放送局、ラジオ沖縄、FM沖縄)

沖縄タイムス紙面の朝刊情報面に当日開催の展覧会情報を発信している(休館日を除く)。また文化面・社会面などに随時展覧会や講演会、県民ギャラリーの催事情報を掲載。琉球新報でも情報面や文化面、社会面で展覧会や催事情報を掲載。沖縄タイムスの副読誌「週刊ほーむぶらざ」や琉球新報の副読誌「週刊レキオ」、そのほか県内外で発行される観光・ガイド・情報関連誌、Facebook(当館FB及び財団FB)も幅広く活用し、館情報の発信に努めた。

#### (1) 年間行事案内

年度初めに展覧会の会期や内容など、年間の行事案内を掲載した「平成29年度 沖縄県立博物館・美術館 行事案内」(リーフレット、25,000部)を作成し、県内外の文化・観光施設やホテル、レンタカー会社、那覇空港案内所、旅行会社などへ配布・設置の依頼をし、配布に努めた。さらにパンフレット配布業者へ委託し全島の観光施設、ホテルなどにも設置した。

#### (2) チラシ・ポスター

県内の小・中・高校や図書館、文化施設、教育機関、銀行、病院などには展覧会ごとにチラシやポスターを配布し、展覧会の告知を行った。また、県内の観光施設、レンタカー会社、那覇市内外の主要ホテル、県内書店、観光案内所、モノレール駅、那覇空港などにもチラシやポスターの設置協力を求めた。また展覧会によっては個々人に行き渡るようにコープ配達会員へのチラシ折込みを活用し、誘客に努めた。さらに沖縄美ら島財団独自のネットワーク約1,300か所にも毎月チラシやポスターを郵送し全島にPRした。

#### (3) 広報誌

季刊広報誌として「はくび通信」(2018年1月より「おきみゅー通信」)【8P・カラー】を発行し、展覧会やイベント情報、他様々な取組みなどをわかりやすく掲載し当館の活動をPRした。今年度は昨年度の4,000部から部数を増やし6,000部を発刊した。県内の図書館、文化施設、銀行、病院などに送付し県内全域に行き渡るようにした。

#### (4) 懸垂幕

館外正面入口側に横2m×縦6mの懸垂幕を設置し、博物館企画展や美術館企画展の告知を行った。

#### (5)館内外ターポリン

館内は博物館企画展示室入口付近に横3m×縦3.8mのターポリンを、美術館企画展示室入口付近に横3.6m×縦3.4mのターポリンを掲出した。館外には多目的広場付近に博物館企画展、美術館企画展2か所に横2.85m×縦3.4mのターポリンを掲出した。

#### (6) 沖縄美ら海水族館・首里城公園との連携(トートトリップキャンペーン)

沖縄美ら島財団が管理運営する二大観光施設である「沖縄美ら海水族館(年間378万人)」「首里城公園(年間285万人)」と連携しノベルティグッズ(トートバッグ、クリアファイル)を制作。両施設のどちらかの半券提示でミュージアムショップゆいむいでガチャを回してノベルティグッズが当たるキャンペーンにより両施設からの誘客促進を図り年間5,166人(昨年度4,123人)の来館者増に繋がった。また沖縄美ら海水族館内にあるレストランでの「トートトリップキャンペーンのポップ」告知や、同水族館の出口プラザ前にて、県立博物館・美術館の専用パンフレットラックを常設し「海のビックリ生物展」や「海の沖縄」「邂逅の海」をPRした。「首里城公園」では「首里杜館県内文化施設情報コーナー」を設置し展覧会、全館告知を実施しレストランには「トートトリップキャンペーンのポップ」を設置した。



当選者の様子



首里城公園特設情報コーナー

## (7) モノレール駅内広告

沖縄都市モノレール(ゆいレール)では県庁前駅ドアステッカー広告で全館、展覧会情報を告知した。またプラットホームの階段壁面広告(2か所)や、改札前床面広告を掲出し、おもろまち駅で下車する人々に告知を行った。その他、おもろまち駅改札外付近に館までの誘導サインとして立て看板と天吊パネルを7月より設置し、当館までの導線をよりわかり易くした。







連絡通路



改札出口正面

#### (8) 新聞紙面 (無料)・新聞広告 (有料) 掲載1,035回

無料告知では展覧会や開幕式、関連催事やワークショップの取材依頼や、沖縄タイムス「インフォ」副読誌「ほーむぷらざ」、琉球新報「情報市場」副読誌「週間レキオ」に毎週催事などの情報掲載を依頼した。「Leam&P lay! teamLab Future Park - チームラボアイランド 学ぶ!未来の遊園地 - 」「ウィルソンが見た沖縄」両展覧会では琉球新報社と共催したため、新聞記事や広告などを中心に広報展開ができた。

## (9) テレビ (無料) ・テレビCM (有料) 放送292回

無料告知では展覧会や開幕式、関連催事やワークショップの様子などを取材依頼しニュースなどで報道してもらえるように努めた。今年度の実績ではNHK沖縄放送局「おきなわHOTeye」「ニュース シブ 5 時」、沖縄テレビ「FNNみんなのニュースおきコア」「Okinawaモンドウォーカー」、琉球放送「ザ・ニュース」「金曜日のゆうわく」「沖縄BON!!」「琉球サウダーヂ」、琉球朝日放送「旬感!Qアプリ」「ニュースQプラス」、OCN「OCNインフォメーション」などがあり、またパブリシティでの無料告知枠で視聴者向けにプレゼント企画を実施し誘客を図った。有料でテレビCMを放映した企画展は「琉球・沖縄の地図展」「やんばるの森の美一写真展」「Learn&Play! teamLab Future Park - チームラボアイランド 学ぶ!未来の遊園地 - 」「海のビックリ生物展」「海の沖縄」。

## (10) ラジオ (無料) ・ラジオCM (有料) 放送381回

無料告知では展覧会や開幕式、関連催事やワークショップの様子などを取材依頼しニュースなどで報道してもらえるように努めた。パブリシティやラジオカーを手配しての無料告知枠を活用し、その他コミュニティFMなども展覧会告知のため担当学芸員が出演する取り組みも実施した。全館告知CMでは沖縄美ら島財団のスケールメリットを活かし「首里城と博物館・美術館のコラボCM」を毎日放映した。

## (11) 雑誌、機関紙 掲載44回

雑誌社や出版社の取材には積極的に応じ、様々な媒体への露出を高めるよう努力した。県民へのPRを目的として県内イベント情報誌「おきなわ倶楽部」「オキナワグラフ」「be-o」「箆柄暦」「話くわっちー」「おきなわいちば」などに展覧会の告知を掲載。県内在住外国人向けの「ジャパンアップデート」で無料告知枠や沖縄美ら島財団の広告枠を利用し展覧会情報などの告知を行った。「オキナワグラフ11月号」では無料で開館10周年特集記事「わたしのさんぽ道」6ページ、有料広告1ページの合計7ページで全館をアピールした。無料告知枠「ちゅらナビ」「ココミル沖縄」「沖縄リゾートマップ2017」「るるぶ沖縄ベスト18」「JAFPLUS」「るるぶこどもと行く沖縄18」「沖縄ロードマップ」「楽楽沖縄」「リゾートダイアリー2017」などでは主に博物館常設展や美術館コレクション展を紹介した。

県外に向けては「新美術新聞」「美術手帖」「KADOKAWAプレミアムアートブック」「完全ガイド 2016-2017 アートスケジュール」などへ展覧会の紹介記事を掲載した。有料広告では沖縄美ら島財団の本部広報の経費で「るるぶ沖縄19」「まっぷる沖縄19」へそれぞれ見開き 2ページの当館特集記事を掲載し告知を行った。

#### (12) インターネット 掲載478回

全国的に広く展覧会の告知を無料で行えるイベント情報サイトを活用し、様々なサイトで告知活動を展開した。今年度の実績では、館全体のPRを目的として「YahooJAPAN 地域情報」「じゃらんnet」「観光ガイド」「JTB るるぶインターネットサイト」など、個別の展覧会の告知を目的として「YahooJAPAN 地域情報」「じゃらんn et」「JTBるるぶインターネットサイト」「ミュージアムカフェ」「CALEND-OKINAWA」「箆柄暦」「Art sc ape」「Internet Museum」「Art Show.jp」「Artgene」などへ掲載し告知を図った。

動画共有サイト「YouTube」に企画展テレビCMをアップロードし、企画展専用ページに埋め込みをした。通常であればテレビでしか見ることが出来ないテレビCMが、YouTubeにアップロードすることでいつでも見ることができるようになった。またテレビCMの放映がなかった「ウィルソンが見た沖縄」「邂逅の海」ではオリジナル動画を制作し館内入口付近のモニターでの動画放映やFacebookやInstagram、YouTubeにアップロードし告知を行った。

#### (13) 地域との連携

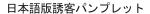
周辺商業施設5か所に当館専用のパンフレット設置什器を設置し割引券や年間行事案内を設置した。来年度は設置店舗を増やしつつ継続的に設置する予定。

#### (14) 誘客パンフレット

県外観光客向けに当館の魅力を発信するために博物館や美術館、ふれあい体験室などの見どころを解説する誘客パンフレットを2万部追加で印刷した。また海外用誘客パンフレットを4言語【英・繁・簡・韓】で作成し、各1万部印刷し海外からの観光客にアピールした。各言語の誘客パンフレットは県内のホテル145ヶ所、レンタカー営業所35ヶ所に設置しており、今後も常に設置している状態を保っていく予定。











海外用誘客パンフレット【英・繁・簡・韓】

#### (15) プレイガイド

前売券の販売及びチラシ・ポスターの設置場所としてプレイガイド(ミュージアムショップゆいむい、リウボウサービスカウンター、コープあぶれ、ファミリーマート各店(イープラス)、ローソン各店、ジュンク堂書店那覇店、TSUTAYA那覇新都心店・首里店、球陽堂書房那覇メインプレイス店・西原シティ店)で販売を行った。前売券販売をしている企画展の情報をコープあぷれ発行の「Aple」に無料で掲載し、前売券の販売促進を行った。また観光客向けには沖縄ツーリストラウンジ・レンタカー営業所で博物館常設展、美術館コレクション展の前売券の販売を行った。

### (16) SNS

実名登録制ソーシャル・ネットワーキング・サービス「Facebook」のいいね! (ファン数) は、今年度は約6,300名 (対前年比131%) を超えた。また「やんばるの森の美-写真展」「Learn&Play! teamLab Future Park - チームラボアイランド 学ぶ!未来の遊園地 - 」「海のビックリ生物展」の各展覧会や催事「秋のArt & Music Fe stival!」ではSNSプロモーションを行った。中でも「Learn&Play! teamLab Future Park - チームラボアイランド学ぶ!未来の遊園地 - 」招待券プレゼントシェアキャンペーン (5月15日~6月25日) では、リーチ91,165人、いいね!318件、コメント83件、シェア1,599件を記録した。招待券のみで広告代は発生しておらず、効果的な広報ができた。今後の展覧会などでもSNSキャンペーンを実施していく予定。また今年度より開始したInstagramではフォロワー800人を超えた。来年度も引き続きSNSを活用したプロモーションを続けていく予定。

#### (17) 10周年告知

開館10周年の周知では、「ありがとう10周年 沖縄の宝を未来へ」をキャッチコピーとして駐車場でのぼり8本の設置や、横断幕を駐車場(那覇中環状線入口)、おもろ花風橋、おもろ天空橋の3か所に掲出した。10周年企画展の広報としてゆいレール県庁前駅でB1告知板を設置し、全15駅でポスター掲出をするなど10周年を告知した。開館記念日(11月1日)に沖縄タイムスの広告特集面にて周年協賛広告(全15段)、11月3日に施設特集マンガ広告(全15段)を出稿しアピールした。

また11月3日(文化の日)の10周年誕生祭「秋のArt & Music Festival!」では未だ来館したことのないビギナーを集客する催事を設計し、SNSを多用した広報を展開した結果、一日の総入館者数で11,387人(前年比707%)を記録した。これにより、10年前の開館当初(2007年11月3日)に記録した9,078人を2,309人上回り、過去最高記録を更新した。特に文化の日のため無料開放とした「博物館常設展」「美術館コレクション展」へ多くの人が足を運ぶようにMONGOL800特別ライブ抽選権利を付与したスタンプラリーを仕掛けた結果、常設展へ3,889人(前年比338%)が、美術館コレクション展へ2,862人(前年比416%)が来場し、前年同日の記録を大幅に上回った。スタンプラリーの裏面にて実施したアンケート調査によると、来館者のうち17%にあたる1,935人(推計値)の方が当館に初めて来館、そのうち9割の方が展示を観覧した。ビギナーの満足度は「大変満足(29%)」「満足(54%)」を合わせると86%の方が展示に満足と回答。催事広報ではFacebookを活用したキャンペーンを展開し短期間で20万件以上のリーチを獲得したが、このコミュニケーション手法がビギナーの誘客に結びついたものと考えられる。来場者へは10周年記念グッズや次年度目玉企画展案内や年間パス案内、企画展チラシなどを同封したクリアファイルを3,000部配布し、リピート利用促進を働きかけた。今後はアンケート調査で入手した

#### DM送付希望者リストへなどを送付することで次の誘客へつなげていきたい。







開館記念特集(沖縄タイムス)



MONGOL800特別ライブを開催(誕生祭)

#### (18) 館愛称、マスコットキャラクター

県民や観光客にもより親しみやすい施設となるように、当館の愛称とPR大使としてマスコットキャラクターキャラクターを今年の夏休み期間(8月8日~9月8日)に公募した。最終的に愛称256件、マスコットキャラクターには862件の応募あり、愛称「OkiMu(おきみゅー)」と公式キャラクター「おきみゅーちゃん」に決定。ステッカーやクリアファイルなどオリジナルグッズを制作し、イベントなどで積極的に配布しPRを行った。

#### (19) おきみゅースタンプラリー

屋外展示作品をめぐるスタンプラリーを実施し、展示作品(「旧大聖禅寺鐘」「民家」「高倉」「シーサー」「湧田窯」「CONCRETE AND STEEL」「太陽と月のロマンス」)のPRおよびお客様満足度の向上を図った。12月から3月末までに3,407人が参加した。今後は参加者を増やすためにPR動画の製作、また海外や団体のお客様を対象にアピールする。

#### (20) 県外でPR活動

東京ビッグサイトで開催された「2017ツーリズムEXPOジャパン」(9月22日~24日、3日間の来場者数191,500人、沖縄ブース来場者数84,000人)において、沖縄エリアの沖縄美ら島財団のブースに当館のPRコーナーを設け、誘客リーフレットやノベルティグッズ(クリップ)、トートトリップキャンペーンのチラシなどを配布し 県外の方へPRを行った。

#### (21) 修学旅行フェアの参加

修学旅行の誘致を目的とした沖縄観光コンベンションビューロー主催のイベント「沖縄修学旅行フェア2017in東京」「沖縄修学旅行フェア2017in大阪」に参加した。

(金城 正仁)

## Ⅷ 調査・研究・講演・著作論文等の活動

#### 1 調査・研究等

#### 金城 美奈子

○調查·研究等

- 「Learn&Play! teamLab Future Park ーチームラボアイランド 学ぶ!未来の遊園地一」展示調査(華山 1914文創園区・台湾) (2017年4月9~10日)
- ・「追悼水木しげる展 ゲゲゲの人生展」展示調査(福岡県立美術館・福岡県) (2017年11月24~25日)

## 國吉 貴奈

○調査・研究等

・「新海誠展」展示調査(国立新美術館・東京都)(2017年11月14日)

## 大濵 萌子

○調査·研究等

・「ミュージアムキッズ!全国フェア」調査(熊本県立装飾古墳館・熊本県)(2017年6月18日)

#### 植田 瑞生

○調査·研究等

・「ミュージアムキッズ! Party 2017」調査(神戸アートビレッジセンター・兵庫県) (2017年11月19日)

## Ⅲ その他

#### 1 職員研修

## 金城 美奈子

#### ○研修会

- ・「第39回 文化財の虫菌害・保存対策研修会(公益財団法人 文化財虫菌害研究所主催) (国立オリンピック記念青少年総合センター・東京都) (2017年6月22日~23日)
- ・平成29年度「文化財IPM実践の研修会(公益財団法人 文化財虫菌害研究所主催)」(新宿歴史博物館・ 東京都)(2017年11月9日~10日)

#### 國吉 貴奈

## ○研修会

・「文化財IPMコーディネータ資格取得」講習会参加と試験(公益財団法人 文化財虫菌害研究所・東京都) (2017年12月6日~8日)

#### 大濵 萌子

## ○研修会

・「平成29年度博物館学芸員専門講座」(国立教育政策研究所社会教育実践研究センター)(2017年12月 13日~15日)

#### 保久村 智恵

#### ○研修会

- ・「平成29年度 美術館を活用した鑑賞教育の充実のための指導者研修」(京都国立近代美術館・京都市勧業館みやこめっせ)(2017年7月31日~8月1日)
- ・「平成29年度 第7回ミュージアムエデュケーター研修」(東京都美術館・葛飾区郷土と天文の博物館) (2017年9月6日~8日、2018年2月1日~2日)

### 福治 広規

## ○研修会

・「平成29年度 第7回ミュージアムマネージメント研修」(東京国立博物館 付属黒田記念館セミナー室) (2017年12月13日~15日)

# 全館共同事業

- I 学芸員実習及び職場体験学習
- Ⅱ 国際博物館の日
- Ⅲ 移動展
- IV 博物館・美術館 10 周年関連事業
- V 燻蒸・消毒処理
- VI 刊行物
- VII 展覧会一覧

## I 学芸員実習及び職場体験学習

## 1 博物館実習

当館では、1969年(昭和44)に最初の実習生を受け入れてから、2006~2007年度の新館準備のための休止年度を除き毎年学芸員実習を実施してきた。2000年度までは、実習生の在籍する大学毎に個別に実習期間を設置して対応してきたが、2001年度以降は年2回(6月、8月)に実施している。

2017年度の学芸員実習は前期(6月13日~27日)、後期(8月15日~28日)とも内容は下記のとおりである。

## (1) 実習内容と指導職員

講義・実習	指導者
博物館施設・事業概要	園原
IPMへの取り組み	大湾
博物館展示の実際	與那嶺
課題研究 実習生は前期では「自然史」、「美工・歴史・民俗・考古」の2班、後期は「自然史」、「美工・歴史」、「民俗・考古」の3班に分かれ、特別展示室とロビーでミニ企画展を実施した。その過程には以下の作業が含まれる。  (展示企画立案 資料調査・選定・借受交渉 展示環境調査(美工・歴史班) パネル・キャプション作成 資料移動・開梱・梱包、開梱・梱包に伴う検品 資料配置・撤収 展示解説、観覧者調査、総括発表	「自然史班」 山崎、宇佐美 澤岻、山崎 「美工・歴史班」 與那嶺、篠原 外間、久部良 「民俗・考古班」 大湾、山本 勝連
教育普及実習	大川、玉城

## (2) 実習生

<u> </u>	八日工						
	前期			後期			
	氏 名	大学名		氏 名	大学名		
1	福原 理沙		1	知念 佳奈子			
2	遠藤 志穂	T*T*+	2	平田 香南子			
3	出田 詩織	琉球大学		宮里 梨亜	T 本 T 社 - 1 - 2 - 2 - 2 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3 - 3		
4	柳澤 隆平			山口 若菜	琉球大学		
5	佐渡山 佑希	沖縄国際大学	5	福地 順			
			6	長濱 茜音			
			7	比嘉 萌乃			
			8	比嘉 美和	外祖 E 1 网 十 2 4		
				若園 七海	沖縄国際大学		
			10	楠瀬 康大			
			11	渡真利 耕平	専修大学		
			12	大城 友莉奈	京都橘大学		

(園原 謙)

## 2 美術館実習

## (1) 実習内容と指導職員

講義・実習	担当	講義・実習	担当
美術館業務の考え方と実際	池原	IPM講習	梶原
学芸員実習内容確認・美術館施設案内	富原	資料保存・修復の実際 I	梶原
教育普及事業 I	富原	資料保存・修復の実際Ⅱ	梶原
教育普及事業Ⅱ	富原·保久村	平面資料の取扱い (写真・版画)	梶原
教育普及プログラム実習 I	富原	常設展示の実際Ⅱ	梶原
教育普及プログラム実習Ⅱ	富原	平面資料の取扱い(油彩画・水彩画)	梶原
教育普及事業演習 I	富原	全体清掃	梶原
教育普及事業演習Ⅱ	富原	資料調査実習	大城
企画展示の実際 I	豊見山	常設展示の実際I	大城
企画展示の実際Ⅱ	豊見山	資料の分類・情報処理	大城
立体資料の取り扱い (彫刻)	玉那覇	博物館施設案内	大川 (博)
調査研究の概要	玉那覇	資料収集事業の概要	島筒

## (2) 実習生

	氏 名	大学名		氏 名	大学名
1	呉屋 聡美		6	仁添 まりな	沖縄県立芸術大学
2	高沢 巴		7	糸数 美里	崇城大学
3	福田 周平	沖縄県立芸術大学	8	武茂 由佳子	日本女子大学
4	亀田 亜弥		9	比嘉 緩奈	九州産業大学
5	丹羽 正淳				

## 3 職場体験受け入れ

情報センターでの資料整理やポスターの張替え、ふれあい体験室でのワークショップ準備、もぎりとミュージアムショップでは接客業務を体験した。繁忙期には企画展の交流員として、お客様の対応にも挑戦した。博物館・美術館の普及担当からバックヤードや展示室の案内、学芸員の仕事について学ぶ時間も設け、より多くの仕事に触れられる内容としている。

① 児童養護施設島添の丘 高1・2年生(各1名) 2017年8月3日(木) (1日)

② 那覇市立石田中学校 1年生 (3名) 2017年8月30日(水)・31(木)(2日間) ③ 沖縄県立沖縄工業高校 2年生 (4名) 2017年9月12日(火)~14日(木)(3日間) ④ 那覇市立那覇中学校 1年生 (4名) 2017年11月28日(火)~30日(木)(3日間) ⑤ 那覇市立金城中学校 1年生 (3名) 2018年1月31日(水)~2月3日(金)(3日間)





(保久村 智恵)

## Ⅱ 国際博物館の日

名 称:2017年5月18日「国際博物館の日」

会 期:2017年(平成29)5月8日(火)~5月28日(日) (20日間)

会場:パネル展(エントランスホール)ワークショップ(ふれあい体験室前)

#### 【開催趣旨】

毎年5月18日は、全世界で博物館活動の普及と向上を目的に、国際博物館会議(通称ICOM:イコム)によって「国際博物館の日」と定められている。日本博物館協会の会員である当博物館・美術館もこれに伴い、より多くの人々に博物館活動を広く報せ、博物館・美術館に対してより興味・関心、親近感を抱かせるとともに、博物館・美術館や社会教育の意義をさらに普及・啓発するために行う。

## 【実施内容】

博物館・美術館の活動を広く一般県民に伝えるためにエントランスホールにてパネル展示を実施した。無料入館日の設定や、バックヤードツアー、ワークショップ等を実施した。

① パネル展 2017年5月9日 (火) ~5月28日 (日)

パネル展の目的、ICOM・「国際博物館の日」の説明、今年度の行事や講座などの紹介、沖博協加盟館の紹介、「沖縄の博物館ガイド」の紹介、展示会の様子、学芸員の仕事、ボランティア・友の会・happ等の活動の様子、指定管理者の仕事、過去に実施した展覧会のチラシ展示。

- ② 無料入館日 2017年5月27日(土) (企画展はのぞく)
- ③ 博物館 常設展「5·15沖縄の日本復帰について」解説会 担当:外間 一先 2017年5月15日(月)10:00~12:00
- ④ 博物館 文化講座「琉球の海人を語る~サンゴ礁の生態史」 講師: 秋道 智彌 2017年5月20日(土) 14:00~16:00
- ⑤ 博物館 常設展展示解説会 担当:與那 嶺一子 2017年5月27日(土) 11:00~12:00
- ⑥ 博物館 バックヤードツアー 担当: 宇佐美 賢、山﨑 仁也 2017年5月27日 (土) 14:00~16:00
- ⑦ 美術館 ミュージアムツアー 2017年5月27日 (土) 10:30~12:00
- ⑧ 美術館 鑑賞ボランティア講座 2017年5月27日 (土) 14:00~15:30
- ⑨ ワークショップ ふれたい博士の「てづくりおもちゃ」(「うまぐわぁー」「カタツムリ」など

日 時:2017年5月27日(土)

時 間:1回目10:00 2回目10:30 3回目11:00 4回目12:00 各回30分(同一内容)

受付:9:00~ ふれあい体験室にて

定 員:当日先着40名(各回とも10名まで)

参 加 料:100円

(外間 一先)

## Ⅲ 移動展

名 称:平成29年度 沖縄県立博物館・美術館 「第10回移動展 in 北大東島」

会 期:2018年(平成30)2月23日(金)~25日(日)9:00~17:00

開催地:北大東村人材交流センター、民俗資料館

観覧料:無料

#### 【開催形式】

主 催:沖縄県立博物館・美術館、(一財)沖縄美ら島財団、北大東村、北大東村教育委員会

協 力:沖縄県立博物館友の会、県立美術館支援会happ

#### 【開催趣旨】

沖縄県立博物館・美術館では、県民が本県の自然・歴史・文化や芸術を正しく認識できるよう、これまで 収集された資料を常設展示やコレクション展示で公開してきた。しかしながら島嶼県である本県では、当館 の利用に不便を感じている離島や遠隔地に住む方々が多く、県民が等しく当館を利用することが難しい現状 にある。移動展は、離島や遠隔地の方々に収蔵資料の展示をみていただくことによって、沖縄の自然・歴史・ 文化や、芸術への理解を深めていただくことを目的として実施する。

また、当館では2017年11月に新館開館10周年を迎えたことを記念し、「海」をテーマとした特別展を開催しているところであり、北大東村においても「海」をテーマとした移動展を開催する。

【展示内容・参加人数・関連催事】 ○会場への来場328名 ○関連催事への参加人数全163名

内容	期日	内 訳				
展示内容	博物館展示	■「世界の化石と輝く石」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				
	美術館展示	□「展覧会展示パネル」・・・・・・これまでの展覧会概要パネルの展示 □「沖縄の映画」・・・・・・・・・・・・・・・・県出身映画監督作品を上映				
	2月23日(金)	■来場121名(70歳以上1名、一般80名、高大0名、小中13名、未就学児27名)				
来場人数	2月24日(土) ■来場92名(70歳以上5名、一般39名、高大1名、小中24名、未就学児24名)					
77.90	2月25日(日)	■来場115名(70歳以上6名、一般51名、高大1名、小中35名、未就学児22名)				
	2月23日(金)	■館長による講座「琉球の歴史と文化」 参加者数:34名 19:00~20:30 民俗資料館(北大東村人材交流センター内) 講師:田名 真之(沖縄県立博物館・美術館 館長)				
関連催事	2月24日(土)	■学芸員による展示解説会「生物展示のここだけは見のがすな!」 参加者数:12名 16:30~17:30 北大東村人材交流センター・民俗資料館 講師:山﨑仁也 (生物担当) ■北大東島ジオツアー「まっしろな石が語る島のヒミツとなぞ」				
	2月25日(土)	☆ (一財) 沖縄美ら島財団取り組み ワークショップ 「海へのあこがれ 〜波もようトートバッグを作ろう!〜」 参加者数: 49名 10:00・11:00・13:00・15:00 (4回開催) 講師: 比嘉麻乃				

## 【展示品リストー博物館ー】

## [地 学]

No.	名称	数量	種 別	No.	名 称	数量	種 別
1	琉球列島の海底地形図 (第11管区	2	パネル	8	砂岩 (島尻層群・ニービ・ニービヌフニ)	1	資 料
1	海上保安本部制作図に加筆)		床面用 壁面用	9	砂岩泥岩(嘉陽層)名護市産	1	資料
2	アンモナイト(小)本部町産	1	資 料	10	生痕化石(嘉陽層)名護市産	1	資 料
3	ハロビア 本部町産	1	資 料	11	砂岩(八重山層群)与那国島産	1	資 料
4	琉球石灰岩(有孔虫石灰岩:港川粟石)	2	資料	12	生痕化石(八重山層群)与那国島産	1	資料
5	琉球石灰岩 (サンゴ石灰岩)	2	資料	13	石灰岩(宮良層)と有孔虫化石	1	資料
6	琉球石灰岩(オパキュリナ石灰	-1	2/5₹ √[0]	13	石垣島産	1	資料
٥	岩) 宮古島産		資料	14	黒色千枚岩 (名護層) 名護市産	1	資料
7	泥岩(島尻層群)(クチャ)	1	資 料	15	石灰岩と紡錘虫化石(本部層)	2	資料

No.	名称	数量	種 別	No.	名 称	数量	種 別
1.0	石灰岩とアンモナイト化石(今帰	2	ングマ ・1(c)	36	リュウキュウジカ (オス)	1	レプリカ
16	仁層)本部町産	2	資料	37	リュウキュウムカシキョン (オス)	1	レプリカ
17	チャート (伊平屋層) 伊平屋村産	3	資料	38	珪化木	1	資料
18	石になった海の生きもの(岩石研	6	ハンズ	39	貝化石	1	資料
10	磨標本)	O	オンKit	40	植物化石	1	資 料
19	三葉虫模型	1	ハンズオンKit	41	魚化石	1	資料
20	紡錘虫模型	1	ハンズオンKit	42	水晶	1	資 料
21	アンモナイト模型	1	ハンズオンKit	43	カルサイト	1	資料
22	黒潮の海	1	映像	44	重晶石(砂漠のバラ)	1	資料
23	チムニーと化学合成生態系生物群集	1	模型	45	レインボーストーン (小)	1	資 料
24	深海底マンガンノジュール(大東	5	資料	46	黒曜石	1	資 料
24	海嶺産)	5	貝科	47	赤鉄鉱	1	資料
25	最新の台風研究成果	2	パネル	48	黄鉄鉱	1	資料
26	海底資源等	3	パネル	49	黄銅鉱	1	資 料
27	黒潮の流れ	1	パネル	50	ガーネット		資料
28	燐鉱石 (大東島産)	1	資料	51	ザクロ石片麻岩 (南極)		資料
29	サウロロフス	1	模 型	52	蛍光鉱物一式		資 料
30	サウロロフスの皮膚化石	1	模型	53	隕石	1	資料
31	アンモナイト (大)	2	資料	54	地質図	1	パネル
32	マンモスの歯	1	資 料	55	蛍光鉱物説明	1	パネル
33	マンモスの毛	1	資料	56	地質年表	1	パネル
34	アンモナイト	1	資料	57	古地理図	1	パネル
35	ハロビア	1	資 料				

# [生物]

No.	名称	数量	種 別	No.	名 称	数量	種 別
1	キハダマグロ	1	剥製	11	ジュゴン	1	剥製
2	スジアラ	1	剥製	12	ヒロオウミヘビ	1	剥製
3	シロクラベラ	1	剥製	13	エラブウミヘビ	1	剥製
4	ハマダイ	1	剥製	14	コアホウドリ	1	剥製
5	オオカイカムリ	1	剥製	15	オオミズナギドリ	1	剥製
6	タイワンガザミ (オス)	1	剥製	16	クロサギ	1	剥製
7	ウネスリバチサンゴ	1	剥製	17	ホウロクシギ	1	剥製
8	ハブクラゲ	1	剥製	18	ミサゴ	1	剥製
9	アオウミガメ	1	剥製	19	ハンズオン用貝殻標本	1	ハンズオンKit
10	タイマイ	1	剥製				

# [人 類]

No.	名称	数量	種 別	No.	名称	数量	種 別
1	港川人復元模型	1	模型・背景パネ	4	東アジアの新人と文化	1	パネル
2	港川人1号頭骨複製	1	複 製	5	海を渡った先史時代の人々	1	パネル
3	山頂洞101号人頭骨	1	複 製				

## [考 古]

No.	名 称	数量	種 別	No.	名 称	数量	種別
1	市来式土器 (浦添貝塚)	1	遺物資料	7	蝶型骨製品	1	遺物資料
2	荻堂式土器 (大山貝塚)	1	遺物資料	8	貝さじ	4	ハンズオンKit
3	明刀銭(具志頭城北東崖下洞穴)	1	遺物資料	9	9 津堅貝塚出土貝製品		遺物資料
4	名蔵シタダル遺跡採集中国産陶磁器	10	遺物資料	10	室川式土器 (大山貝塚)	2	遺物資料
5	御物グスク表採中国	1	遺物資料	11	津堅貝塚出土イモガイ	6	遺物資料
6	銭差	1	ハンズオンKit				

## 〔美術工芸〕

No.	名    称	数量	種 別	No.	名 称	数量	種別
1	素材を活かす	1	パネル	8	世持橋	1	パネル
2	螺鈿づくり用キット	3	ハンズオンKit	9	世持橋匂欄羽目石(貝)	1	資 料
3	波を表現する	1	パネル	10	世持橋匂欄羽目石 (魚)	1	資 料
4	聞得大君御殿雲龍螺鈿黄金簪	1	複 製	11	世持橋匂欄羽目石(蟹)	1	資 料
5	魚介の表現	1	パネル	12	芭蕉布	1	資 料
6	線彫魚文大皿(金城次郎)	1	資料	13	芭蕉布について	1	パネル
7	さまざまな波	1	パネル				

## 〔歴 史〕

No.	名 称	数量	種 別	No.	名 称	数量	種 別
1	旧首里城正殿鐘(万国津梁の鐘)	1	複 製	11	大世通宝 (貨幣)	1	資 料
2	中山世鑑	1	複 製	12	世高通宝	1	資 料
3	おもろさうし	1	複 製	13	金丸通宝	1	資料
4	琉球使節(1832年)の謝恩使のルート	1	パネル	14	体育行脚	1	映像
5	奉使琉球図	2	パネル	15	沖縄	1	映像
6	琉球人行列附	1	複 製	16	海の民	1	映像
7	薩摩風土記	1	複 製	17	琉球の民藝	1	映像
8	首里那覇港図屛風	1	複 製	18	北大東空港建設記録(うふあがりじま)	1	映像
9	第一尚氏王統系図	1	パネル	19	琉球の風物	1	映像
10	琉球通宝 (貨幣)	3	資料				•

## 〔民俗〕

No.	名称	数量	種 別	No.	名 称	数量	種 別
1	海水 塩	2	資料	10	アケガイ	2	資 料
2	塩サンプルセット	1	資料	11	シャコガイ等	2	資料
3	石灰岩とサンゴの利用	2	パネル	12	貝の利用	1	パネル
4	石灰岩石積み模型	3	資 料	13	ヤコウガイ	1	資料
5	海からのめぐみ(食料パネル)	2	パネル	14	オオベッコウカサガイ	2	資 料
6	食品サンプル	4	複 製	15	ミミガイと苧麻	1	資 料
7	魚の模型	3	複 製	16	ブラ	1	資 料
8	サザエ	1	資料	17	タカセガイとボタン	1	資料
9	マガキガイ	5	資 料	18	タカラガイの網	1	資 料

No.	名 称	数量	種 別	No.	名称	数量	種 別
19	貝殻を使った飾りもの	2	資 料	22	「塩屋湾のウンガミ」縮小版	1	映像
20	スイジガイ (アクゲーシ)	1	資 料	23	「海と祈り」	1	映像
21	シャコガイ (ムンヌキムン)	1	資 料	24	ウンジャミ・ハーリー・豊年祭	6	パネル

## [教育普及]

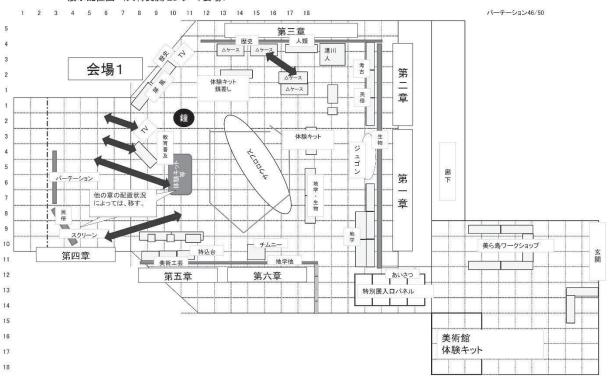
No.	名称	数量	種 別	No.	名称	数量	種 別
1	三線のカタチ	4	ハンズオンkit	4	骨スーツ	1	ハンズオンkit
2	化石組み立てキット	1	ハンズオンkit	5	御三味キット	1	ハンズオンkit
3	ちむどんどん	1	ハンズオンkit				

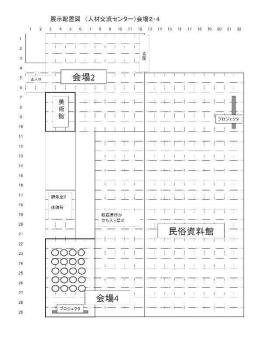
## 【展示品リストー美術館ー】

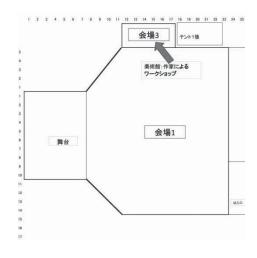
No.	名 称	作家名	規格	製作年	種別
1	沖縄アート遊具				ハンズオンKit
2	執念の毒蛇①	吉野二郎	70分	1931年	映像
3	吉屋チルー物語②	金城哲夫	98分	1962年	映像
4	10周年記念図録『彷徨の海』			2017年	資料
5	10周年記念図録『邂逅の海』			2017年	資料

## 【博物館展示及び沖縄美ら島財団ワークショップ配置図】

#### 展示配置図 (人材交流センター)会場1







(大川 剛・富原 圭子)

## Ⅳ 博物館・美術館10周年関連事業

### 1 全体催事

日 時:2017年(平成29)11月1日(水)

場 所:那覇市おもろまち3丁目1番1号 沖縄県立博物館・美術館

〈開館10周年記念特別展開会式 9:30~10:00/1階 エントランス〉

開会の宴 ~ かぎやで風 ~

 (1)開会の辞
 沖縄県立博物館・美術館長
 田名 真之

 (2)知事挨拶
 沖縄県知事
 翁長 雄志

 (3)祝 辞
 日本博物館協会専務理事
 半田 昌之 廖修平

(4) テープカット 沖縄県知事 翁長 雄志

日本博物館協会専務理事 半田 昌之

台灣美術院長廖修平

財団法人陳澄波文化基金会董事長 陳立栢

沖縄県立博物館·美術館協議会長 宮城 篤正

一般財団法人沖縄美ら島財団理事長 花城 良廣

沖縄県立博物館・美術館長 田名 真之

〈展覧会解説会 10:10~11:10/各展示室〉

博物館展示室「海の沖縄」 説明員 博物館班各学芸員

美術館展示室「彷徨の海」 説明員 美術館主任学芸員 豊見山 愛 ほか

〈記念式典 13:30~14:00/3階 講堂〉

- (1) 開会の挨拶 沖縄県立博物館・美術館長 田名 真之
- (2) 感謝状贈呈式
- (3) マスコットキャラクター・館愛称発表

〈基調講演 14:30~15:30/講堂〉

「日本の博物館の現状と未来」 講師:日本博物館協会専務理事 半田 昌之

#### 2 博物館班催事

#### (1) 文化講座

沖縄県立博物館・美術館が迎える開館10年を記念し、「海」をテーマに関連講座及び記念講演を実施する。

① 文化講座パート1「海を越えて広がる世界と琉球」

日 時:2017年11月3日(金) 10:00~17:00

場 所:講堂

定 員:200名(当日先着順、予約不要)

※入場無料

内 容:琉球列島には様々な方法で海を越え、その島に生息する動植物がいる。また、人は船を利用して海を越えて無人の琉球列島に到達し、琉球列島独特の歴史と文化を形成した。琉球王国時代には世界有数の速度で流れる黒潮を越えてアジアの国々と交易を行い、その気概は万国津梁の鐘に謡われている。講演会では、自然史系、人文系それぞれの専門家をお招きし、海を越えて琉球列島で活動する生物達の様子や歴史と文化について考える。



講 師:第一部(自然史部門)10:00~17:00

講座①「海を越えて広がる植物」 横田 忠(琉球大学熱帯生物圏研究センター教授)

講座②「海を越えて広がる動物」 戸田 守 (琉球大学熱帯生物圏研究センター准教授)

講座③「海を越えた旧石器人」 藤田 祐樹(国立科学博物館人類研究部 人類史研究グループ研究員)

第二部 (人文部門) 14:00~16:00

講座①「海への豊穣の願い ~ウンジャミやハーリーについて~」 萩尾 俊章 (沖縄県教育 庁文化財課 課長)

講座②「渡る・飾る ~琉球漆器と海~」 岡本 亜紀(浦添市美術館学芸員)

講座③「海域アジアにつながる琉球王国の海上交通網」 上里 隆史(法政大学沖縄文化研究 所国内研究員)

② 文化講座パート2「未来につながる海の利用」

日 時:2017年12月3日(日) 13:30~16:30

場 所:講堂

講

定 員:200名(当日先着順、予約不要)※入場無料

内 容:近年、世界の目は海洋資源の開発と利用に注目が集まっている。広 大な海域とサンゴ礁の発達した美しい海を有する琉球列島は、その 波の渦中にあると言っても過言ではないだろう。琉球列島では様々 な分野において海をより深く知るための研究が進んでいる。講演会 では、その先端的な研究の一部について紹介し、未来につながる琉 球の海について考える。

師:講座①「高精度海底地形図の作成とその活用」 菅 浩伸(九州大学先導的学術研究拠点浅海底フロンティア研究センター長)



講座③「海洋資源の持続的利用における養殖」 升間 主計(近畿大学水産研究所 所長)

講座④「海底熱水鉱床は沖縄の海を熱くするか」 木川 栄一(国立研究開発法人海洋研究開発機構海底資源研究開発センター長)

③ 館長講演「成長する物語 - 済州島の漂着琉球王子殺害事件-」

日 時:2017年11月18日(土)14:00~16:00(開場13:30)

講 師:田名 真之(沖縄県立博物館・美術館 館長)

場 所:講堂

定 員:200名(当日先着順、予約不要)※入場無料

内 容:沖縄もその範疇である東アジア海域は、古くから海上交通が盛んであり、国の枠組みを超えて 人は往来していた。

> 国を背景とした公的な交易もあれば、私的な民間の交易もあったし、海賊行為をなす輩も 多々存在した。もとより自らの属する国や地域内での会場交通や漁業に従事する者も多かった。



そして時には突然の嵐に遭遇して、漂流することも間々あった。季節風や海流の所為で北から南へ、東から西へと、人々は抗う術もなく翻弄されたのである。

1611年、一隻の琉球船が朝鮮の済州島に漂着した。乗っていた琉球の王子をはじめ乗員全員が殺害され、積荷が奪われるという事件が起こった(『朝鮮王朝実録』)。この事件は、その後、語り継がれ済州島の人々の行動に影響を与えることとなる。

一方で琉球側では、まったく伝承も記録も残されていない。琉球側からすると、漂流事件そのものが無かったかのようである。本講座では、歴史的事実の存否に関わらず、生み出された物語は人々の思いを受けて成長、増幅することについてお話しする。

#### (2) 学芸員による出前講座

① 阿嘉島における出前講座「阿嘉小中学校職員研修(ジオツアー)」

日 時:2017年7月24日(月)13:00~16:30

講師:字佐美賢(地学担当学芸員)

場 所:座間味村阿嘉島

② 伊平屋島における出前講座「倭寂とグスクとの関係について」

日 時:2018年3月3日(金)19:00~21:00(開場18:30)

講師:山本正昭(考古担当学芸員)

場 所:伊平屋村歴史民俗資料館

③ その他出前講座 ※詳細については別頁「移動展」取組にて紹介

・北大東島移動展における館長講演

日 時:2018年2月23日(金)

講師:田名真之(沖縄県立博物館・美術館館長)

・同移動展会場における学芸員による展示解説会

日 時:2018年2月23日(金)

講 師:山﨑 仁也(生物担当学芸員)

・北大東島における学芸員によるジオツアー

日 時:2018年2月24日(土)

講 師:宇佐美 賢(地学担当学芸員)

# 3 沖縄美ら島財団催事

#### (1)「夏のわいわいイベント」

沖縄県立博物館・美術館の開館10周年を記念して、夏のイベントを開催。11月の10周年記念日に向けたプレイベントとした。一つはエントランスコンサートを企画し、夏の開放的で賑やかな雰囲気を館内に演出した。もう一つは民家展示を使ったイベントを企画。民話の語りおもちゃ作り、やきり絵ランプ作りを行い、昔の子どもたちが過ごした時間を体験し、沖縄の暮らしや文化を知るきっかけ作りを目指した。

①「サマーナイトライブ」

時:7月16日(日)15:00~15:30/16:30~17:00 7月29日(土)17:00~17:30/18:15~18:45

会 場:エントランス

出 演:じょじょ(サックス奏者)、チョイスちゃん(バンド)

参加費:無料

参加者数:7月16日300名、7月29日200名 ※定員なし

②「赤がわらの昔のおうちで遊ぼう!」

(むかしのおもちゃづくり、きり絵ランプのせかい、夜の民家でお話会)

日 時:8月11日(金)15:00~19:00

会 場:民家 参加費:無料

出 演: NPO法人沖縄伝承話資料センターのみなさん、植田 瑞生(一

般財団法人沖縄美ら島財団)

参加者数:174名









(福治 広規)

#### (2) 「開館10周年だよ!! 秋のART&MUSIC FESTIVAL」

10周年を機に、未だ来館したことのないビギナーを集客する催事を設計しSNSを多用した広報を展開した結果、総入館者数が11,387人(前年比707%)ものお客様を迎えることができた。これにより、10年前の開館当初(2007年11月3日)に記録した9,078人を2,309人上回り、過去最高記録を更新した。

実施 日:11月3日(金)9:00~21:00

場 所:屋外展示場、エントランスホール

実施内容:アートマーケット(7店舗)、やきもの市(4店舗)、

たべもの市(9店舗)、鐘つき体験(100組参加)、音楽ライブ(3団体)、

モンパチ特別ライブ

総入館者数:11,387名(前年比707%) ※前年同日1,611名

常 設 展: 4,476名(前年比389%) ※前年同日1,150名

美術館コレクション展:3,075名(前年比447%)※前年同日688名

マーケティング:回答数2,137件(有効回答率83%)

取材件数: 3件(琉球新報社、沖縄タイムス社、沖縄テレビ)

(福治 広規)

### (3) 開館10周年記念ミュージアム・コンサート「蒼海の響き」

人材育成事業の一貫として沖縄県立芸術大学と連携したミュージアムコンサートを実施した。企画制作は 学生が主体となり開館10周年記念展と関連付け、「海」をコンセプトにした楽曲で構成し、舞踊も織り交ぜ た華やかな舞台となった。来場者数も想定(100人)の2倍を上回り、集客促進にも大きく貢献した。

実施 日:11月26日(日) 14:00~14:40

会 場:沖縄県立博物館・美術館 エントランスホール

企画協力:沖縄県立芸術大学音楽学部 琉球芸能専攻・沖縄文化コース専攻有志

出 演:沖縄県立芸術大学音楽学部 琉球芸能専攻・沖縄文化コース専攻生

演 目:かぎやで風節/鳩間節/安里屋ユンタ/ていんさぐぬ花/浜千鳥/谷茶前/海の声/島人の宝

(全8曲)

参加費:無料

来場者数:220名 ※定員なし

(金城 美奈子)

#### (4) 旧正月イベント「2018旧正月はおきみゅーへ行こう」

旧正月の三ヶ日に実施し3日間(2/16~2/18)で総入館者数7,259人のお客様を迎えることができた。今回、県内人気お笑いタレントの護得久栄昇氏を一日館長として起用したことで、オープニングイベントにマスコミ8社の取材が入り、大々的に報道されたことが入館者数増に繋がった。

開催期間:2018年2月16日~2月18日(3日間)

場 所:民家、常設展示室、エントランス、美術館講座室、博物館講

座室、ショップ「ゆいむい」

実施内容:「護得久栄昇 書き初めパフォーマンス」(観客150名)

「民話の語り」(観客28名)

「ミルク神お面つくり」 (参加者9名)

「トコトコ歩くおもちゃ作り」(参加者52名)

「民家でぶくぶく茶を楽しもう!!!」(2日間計 体験14名、販売93名)

「講座・首里城のお正月」(受講40名)

「護得久栄昇 お笑いライブ」 (観客200名)

「学芸による展示解説講座」(参加者35名)

「福引き抽選会」(参加者3日間計430名)

「首里城のお飾りの展示」(3日間)

入館者数:16日(金)1,786名(前年同催事比 165%) ※2017年元日 1,080名

17日(土) 2,204名(前年同催事比 270%) ※2017年1月2日814名

18日(日)3,269名(前年同催事比 340%) ※2017年1月3日 959名

取材件数:8件 内訳/テレビ4局(沖縄テレビ、琉球放送、NHK沖縄、OCN)新聞4社(琉球新報社、

沖縄タイムス、八重山日報、八重山毎日)

(福治 広規)



# V 燻蒸·消毒処理

2017年度は、2007年度から実施している総合的防害虫管理 (IPM) の運用を継続して行い、活動として、年2回の全館を休館しての燻蒸・消毒処理、簡易燻蒸・消毒処理、IPMモニタリング等を行い、毎月1回のIPM全体会議にて連絡・報告などを行っている。その目的は、収蔵資料の保存管理のため、定期的な消毒作業を行い、保存環境の適正化に努めている。

## (1) 2017年度 全館燻蒸・消毒処理

第1回 全館燻蒸·消毒

期 間:2017年(平成29)6月26日(月)~7月5日(水)10日間

使用薬剤:シフェノトリン(商品名:ブンガノン)

処理方法:シフェノトリンを気化し、害虫に呼吸毒として作用させ殺虫

第2回 燻蒸・消毒

期 間:2018年(平成30)2月20日(火)~2月22日(木)3日間

消毒箇所:収蔵庫・バックヤード(美)・実習準備室 使用薬剤:シフェノトリン(商品名:ブンガノン)

処理方法:シフェノトリンを気化し、害虫に呼吸毒として作用させ殺虫

# (2) 簡易燻蒸・消毒処理

各トラックヤードに自動噴霧装置設置(博物館3か所、美術館2か所、県民ギャラリー1か所)を設置、毎日深夜に散布(スミスリン乳剤) 開閉する場所の害虫駆除に実施している。

又、必要に応じて作品等の燻蒸・消毒を「ふくろう君」(二酸化炭素)を実施している。

(宮里 宗彦)

# VI 刊行物

# (全 体)

	刊 行 物 名	種 類	部 数	規格 (頁)	内 容
1	沖縄県立博物館・美術館 年報No.10	定期	400	A 4 (224)	前年度の博物館・美術館 活動報告
2	平成29年度 沖縄県立博物館・美術館 展覧会のご案内	IJ			博物館・美術館行事案内

#### (博物館班)

	刊 行 物 名	種 類	部 数	規格 (頁)	内 容
1	企画展「新収蔵品展 -平成28年度収蔵 資料-」	"	700	A 4 (28)	企画展 図録
2	<i>"</i> ポスター	11			展示会告知ポスター
3	<i>"</i> チラシ	"		A 4	展示会告知チラシ
4	企画展「ウィルソンが見た沖縄 -琉球 の植物研究史100年とともに-」	不定期	1000	A4 (8)	企画展 図録
5	<i>"</i> ポスター	11		A 2	展示会告知ポスター
6	<i>"</i> チラシ	不定期		A 4	展示会告知チラシ
7	開館10周年記念特別展「海の沖縄 - 開かれた海への挑戦-」	"	1000	A 4 (88)	特別展 図録
8	<i>"</i> ポスター	不定期		B 2	展示会告知ポスター
9	II チラシ	"		A 4	展示会告知チラシ
10	「沖縄県南城市サキタリ洞遺跡発掘調 査報告書 I 」	11	700	A 4 (278)	発掘調査報告書
11	沖縄県立博物館・美術館開館10周年記念 「博物館収蔵資料100選」	11	975	B 5 (215)	博物館の収蔵資料の紹介

	刊 行 物 名	種 類	部 数	規格 (頁)	内 容
12	沖縄県立博物館・美術館開館10周年記念 「博物館収蔵品目録 2001-2016」	11	200	A 4 (204)	2001年から2006年までの 収蔵品目録
13	沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要 第11号	定期	500	A 4 (158)	博物館学芸員の調査研究 報告書
14	平成29年度 博物館教育普及活動	"	1000	A 4 (131)	博物館教育普及活動報告

# (美術館班)

	刊 行 物 名	種 類	部 数	規格(頁)	内 容
1	沖縄本土復帰45年特別展「写真家が見つめた沖縄 1972-2017」チラシ	不定期		A 4	展覧会告知チラシ
2	美術館コレクション展「開館10周年特別展 ニューコレクションシリーズ3安次富長昭展 一光・風・土への憧憬」「沖縄美術の流れ」チラシ	II			展覧会告知チラシ
3	コレクション展「《今帰仁城盛衰記》 知られざる金城安太郎の仕事」「ベトナム 絵画展」「沖縄美術の流れ」チラシ	II		297 × 105 mm	展覧会告知チラシ
4	開館10周年記念展「彷徨の海 — 旅する 画家・南風原朝光と台湾、沖縄」「邂逅 の海 交差するリアリズム」ポスター	"		B 2	展覧会告知ポスター
5	開館10周年記念展「彷徨の海 — 旅する 画家・南風原朝光と台湾、沖縄」「邂逅 の海 交差するリアリズム」チラシ	11		A 4	展覧会告知チラシ
6	開館10周年記念展「彷徨の海 — 旅する 画家・南風原朝光と台湾、沖縄」図録	"	1000	A 4 変形 297×215mm	展覧会図録
7	開館10周年記念展「邂逅の海 交差する リアリズム」図録	"	1000	A 4 変形 297×215mm	展覧会図録
8	『開館10周年記念展「彷徨の海」「彷徨 の海」関連年表 沖縄近代美術年表+台 湾近代美術事項』	"	1000	A 4 変形 297×215mm	展覧会図録別冊
9	コレクション展「大和コレクション <b>™</b> 」 「沖縄美術の流れ(後期)」チラシ	"		A 4	展覧会告知チラシ
10	平成29年度 美術館教育普及活動報告 書	定期	800	B 5	美術館教育普及活動報告 書

# Ⅷ 展覧会一覧 (2017年度)

	展示会名	場所	主催	期間
1	沖縄本土復帰45年特別展 写 真家がみつめた沖縄 1972-2 017	美術館コレクションギャ ラリー1、県民ギャラリー 1・2・3	沖縄県立博物館·美術館	4/25~5/21
2	開館10周年特別展 コレクションシリーズ3 安次富長昭 展一光・風・土への憧憬	美術館コレクションギャ ラリー2	沖縄県立博物館・美術館	4/25~10/15
3	沖縄美術の流れ(前期)	美術館コレクションギャ ラリー3	沖縄県立博物館·美術館	4/25~10/15
4	やんばるの森の美 -写真展	美術館企画ギャラリー 1・2	(一財)沖縄美ら島財団	$5/6 \sim 6/25$
5	《今帰仁城盛衰記》-知られざ る金城安太郎の仕事-	美術館コレクションギャ ラリー1	沖縄県立博物館·美術館	5/23~6/25
6	新収蔵品展 一平成28年度収 蔵資料-	博物館企画展示室	沖縄県立博物館·美術館	5/23~6/25
7	未来へ沖縄を伝え残す 博物 館70年のあゆみ	博物館特別展示室1・2	沖縄県立博物館·美術館	5/23~6/25

	展 示 会 名	場所	主催	期間
8	平成29年度大阪府立弥生博物館 夏季特別展 沖縄の旧石 器人と南島文化	大阪府立弥生博物館	大阪府立弥生博物館 沖縄県立博物館·美術館	7/1~9/18
9	ベトナム絵画展	美術館コレクションギャ ラリー1	沖縄県立博物館·美術館	7/6~10/15
10	Learn&Play! teamLab Future P arkーチームラボアイランド 学ぶ!未来の遊園地ー	美術館企画ギャラリー 1・2	Learn&Play! teamLab Future Park in 沖縄実行 委員会(琉球新報社、一 般財団法人沖縄美ら島 財団、チームラボキッ ズ)	7/15~9/18
11	水族館でも出会えない海のビ ックリ生物展	博物館企画展示室、特別展 示室 1 · 2	(一財)沖縄美ら島財団	7/18~8/27
12	描かれた首里·那覇〜バーズア イから見た琉球〜	常設展歷史部門展示室	(一財)沖縄美ら島財団、沖縄県立博物館・美 術館	7 /25~10/9
13	首里城公園開園25周年 博物館・美術館開館10周年記念特別展ー首里城の25年 平成の復元-	博物館特別展示室2 ※7/25~10/9に博物館常設 展示室の歴史部門展示室で関 連企画	(一財)沖縄美ら島財団	9 / 7 ~10/15
14	ウィルソンがみた沖縄 - 琉球 の植物研究史100年とともに-	博物館特別展示室 1 · 2	沖縄県立博物館・美術館、(一財)沖縄美ら島 財団	9/8~10/15
15	開館10周年記念特別展 海の 沖縄	博物館企画展示室、特別展 示室 1 · 2	沖縄県立博物館·美術館	11/1~1/14
16	開館10周年特別企画 彷徨の 海ー旅する画家・南風原朝光と 台湾、沖縄	美術館コレクションギャラリー $1 \cdot 2 \cdot 3$ 、ホワイエ	沖縄県立博物館・美術館	11/1~2/4
17	開館10周年特別企画 邂逅の 海 交差するリアリズム	美術館企画ギャラリー 1・2、アトリウム	沖縄県立博物館·美術館	12/19~2/4
18	大嶺薫コレクション	博物館特別展示室1	沖縄県立博物館·美術館	$2/1 \sim 3/11$
19	大和コレクションⅧ	美術館コレクションギャ ラリー1・2	沖縄県立博物館·美術館	2/23~6/24
20	沖縄美術の流れ(後期)	美術館コレクションギャ ラリー3	沖縄県立博物館·美術館	2/23~6/24

# その他の活動

- I 沖縄県博物館協会
- Ⅱ 全国組織との関わり
- Ⅲ 沖縄博物館友の会
- IV happ (美術館友の会)

# I 沖縄県博物館協会

当館からの参加者については「博物館 I. 調査研究等の活動 5. 職員研修」の項を参照のこと。

#### 【総会・春の研修会】

期 日:2017年5月18日(木)~19日(金)

場 所:那覇市若狭公民館 ホール

総 会:議案第1号 平成28年度事業実施報告について

議案第2号 平成28年度決算報告について

議案第3号 平成29年度事業計画案について

議案第4号 平成29年度予算案について

その他 沖縄県博物館協会退館及び訃報の報告について

事務局からの連絡事項

研修会1日目 研修1:国際通り巡見「那覇の戦後復興を歩く」外間 政明(那覇市文化課)

研修2:那覇市壺屋焼物博物館「展示とLED照明の改装について」倉成 太郎(那覇市文

化課)

研修会2日目 テーマ「文化財の修復・復元・活用」

報告1「那覇市歴史博物館における尚家資料の修復・復元・活用」

外間 政明(那覇市文化課)

報告2「沖縄美ら島財団の文化財復元事業について」

上江洲 安亨(沖縄美ら島財団)

報告3「沖縄県立博物館・美術館がすすめる琉球王国文化遺産集積・再興事業の概要」

園原 謙(沖縄県立博物館・美術館)

#### 【秋の研修会】

期 日:2017年11月20日(月)~11月21日(火)

場 所:東村立 山と水の生活博物館

研修1日目 報告1「野生生物の保護活動」 渡久山 尚子(東村立 山と水の生活博物館)

特別講演「ヤンバルクイナの明日をつくる〜絶滅回避から回復〜」

講師:長嶺 隆 (NPO法人どうぶつたちの病院沖縄理事長)

報告2「やんばる国立公園と世界自然遺産登録にむけて」

池田 千紘 (那覇自然環境事務所やんばる自然保護官事務所 自然保護官)

研修2日目 現地研修:東村立山と水の生活博物館集合

ノグチゲラ営巣木地点~福地ダム資料館~大保ダム巡見

東村立山と水の生活博物館にて研修会総括

# Ⅱ 全国の組織との関わり

#### 1 日本博物館協会

(1) 日本博物館協議会参与会·支部長会

日 時:2017年7月11日(火)

場 所:日本博物館協会黒田記念館別館

参加者:田名 真之

(2) 全国博物館館長会議

日 時:2017年7月12日(水)

場所:文部科学省講堂参加者:田名 真之

(3)全国博物館館長大会

日 時:2017年11月29日(日)~12月1日(水)

場 所:大分県 iichiko総合文化センター・大分県立美術館

参加者:田名 真之

# 2 国立科学博物館主催 S-Net関連研修

(1) 第29回自然史標本データ整備事業による標本情報の発信に関する研修会

日 時:2017年4月24日(月)

場 所:国立科学博物館 上野本館

参加者:山﨑 仁也

概 要:自然史標本情報発信を理解するための基礎知識

## 3 全国科学博物館協議会

(1) 全国科学博物館協議会総会及び研究発表大会

日 時:2018年2月15日(木)·16日(金)

場 所:福岡市科学館 参加者:山﨑 仁也

概 要:テーマ「地域文化の核となる博物館〜地域振興の視点から」

# 4 九州博物館協議会

(1) 九州博物館協議会理事会・総会・現地研修

日 時:2017年5月10日(水)~12日(金)

場所:熊本県立美術館(熊本市)参加者:田名 真之、園原 謙

(2) 第47回九州博物館協議会秋季研修会

日 時:2017年10月19日(木)~20日(金)

場 所:大分県立美術館(大分市) 参加者:田名 真之、園原 謙

# 5 全国歷史民俗系博物館協議会

(1) 第11回・第12回 全国歴史民俗系博物館協議会幹事館・総会

日 時:2017年7月12日(水)~14日(金)

場 所:九州国立博物館(福岡県)

参加者:園原 謙

# Ⅲ 沖縄博物館友の会

沖縄県立博物館友の会は、「博物館の事業に積極的に参加、協力し、さらに会員相互の教養を高め、親睦をはかる」ことを目的として1980年(昭和55)に発足した。

本年度の会員の内訳は、一般会員310名、家族会員51家族(103名)、賛助会員3ヶ所。

博物館・美術館の諸事業に積極的に参加し、博物館ボランティア活動への支援、広く県民を対象とした文 化講演会や会員を対象とした研修会を開催し、博物館常設展示室への展示交流員事業を実施した。

2017 (平成29) 年度の事業内容は以下のとおり。

201	7(平成29)年度の事業内容は以下のとおり。	
	事業名及び事業内容	
1	『沖縄芝居鑑賞教室』 開催日:2017年6月24日(土) 場 所:国立劇場おきなわ 演 目:社会人のための組踊鑑賞教室「執心鐘入」 参加者:17名	
2	【文化講演会】 『エイサーとは?』-エイサーの多様性と現在的変容- 開催日:2017年9月10日(日) 講 師:久万田 晋 主 催:沖縄県立博物館友の会 共 催:沖縄美ら島財団 聴 講:117名	The second secon
3	【とみぐすく民俗探訪】 『6年に一度の保栄茂の巻チ棒・大豊年祭』鑑賞 開催日:2017年10月8日(日) 内容:沖縄空手会館 豊見城市歴史民俗資料展示室、 保栄茂馬上会場 参加者:39名	
4	【交流員研修】 『展示交流員研修・懇親会』 開催日:2017年10月30日(月) 講 話:「第一尚氏から第二尚氏へ引き継いだもの (祭祀を中心として)」 講 師:仲間孝藏友の会会長 参 加:46名 懇親会:大地の恵み 参 加:47名	
5	【歴史探訪】 『浦添の歴史と戦跡めぐり』 開催日:2017年11月16日(木) 講 師:仲間孝藏友の会会長 内 容:浦添グスク・ようどれ館 浦添ようどれ 前田幸地ほか 参加者:26名(講師含む)	
6	【県外研修】 『長崎のキリスト教関連遺産とランタン祭り』 開催日:2018年2月27日(火)~3月1日(木) 内容:堂崎天主堂・水ノ浦教会他(長崎県五島) 長崎ランタンフェスティバル 他長崎市内観光 参加者:23名(添乗員1名含む)	

#### 【会誌発行】

年1回 博友

#### 【会員への情報提供】

- ①友の会通信「ちゃーびら」隔月発行・送付
- ②友の会事業の講演会・研修旅行・印刷物の案内及び文書発送

#### 【サークル活動】

家譜サークル (毎月1回勉強会実施)

### 【博物館サポート】

- ①博物館常設展示室展示交流員の配置業務
- ②文化講演会及び学芸員講座当日の資料整理と受付
- ③「ボランティア通信」発送、支援
- ④博物館・美術館移動展支援

# Ⅳ happ (特定非営利活動法人 沖縄県立美術館支援会happ)

happは2005年(平成17)に沖縄県立美術館の活躍をサポートする組織として誕生した。同年9月に特定非営利活動法人の認証を受ける。happという名称は、happyやhappenの起源となるスカンジナビア語の「happ(幸福)」からきている。h=happiness(しあわせ)・happening(できごと)、a=art(アート)、p=people(人々)、p=place(場所)の意味を込めている。アートを身近に感じ、アートを創造するような活動を通じて、それぞれの「happ=しあわせ」を見つけられる場所を作っていきたいと考え、主に美術館の教育普及活動をサポートしていく団体です。

## (1) 2017 (平成29) 年度主催事業

	事業名	事業内容	日時	開催場所	参加人数
1	「ゆんたくミュージ アムツアー」普及促進 活動事業(補助事業)	広報用チラシ作成・配布 企業・福祉団体向け概要パンフレット作成・配布	2017年10月~2018年3月	_	_
2	「ゆんたくミュージ アムツアー」普及促進 活動事業(補助事業)	企業向けゆんたくミュージアムツ アーのプレ実施	2018年3月7日(水)	美術館コレク ションギャラ リー	8名
3	ゆんたくミュージア ムツアー (一般向け)	対話型ミュージアムツアー (一般向け)	2017年5月~ 2018年3月 (計5回)	美術館コレク ションギャラ リー	のべ 35名
4	ゆんたくミュージア ムツアー (難聴者向 け)	対話型ミュージアムツアー (難聴 者向け)	2017年9月~2018年3月	美術館コレク ションギャラ リー	のべ 15名

	事業名	事業内容	日時	開催場所	参加人数
5	教育普及部会・地域連 携部会事業	那覇紙ヒコーキ大会2017・似顔絵 コーナー出展	2017年11月26	那覇新都心公 園大原っぱ(芝 生スペース)	120 名
6	情報発信部会事業	   Happ情報誌「オタカラ」の発行	2017年4月~2018年3月	_	
7	情報発信部会事業	FMレキオ happ step jump ミュージックアワー  FM 新球 80.6 FML EQUID	2017年4月~2018年3月	FMレキオ	_

# (2) 2017 (平成29) 年度受託事業

	事業名	事業内容	日時	開催場所	参加人数
1	受託事業	美術館コレクションギャラリー 展示監視業務	2017年4月~ 2018年3月	美術館コレクショ ンギャラリー、 happ事務所	40名

# (3) 2017 (平成29) 年度販売事業

	事業担当部会	事業内容	日時	開催場所	参加人数
1	肥丰事業	間   古回母   皿フ炊の販吉	2017年4月~	ミュージアムショ	
1	販売事業   関連図録	関連図録、冊子等の販売	2018年3月	ップ	

# (4) 2017 (平成29) 年度共催事業

	事業名	事業内容	日時	開催場所	参加人数
1	教育普及部会事業	沖縄県芸術文化祭 美術体験教室 似顔絵体験教室【主催】沖縄県文 化振興会	2017年11月19日 (日)		

# (5) 2017 (平成29) 年度協力事業

	事業名	事業内容	日時	開催場所	参加人数
1	児童作品鑑賞会	沖縄県立芸術大学・大学院造形芸術研究科卒業・修了作品展(児童作品鑑賞会)天久小学校5年生対象【主催】沖縄県立芸術大学	2017年2月16日(金)	美術館企画展 示室 県民ギャラリ 一他	127名

# 関係法規抄録

- ○博物館法 ○博物館法施行令
- ○博物館と施行規則
  ○博物館の登録に関する規則
- ○沖縄県教育委員会の権限事務の一部を知事の補助機関である職員及びその管理に属する行政機 関の長に委任する規則
- ○沖縄県立博物館・美術館の管理に関する事務を執行するための組織に関する規則
- ○沖縄県立博物館・美術館の設置及び管理に関する条例
- ○沖縄県立博物館・美術館管理規則 ○沖縄県立博物館・美術館館長執務規程
- ○沖縄県立博物館保管資料の利用に関する取扱要領
- ○沖縄県立博物館・美術館共催及び後援等に関する取扱要領

# 関係法規抄録

○博物館法

昭和26年12月1日法律第285号 [最終改正] 平成26年6月4日法律第51号

#### 第1章 総則

#### (この法律の目的)

第1条 この法律は、社会教育法 (昭和24年法律第207号) の精神に基き、博物館の設置及び運営に関して必要な事項を定め、その健全な発達を図り、もつて国民の教育、学術及び文化の発展に寄与することを目的とする。

#### (余 美)

- 第2条 この法律において「博物館」とは、歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等に関する資料を収集し、保管(育成を含む。以下同じ。)し、展示して教育的配慮の下に一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するために必要な事業を行い、あわせてこれらの資料に関する調査研究をすることを目的とする機関(社会教育法 による公民館及び図書館法 (昭和25年法律第118号)による図書館を除く。)のうち、地方公共団体、一般社団法人若しくは一般財団法人、宗教法人又は政令で定めるその他の法人(独立行政法人(独立行政法人通則法 (平成11年法律第103号)第2条第1項 に規定する独立行政法人をいう。第29条において同じ。)を除く。)が設置するもので次章の規定による登録を受けたものをいう。
- 2 この法律において、「公立博物館」とは、地方公共団体の設置する博物館をいい、「私立博物館」とは、一般社団法人若しくは一般財団法人、宗教法人又は前項の政令で定める法人の設置する博物館をいう。
- 3 この法律において「博物館資料」とは、博物館が収集し、保管し、又は展示する資料(電磁的記録(電子的方式、磁気的方式その他人の知覚によつては認識することができない方式で作られた記録をいう。)を含む。)を含む。)

#### (博物館の事業)

- 第3条 博物館は、前条第1項に規定する目的を達成するため、おおむね次に掲げる事業を行う。
  - (1) 実物、標本、模写、模型、文献、図表、写真、フィルム、レコード等の博物館資料を豊富に収集し、保管し、及び展示すること。
  - (2) 分館を設置し、又は博物館資料を当該博物館外で展示すること。
  - (3) 一般公衆に対して、博物館資料の利用に関し必要な説明、助言、指導等を行い、又は研究室、実験室、工作室、図書室等を設置してこれを利用させること。
  - (4) 博物館資料に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。
  - (5) 博物館資料の保管及び展示等に関する技術的研究を行うこと。
  - (6) 博物館資料に関する案内書、解説書、目録、図録、年報、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。
  - (7) 博物館資料に関する講演会、講習会、映写会、研究会等を主催し、及びその開催を援助すること。
  - (8) 当該博物館の所在地又はその周辺にある文化財保護法 (昭和二十五年法律第二百十四号)の適用を受ける文化財について、解 説書又は目録を作成する等一般公衆の当該文化財の利用の便を図ること。
  - (9) 社会教育における学習の機会を利用して行つた学習の成果を活用して行う教育活動その他の活動の機会を提供し、及びその提供を奨励すること。
  - (10) 他の博物館、博物館と同一の目的を有する国の施設等と緊密に連絡し、協力し、刊行物及び情報の交換、博物館資料の相互貸借等を行うこと。
  - (11) 学校、図書館、研究所、公民館等の教育、学術又は文化に関する諸施設と協力し、その活動を援助すること。
- 2 博物館は、その事業を行うに当つては、土地の事情を考慮し、国民の実生活の向上に資し、更に学校教育を援助し得るようにも留音したければたらない

#### (館長、学芸員その他の職員)

- 第4条 博物館に、館長を置く。
- 2 館長は、館務を掌理し、所属職員を監督して、博物館の任務の達成に努める。
- 3 博物館に、専門的職員として学芸員を置く。
- 4 学芸員は、博物館資料の収集、保管、展示及び調査研究その他これと関連する事業についての専門的事項をつかさどる。
- 5 博物館に、館長及び学芸員のほか、学芸員補その他の職員を置くことができる。
- 6 学芸員補は、学芸員の職務を助ける。

#### (学芸員の資格)

- 第5条 次の各号のいずれかに該当する者は、学芸員となる資格を有する。
  - (1) 学士の学位を有する者で、大学において文部科学省令で定める博物館に関する科目の単位を修得したもの
  - (2) 大学に2年以上在学し、前号の博物館に関する科目の単位を含めて62単位以上を修得した者で、3年以上学芸員補の職にあったもの
- (3) 文部科学大臣が、文部科学省令で定めるところにより、前二号に掲げる者と同等以上の学力及び経験を有する者と認めた者 前項第2号の学芸員補の職には、官公署、学校又は社会教育施設(博物館の事業に類する事業を行う施設を含む。)における職で、社会教育主事、司書その他の学芸員補の職と同等以上の職として文部科学大臣が指定するものを含むものとする。

#### (学芸員補の資格)

第6条 学校教育法 (昭和22年法律第26号) 第90条第1項 の規定により大学に入学することのできる者は、学芸員補となる資格を有する。

#### (学芸員及び学芸員補の研修)

第7条 文部科学大臣及び都道府県の教育委員会は、学芸員及び学芸員補に対し、その資質の向上のために必要な研修を行うよう努めるものとする。

#### (設置及び運営上望ましい基準)

第8条 文部科学大臣は、博物館の健全な発達を図るために、博物館の設置及び運営上望ましい基準を定め、これを公表するものとする

#### (運営の状況に関する評価等)

第9条 博物館は、当該博物館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき博物館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

#### (運営の状況に関する情報の提供)

第9条の2 博物館は、当該博物館の事業に関する地域住民その他の関係者の理解を深めるとともに、これらの者との連携及び協力の 推進に資するため、当該博物館の運営の状況に関する情報を積極的に提供するよう努めなければならない。

#### 第2章 登録

#### (登録)

第10条 博物館を設置しようとする者は、当該博物館について、当該博物館の所在する都道府県の教育委員会に備える博物館登録原簿 に登録を受けるものとする。

#### (登録の申請)

- 第11条 前条の規定による登録を受けようとする者は、設置しようとする博物館について、左に掲げる事項を記載した登録申請書を都 道府県の教育委員会に提出しなければならない。
  - (1) 設置者の名称及び私立博物館にあつては設置者の住所
  - (2) 名称
  - (3) 所在地
- 2 前項の登録申請書には、次に掲げる書類を添付しなければならない。
  - (1) 公立博物館にあつては、設置条例の写し、館則の写し、直接博物館の用に供する建物及び土地の面積を記載した書面及びその図面、当該年度における事業計画書及び予算の歳出の見積りに関する書類、博物館資料の目録並びに館長及び学芸員の氏名を記載した書面
  - (2) 私立博物館にあつては、当該法人の定款の写し又は当該宗教法人の規則の写し、館則の写し、直接博物館の用に供する建物 及び土地の面積を記載した書面及びその図面、当該年度における事業計画書及び収支の見積りに関する書類、博物館資料の 目録並びに館長及び学芸員の氏名を記載した書面

#### (登録要件の審査)

- 第12条 都道府県の教育委員会は、前条の規定による登録の申請があつた場合においては、当該申請に係る博物館が左に掲げる要件を備えているかどうかを審査し、備えていると認めたときは、同条第一項各号に掲げる事項及び登録の年月日を博物館登録原簿に登録するとともに登録した旨を当該登録申請者に通知し、備えていないと認めたときは、登録しない旨をその理由を附記した書面で当該登録申請者に通知しなければならない。
  - (1) 第2条第1項に規定する目的を達成するために必要な博物館資料があること。
  - (2) 第2条第1項に規定する目的を達成するために必要な学芸員その他の職員を有すること。
  - (3) 第2条第1項に規定する目的を達成するために必要な建物及び土地があること。
  - (4) 1年を通じて150日以上開館すること。

#### (登録事項等の変更)

- 第13条 博物館の設置者は、第11条第1項各号に掲げる事項について変更があつたとき、又は同条第2項に規定する添付書類の記載事項について重要な変更があつたときは、その旨を都道府県の教育委員会に届け出なければならない。
- 2 都道府県の教育委員会は、第11条第1項各号に掲げる事項に変更があつたことを知つたときは、当該博物館に係る登録事項の変更 登録をしなければならない。

#### (登録の取消)

- 第14条 都道府県の教育委員会は、博物館が第12条各号に掲げる要件を欠くに至つたものと認めたとき、又は虚偽の申請に基いて登録 した事実を発見したときは、当該博物館に係る登録を取り消さなければならない。但し、博物館が天災その他やむを得ない事由によ り要件を欠くに至つた場合においては、その要件を欠くに至つた日から2年間はこの限りでない。
- 2 都道府県の教育委員会は、前項の規定により登録の取消しをしたときは、当該博物館の設置者に対し、速やかにその旨を通知しなければならない。

#### (博物館の廃止)

- 第15条 博物館の設置者は、博物館を廃止したときは、すみやかにその旨を都道府県の教育委員会に届け出なければならない。
- 2 都道府県の教育委員会は、博物館の設置者が当該博物館を廃止したときは、当該博物館に係る登録をまつ消しなければならない。

#### (規則への委任)

第16条 この章に定めるものを除くほか、博物館の登録に関し必要な事項は、都道府県の教育委員会の規則で定める。

第17条 削除

#### 第3章 公立博物館

#### (設置)

第18条 公立博物館の設置に関する事項は、当該博物館を設置する地方公共団体の条例で定めなければならない。

#### (所管)

第19条 公立博物館は、当該博物館を設置する地方公共団体の教育委員会の所管に属する。

#### (博物館協議会)

第20条 公立博物館に、博物館協議会を置くことができる。

- 2 博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関とする。
- 第21条 博物館協議会の委員は、当該博物館を設置する地方公共団体の教育委員会が任命する。
- 第22条 博物館協議会の設置、その委員の任命の基準、定数及び任期その他博物館協議会に関し必要な事項は、当該博物館を設置する 地方公共団体の条例で定めなければならない。この場合において、委員の任命の基準については、文部科学省令で定める基準を参酌 するものとする。

#### (入館料等)

第23条 公立博物館は、入館料その他博物館資料の利用に対する対価を徴収してはならない。但し、博物館の維持運営のためにやむを 得ない事情のある場合は、必要な対価を徴収することができる。

# (博物館の補助)

- 第24条 国は、博物館を設置する地方公共団体に対し、予算の範囲内において、博物館の施設、設備に要する経費その他必要な経費の一部を補助することができる。
- 2 前項の補助金の交付に関し必要な事項は、政令で定める。

#### 第25条 削除

#### (補助金の交付中止及び補助金の返還)

- 第26条 国は、博物館を設置する地方公共団体に対し第24条の規定による補助金の交付をした場合において、左の各号の一に該当するときは、当該年度におけるその後の補助金の交付をやめるとともに、第一号の場合の取消が虚偽の申請に基いて登録した事実の発見に因るものである場合には、既に交付した補助金を、第三号及び第四号に該当する場合には、既に交付した当該年度の補助金を返還させなければならない。
  - (1) 当該博物館について、第十四条の規定による登録の取消があつたとき。
  - (2) 地方公共団体が当該博物館を廃止したとき。
  - (3) 地方公共団体が補助金の交付の条件に違反したとき。
  - (4) 地方公共団体が虚偽の方法で補助金の交付を受けたとき。

#### 第4章 私立博物館

#### (都道府県の教育委員会との関係)

- 第27条 都道府県の教育委員会は、博物館に関する指導資料の作成及び調査研究のために、私立博物館に対し必要な報告を求めることができる。
- 2 都道府県の教育委員会は、私立博物館に対し、その求めに応じて、私立博物館の設置及び運営に関して、専門的、技術的の指導又は助言を与えることができる。

#### (国及び地方公共団体との関係)

第28条 国及び地方公共団体は、私立博物館に対し、その求めに応じて、必要な物資の確保につき援助を与えることができる。

#### 第5章 雑則

#### (博物館に相当する施設)

第29条 博物館の事業に類する事業を行う施設で、国又は独立行政法人が設置する施設にあつては文部科学大臣が、その他の施設にあつては当該施設の所在する都道府県の教育委員会が指定都市の区域内に所在する場合にあつては、当該指定都市の教育委員会)が、文部科学省令で定めるところにより、博物館に相当する施設として指定したものについては、第27条第2項の規定を準用する。

#### 附 則(平成23年12月14日法律第122号) 拉

#### (施行期日)

- 第1条 この法律は、公布の日から起算して2月を超えない範囲内において政令で定める日から施行する。ただし、次の各号に掲げる 規定は、当該各号に定める日から施行する。
- 1 附則第6条、第8条、第9条及び第13条の規定 公布の日

#### 附 則(平成26年6月4日法律第51号) 抄

#### (施行期日)

第1条 この法律は、平成27年4月1日から施行する。

#### (罰則に関する経過措置)

第8条 この法律の施行前にした行為に対する罰則の適用については、なお従前の例による。

#### (政令への委任)

第9条 附則第2条から前条までに規定するもののほか、この法律の施行に関し必要な経過措置(罰則に関する経過措置を含む。)は、 政令で定める。

#### ○博物館法施行令

昭和27年3月20日 政令第47号 [最近改正] 昭和34年4月30日 政令第157号

#### (政令で定める法人)

第1条 博物館法(以下「法」という。)第2条第1項の政令で定める法人は、次に掲げるものとする。

- 1 日本赤十字社。
- 2 日本放送協会。

# (施設、設備に要する経費の範囲)

第2条 法第24条第1項に規定する博物館の施設、設備に要する経費の範囲は、次に掲げるものとする。

- 1 施設費 施設の建築に要する本工事費、附帯工事費及び事務費。
- 2 設備費 博物館に備えつける博物館資料及びその利用のための器材器具の購入に要する経費。

#### 附 則 (昭和34年4月30日 政令第157号) 抄

#### (施行期日)

1 この政令は、公布の日から施行する。

#### ○博物館法施行規則

昭和30年10月4日 文部省令第24号 [最終改正] 平成27年10月2日 文部科学省令第24号

#### 第1章 博物館に関する科目の単位

#### (博物館に関する科目の単位)

第1条 博物館法 (昭和26年法律第285号。以下「法」という。) 第5条第1項第1号に規定する博物館に関する科目の単位は、次の表に掲げるものとする。

科目	単位数
生涯学習概論	2
博物館概論	2
博物館経営論	2
博物館資料論	2
博物館資料保存論	2
博物館展示論	2
博物館教育論	2
博物館情報・メディア論	2
博物館実習	2

2 博物館に関する科目の単位のうち、すでに大学において修得した科目の単位又は第6条第3項に規定する試験科目について合格点を得ている科目は、これをもつて、前項の規定により修得すべき科目の単位に替えることができる。

#### (博物館実習)

- 第2条 前条に掲げる博物館実習は、博物館(法第2条第1項に規定する博物館をいう。以下同じ。) 又は法第29条の規定に基づき文部科学大臣若しくは都道府県の教育委員会の指定した博物館に相当する施設(大学においてこれに準ずると認めた施設を含む。) における実習により修得するものとする。
- 2 博物館実習には、大学における博物館実習に係る事前及び事後の指導を含むものとする。

#### 第2章 学芸員の資格認定

#### (資格認定)

第3条 法第5条第1項第3号の規定により学芸員となる資格を有する者と同等以上の学力及び経験を有する者と認められる者は、この章に定める試験認定又は無試験認定(以下「資格認定」という。)の合格者とする。

#### (資格認定の施行期日等)

- 第4条 資格認定は、毎年少なくとも各1回、文部科学大臣が行う。
- 2 資格認定の施行期日、場所及び出願の期限等は、あらかじめ、官報で公告する。ただし、特別の事情がある場合には、適宜な方法によつて公示するものとする。

#### (試験認定の受験資格)

- 第5条 次の各号のいずれかに該当する者は、試験認定を受けることができる。
  - (1) 学士の学位を有する者
  - (2) 大学に2年以上在学して62単位以上を修得した者で2年以上学芸員補の職(法第5条第2項に規定する職を含む。以下同じ。) にあつた者
  - (3) 教育職員免許法(昭和24年法律第147号)第2条第1項に規定する教職員の普通免許状を有し、2年以上教育職員の職にあった者
  - (4) 4年以上学芸員補の職にあつた者
  - (5) その他文部科学大臣が前各号に掲げる者と同等以上の資格を有すると認めた者

#### (試験認定の方法及び試験科目)

- 第6条 試験認定は、大学卒業の程度において、筆記の方法により行う。
- 2 試験認定は、2回以上にわたり、それぞれ1以上の試験科目について受けることができる。
- 3 試験科目は、次表に定めるとおりとする。

試験科目		試験認定の必要科目
必須科目	生涯学習概論	上記科目の全科目
	博物館概論	
	博物館経営論	
	博物館資料論	
	博物館資料保存論	
	博物館展示論	
	博物館教育論	
	博物館情報・メディア論	
選択科目	文化史	上記科目のうちから受験者の選択する2科目
	美術史	
	考古学	
	民俗学	
	自然科学史	
	物理	
	化学	
	生物学	
	地学	

#### (試験科目の免除)

第7条 大学において前条に規定する試験科目に相当する科目の単位を修得した者又は文部科学大臣が別に定めるところにより前条に 規定する試験科目に相当する学修を修了した者に対しては、その願い出により、当該科目についての試験を免除する。

#### 第8条 削除

#### (審査認定の受験資格)

- 第9条 次の各号のいずれかに該当する者は、審査認定を受けることができる。
  - (1) 学位規則(昭和28年文部省令第9号)による修士若しくは博士の学位又は専門職学位を有する者であつて、2年以上学芸員補の職にあつた者
  - (2) 大学において博物館に関する科目(生涯学習概論を除く。)に関し2年以上教授、准教授、助教又は講師の職にあつた者であつて、2年以上学芸員補の職にあつた者
  - (3) 次のいずれかに該当する者であつて、都道府県の教育委員会の推薦する者
    - イ 学士の学位を有する者であつて、4年以上学芸員補の職にあつた者
    - ロ 大学に2年以上在学し、62単位以上を修得した者であつて、6年以上学芸員補の職にあった者
    - ハ 学校教育法 (昭和22年法律第26号) 第90条第1項の規定により大学に入学することのできる者であつて、8年以上学芸 員補の職にあつた者
    - ニ その他11年以上学芸員補の職にあつた者
  - (4) その他文部科学大臣が前各号に掲げる者と同等以上の資格を有すると認めた者

#### (審査認定の方法)

第10条 審査認定は、次条の規定により願い出た者について、博物館に関する学識及び業績を審査して行うものとする。

#### (受験の手続)

- 第11条 資格認定を受けようとする者は、受験願書(別記第1号様式により作成したもの)に次に掲げる書類等を添えて、文部科学大臣に願い出なければならない。この場合において、住民基本台帳法(昭和42年法律第81号)第30条の7第3項の規定により同法第30条の5第1項に規定する本人確認情報の提供を受けて文部科学大臣が資格認定を受けようとする者の氏名、生年月日及び住所を確認することができるときは、第3号に掲げる住民票の写しを添付することを要しない。
  - (1) 受験資格を証明する書類
  - (2) 履歴書(別記第2号様式により作成したもの)
  - (3) 戸籍抄本又は住民票の写し(いずれも出願前6月以内に交付を受けたもの)
  - (4) 写真(出願前6月以内に撮影した無帽かつ正面上半身のもの)
- 2 前項に掲げる書類は、やむを得ない事由があると文部科学大臣が特に認めた場合においては、他の証明書をもつて代えることができる。
- 3 第7条の規定に基づき試験認定の試験科目の免除を願い出る者については、その免除を受ける資格を証明する書類を提出しなければならない。

- 4 審査認定を願い出る者については、第1項各号に掲げるもののほか、次に掲げる資料又は書類を提出しなければならない。
  - (1) 第9条第1号又は同条第2号により出願する者にあつては、博物館に関する著書、論文、報告等
  - (2) 第9条第3号により出願する者にあつては、博物館に関する著書、論文、報告等又は博物館に関する顕著な実績を証明する 書類
  - (3) 第9条第4号により出願する者にあつては、前2号に準ずる資料又は書類

#### (試験認定合格者)

- 第12条 試験科目(試験科目の免除を受けた者については、その免除を受けた科目を除く。)の全部について合格点を得た者(試験科目の全部について試験の免除を受けた者を含む。以下、「筆記試験合格者」という。)であつて、1年間学芸員補の職にあった後に文部科学大臣が認定した者を試験認定合格者とする。
- 2 筆記試験合格者が試験認定合格者になるためには、試験認定合格申請書(別記第3号様式によるもの)を文部科学大臣に提出しなければならない。

#### (審查認定合格者)

第13条 第10条の規定による審査に合格した者を審査認定合格者とする。

#### (合格証書の授与等)

- 第14条 試験認定合格者及び審査認定合格者に対しては、合格証書(別記第4号様式によるもの)を授与する。
- 2 筆記試験合格者に対しては、筆記試験合格証書 (別記第5号様式によるもの) を授与する。
- 3 合格証書を有する者が、その氏名を変更し、又は合格証書を破損し、若しくは紛失した場合において、その事由をしるして願い出たときは、合格証書を書き換え又は再交付する。

#### (合格証明書の交付等)

- 第15条 試験認定合格者又は審査認定合格者が、その合格の証明を願い出たときは、合格証明書 (別記第6号様式によるもの) を交付する。
- 2 筆記試験合格者が、その合格の証明を申請したときは、筆記試験合格証明書(別記第7号様式によるもの)を交付する。
- 3 1以上の試験科目について合格点を得た者(筆記試験合格者を除く。次条及び第17条において「筆記試験科目合格者」という。) がその科目合格の照明を願い出たときは、筆記試験科目合格証明書(別記第8号様式によるもの)を交付する。

#### (手数料)

第16条 次表の上欄に掲げる者は、それぞれその下欄に掲げる額の手数料を納付しなければならない。

上村		下欄
1	試験認定を願い出る者	一科目につき1,300円
2	審査認定を願い出る者	3,800円
3	試験認定の試験科目の全部について免除を願い出る者	800円
4	合格証書の書換え又は再交付を願い出る者	700円
5	合格証明書の交付を願い出る者	700円
6	筆記試験合格証明書の交付を願い出る者	700円
7	筆記試験科目合格証明書を願い出る者	700円

- 2 前項の規定によって納付すべき手数料は、収入印紙を用い、収入印紙は、各願書にはるものとする。ただし、行政手続等における 情報通信の技術の利用に関する法律(平成14年法律第151号)第3条第1項の規定により申請等を行った場合は、当該申請等により得 られた納付情報により手数料を納付しなければならない。
- 3 納付した手数料は、これを返還しない。

#### (不正の行為を行つた者等に対する処分)

- 第17条 虚偽若しくは不正の方法により資格認定を受け、又は資格認定を受けるにあたり不正の行為を行つた者に対しては、受験を停止し、既に受けた資格認定の成績を無効にするとともに、期間を定めてその後の資格認定を受けさせないことができる。
- 2 試験認定合格者、審査認定合格者、筆記試験合格者又は筆記試験科目合格者について前項の事実があつたことが明らかになつたときは、その合格を無効にするとともに、既に授与し、又は交付した合格証書その他当該合格を証明する書類を取り上げ、かつ、期間を定めてその後の資格認定を受けさせないことができる。
- 3 前2項の処分をしたときは、処分を受けた者の氏名及び住所を官報に公告する。

#### 第3章 博物館協議会の委員の任命の基準を条例で定めるに当たつて参酌すべき基準

第18条 法第22条の文部科学省令で定める基準は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識 経験のある者の中から任命することとする。

# 第4章 博物館に相当する施設の指定

#### (申請の手続)

- 第19条 法第29条の規定により博物館に相当する施設として文部科学大臣又は都道府県の教育委員会の指定を受けようとする場合は、博物館相当施設指定申請書(別記第9号様式により作成したもの)に次に掲げる書類等を添えて、国立の施設にあつては当該施設の長が、独立行政法人(独立行政法人通則法(平成11年法律第103号)第2号第1項に規定する独立行政法人をいう。第21条において同じ。)が設置する施設にあつては当該独立行政法人の長が文部科学大臣に、都道府県立の施設にあつては当該施設の長(大学に附属する施設にあつては当該大学の長)が、その他の施設にあつては当該施設を設置する者(大学に附属する施設にあつては当該大学の長)が当該施設の所在する都道府県の教育委員会に、それぞれ提出しなければならない。
  - (1) 当該施設の有する資料の目録
  - (2) 直接当該施設の用に供する建物及び土地の面積を記載した書面及び図面
  - (3) 当該年度における事業計画書及び予算の収支の見積に関する書類
  - (4) 当該施設の長及び学芸員に相当する職員の氏名を記載した書類

#### (指定要件の審査)

- 第20条 文部科学大臣又は都道府県の教育委員会は、博物館に相当する施設として指定しようとするときは、申請に係る施設が、次の 各号に掲げる要件を備えているかどうかを審査するものとする。
  - (1) 博物館の事業に類する事業を達成するために必要な資料を整備していること。
  - (2) 博物館の事業に類する事業を達成するために必要な専用の施設及び設備を有すること。
  - (3) 学芸員に相当する職員がいること。
  - (4) 一般公衆の利用のために当該施設及び設備を公開すること。
  - (4) 1年を通じて100日以上開館すること。
  - 2 前項に規定する指定の審査に当つては、必要に応じて当該施設の実地について審査するものとする。

第21条 文部科学大臣又は都道府県の教育委員会の指定する博物館に相当する施設(以下「博物館相当施設」という。)が第20条第1項に規定する要件を欠くに至ったときは、直ちにその旨を、国立の施設にあっては当該施設の長が、独立行政法人が設置する施設にあっては当該独立行政法人の長が文部科学大臣に、都道府県立の施設にあっては当該施設の長(大学に附属する施設にあっては当該大学の長)が、その他の施設にあっては当該施設を設置する者(大学に附属する施設にあっては当該大学の長)が当該施設の所在する都道府県の教育委員会に、それぞれ報告しなければならない。

#### 第22条 削除

第23条 文部科学大臣又は都道府県の教育委員会は、その指定した博物館相当施設に対し、第20条第1項に規定する要件に関し、必要な報告を求めることができる。

#### (指定の取消)

第24条 文部科学大臣又は都道府県の教育委員会は、その指定した博物館相当施設が第20条第1項に規定する要件を欠くに至つたものと認めたとき、又は虚偽の申請に基いて指定した事実を発見したときは、当該指定を取り消すものとする。

#### 第5章 雑則

#### (学士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められる者)

- 第25条 第5条第1号及び第9条第3号イに規定する学士の学位を有する者には、次に掲げる者を含むものとする。
  - (1) 旧大学令(大正7年勅令第388号)による学士の称号を有する者
  - (2) 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第155条第1項第2号から第8号までのいずれかに該当する者

#### (短期大学士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められる者)

- 第26条 第5条第2号及び第9条第3号ロに規定する大学に2年以上在学し、62単位以上を修得した者には、次に掲げる者を含むものとする。
  - (1) 旧大学令、旧高等学校令(大正7年勅令第389号)、旧専門学校令(明治36年勅令第61号)又は旧教員養成諸学校官制(昭和 21年勅令第208号)の規定による大学予科、高等学校高等科、専門学校又は教員養成諸学校を修了し、又は卒業した者
  - (2) 学校教育法施行規則第155条第2項各号のいずれかに該当する者

#### (修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められる者)

第27条 第9条第1号に規定する修士の学位を有する者には、学校教育法施行規則第156条各号のいずれかに該当する者を含むものとする。 (博士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められる者)

第28条 第9条第1号に規定する博士の学位を有する者には、次に掲げる者を含むものとする。

- (1) 旧学位令(大正9年勅令第200号)による博士の称号を有する者
- (2) 外国において博士の学位に相当する学位を授与された者

#### (専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められる者)

第29条 第9条第1号に規定する専門職学位を有する者には、外国において専門職学位に相当する学位を授与された者を含むものとする。

# 附則(平成24年6月29日文部科学省令第24号)

#### (施行期日)

1 この省令は、住民基本台帳法の一部を改正する法律(平成21年法律第77号)の一部及び出入国管理及び難民認定法及び日本国との 平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法の一部を改正する等の法律(平成21年法律第79号)の施行 の日(平成24年7月9日)から施行する。

#### (経過措置)

2 この省令の施行の日から起算して6月を経過する日までの間における改正後の博物館法施行規則第11条第1項第3号の規定の適用については、同号中「住民票の写し」とあるのは、「住民票の写し(日本の国籍を有しない者にあつては、住民票の写し又は出入国管理及び難民認定法及び日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法の一部を改正する等の法律第4条の規定による廃止前の外国人登録法(昭和27年法律第125号)に規定する登録原票の写し若しくは登録原票記載事項証明書)」とする。

#### 附 則 (平成27年10月2日文部科学省令第34号) 抄

#### (施行期日)

1 この省令は、平成27年10月5日から施行する。

#### ○博物館の登録に関する規則

昭和50年5月8日 教育委員会規則第5号 [最終改正] 平成6年3月31日 教育委員会規則第2号

#### (趣 旨)

第1条 この規則は、博物館法(昭和26年法律第285号。以下「法」という。)第16条の規定に基づき博物館の登録に関し、必要な事項を定めるものとする。

#### (登録原簿等の様式)

第2条 法第10条、第11条第1項及び第11条第2項に規定する登録原簿等の名称及び様式は、次の表に掲げるとおりとする。

根拠条項	名称	様式
法第10条	博物館登録原簿	第1号様式
法第11条第1項	博物館登録申請書	第2号様式
法第11条第2項	博物館資料目録	第3号様式

#### (博物館登録申請書の添付書類)

第3条 博物館登録申請書には、法第11条第2項に規定する書類のほか、職員名簿(第4号様式)を添付するものとする。

#### (登録要件の審査)

第4条 法第12条の規定による登録要件の審査及び法第14条第1項の規定による登録の取消しを県教育委員会が行う場合は、当該博物館に対し、必要な資料を求め実地調査及び学識経験者の意見を聴くことができる。

#### (登録事項等の変更)

第5条 法第13条第1項の規定による変更の届出は、そのつど博物館登録事項等変更届出書(第5号様式)によつて行うものとする。 ただし、博物館資料目録の軽微な変更については、毎年3月末日に届け出るものとする。

# (博物館の廃止)

第6条 法第15条の規定による博物館の廃止の届出は、博物館廃止届(第6号様式)により行うものとする。

#### (公 示)

第7条 県教育委員会は、博物館の登録若しくは登録事項等の変更があつたとき、又は登録の取消し若しくはまつ消を行つたときは、 その旨を沖縄県公報により公示するものとする。

#### 附則

#### (平成6年3月31日教育委員会規則第2号)

この規則は、平成6年4月1日から施行する。

第1号様式

(第2条関係)

%

博物館登錄原簿 渙 礟 # 严 田 Ш #田 Ш Πþ 記号番号 無 ※設置者 の名称及 び住所 4 菸 型 所在 靊 业

礟

沖縄県教育委員会

(第2条関係) 第2号様式

博物館登録申請書

中日

쒀 皿 ##11 文年

申請者 氏名

믒

博物館法第11条第1項の規定により、下記施設を博物館として登録されるよう別添関係書類 等を添えて申請します。

밅

設置者の名称

私立博物館設置者の住所

ዾ 灓 変  $\mathbb{H}$ 

 $\blacksquare$ Ш 名称

所在地

 $\blacksquare$ 

備考 この申請書には、次の書類を添付すること。

- 公立博物館にあつては設置条例の写し、私立博物館にあつては、法人の定款若しく は寄附行為の写し又は宗教法人の規則の写し
- 館則の写し

鸿 徽 変  $\mathbb{H}$ 

Щ

#

- 直接博物館の用に供する建物及び面積を記載した書面並びにその図面 (2) (3)
- 当該年度における事業計画書及び公立博物館にあつては予算の歳出の見積もり、私 立博物館にあっては収支の見積もりに関する書類 (4)
- 博物館資料の目録並びに館長の氏名及び学芸員の種類ごとの氏名を記載した書面 (2)
  - 学芸員は、その資格を有することを証するにたる書類

(A4版)

(※公立の場合は設置者の名称のみ記入)

 $\blacksquare$ 

第3号様式 (第2条関係)

博物館資料目錄

博物館名

第4号様式 (第3条関係)

職員名簿

博物館名

無						
担当職務						
博物館職員と しての勤務年数						
平 秦						
職名						
氏名						
海市						

(A4版)

(A4版)

備考 取得年月日 資料の種類及び数量 数量 品 規格 資料の種別 自然科学に関する資料 人文科学に関する資料 名称 新布 種別

博物館法第15条第1項の規定により、下記のとおり届けます。 施 毂 名 届出者氏名 Ш 博物館廃止届  $\blacksquare$ 딡 #ш 止後の財産処分  $\blacksquare$ その他参考となるべき事項 Щ 沖縄県教育委員会 殿  $\blacksquare$ 4 # 第6号様式 (第6条関係) ے 븨 (A4版) 끸 産 と 盤 믒 导目 (A4版) 無 皿 **₹** 博物館法第13条第1項の規定により、下記のとおり変更届を提出します。 施 設 名届出者氏名 博物館登録事項変更届出書 Ш 딡  ${\bf \sqsubseteq}$ # # 型 Ш 擀 Ш 沖縄県教育委員会 殿 更事項の種 団 皿 変更事項の内容 (第5条関係) # 6 第5号様式 更  $\mathbb{H}$ 変 変 変

导 日

文年

事 用 믒

#### ○沖縄県教育委員会の権限事務の一部を知事の補助機関である職員及びその管理に属する行政機関の長に委任する規則 平成23年3月31日 教育委員会規則第2号

#### (趣 旨)

- 第1条 この規則は、地方自治法(昭和22年法律第67号)第180条の7の規定に基づき、教育委員会の権限に属する事務の一部を知事の補助機関である職員及びその管理に属する行政機関の長に委任することに関し、必要な事項を定めるものとする。
- 第2条 沖縄県立博物館・美術館の管理に関する事務のうち、次に掲げる事務以外の事務を沖縄県部等設置条例(昭和47年沖縄 県条例第32号)第2条第8号の規定により設置される文化観光スポーツ部の長(以下「部長」という。)に委任する。ただし、 沖縄県立博物館・美術館管理規則(平成19年沖縄県教育委員会規則第1号)第2条第3項ただし書の規定による認定に関する 事務にあつては、知事が定める沖縄県立博物館・美術館の組織に関する規則の規定により設置される館長に委任する。
  - (1) 沖縄県立博物館・美術館の設置及び管理に関する条例(平成18年沖縄県条例第72号)及び沖縄県立博物館・美術館管理規則(以下「条例等」という。)の改正及び廃止に関すること。
  - (2) 博物館法(昭和26年法律第285号)第21条及び沖縄県立博物館・美術館管理規則第12条第1項の規定による博物館・美術館協議会の委員の任免に関すること。

#### (合議等)

- 第3条 前条の規定により事務の委任を受ける者は、当該事務の執行について、この規則以外の教育委員会規則その他の規定により教育委員会又はその補助職員に対し、合議、協議、報告等(以下「合議等」という。)を要する定めのある事務については、合議等をしなければならない。
- 2 前条の規定にかかわらず、委任された事務に関し、重要かつ異例の事態が生じたときは、あらかじめ、その処理方針について、教育委員会の承認を受けなければならない。

#### 附 則

#### (施行期日)

1 この規則は、平成23年4月1日から施行する。

#### (経過措置)

2 この規則の施行の際条例等の規定により教育委員会がした処分その他の行為で現にその効力を有するもの又はこの規則の施行の日(以下「施行日」という。)前に条例等の規定により教育委員会に対してなされた申請その他の行為で、施行日以後においては部長に委任されることとなる事務に係るものは、施行日以後における条例等の適用については、部長がした処分その他の行為又は部長に対してなされた申請その他の行為とみなす。

#### (沖縄県教育庁組織規則の一部改正)

- 3 沖縄県教育庁組織規則(昭和47年沖縄県教育委員会規則第1号)の一部を次のように改正する。
- 第11条第8号を次のように改める。
- (8) 博物館・美術館に関すること (沖縄県教育委員会の権限事務の一部を知事の補助機関である職員及びその管理に属する行政機関の長に委任する規則 (平成23年沖縄県教育委員会規則第2号) により委任される事務に関するものを除く。)。

#### (沖縄県立教育機関組織規則の一部改正)

- 4 沖縄県立教育機関組織規則(昭和47年沖縄県教育委員会規則第2号)の一部を次のように改正する。
  - 第1条中「、沖縄県立博物館・美術館の設置及び管理に関する条例(平成18年沖縄県条例第72号)」を削る。
  - 第4条を削り、第4条の2を第4条とする。
  - 第6条を次のように改める。

#### (職制等)

- 第6条 総合教育センター、図書館、埋蔵文化財センター及び青少年の家(以下「教育機関」という。)に、所長又は館長(以下「所長等」という。)を置く。
- 2 所長等は、上司の命を受け、当該教育機関が所掌する事務を掌理する。
- 第7条及び第8条を削り、第9条を第7条とする。
- 第9条の2の表中「総合教育センター(総務班を除く。) 博物館・美術館」を「総合教育センター(総務班を除く。)」に改め、同条を第8条とする。

- 第10条を第9条とし、第11条を第10条とし、第11条の2を第11条とする。
- 第12条第1項中「及び博物館・美術館」を削る。
- 第21条を第23条とし、第20条を第22条とし、第19条を第21条とする。
- 第18条中「第7条から第16条まで」を「第6条から第18条まで」に改め、同条の表中
- 「 | 上司の命を受け、博物館・美術館の専門的事務に従事する。 及び
- 「 | 学芸員補 | 上司の命を受け、学芸員の職務を助ける。 を削り、同条を第20条とする。
- 第17条を第19条とする。
- 第16条中「第7条」を「第6条」に改め、同条を第18条とする。
- 第15条を第17条とし、第14条を第16条とし、第13条を削り、第12条の4を第15条とする。
- 第12条の3第1項中「、博物館・美術館」を削り、同条を第14条とする。
- 第12条の2を第13条とする。

# (沖縄県教育委員会の所管する職員の勤務時間及び勤務時間の割り振り等に関する規則の一部改正)

- 5 沖縄県教育委員会の所管する職員の勤務時間及び勤務時間の割り振り等に関する規則(昭和47年沖縄県教育委員会規則第22 号)の一部を次のように改正する。
- 第4条第2項中「沖縄県立博物館・美術館、沖縄県立埋蔵文化財センター、」を「沖縄県立埋蔵文化財センター及び」に改める。

#### ○沖縄県博物館・美術館の管理に関する事務を執行するための組織等に関する規則

平成23年3月31日 規則第8号

#### (趣 旨)

第1条 この規則は、沖縄県教育委員会の権限事務の一部を知事の補助機関である職員及びその管理に属する行政機関の長に委任する規則(平成23年沖縄県教育委員会規則第2号。以下「教育委員会事務委任規則」という。)第2条の規定により知事の補助職員に委任された沖縄県立博物館・美術館(沖縄県立博物館・美術館の設置及び管理に関する条例(平成19年沖縄県条例第72号)で設置された沖縄県立博物館・美術館をいう。以下「博物館・美術館」という。)の管理に関する事務を執行するための組織その他必要な事項について定めるものとする。

# (博物館・美術館の管理に関する事務の所掌)

第2条 博物館・美術館の管理に関する事務のうち、教育委員会事務委任規則第2条本文の規定により文化観光スポーツ部の長 (以下「文化観光スポーツ部長」という。)に委任された事務は、沖縄県行政組織規則(昭和49年沖縄県規則第18号。以下「行 政組織規則」という。) 第76条の規定により設置する文化観光スポーツ部文化振興課が所掌する。

2 博物館・美術館の管理に関する事務のうち、前項に定める事務以外の事務は、博物館・美術館が所掌する。

第3条 博物館・美術館に総務班、博物館班及び美術館班を置く。

#### (所掌事務)

- 第4条 総務班の分掌事務は、次のとおりとする。
  - 予算、決算その他会計事務に関すること。 (1)
  - 公印の保管に関すること。
  - 職員の服務及び福利厚生に関すること。 (3)
  - (4) 博物館・美術館協議会に関すること。
  - 指定管理者との連絡調整に関すること (5)
  - (6) 他班の所掌に属さない事務に関すること。
- 2 博物館班の分掌事務は、次のとおりとする。
  - 博物館・美術館の博物館施設に係る資料(以下「博物館資料」という。)の収集、保管及び展示に関すること。 (1)
  - (2)博物館資料の利用に関すること。
  - 博物館施設及びその他施設の利用に関すること。 (3)
  - 博物館資料の調査研究に関すること。 (4)
  - 博物館資料の目録、図録、案内書、解説書、調査研究報告書等の作成及び頒布に関すること。 (5)
  - 博物館資料についての講演会、講習会、映写会、研究会等の開催に関すること。 他の博物館等との相互協力に関すること (美術館班が分掌して処理するものを除く。)。 (6)
  - (7)
- (8) 教育、学術又は文化に関する施設への協力及びその活動の支援に関すること(美術館班が分掌して処理するものを除 <。)。
- 3 美術館班の分掌事務は、次のとおりとする。
  - (1)博物館・美術館の美術館施設に係る資料(以下「美術館資料」という。)の収集、保管及び展示に関すること。
  - 美術館資料の利用に関すること。 (2)
  - (3)美術館施設の利用に関すること。
  - (4)美術館資料の調査研究に関すること。
  - (5) 美術館資料の目録、図録、案内書、解説書、調査研究報告書等の作成及び頒布に関すること。
  - (6)美術館資料についての講演会、講習会、映写会、研究会等の開催に関すること
  - 他の博物館等との相互協力に関すること(美術館班が分掌して処理するものに限る。)。 (7)
- (8) 教育、学術又は文化に関する施設への協力及びその活動の支援に関すること(美術館班が分掌して処理するものに限 る。)。

#### (職の設置)

- 第5条 博物館・美術館に、館長、副館長、班長、主査、主事及び学芸員を置く。
- 2 博物館・美術館に、特に必要と認められるときは、主任学芸員、主任専門員、主任、専門員及びその他の職員を置くことが できる。

#### (職の職務内容)

- 第6条 前条に掲げる職の職務内容は、上司の命を受けて次の各号に掲げるとおりとする。
  - (1) 館長は、博物館・美術館の事務を掌理し、所属職員を指揮監督する。
  - 副館長は、博物館・美術館の事務を整理し、館長を補佐する。
  - (3) 班長は、班の事務を処理する。
  - 主査は、博物館・美術館の特定事務を分掌する。 (4)
  - (5)主事は、一般的な事務を処理する。
  - (6) 学芸員は、学芸業務に従事する。
  - (7)主任学芸員は、学芸業務を処理する。
  - 主任専門員は、博物館・美術館の専門的業務に従事する。 (8)
  - 主任は、一般的な事務を分掌する。 (9)
  - 専門員は、博物館・美術館の専門的業務に従事する。 (10)

#### (その他組織に関する事項)

第7条 第3条から前条までに定めるもののほか、博物館・美術館の組織に関し必要な事項は、博物館・美術館を行政組織規則 第5条に規定する公の施設とみなして、同規則の規定を適用する。

#### (委任された事務に係る決裁等)

- 第8条 教育委員会事務委任規則第2条本文の規定により、文化観光スポーツ部長に委任された事務は、沖縄県事務決裁規定(昭 和48年沖縄県訓令第89号)の規定の例により文化観光スポーツ部長が決裁するものとする。
- 2 教育委員会事務委任規則第2条ただし書の規定により、館長に委任された事務の決裁は、沖縄県出先機関の長に対する事務 の委任及び決裁に関する規則(昭和53年沖縄県規則第67号)の規定(第3条、第5条及び第13条を除く。)を準用する。この場合において、同規則の規定中「知事」とあるのは「沖縄県教育委員会」と、「所長等」とあるのは「館長」と読み替えるも
- 3 前2項に定めるもののほか、文化観光スポーツ部長及び館長は、教育委員会事務委任規則第2条の規定により委任された事 務の執行に関し重大な疑義が生じたときは、沖縄県教育委員会に協議する等をして適正に事務を処理しなければならない。
- 4 館長は、前2項の規定又は教育委員会事務委任規則第3条の規定が適用される事務については、文化観光スポーツ部長を経 由して同条に規定する手続きを講ずるものとする。

#### (委任された事務以外の事務の委任及び決裁)

第9条 博物館・美術館の管理に関する事務を執行する組織及び職員の管理その他必要な事務の処理は、館長を沖縄県出先機関 の長に対する事務の委任及び決裁に関する規則第2条第1項第1号に規定する所長等とみなして、同規則の規定を適用する。 この場合において、館長は、沖縄県出先機関の長に対する事務の委任及び決裁に関する規則の規定の適用に関し疑義を生じた ときは、知事に協議しなければならない。

#### (委 任)

第10条 この規則に定めるもののほか、博物館・美術館の管理に関する事務の執行に関し必要な事項は、文化観光スポーツ部長 に委任された事務については文化観光スポーツ部長が、館長に委任された事務については官庁がそれぞれ定める。

この規則は、平成23年4月1日から施行する。

(設 置)

第1条 歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等に関する資料(以下「博物館・美術館資料」という。)を収集し、保管し、展示して教育的配慮の下に一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するために必要な事業を行い、あわせて博物館・美術館資料に関する調査研究を行うため、博物館法(昭和26年法律第285号)第2条第1項に規定する博物館として沖縄県立博物館・美術館(以下「博物館・美術館」という。)を設置する。

### (位置及び施設)

- 第2条 博物館・美術館の位置は、那覇市おもろまち3丁目1番1号とする。
- 2 博物館・美術館は、次に掲げる施設をもって構成する。
  - (1) 博物館施設
  - (2) 美術館施設
  - (3) その他施設

### (事 業)

- 第3条 博物館・美術館は、次に掲げる事業を行う。
  - (1) 博物館・美術館資料の収集、保管及び展示に関すること。
  - (2) 博物館・美術館資料の利用に関すること。
  - (3) 博物館・美術館の施設の利用に関すること。
  - (4) 博物館・美術館資料の調査研究に関すること。
  - (5) 博物館・美術館資料の目録、図録、案内書、解説書、調査研究報告書等の作成及び頒布に関すること。
  - (6) 博物館・美術館資料についての講演会、講習会、映写会、研究会等の開催に関すること。
  - (7) 他の博物館等との相互協力に関すること。
  - (8) 教育、学術又は文化に関する施設への協力及びその活動の支援に関すること。
  - (9) 前各号に掲げるもののほか、博物館・美術館の設置の目的を達成するために必要な事業に関すること。

#### (博物館・美術館の管理)

第4条 博物館・美術館の管理は、地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の2第3項の規定により、法人その他の 団体であって教育委員会が指定するもの(以下「指定管理者」という。)に行わせるものとする。

#### (指定管理者の業務)

- 第5条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。
  - (1) 博物館・美術館の設置の目的を達成するために教育委員会が必要と認める事業の実施に関する業務
  - (2) 第11条の規定による観覧料の収受に関する業務、第12条の規定による観覧料の減免に関する業務、第13条ただ し書の規定による観覧料の返還に関する業務その他の観覧料の収受に関する業務
  - (3) 第14条の規定による利用の許可に関する業務、第17条の規定による利用の許可の取消し等に関する業務、第18 条第2項の規定による原状回復命令に関する業務その他の利用の許可に関する業務
  - (4) 第19条及び同条第3項において準用する第11条第5項から第7項までの規定による利用料金の収受に関する業務、第
    - 19条第3項において準用する第12条の規定による利用料金の減免に関する業務、第19条第3項において準用する第13条ただし書の規定による利用料金の返還に関する業務その他の利用料金の収受に関する業務
  - (5) 博物館・美術館の施設及び附属設備の維持及び修繕に関する業務
  - (6) 前各号に掲げるもののほか、博物館・美術館の管理運営に関して、教育委員会が必要と認める業務

#### (指定管理者の指定の申請)

第6条 第4条の規定による指定を受けようとするものは、教育委員会規則で定める申請書に事業計画書その他教育委員会則で定める書類(以下「事業計画書等」という。)を添えて、教育委員会に提出しなければならない。

#### (指定管理者の指定)

- 第7条 教育委員会は、前条の規定による申請があったときは、次に掲げる基準により審査し、最も適切に博物館・美術館の管理を行うことができると認めるものを候補者として選定し、議会の議決を経て指定管理者を指定するものとする。
  - (1) 事業計画書等の内容が、県民の公平な利用を確保できるものであること。
  - (2) 事業計画書等の内容が、博物館・美術館の効用を最大限に発揮させるものであるとともに、効率的な管理がなされるものであること。
  - (3) 事業計画書に沿った管理を安定して行う物的及び人的能力を有するものであること。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、博物館・美術館の設置の目的を達成するために十分な能力を有するものであるこ

#### (指定管理者の指定等の告示)

- 第8条 教育委員会は、前条の規定により、指定管理者を指定したときは、その旨を告示しなければならない。
- 2 前項の規定は、地方自治法第244条の2第11項の規定により、指定管理者の指定を取り消し、又は期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じた場合に準用する。

#### (休館日)

- 第9条 博物館・美術館の休館日は、次に掲げるとおりとする。
  - (1) 月曜日
  - (2) 12月29日から翌年の1月3日までの日
- 2 前項第1号に規定する休館日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日又は沖縄県慰霊の日を定める条例(昭和49年沖縄県条例第42号)第2条に規定する慰霊の日に当たるときは、その日の後日において最も近い休館日でない日をもって、これに替えるものとする。
- 3 前2項の規定にかかわらず、指定管理者は、必要があると認めるときは、教育委員会の承認を得て、臨時に休館日に開館し、又は休館日以外の日に休館することができる。

#### (開館時間)

第10条 博物館・美術館の開館時間は、午前9時から午後6時(金曜日及び土曜日にあっては、午後8時)までとする。 2 前項の規定にかかわらず、指定管理者は、必要があると認めるときは、教育委員会の承認を得て、開館時間を臨時 に変更することができる。

#### (観覧料)

- 第11条 常設展、企画展又は特別展を観覧しようとする者は、観覧料を指定管理者に納めなければならない。
- 2 常設展を観覧しようとする場合の観覧料は、別表第1に定める基準額に100分の70を乗じて得た額から当該基準額に 100分の130を乗じて得た額までの範囲内で、指定管理者が定めるものとする。
- 3 企画展又は特別展を観覧しようとする場合の観覧料は、3,090円を超えない範囲内で、その都度指定管理者が定める

ものとする

- 4 前 2 項の規定にかかわらず、 1 年間を通して常設展、企画展又は特別展を観覧しようとする場合の観覧料は、別表第 2 に定める基準額に100分の70を乗じて得た額から当該基準額に100分の130を乗じて得た額までの範囲内で、指定管理者が定めるものとする。
- 5 指定管理者は、第2項から前項までの規定により、観覧料を定めようとするときは、あらかじめ教育委員会の承認を受けなければならない。観覧料を変更しようとするときも、同様とする。
- 6 教育委員会は、前項の承認をしたときは、これを告示するものとする。
- 7 観覧料は、指定管理者の収入とする。

一部改正「平成26年条例11号〕

#### (観覧料の減免)

第12条 指定管理者は、公益上その他特別の理由があると認めるときは、観覧料を減額し、又は免除することができる。 2 前項の規定にかかわらず、指定管理者は、教育委員会規則で定める場合は、教育委員会規則で定めるところにより、 観覧料を減額し、又は免除するものとする。

#### (観覧料の返環)

第13条 既に納付した観覧料は、返還しない。ただし、必要があると認められる場合は、指定管理者は、その全部又は 一部を返還することができる。

#### (利用の許可)

- 第14条 別表第3に掲げる博物館・美術館の施設又は附属設備(以下「施設等」という。)を利用しようとする者は、 あらかじめ指定管理者の許可を受けなければならない。許可を受けた者(以下「利用者」という。)が許可を受けた 事項を変更しようとするときも、同様とする。
- 2 指定管理者は、博物館・美術館の管理上必要があると認めたときは、前項の許可をするに当たり、条件を付することができる。
- 3 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当するときは、第1項の許可をしないことができる。
  - (1) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがあると認められるとき。
  - (2) 公益を害するおそれがあると認められるとき。
  - (3) 施設等を汚損し、損傷し、又は滅失するおそれがあると認められるとき。
  - (4) 前3号に掲げるもののほか、施設等の管理上支障があると認められるとき。

#### (利用期間)

第15条 施設等を引き続いて利用することができる期間は、教育委員会規則で施設等ごとに定める日数以内とする。ただし、指定管理者が特別の理由があると認めるときは、教育委員会規則で定めるところにより、当該期間を変更することができる。

#### (権利の譲渡等の禁止)

第16条 利用者は、施設等を利用する権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

#### (許可の取消し等)

- 第17条 指定管理者は、利用者が次の各号のいずれかに該当するときは、第14条第1項の許可を取り消し、又は施設等の利用を制限し、若しくはその停止を命ずることができる。
  - (1) この条例若しくはこの条例に基づく規則又はこれらに基づく指示に違反したとき。
  - (2) 偽りその他不正な手段により許可を受けたとき。
  - (3) 許可に付した条件に違反したとき。
  - (4) 第14条第3項各号のいずれかに該当するに至ったとき。

#### (原状回復の義務)

- 第18条 利用者は、施設等の利用を終えたとき、又は前条各号のいずれかの規定に該当することにより利用の許可を取り消されたときは、速やかに施設等を原状に回復しなければならない。
- 2 指定管理者は、利用者が前項の義務を履行しないときは、その原状回復に必要な措置をとるべきことを命ずることができる。

#### (利用料金)

- 第19条 利用者は、施設等の利用に係る料金(以下「利用料金」という。)を指定管理者に納めなければならない。
- 2 利用料金は、別表第3に定める基準額に100分の70を乗じて得た額から当該基準額に100分の130を乗じて得た額までの範囲内で、指定管理者が定めるものとする。
- 3 第11条第5項から第7項まで、第12条及び第13条の規定は、利用料金について準用する。

#### (事業報告書の提出)

第20条 指定管理者は、毎年度終了後30日以内に、教育委員会規則で定めるところにより、事業報告書を作成し、教育 委員会に提出しなければならない。

#### (博物館・美術館協議会)

- 第21条 博物館・美術館に、博物館・美術館協議会(以下「協議会」という。)を置く。
- 2 協議会の委員(以下「委員」という。)の任命の基準は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から任命することとする。
- 3 委員の定数は、15人以内とする。
- 4 委員の任期は、2年とする。ただし、欠員が生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 5 委員は、再任されることができる。
- 6 第2項から前項までに定めるもののほか、協議会の組織及び運営に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。 一部改正〔平成24年条例46号〕

#### (教育委員会規則への委任)

第22条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

# 附則

#### (施行期日)

1 この条例は、公布の日から起算して1年を超えない範囲内において教育委員会規則で定める日から施行する。ただし、次項の規定は、公布の日から施行する。 (平成19年6月教育委員会規則第11号で、同19年11月

#### 1日から施行)

#### (準備行為)

2 第7条の規定による指定管理者の指定、第11条第5項の規定による観覧料の承認及び第19条第3項において準用する第11条第5項の規定による利用料金の承認並びにこれらに関し必要な手続その他の行為は、この条例の施行前においても、第6条から第8条まで、第11条第2項から第6項まで並びに第19条第2項並びに同条第3項において準用する第11条第5項及び第6項の規定の例により行うことができる。

#### (沖縄県立教育機関設置条例の一部改正)

- 3 沖縄県立教育機関設置条例(昭和47年沖縄県条例第24号)の一部を次のように改正する。
- 第1条中「、図書館法」を「及び図書館法」に改め、「及び博物館法(昭和26年法律第285号)第18条」を削り、「必要 な事項」を「、必要な事項」に改める。
- 第5条及び第6条を削り、第6条の2を第5条とし、第7条を第6条とし、第7条の2を第7条とする。
- 第8条中「、第5条及び第6条の2」を「及び第5条」に改める。

#### (沖縄県立教育機関使用料徴収条例の一部改正)

- 4 沖縄県立教育機関使用料徴収条例(昭和47年沖縄県条例第37号)の一部を次のように改正する。
- 第2条第1項中「別表第1又は別表第2」を「別表」に改め、同条第2項を削る。
- 別表第1を削り、別表第2を別表とする。

#### 附 則(平成26年3月31日条例第11号抄)

#### (施行期日)

1 この条例は、平成26年4月1日から施行する。

#### 別表第1 (第11条関係)

区分			基準額(1人につき)			
	<b>四月</b>	個人の場合		団体の場合		
	一般	410円		330円		
博物館施設	大学生及び高校生	260円		210円		
	中学生及び小学生		(県外の中学生及び小学生に限る。)	120円 (県外の中学生及び小学生に限る。)		
	一般	310円		250円		
美術館施設	大学生及び高校生	210円		170円		
	中学生及び小学生	100円	(県外の中学生及び小学生に限る。)	80円(県外の中学生及び小学生に限る。)		

#### 備考

- 「一般」とは、「大学生及び高校生」及び「中学生及び小学生」のいずれにも該当しない者(小学校就学の始期 1 に達するまでの者を除く。)をいう。
- 「大学生及び高校生」とは、大学の学生及び高等学校の生徒その他これらに準ずる者をいう。 「中学生及び小学生」とは、中学校の生徒及び小学校の児童その他これらに準ずる者をいう。 3
- 「団体の場合」とは、20人以上の団体で観覧する場合及び教育委員会規則で定める場合をいう。

一部改正〔平成26年条例11号〕

#### 別表第2 (第11条関係)

	区分	基準額(1人につき)			
	区分	一般	大学生及び高校生	中学生及び小学生	
抽物瘤按型	常設展	1,230円	I7:7() III	460円(県外の中学生及び小 学生に限る。)	
博物館施設	常設展、企画展及び特別展	4, 320円	2,670円	1,650円(県内の中学生及び 小学生にあっては、1,180円)	
美術館施設	常設展	930円	1620 III	310円(県外の中学生及び小 学生に限る。)	
<b>天</b> 州	常設展及び企画展	4,010円	2,670円	1,340円(県内の中学生及び 小学生にあっては、1,030円)	

# 備考

- 「一般」とは、「大学生及び高校生」及び「中学生及び小学生」のいずれにも該当しない者(小学校就学の始期 1 に達するまでの者を除く。)をいう。
- 「大学生及び高校生」とは、大学の学生及び高等学校の生徒その他これらに準ずる者をいう。
- 3 「中学生及び小学生」とは、中学校の生徒及び小学校の児童その他これらに準ずる者をいう。

一部改正〔平成26年条例11号〕

#### 別表第3 (第14条、第19条関係) 1 施設利用料金

# (1) 博物館施設利用料金

(1)   日初阳旭	议州用杆亚	
	区分	基準額(1日につき)
Λ =	入場料を徴収しない場合	29, 930円
企画展示室	入場料を徴収する場合	89, 790円
st. III 同二合	入場料を徴収しない場合	39, 190円
特別展示室	入場料を徴収する場合	117,570円
H 77 H	入場料を徴収しない場合	9, 260円
実習室	入場料を徴収する場合	27,770円
** ric (二)	入場料を徴収しない場合	16, 350円
講座室	入場料を徴収する場合	49,060円

#### (2) 美術館施設利用料金

	区分	基準額(1日につき)
県民ギャラリー1		8, 330円
県民ギャラリー 2		7,710円
県民ギャラリー3		7,710円
県民ギャラリースタジ	<sup>3</sup> / <sub>2</sub>	8,430円
п п п п	入場料を徴収しない場合	7,200円
県民アトリエ	入場料を徴収する場合	21,600円
7/11-7 1 11	入場料を徴収しない場合	7,710円
子供アトリエ	入場料を徴収する場合	23, 140円
A 7 8 7 4 4	入場料を徴収しない場合	33,740円
企画展示室 1	入場料を徴収する場合	101, 210円
A T E - + 0	入場料を徴収しない場合	41,860円
企画展示室 2	入場料を徴収する場合	125, 590円
944 - L	入場料を徴収しない場合	9, 360円
講座室	入場料を徴収する場合	28,080円

#### (3) その他施設利用料金

	区分	基準額(1時間につき)	
	入場料を徴収しない場合		3,500円
講堂	入場料を徴収する場合		10, 490円

#### 2 附属設備利用料金

2 門俩以佣刑用相业		
種別	単位	基準額
舞台器具	1回1点又は一式につき	10,000円以内で教育委員会規則で定める額
音響器具	1回1点又は一式につき	10,000円以内で教育委員会規則で定める額
照明器具	1回1点又は一式につき	10,000円以内で教育委員会規則で定める額
冷房設備	1時間につき	3,000円以内で教育委員会規則で定める額
その他教育委員会規則で定める附属設	1回1点又は一式につき	10,000円以内で教育委員会規則で定める額
備		

#### 備考

- 「入場料」とは、入場料、会費、会場整理費その他名称のいかんを問わず、入場の対価として徴収するものをい 1 う。
  - 利用料金の基準額が1時間を単位として定められている施設等の利用者が許可された利用時間を超過して当該施
    - 設等を利用する場合における利用料金の基準額は、この表の区分に従い、次のとおりとする。 (1) 午前9時から午後6時(金曜日及び土曜日にあっては、午後8時)までの間は、超過時間30分間(30分間に 満たない端数は、これを30分間とする。)につき、当該区分に定める基準額の2分の1の額に100分の120を 乗じて得た額
    - (2) 午後6時(金曜日及び土曜日にあっては、午後8時)後は、超過時間30分間(30分間に満たない端数は、こ れを30分間とする。)につき、当該区分に定める基準額の2分の1の額に100分の150を乗じて得た額

一部改正〔平成26年条例11号〕

#### ○沖縄県立博物館・美術館管理規則

平成19年3月16日 教育委員会規則第1号 [最終改正] 平成27年3月24日 教育委員会規則第4号

# (趣 旨)

第1条 この規則は、沖縄県立博物館・美術館の設置及び管理に関する条例(平成18年沖縄県条例第72号。以下「条例」という。) の規定並びに地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第23条第1号及び博物館法(昭和26年法律 第285号) 第19条の規定に基づき、沖縄県立博物館・美術館(以下「博物館・美術館」という。) の管理に関し必要な事項を 定めるものとする。

# (寄贈及び寄託)

- 第2条 博物館・美術館に資料を寄贈又は寄託しようとする者は、博物館・美術館資料寄贈申込書(第1号様式)又は博物館・ 美術館資料寄託申請書(第2号様式)を提出しなければならない。
- 2 受贈又は受託を決定したものについては、博物館・美術館資料受贈受諾書(第3号様式)又は博物館・美術館資料受託承認 書(第4号様式)を交付するものとする。
- 3 寄贈又は寄託に要する経費は、寄贈者又は寄託者の負担とする。ただし、博物館・美術館の館長(以下「館長」という。) が必要と認めた場合はこの限りでない。
- 4 第2項の規定により寄贈を受けた資料は、理由のいかんにかかわらず返却しない。
- 5 第2項の規定により寄託を受けた資料は、寄託者の請求又は博物館・美術館の都合により返付する。

#### (寄贈資料及び寄託資料の管理等)

- 第3条 寄託された資料の管理は、博物館・美術館所蔵の資料の管理に準ずるものとする。
- 2 寄託資料が火災その他の不可抗力により、滅失し、汚損し、又は損傷したときは、県及び館長並びに指定管理者は、損害賠 償の責任を負わないものとする。

#### (指定管理者の指定の申請)

- 第4条 条例第6条の規則で定める申請書は、指定管理者指定申請書(第5号様式)によるものとする。
- 2 条例第6条の規則で定める書類は、次に掲げる書類とする。
  - (1) 法人である団体にあつては、定款又は寄附行為及び登記事項証明書
- (2) 法人でない団体にあつては、定款又は寄附行為に相当する書類及び代表者の身分証明書(市区町村長が発行するものに限る。)
  - (3) 申請に係る業務の実施の方法を記載した書類
  - (4) 最近の事業年度における事業報告書、貸借対照表、収支決算書、財産目録その他の経理的基礎を有することを明らかにする書類(申請の日の属する事業年度に設立された法人にあつては、その設立時における財産目録)
  - (5) 役員の氏名、住所及び履歴を記載した書類
  - (6) 前各号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める書類

#### (観覧券の交付)

第5条 指定管理者は、博物館・美術館の展示品を観覧しようとする者が所定の観覧料を納付した場合又は指定管理者により後納が認められた場合は、観覧券を交付するものとする。

#### (観覧料の免除)

- 第6条 条例第12条第1項の規定により観覧料の免除を受けようとする者は、あらかじめ観覧料免除申請書(第6号様式)を指定管理者に提出し、その承認を受けなければならない。
- 2 条例第12条第2項の規定により観覧料を免除することができる場合は、次のとおりとする。
  - (1) 県内の中学校の生徒及び小学校の児童並びにその他これらに準ずる者の引率者が教育課程に基づく教育活動として博物館・美術館の常設展を観覧する場合
  - (2) 県内の高等学校の生徒、その他これらに準ずる者及びその引率者が教育課程に基づく教育活動として博物館・美術館の常設展を観覧する場合
  - (3) 70歳以上の者が常設展を観覧する場合
  - (4) 身体障害者福祉法(昭和24年法律第283号)第15条第4項の規定により身体障害者手帳の交付を受けている者及びその 介護者が常設展を観覧する場合
  - (5) 知的障害者で都道府県知事又は地方自治法(昭和22年法律第67号)第252条の19第1項の指定都市の市長から療育手帳の交付を受けている者及びその介護者が常設展を観覧する場合
  - (6) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(昭和25年法律第123号)第45条第2項の規定により精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者及びその介護者が常設展を観覧する場合

#### (入館の禁止等)

- 第7条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する者に対して入館を禁じ、又は退館を命ずることができる。
  - (1) 館内の秩序を乱すおそれがあると認められる者
  - (2) その他指定管理者が適当でないと認める者

#### (施設利用の許可等)

第8条 条例別表第3に掲げる博物館・美術館の施設又は附属設備を利用しようとする者は、あらかじめ博物館・美術館施設利用許可申請書(第7号様式)を提出しなければならない。

#### (利用期間)

- 第9条 条例第15条本文に規定する教育委員会規則で施設等ごとに定める日数は、次の各号に掲げる施設等の区分に応じ当該各 号に定める日数とする。
  - (1) 博物館施設の企画展示室及び特別展示室並びに美術館施設の企画展示室1及び企画展示室2並びにこれらの施設の冷房設備 6月
  - (2) 前号に掲げる施設等以外の施設 7日
- 2 条例第15条ただし書の規定により利用期間を変更しようとする者は、沖縄県立博物館・美術館利用期間変更願(第8号様式)を指定管理者に提出しなければならない。

#### (利用料金の免除)

- 第10条 条例第19条第3項において準用する第12条第2項の規定により利用料金を免除することができる場合は、沖縄県が条例 第3条各号に掲げる事業を行うために利用する場合とする。
- 2 条例第19条第3項において準用する第12条第2項の規定により利用料金の免除を受けようとする者は、博物館・美術館施設利用許
- 可申請書を提出する際に、併せて沖縄県立博物館・美術館利用料金免除申請書(第9号様式)を指定管理者に提出しなければならない。
- 3 指定管理者は、利用料金の免除を承認したときは、沖縄県立博物館・美術館利用料金免除承認書(第10号様式)を利用者に 交付するものとする。

#### (事業報告書の内容等)

- 第11条 条例第20条の事業報告書は、次に掲げる事項を記載して提出するものとする。
  - (1) 博物館・美術館の管理運営に関する業務(以下「業務」という。)の実施状況
  - (2) 業務に係る収支状況
  - (3) 博物館・美術館の利用状況
  - (4) 前3号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める事項

#### (博物館・美術館協議会の組織等)

- 第12条 博物館・美術館協議会(以下「協議会」という。)の委員は、沖縄県教育委員会が任命する。
- 2 協議会に会長及び副会長を置き、委員のうちから互選する。
- 3 会長は協議会を代表し、会務を総理する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。
- 5 協議会の会議は、会長が招集し、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。
- 6 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。
- 7 協議会は協議のため必要があると認める場合は、調査を行い、又は専門家その他の関係者の出席を求め、意見若しくは説明を聴くことができる。
- 8 協議会の委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、同様とする。
- 9 協議会の庶務は、博物館・美術館において処理する。
- 10 その他協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮つて定める。

#### (観覧料の割引)

第13条 条例別表第1備考4に規定する教育委員会規則で定める場合は、博物館施設又は美術館施設の常設展を観覧しようとする日と同じ日に博物館・美術館が行う他の展示と併せて観覧する場合とする。ただし、併せて観覧する他の展示の観覧料が無料の場合は、この限りでない。

#### (附属設備の利用料金の基準額)

第14条 条例別表第3第2項の表の教育委員会で定める額は、別表に掲げるとおりとする。

#### (補 則)

第15条 この規則に定めるもののほか、博物館・美術館の管理に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

#### 附 則

#### (施行期日)

1 この規則は、条例の施行の日〔平成19年11月1日〕から施行する。ただし、次項の規定は、公布の日から施行する。

#### (準備行為として行う申請に必要な申請書等)

9

条例附則第2項の規定により準備行為として行う指定管理者の指定の申請に必要な申請書及び書類については、第4条の規定の例による。 (沖縄県立博物館の管理に関する規則等の廃止)

- 3 次に掲げる規則は、廃止する。
  - (1) 沖縄県立博物館の管理に関する規則(昭和47年沖縄県教育委員会規則第13号)
  - (2) 沖縄県立博物館協議会規則(昭和47年沖縄県教育委員会規則第29号)

#### (沖縄県教育庁組織規則の一部改正)

4 沖縄県教育庁組織規則(昭和47年沖縄県教育委員会規則第1号)の一部を次のように改正する。 第31条第3号中「沖縄県立博物館」を「沖縄県立博物館・美術館」に改める。

#### 附 則(平成27年3月24日教育委員会規則第4号抄)

#### (施行期日)

1 この規則は、平成27年4月1日から施行する第33条第4号中「沖縄県立博物館協議会」を「博物館・美術館協議会」に改める。

### 別表 (第14条関係)

1 附属設備(冷房設備を除く。)の利用料金

種別	品名	単位	基準額
	演台	1台	310円
舞台器具	花台	1 台	100円
	司会台	1 台	150円
	メインスピーカー	1式	1,030円
	コンデンサーマイク	1 本	310円
	ワイヤレスマイク	1 本	620円
音響器具	ダイナミックマイク	1 本	210円
日管布具	ビデオテープレコーダー	1 台	720円
	DVDプレーヤー	1 台	1,290円
	CD、MDプレーヤー	1 台	410円
	HD/DVDレコーダー	1 台	1,290円
	ボーダーライト	1 列	310円
	サスペンションライト	1列	510円
照明器具	アッパーホリゾントライト	1列	720円
	シーリングライト	1 列	620円
	センターピンスポットライト	1 台	410円
	書画カメラ	1 台	820円
その他	ビデオプロジェクター	1 台	1,440円
ての他	電動スクリーン	1式	1,130円
	35ミリフィルム映写機	1式	5,140円

備考 附属設備利用料金の基準額は、1ステージごとの額とする。ただし、長時間連続して利用する場合は、4時間ごとに1ステージとみなす。

# 2 冷房設備の利用料金

	区分	単位	基準額
	企画展示室	1時間までごとに	650円
博物館施設	特別展示室	1時間までごとに	850円
1970   10   10   10	実習室	1時間までごとに	200円
	講座室	1時間までごとに	350円
	県民ギャラリー1	1時間までごとに	180円
	県民ギャラリー2	1時間までごとに	170円
	県民ギャラリー3	1時間までごとに	170円
	県民ギャラリースタジオ	1時間までごとに	190円
美術館施設	県民アトリエ	1時間までごとに	150円
	子供アトリエ	1時間までごとに	170円
	企画展示室 1	1時間までごとに	730円
	企画展示室 2	1時間までごとに	910円
	講座室	1時間までごとに	210円
その他施設	講堂	1時間までごとに	610円

第1号様式 (第2条関係)

Ш  $\blacksquare$ # 博物館・美術館資料寄贈申込書 礟 沖縄県立博物館・美術館長

닯 所名 住氏

申込者

私所有の下記の資料を沖縄県立博物館・美術館へ寄贈したいので、受領されるよう申込みます。

밅 別 4 夲 製作年月日

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列4判とする。 寄贈の理由  $\infty$ 

ᄪ

厩

逶

Ŋ

4

ᄪ

#

ಣ

艸

#

 $_{\rm Cl}$ 

種

資料所在地

9

時価見積額

第2号様式 (第2条関係)

私所有の下記の資料を沖縄県立博物館・美術館へ寄託したいので、受託されるよう申請します。 Ш 111  $\blacksquare$ # 博物館・美術館資料寄託申請書 所名 住氏 申請者 から また 밅 шш 田 田 ## 礟 沖縄県立博物館・美術館長 ᄪ 別 农 夲 製作年月日 資料所在地 寄託期間 神 ᄪᆖ Щ # 析 逶 種 2 ಣ 4 Ŋ 9 \_

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列4判とする。

第3号様式 (第2条関係)

年 月 日付け申込のあつた博物館・美術館資料の寄贈については下記により受諾します。ただし、寄贈を受けた資料については、沖縄県立博物館・美術館管理規則第2条第4項の規定により返却されません。 沖縄県立博物館・美術館長 印 Ш 皿 # 博物館・美術館資料受贈受諾書 밅 礟 別 時価見積額 名 名 製作年月日 ᄪ 資料所在地 寄贈の理由 神 ᄪ 厩 # ₩ 逶 種  $\infty$ Ŋ 9 Ø ಣ 4

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列4判とする。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列4判とする。

第4号様式 (第2条関係)

博物館・美術館資料受託承認書	年 月 日	<b>聚</b>	沖縄県立博物館・美術館長 印	日付け申請のあつた博物館・美術館資料の寄託については下記により受託			ATI.			年 月 日 から 年 月 日 まで	ND	
				田	別	布	品	製作年月日	属品	託期間	析	
				## # .	種	#	#	製	圣	ÆK #i=	∰	
				446	$\vdash$	2	3	4	S	9	7	

(第4条関係) 第5号様式

⊩ 申請者

礟

沖縄県教育委員会

団体の名称

型

#

代表者の氏名

믒

指定管理者指定申請書

沖縄県立博物館・美術館の管理に係る指定管理者の指定を受けたいので、沖縄県立博物館・

美術館の設置及び管理に関する条例第6条の規定により申請します。

添付書類

事業計画書

法人である団体にあつては、定款又は寄附行為及び登記事項証明書 S

法人でない団体にあっては、定款又は寄附行為に相当する書類及び代表者の身分証明書 (市区町村長が発行するものに限る) ಣ

申請に係る業務の実施の方法を記載した書類

4

最近の事業年度における事業報告書、貸借対照表、収支決算書、財産目録その他経理的 基礎を有することを明らかにする書類(申請の日に属する事業年度に設立された法人に 5

あつては、その設立時における財産目録)

役員の氏名、住所及び履歴を記載した書類

9

前各号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める書類 \_

用紙の大きさは、日本工業規格A列4判とする。 備考

第6号様式 (第6条関係)

Ш

田

#

観覧料免除申請書

下記の理由により博物館・美術館観覧料の免除を受けたいので、沖縄県立博物館・美術館管 日付け申請の博物館・美術館の観覧料免除の件、申請どおり承認します。 딦 믒 Ш Щ # 沖縄県立博物館・美術館 糚 业 H ~性 所名 指定管理者 住氏 曜田) 申請者 牔 脸 밅 理規則第6条第1項の規定に基づき申請します。 承 礟 Ш Ш # 礟 Щ 団 体 名 引率者名 沖縄県立博物館・美術館 # Щ 艸 観覧者数 観覧日時 申請理由 指定管理者 遲 # 鷾 2 ೧೧

用紙の大きさは、日本工業規格A列4判とする。 備考

第7号様式 (第8条関係)

博物館・美術館施設利用許可申請書			
沖縄県立博物館・美術館 指定管理者 殿	#	H	
申請者 氏 名電 話		<u> </u>	П
下記により貴館施設を利用したいので、申請します。			
岩			
1 利用者 団 体 名     印 職業 (       代表者名     印 職業 (       住 所     電話			
2 利用目的			
3 利用する施設			
<ul><li>4 利用する日時及び期間</li><li>自: 年月日時分子</li><li>(、、「□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□</li></ul>	=		
至: 年月日時分 () 日間	<u> </u>		
<ul><li>5 予定参加人数</li><li>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>	•	•	•
<ul><li>許可 証</li><li>年月日付け申請の( )使用の件、申請どおり許可します。</li></ul>		·	
年 月 日 沖縄県立博物館・美術館 指定管理者	<b>術館</b>		显

沖縄県立博物館・美術館管理規則第9条第2項の規定により次のとおり利用期間の変更を願い出ます。

밅

됴

任 団 体 名 代表者氏名 電話番号

中請者

豳

沖縄県立博物館・美術館 指定管理者

ш

H

#

沖縄県立博物館·美術館利用期間変更願

第8号様式 (第9条関係)

4 備考

田田(

R

世

Ш

皿

#

.. HH 利用期間の変更を願い出る理由

ಣ

业

Ш

Щ

利用する日時及び期間 自: 年

0

催物の名称

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列4判とする。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列4判とする。

第9号様式 (第10条関係)

ш 田 # 沖縄県立博物館·美術館利用料金免除申請書

믒

任 団 体 名 代表者氏名 電話番号

中請者

礟

沖縄県立博物館・美術館 指定管理者

次のとおり利用料金の免除を申請します。

밅

催物の名称

业 ш

ш Щ #

皿

#

.. Ш

利用する日時及び期間

4

催物の内容

က

利用目的

0

R

业

.. #H

減額・免除を申請する理由

5

備考 9

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列4判とする。

第10号様式 (第10条関係)

믒 ш Щ # 三田 沖縄県立博物館・美術館 指定管理者 沖縄県立博物館·美術館利用料金免除承認書 R 业 世 밅 次のとおり利用料金の免除を承認します。 ш ш Щ 皿 礟 利用する日時及び期間 # # 利用料金免除額 催物の名称 催物の内容 利用目的 ··· Ш .. #H 備考 2 က 4 9

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列4判とする。

平成23年4月1日 訓令第103号 [最終改正] 平成25年3月30日 訓令第63号

(趣 旨)

第1条 沖縄県立博物館・美術館(以下「博物館・美術館」という。)の館長(以下「館長」という。)を地方公務員法(昭和25年法律第261号)第3条第3項第3号に規定する非常勤の特別職とした場合における館長の執務等に関しては、この訓令によるものとする。

#### (任命及び任期)

- 第2条 館長は、博物館・美術館の管理運営に関し識見及び能力を有する者のうちから知事が任命する。
- 2 館長の任期は、1年以内とし、2回に限り更新することができる。
- 3 前項の規定にかかわらず、2回を超えて更新する必要がある場合には、文化観光スポーツ部観光政策課長は、総務部行政管理課長と協議するものとする。

#### (報酬等)

第3条 館長の報酬及び費用弁償の額は、沖縄県特別職に属する非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する規則(昭和47年沖縄県 規則第111号)に定めるところによる。

#### (勤務条件)

- 第4条 館長の勤務場所は、博物館・美術館とする。
- 2 館長の1月の勤務日数は、16日以内とし、勤務する日は文化観光スポーツ部長が別に定める。
- 3 館長の勤務時間は、沖縄県職員の勤務時間、休日及び休暇等に関する条例(昭和47年沖縄県条例第43号)の適用を受ける職員の勤務時間に準ずるものとする。

#### (服務)

- 第5条 館長は、その職務の遂行に当たつて、法令、条例、規則等に従い、かつ、上司の職務上の命令に従わなければならない。
- 2 館長は、その職務の信用を傷つけ、又は職員全体の不名誉となるような行為をしてはならない。
- 3 館長は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、また、同様とする。
- 4 館長は、勤務時間中は職務に専念しなければならない。

### (解 任)

- 第6条 知事は、館長が次の各号のいずれかに該当すると認めたときは、任期内であつても解任することができる。
  - (1) 館長の職務を怠つたとき。
  - (2) 前条の規定に違反したとき。
  - (3) 館長として不適当と認められる行為をしたとき。
  - (4) 心身の故障その他の理由により職務を行うに適しなくなつたとき。
  - (5) 任命の必要がなくなつたとき。

#### (補 則)

第7条 この訓令に定めるもののほか、館長を非常勤の特別職とした場合における館長の執務等に関し必要な事項は、文化観光 スポーツ部長が別に定める。

#### 附 則

この訓令は、平成25年4月1日から施行する。

# 附 則(平成25年3月30日訓令第63号)

この訓令は、平成25年4月1日から施行する。

#### ○沖縄県立博物館・美術館保管資料の利用に関する取扱要領

平成14年3月14日 教育長決裁 平成28年12月28日 最終改正

#### (目 的)

第1条 この要領は、沖縄県立博物館が保管する資料(以下「資料」という。)の利用について必要な事項を定めるものとする。 (定 義)

- 第2条 この要領において利用とは、次の各号に掲げることをいう。
  - (1) 展示会等における原資料等の借用。
  - (2) 同資料の撮影。
  - (3) 原資料等を被写体として製作された写真原板や印画などの借用。
  - (4) 撮影等による複製品の製作。
  - (5) 原資料等の閲覧。
  - (6) 教育普及資料の借用。

#### (許可の基準)

- 第3条 博物館長(以下「館長」という。)は、教育・学術・文化等に係わる事業、学術研究の推進並びに文化の向上に資する 事業、又は館長が特に必要と認めた場合において資料の利用を許可することができる。ただし、次の各号の一に掲げる事項は この限りでない。
  - (1) 資料の保存に悪影響が生じると認められる場合。
  - (2) 好ましくない用途に供されると認められる場合。
  - (3) 館の事務処理に支障が生じると認められる場合。
  - (4) 資料のうち、ほかに権利を有する者があるものについて、事前に書面による同意を得ていない場合。
  - (5) 過去に目的外使用の事実又は許可条件に違反する事実があると認められる場合。
  - (6) その他、許可することが適当でないと認められる場合。

#### (許可申請の手続き)

- 第4条 資料の利用を希望する者は、以下の各号に応じ、資料利用申請書(以下「申請書」という。)に事業の趣旨や主体者、 事業計画等を記載した企画書等を添えて館長に利用開始14日前までに、申請しなければならない。
  - (1) 原資料等の借用(第1号様式)
  - (2) 写真撮影、原板・印画の借用(第2号様式)
  - (3) 複製品の製作(第3号様式)
  - (4) 原資料等の閲覧 (第4号様式)
  - (5) 教育普及資料の借用(第5号様式)

### (審査及び決定)

- 第5条 前条の規定による申請があつた場合、館長は次の各号に掲げる事項について、審査し、許可するかどうかを決定しなければならない。
  - (1) 事業の趣旨及び内容。
  - (2) 事業の主体者。

- (3) 事業計画。(4) その他必要な事項。

### (許可書の交付)

- 第6条 資料利用を許可する決定を行つたときは、次の各号により当該申請者に対し別表のとおりの条件を付した資料利用許可 書(以下「許可書」という。)を交付するものとする。ただし、館長が特に必要と認めた軽微なものについては、その限りで ない。
  - 原資料等の借用(第1-1号様式) (1)
  - (2) 写真撮影、原板・印画の借用(第2-1号様式)
  - (3) 複製品の製作(第3-1号様式)

  - (4) 原資料等の閲覧(第4-1号様式)(5) 教育普及資料の借用(第5-1号様式)
- 2 館長は前項のほか、必要と認められる場合は、別に条件を付することができる。

### 附 則

この要領は、平成14年4月1日から実施する。

### 附 則

この要領は、平成19年11月1日から実施する。

別妻 (第6条関係) &由善の答約利用の許可条件	
(筆6 冬開烃)	口各件
(	法川田の封
(筆6 冬開烃)	る 中語 の 答案
_	_
半旧	(報)
	半品

利用申請の内容		資料利用の許可条件
(各申請様式)	共通条件	個別条件
原資料等の借用 (第1号様式)	7.6. 万蔵」	<ul><li>①資料の梱包または輸送、借用期間の保存管理については申請者が一切の責任を負うこと。</li><li>②資料の運搬その他費用を要する場合は、申請者が負担すること。</li><li>③貸与期間は原則として2ヶ月以内とする。</li><li>④借用によって生じた成果品を当館に1部(1点)を納付すること。</li></ul>
写真撮影、原板 ・印画の借用 (第2号様式)	③申請の際には、返信用卦筒(切手貼付)を添えること。	<ul><li>①撮影は原則として休館日の午後に行うこと。</li><li>②製作された写真デュープやビデオ、CD等を当館に無償で1部(1点)納付すること。納付された製作品は当館が展示等で自由に使うことができる。</li><li>③写真原板の貸与期間は3週間以内とする。</li><li>④郵送費は申請者が負担すること。</li><li>⑤資料利用によって製作されたものは、登録商標化等により独占しないものとし、所有権を侵害しないものとする。</li></ul>
複製品の製作 (第3号様式)		<ul> <li>○撮影は原則として休館日の午後に行うこと。</li> <li>②撮影等製作過程における事故等によって与えた損傷は、申請者が一切の責任を負うこと。</li> <li>③製作工程表、製作記録など当館の指示するものを提出すること。</li> <li>④製作された写真デュープやビデオ、CD等を当館に無償で1部(1点)納付すること。納付された製作品は当館が展示等で自由に使うことができる。</li> <li>⑤写真原板の貸与期間は3週間以内とする。</li> <li>⑥等科利用によって製作されたものは、登録商標化等により独占しないものとし、所有権を侵害しないものとする。</li> </ul>
原資料等の閲覧 (第4号様式)		①展示資料の閲覧は休館日の午後に行うこと。 ②閲覧する資料は、原則として1日5点以内とする。 ③閲覧によつて得られた成果(論文や著作等)は、当館に1部(1点)納付すること。
教育普及資料 の借用ののの (第5号様式)		<ul><li>①与期間は1週間以内とする。</li><li>②資料の運搬その他費用を要する場合は、申請者が負担すること。</li><li>③資料の利用にあたっては、事故が生じないよう取り扱いに十分留意すること。</li><li>④万一の事故等については、申請者が一切の責任を負うこと。</li></ul>

(第4条関係 第1号様式 #1 用申請 (原資料等の借用) 萃利 渔

平成

Ш

皿

#

礟 沖縄県立博物館・美術館長 代表者名 団体名 申請者

믒

(担当者氏名

所: 〒 TEL:

 $\mathbb{H}$ 

FAX:

下記により原資料等の館外利用を許可くださるようお願いします。

妣 靊 Ш 羧 7 Ш 皿 # 4 软 名 完 借用希望期間 占 展示等場 쐚 1 S. ლ .

①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。

- ②資料の利用に当たつては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。
  - ③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。
    - ④資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。
      - ⑤申請の際には、返信用封筒(切手貼付)を添えること。
- ⑥資料の梱包または輸送、借用期間の保存管理については申請者が一切の責任を負うこと。
  - ⑦資料の運搬その他費用を要する場合は、申請者が負担すること。
- ③貸与期間は原則として2ヶ月以内とする。③借用によって生じた成果品を当館に1部(1点)を納付すること。 前項に違反した行為があったときは、この許可を取り消すことがある。

第1-1号様式 (第6条関係)

日付けで申請のあつた資料の館外利用については、下記により許可し 見合 沖縄県立博物館・美術館長 Щ # 黑 平成 蟶 Ш #1 Щ (原資料等の借用) 亩 資料利用許 딞 Ш Щ # 礟 皿 == 农 纪 示等場所 # 浑 業  $\mathbb{H}$ 平成 # 1 岷 些 Ш

业 靊 数 III) 名 桑 4 ი ი Ω.

- ①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。
- ②資料の利用に当たつては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記するこ。 ③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。
  - ④資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。
    - ⑤申請の際には、返信用封筒(切手貼付)を添えること。
- ⑥資料の梱包または輸送、借用期間の保存管理については申請者が一切の責任を負うこと。⑦資料の運搬その他費用を要する場合は、申請者が負担すること。
  - ⑧貸与期間は原則として2ヶ月以内とする。
- 前項に違反した行為があつたときは、この許可を取り消すことがある。 ③借用によって生じた成果品を当館に1部(1点)を納付すること。

213

(第4条関係 号 様式 Ø

	H	
	#	
	平成	
資料利用申請書 (写真撮影、原板・印画の借用)		県立博物館・美術館長 殿
		沖縄県

代表者名: 団 体 名: 中請者 聚

믒

(担当者氏名

⊩ .. 占

FAX: IEL

原板・印画の利用を許可くださるようお願いします 下記により資料の写真撮影、

\* 析 で囲む 靊 靊 些 ○ **※** 制作予定日 ? 様 业  $\forall$ 掲載 iH 教 က 郶 数 撮影 ? Ø 苓 写真原板使用 Ą Ŕ # 桑 옏 尔 希望日時・期間 ドレビ DVD 西 出版物 国 その他  $\times$ 盐 #  $\circ$  $\overline{\mathbb{R}}$ 2 m Ш 完

- (留意事項
  ①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。
  ②資料の利用に当たっては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。
  ③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。
  ①資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。
  ⑤ 請請の際には、返信用封筒(切手貼付)を添えること。
  ⑥ 撮影は原則として休館目の午後に行うこと。
  ⑦ 製作された契貞ブューブやビズナ、CD等を当館に無償で1部(1点)納付すること。
  ⑧ 取りたされた製作は高い展示等で自由に使うことができる。
  ⑧ 写真原板の貸与期間は3週間以内とする。
  ⑨ 写真原板の貸与期間は3週間以内とする。
  ⑨ 郵送費は申請者が負担すること。
  ⑩ 鄭料利用によって製作されたものは、登録商標化等により独占しないものとし、所有権を侵
- 害しないものとする。

前項に違反した行為があつたときは、この許可を取り消すことがある。

(第6条関係) 2-1号様式

与自 沖縄県立博物館・美術館長 日付けで申請のあつた資料の利用については、下記により許可します。 业 で囲む 皿 靊 业 紙 # 制作予定日 ? 黑 平成 业 蟶 掲載 教 (写真撮影、原板・印画の借用) က ш 紀 П 撮影 # Щ 밅  $\alpha$ ₩ 桑 楘 写真原板使用 資 央 礟 尔 HE. Щ 西 出版物 囯  $\times$ 単・類 1 盐 #Щ 平成

析 靊 懋 #屾 数 4 桑 デレビ DVD  $\, \cap \,$ その街 O  $\overline{\mathbb{R}}$ 完 Ш

(1)当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。 ②資料の利用に当たつては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。 ③資料の約失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。 ④資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。 ⑥康影は原則として休館日の午後に行うこと。 ⑥根影は原則として休館日の午後に行うこと。 ⑥根影は原則として休館日の午後に行うこと。 ⑥野島は原則として休館日の午後に行うこと。 ⑥野島は原則として休館日の午後に行うこと。 ⑥野島は原則として林郎日の午後に行うこと。 ⑥野島は原則として林郎日の午後に行うこと。 ⑥野島原体の資与東南に3個間以内とする。 ⑧野島原体の資与東南に3個間以内とする。 ⑧野島原体の資与東南に3個に、登録商標化等により独占しないものとし、所有権を 侵害しないものとする。

前項に違反した行為があつたときは、この許可を取り消すことがある

第3号様式 (第4条関係)

第3-1号様式 (第6条関係)

#1 料利用申請 (複製品の製作) 

代表者名: 礟 沖縄県立博物館・美術館長

団 存 名: 中請者

믒

Ш

皿

#

平成

(担当者氏名

所:〒 TEL: FAX:

 $\mathbb{H}$ 

下記により複製品製作のため資料の利用を許可くださるようお願いします。

※○で囲む	+ ~			販売価 格	備考			
掲載	報			乓	仕 様			
撮影 3	H H ~			製作点数	数量			
2				Н				
1 写真原板使用	年 月			平 成 年 II	料名			
利用区分	希望日時·期 間	日 的	製作仕様	製作予定日	資	1.	2.	3.
	用 区 分 1 写真原板使用 2 撮影 3 掲載	用区分     1 写真原板使用     2 撮影     3 掲載       望日時・期     年月日~月日     年時・	用区分     1 写真原板使用     2 撮影     3 掲載       望日時・期     年月日~月日     年時       問     的	用区分     1 写真原板使用     2 撮影     3 掲載       望日時・期     年月日~月日 時       間       作仕様	用区分     1 写真原板使用     2 撮影     3 掲載     ※○で囲む       望日時・期     年月日~月日     日~月日     日本日     時本       間     作仕様       作子定日     中成年月     製作点     成売価       作予定日     財産       株子定日     財産       株子定日     財産       株子定日     財産       株子定日     財産       株子定日     財産       大阪で	用区分     1 写真原板使用     2 撮影     3 掲載     ※○で囲む       望日時・期     年 月 日 ~ 月 日 時 ~ 時       間     ・     ・     ・       作仕様     ・     ・     ・       作子定日     中     ・     ・       資 料 名     数量     仕様     備 考	用区分     1 写真原板使用     2 撮影     3 掲載     ※○で囲む       望日時・期     年 月 日 ~ 月 日 時 ~ 時     上       間     上     日 ~ 月 日 ○ 月 日 時 ~ 時       作 任 様     本     日 ○ 日 ○ 月 日 ○ 日 日 ○ 日 日 ○ 日 日 ○ 日 日 ○ 日 日 ○ 日 日 ○ 日 日 ○ 日	用区分     1 写真原板使用     2 撮影     3 掲載     ※○で囲む       望日時・期     年 月 日 ~月 日 時 ~ 時       問     ・       作仕様     ・     ・       作仕様     ・     ・       作子を日 日 次     ・     ・       資料名     数量     ・       ・     ・     ・

①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。

- ②資料の利用に当たつては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。
  - ③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。 ④資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。
    - - ⑤申請の際には、返信用封筒(切手貼付)を添えること。

        - ⑥撮影は原則として休館日の午後に行うこと。
- ⑦撮影等製作過程における事故等によつて与えた損傷は、申請者が一切の責任を負うこと。
  - ⑧製作工程表、製作記録など当館の指示するものを提出すること。
- ③製作された写真デュープやビデオ、CD等を当館に無償で1部(1点)納付すること。納付
  - された製作品は当館が展示等で自由に使うことができる。 ⑩写真原板の貸与期間は3週間以内とする。
- ①資料利用によって製作されたものは、登録商標化等により独占しないものとし、所有権を侵

前項に違反した行為があつたときは、この許可を取り消すことがある。 害しないものとする。

沖縄県立博物館·美術館長 日付けで申請のあつた特別利用については、下記により許可します。 导目 紙 # 黑 祖 张 資料利用許可 (複製品の製作) 礟 皿 # 平成

利用区分     1 写真原板使用     2 撮影     3 掲載     ※○で囲む       日時・期間     年月日     日本時     時       製作仕様     製作予定日     平成年月     製作点     点 格       11.     第     名数量     仕様     備 考       2.     3.	-						
分     1     写真原板使用     2     撮影     3     掲載     ※○で囲む       間     年     月     日     日     時       様     日     数     上     株     株     本       月     本     名     数     上     株     株     本       資     料     名     数     量     任     株     本	1						1
分     1     写真原板使用     2     撮影     3     掲載       問     年月日     日     日     日       様     平成年月     類     点数       資料名     数量     任様		※○で囲む	?		売価		
分     1     写真原板使用     2     撮影       問     年     月     日     一       所     平成     年     月     製作点       日     日     数       資     料     名     数					岸		
分     1     写真原板使用     2       問     年     月     日       様     平成     年     月       日     日     日       資     料     名	1		A		製作点数		
公 題 包 兼       日 名 兼       四 日 本       瀬       本       本		2			Я		
公 題 包 兼 田		:真原板使用			争	各	
\ \   \ -   \						林	
## == ## ### ###   1.100 0.3		用区	時・期	作仕		Ä	1. 2. 3.
		#		 यमार	400		

※許可条件

①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。

- ②資料の利用に当たつては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。
  - ③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。④資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。
    - ⑤申請の際には、返信用封筒(切手貼付)を添えること。
- ⑥撮影は原則として休館日の午後に行うこと。⑦撮影等製作過程における事故等によって与えた損傷は、申請者が一切の責任を負うこと。⑧製作工程表、製作記録など当館の指示するものを提出すること。
  - ③製作された写真デュープやビデオ、CD等を当館に無償で1部(1点)納付すること。

慾

- 付された製作品は当館が展示等で自由に使うことができる。
  - ⑩写真原板の貸与期間は3週間以内とする。
- ⑪資料利用によって製作されたものは、登録商標化等により独占しないものとし、所有権を 侵害しないものとする。
  - この許可を取り消すことがある。 前項に違反した行為があつたときは、

関係
条
第4
号様式 (
4
紙

	ш		댎	
	田			
	#			免
	平成			(担当者氏名 〒
1 請 書 閲覧)			代表者名:団体名:	(年 ) 所: [1] (日 ) [1] (H ) (H ) [1] (H ) (H ) (H ) (H ) (H ) (H ) (H ) (H
資料利用申請 (原資料等の閲覧)			丰	
<u></u>		腦		
		き・美術館長		
		沖縄県立博物館・美術館長		

下記により原資料等の閲覧を許可くださるようお願いします。

				_
	閲覧人員	備考		
	華			
	一十			
	Ш	(数		
	Я			
	争			
	平成	名		
目 的	<b>翡覧希望日時</b>	資料		<b>以中书</b>
	E	的     m       實希望日時     平成     年     月     日     時     時     閲覧	平成         年         月         日         時         閲覧           1名         員数         備         備	平成 年 月 日 時 時 時       関節       将     員数

※留意事項

- ①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。②資料の利用に当たつては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。④資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。
  - - - ⑤申請の際には、返信用封筒(切手貼付)を添えること ⑥展示資料の閲覧は休館目の午後に行うこと。 ⑦閲覧する資料は、原則として1日5点以内とする。
- ③閲覧によって得られた成果(論文や著作等)は、当館に1部(1点)納付すること。 前項に違反した行為があったときは、この許可を取り消すことがある。

第4-1号様式 (第6条関係)

		資料利用 (原資料等	料 利 用 許 可 書 (原資料等の閲覧)	
				博 美 第 号 平成 年 月 日
	邎			
				沖縄県立博物館・美術館長
平成年,	月 目付けで	申請のあつ	日付けで申請のあつた資料の閲覧については、	いては、下記により許可しま
			ļii	
目的				
閲覧日時	平成 年	月 時	~ 轴 日	閲覧人 員
担当学芸員				
資料名	名	員数		備考
1.				
. <del>4</del>				
o.				
※許可条件				
<ul><li>①当館学芸員の指示に従い、</li><li>②答點の利用に当たったは</li></ul>		員の勤務時間では、	館員の勤務時間内に行うこと。 以東ア広げ「油縄国立埔物館・当	館員の勤務時間内に行うこと。 必要にたじ「沖縄ほか増物館・業務箱乖離」と問むポストン
の資付いがJAに当たっては、必ずに応じ、TF開送と ③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、	ョルンでは、必るいは損傷を与	女に応じ、えた場合は、	作れたエロの語・ラン修理、製作等に修	
<ul><li>④資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、 ⑤申請の際には 返信用封筒(切手貼付)を添える</li></ul>	当館以外に所有権者がいる場合は、 ・ 返信用封筒(切手貼付)を添える	権者がいる: 切手貼付)	場合は、当該者の原を添って、	当該者の同意書を添付すること。 アン
⑥展示資料の閲覧は休館日の午後に行うこと。	覧は休館日の午	後に行うこ		
<ul><li>③閲覧する資料は、原則として1日5点以内とする。</li><li>◎閲覧にトライ得された時里(論すや著作等)は 当</li></ul>	は、原則とした母でされた事の	て1日5点以内とする (論ひや著作等) は	内とする。 築)は 当館に 1章	。当館に1部(1占)総付せてトソ
●図覧におう、ほびれごに次十、置く 前項に違反した行為があったときは、	if ションスの木 行為があったと	,	るにす/ は、当場により、1.ボ/この許可を取り消すことがある。	/ (エ灬/ MY17) / シーこ。 : がある。

条單係)	
(年49	
中様式	
紙	

	ш		뮵		<u> </u>			
	Ħ							
	#				72			
	平成				(担当者氏名			
			名:	名:	里	所:〒	3L :	· X1
請書 0借用)			代表者名:	国体		Œ	II	Œ
貸 料 利 用 申 請 書(教育普及資料の借用)				申請者				
資 料 系 (教育普				1111111				
Xim/		礟						
		美術館長						
		沖縄県立博物館・美術館長						
		沖縄場						

下記により教育普及資料の利用を許可くださるようお願いします。

3その他	(組 ) 日			備考				
2 地域・団体行事	年 月	参加人員						
	~ (碞			数量				
1学校(学年・学級)行事	年 月 目(			資料名				
利用区分	希望日時·期間	行 事 名	目 的		1.	2.	3.	. 4

# ※留意事項

- ①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。
- ②資料の利用に当たつては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。
  - ③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。
    - ④資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。

      - ⑤申請の際には、返信用封筒(切手貼付)を添えること。
        - ⑥貸与期間は1週間以内とする。
- ⑦資料の運搬その他費用を要する場合は、申請者が負担すること。
- ③資料の利用にあたっては、事故が生じないよう取り扱いに十分留意すること。⑤万一の事故等については、申請者が一切の責任を負うこと。
  - 前項に違反した行為があつたときは、この許可を取り消すことがある。

_	
<b>米照</b> (水)	
0	
(出)	
与様式	
出い	

			資料利用許可書(教育等及資料の借用)	許可書学の借用)		细		다
					大	卅	Ħ	ÞШ
			鬣					
					沖縄県	沖縄県立博物館・美術館長	ā•美術	票
平成年	4.4	H	日付けで申請のあつた資料利用については、下記により許可します。	将利用につい	ては、下記	により許	国しま	to the
			追					
利用区品	分酉	1 4	学校(学年・学級)行事 年 目 日( E	2 地域・F 時) ~ 4	<ul><li>団体行事</li><li>任 目</li></ul>	3%	3その他 (時)	
#			I			I	?	
	的							
		資	資料名	数量		備考		
. 2 2 4								
※許可条件 ①当館学芸員の指示に従い、 ②資料の利用に当たっては、	真の  周に	指指形	に従い、館員の勤務時間内に行うこと。 こつては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記するこ	IC行うこと。 県立博物館・	美術館所蔵		2	عُ

- ③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。 ④資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。
  - - ⑤申請の際には、返信用封筒(切手貼付)を添えること。
      - ⑥貸与期間は1週間以内とする。
- ⑦資料の運搬その他費用を要する場合は、申請者が負担すること。
- ③資料の利用にあたつては、事故が生じないよう取り扱いに十分留意すること。
  - ⑨万一の事故等については、申請者が一切の責任を負うこと。
- 前項に違反した行為があつたときは、この許可を取り消すことがある。

#### (目的

第1条 この要領は、沖縄県立博物館・美術館が共催又は後援等を行う事業について必要な事項を定めるものとする。

#### (用語の定義)

- 第2条 この要領において、次の各号に定める用語の定義は、当該各号に定めるところによる。
- (1) 共催 事業の企画、運営に参画し、また経費の一部を負担するなど、当該事業について責任の一部を負担することをいう。
  - (2) 後援等 後援、協力、協賛等で、当該事業の趣旨に賛同し、事業の実施について協力することをいう。

#### (名義)

第3条 この要領による共催又は後援等の名義は「沖縄県立博物館・美術館」とする。

#### (承認基準)

- 第4条 共催又は後援等の承認基準は別表1のとおりとする。
- 2 前項の規定にかかわらず、博物館活動の見地から館長が特に必要があると認めるものについては、共催又は後援等の承認をすることができるものとする。

#### (申請手続き)

- 第5条 共催又は後援等の承認を受けようとするものは、別記第1号様式又は次の事項を記載した書面を、原則として事業開催 の14日前までに、沖縄県立博物館・美術館長に提出するものとする。
  - (1) 事業の名称、目的及び内容
  - (2) 主催者の職、氏名及び事務局等連絡先
  - (3) 開催日時(期間)及び開催場所
  - (4) 参加対象者及び参加見込者数
  - (5) 他の共催者及び後援者等(予定者を含む)
  - (6) 参加料金その他参考事項

#### (決定)

第6条 前条の規定による申請があった場合、沖縄県立博物館・美術館長はその内容を審査し、適当と認められるときは別記第 2号様式の回答書により、承認できないときはその旨を、それぞれ当該申請者に通知するものとする。

#### (事業計画の変更)

第7条 共催又は後援を承認した事業であっても、申請時の事業計画を変更し、又は中止しようとするときは、申請者は速やか に当該変更又は中止に係る内容について届け出なければならない。

#### (承認の取消)

- 第8条 共催又は後援等を承認した事業であっても、その内容が第4条の承認基準に該当しなくなったときは、その承認を取り消すものとする。
- 2 前項の規定による承認の取消については、第6条の規定を準用する。

#### (事業の完了報告)

第9条 共催又は後援等を承認した事業のうち、必要があると認める場合は、別記第3号様式もしくはそれに変わる書面で報告を求めることができる。

# (雑則)

第10条 共催又は後援の承認の手続きを経ずに、第3条に規定する名義を無断使用した場合(承認前に既に印刷し、公表した場合を含む。)は、警告書を出すとともに、以後の共催又は後援等の承認は認めないものとする。

#### 附則

この要領は、平成23年5月23日から施行する。

別表1(第4条関係)

共催又は後援等の承認基準

共催又は後接等の承認基準	
主催者についての承認基準	1 国、地方公共団体及びこれらの機関並びにその連合体 2 教育機関及び教育研究団体 3 新聞社、放送局等報道関係 4 公益法人その他教育、芸術、文化又はスポーツの向上普及に 寄与する事業を行う団体(宗教団体又は政治団体を除
	⟨ 。 )
事業内容についての承認基準	<ul> <li>1 県及び県教育委員会の運営方針に反しないものであり、教育施策上からの効果が期待できるものであること。</li> <li>2 博物館・美術館の所掌業務と関連するもので、高い公益性を有すると認められるもの。</li> <li>3 政治的、宗教的又は商業的活動に関する宣伝、勧誘等を意図するものでないこと。</li> <li>4 特定の団体の利益を目的とするものでないこと。</li> <li>5 事業の内容及び規模からみて、営利を目的とするものでないと客観的に判断されるものであること。</li> </ul>

# 備考

- 1 主催者については、主催者についての承認基準の1から4までのいずれかに該当するものでなければならない。
- 2 事業内容については、事業内容についての承認基準のすべての項目に該当するものでな ければならない。

第1号様式

次のとおり行事を開催するについて、沖縄県立博物館・美術館の共催(後援)(協力)(協 費)の承認を得たいので、申請します。 Щ 믒 # 紙 平成 申請者 代表者名 団体名 所在地 (電話 行事の共催、後援等について(申請) 밅 沖縄県立博物館・美術館 館長 殿 事業の趣旨・内容 (なるべく具体的に記 参加者及び参加方法 その他の必要事項 開催日時及び場所 入すること。) 主催者、共催者 及び後援者 燅 経費負担の区分 神 农 洲 加 # 柳 9 2 rC  $\infty$ 4

第2号様式

耳量

平成年月日付け第号で申請のあった標記のことについては、以下の条件を付して承認しま ΠĮD 沖縄県立博物館・美術館 館長 ш 田 無 # \*\* 毒 平 以 の について (回答) 礟 実施結果の報告の有無 名義使用の方法 名義使用の期間 洲 その他 # 滋 က Ŋ 9

中縄県立博物館・美術館殿 平成年月日付博美第 - 5 ( 事業の 加 者	で で で で で で で で で で で で で で	(電話 の結果について(報告) (電話 ま) ま 記 記 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	西 を を を に に に に に に に に に に に に に	<b>帝</b>	<ul><li>代</li><li>日 申 表 声</li><li>語 者 任</li><li>中 日 を 分 日 者 名 日 割 を の ま り 日 を の ま り 日 を の り ま り 日 を の り ま り し ま り の ま り し ま り し き り し き り し き り し き り し き り し き り し き り し き り し き り し き り し き り し き り し き り し し し し</li></ul>	
<del></del>	E E E E					

# 沖縄県立博物館・美術館年報 No.11 (平成 29 年度実績)

2018年 (平成30) 12月27日

編集·発行:沖縄県立博物館·美術館

住 所:〒900-0006

沖縄県那覇市おもろまち3丁目1番1号

T E L:098-941-8200 (代表)

F A X:098-941-2392 (代表)

ホームページ: https://okimu.jp

(沖縄県立博物館・美術館ホームページ)

印刷:株式会社 東洋企画印刷

住 所:〒901-0306

沖縄県糸満市西崎町4-21-5

